SONY

SONY

パーソナルITテレビ　IDT-LF2

4-087-079-**03** (1)

# パーソナルITテレビ
# 取扱説明書
# IDT-LF2

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# ⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

7〜13ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。14〜15ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

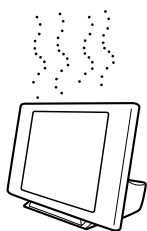
## 定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンター（巻末）に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

**❶ ベースステーションの電源プラグをコンセントから抜く。**
**❷ モニターの電源を切り、バッテリーを取りはずす。**
**モニターやクレードルにACパワーアダプターが差し込まれているときは、ACパワーアダプターも抜く。**
**❸ お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンター(巻末)に修理を依頼する。**

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠危険**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**⚠警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

**⚠注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**

注意

火災

感電

**行為を禁止する記号**

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**

指示

プラグをコンセントから抜く

## 電波障害自主規制について

この機器は2.4GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線機器間との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、エアボード カスタマーサポートセンター（巻末）までお問い合わせください。

この無線機器の使用周波数は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20mです。

無線チャンネルの変更について詳しくは、「ワイヤレスチャンネルを変更する」
（☞200ページ）をご覧ください。

## リチウムイオン電池についてのお願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会　TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

# 目次

## 目次（つづき）

その他の設定



他機との接続と設定



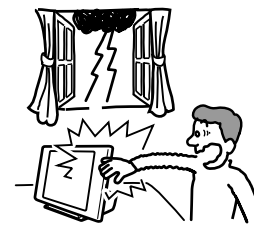
ワイヤレスLAN



その他

**⚠警告** 火災 感電 **下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。**

### 雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない

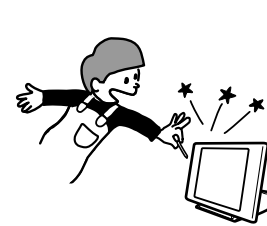
感電の原因となります。

### 本機は国内専用です

海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。また、取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

### 内部に水や異物を入れない

火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにベースステーションやクレードルの電源プラグをコンセントから抜き、モニターの電源を切って、エアボード カスタマーサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。

### 内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。
また、本機は、(財) テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明および (財) 電気通信端末機器審査協会の技術的条件適合認定を受けた製品であり、容易に開けられない構造になっています。
内部の点検や修理は、エアボード カスタマーサポートセンターにご依頼ください。

### テレホンコードやイーサネットケーブル、電源プラグのコードの配置に注意する

本機に取り付けるテレホンコードやイーサネットケーブル、電源プラグのコードが、人が歩く場所にはみ出ていると、足をひっかけるなどして、けがの原因になったり、本機の損傷の原因になったりします。

**電源プラグやACパワーアダプターのコードを振り回さない**
人やガラスなどに当たってけがをすることがあります。

禁止

**お子さまの手の届かない場所に設置する**
タッチペンやはずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。

注意

**安定した場所に設置する**
モニターやベースステーション、クレードルは、ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

指示

**本機を病院内に設置しない**
医療機器の誤動作の原因となることがあります。

禁止

**ペースメーカーなどの近くで使用しない**
ペースメーカーなどの医療電気機器を使用中に、エアボードを間近まで近づけないでください。医療電気機器が誤動作する可能性があります。

禁止

**モニターのスタンド部分を持って運ばない**
スタンドがモニターからはずれて、けがの原因となることがあります。

注意

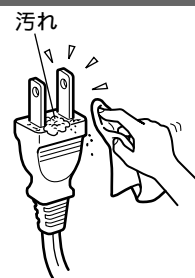
**タッチペンで目などを突かない**
けがの原因となります。取り扱いに注意してください。

注意

**バッテリーの交換は安定した場所で行う**
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

**電源プラグや充電端子は定期的にお手入れを**

電源プラグとコンセントの間や、充電端子に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

**自動車の中では使わない**

本機は車載仕様ではありません。

禁止

**お手入れの際、電源プラグを抜き、バッテリーを取りはずす**

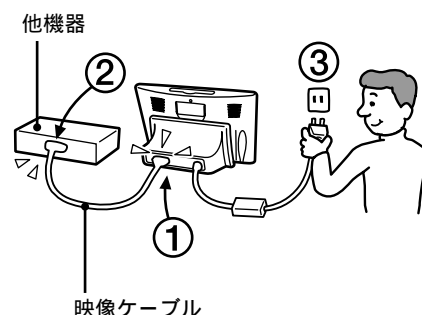
電源プラグを差し込んだままお手入れをしたり、バッテリーをモニターに取り付けたままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

**電源プラグは、他機器との接続が終わってからつなぐ**

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。
また、他機器との接続が終わったあとで、電源プラグの電源コードを壁のコンセントに差してください。（右図の順参照）

**電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く**

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。
抜くときは右図の③②①の順です。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

**モニターをベースステーションに無理に設置しない**

コネクターが壊れる原因となることがあります。

注意

**指定のACパワーアダプター以外は使用しない**

火災や感電の原因となります。

禁止

**ベースステーションを移動させるときは、電源プラグを抜く**

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。

プラグをコンセントから抜く

次のページにつづく

## ⚠警告 （つづき）

### アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

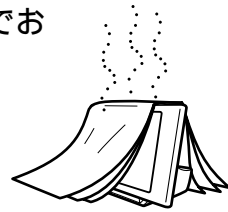
アース線を接続せよ

### 旅行などで長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

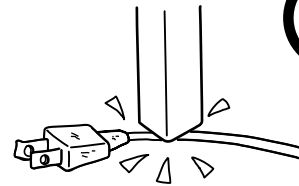
### 本体やACパワーアダプター、クレードルを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはエアボードカスタマーサポートセンターに交換をご依頼ください。

禁止

## ⚠警告 下記の注意事項を守らないと健康を害するおそれがあります。

### 液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間見続けると､目が疲れたり､視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

注意

### 長時間使いすぎない

モニターを手に持ったまま長時間使用すると、モニターの重みで腕や手首が痛くなったりすることがあります。

使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

注意

**⚠注意** **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**

**直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない**

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

注意

**コネクターはきちんと接続する**

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

注意

**ぬれた手で電源プラグ、ACパワーアダプター、バッテリーおよび本体にさわらない**

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

**タッチペンで液晶画面を強く押しすぎない**

液晶画面が壊れる原因となることがあります。

注意

**モニターやベースステーション背面の通風孔をふさがない**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。ベースステーションを壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から10cm以上離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

禁止

**モニターやベースステーションに長時間触れない**

長時間モニターをひざの上に乗せたり、ベースステーションに手などを触れたままにしないでください。温度が相当上がり、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

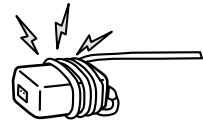
**大音量で長時間つづけて聞きすぎない**

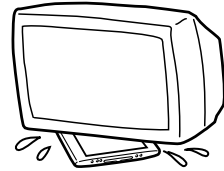
耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

注意

# ⚠注意 （つづき）

**ACパワーアダプターのコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない**

断線や故障の原因となることがあります。

**本機の上に重いものを載せない**

壊れたり、けがの原因となることがあります。

**液晶画面に衝撃を与えない**

液晶画面（表示部）はガラスでできています。モニターをひねったり、落としたり、モニターに肘をついたり、重いものを載せたりなどすると、タッチパネルや液晶画面が割れて、けがの原因となることがあります。

**硬い物質で液晶画面を操作したり、強打しない**

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

**本体に強い衝撃を与えない**

故障の原因となることがあります。

**ベースステーションやクレードルのモニター接続端子に金属物や金属片などが触れないようにする**

ショートによる火災や故障の原因となることがあります。

**クレードルを本機のモニター以外に使わない**

火災やけがの原因になることがあります。

## バッテリーについての安全上のご注意

**漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。**

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解したりしない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯や保管すると、ショートすることがあります。
- 本体に付属のバッテリー以外は使用しないでください。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

⚠警告

バッテリーを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

## 本機の発熱についてのご注意

**使用中に本体の裏面やACパワーアダプターが熱くなることがあります**

- 本機の動作時や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。
- 本機は使用状況により熱くなることがあります。モニターは、長時間ひざの上などにおいてご使用にならないでください。

**本体やACパワーアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは**

本機の電源を切り、ACパワーアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、エアボード カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

# 使用上のご注意

## 落とさないでください

本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。また、液晶パネルのガラスが割れることがあります。

## 取り扱いについて

- 本機を雨または湿気にさらさないでください。
  モニターやベースステーションの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因となります。
- 必ず、付属のACパワーアダプターを使用して電源（AC100V）につないでください。
- 本機を開けたり分解しないでください。
- （財）テレコムエンジニアリングセンターより技術基準適合証明を受けておりますので、容易に開けられない構造になっております。
- （財）電気通信端末機器審査協会より技術的条件適合認定を受けておりますので、容易に開けられない構造になっております。

> 通信不良によるお客様の損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねます。
> 通信内容が漏れたことに対しても、当社は一切その責任を負いかねます。

## 置き場所について

- 次のような場所に置かないでください。
  - 異常に高温になる場所：炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
  - 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所：変形したり、故障したりすることがあります。またバッテリーの寿命が短くなります。
  - 濡れた場所
  - 振動の多い場所
  - 強力な磁気のある場所
  - 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所：海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
  - ぐらついた台の上や傾いた場所
  - 高い場所：落下してけがの原因になります。
  - 風呂場など、湿気の多い場所
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- 本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- できるだけ床から離し、モニターとベースステーションの間に障害物の少ない場所を選んで設置してください。
- 安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下してけがの原因になります。
- 誤って足で踏んだり、上から物を落としたりすることがないような場所に設置してください。
- ゴムやプラスチック製品など、熱に弱いものの上に置いて使用しないでください。本機の熱により、変形、変色の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで使うと、映像の乱れや雑音の原因となることがあります。このような場合は、テレビやラジオから離れた場所でお使いください。
- お子さまの手の届かない場所に設置してください。タッチペンやはずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり、危険です。
- 本機を病院内に設置して使用しないでください。医療機器の誤動作の原因となることがあります。
- 本機と同じ無線周波数を使用する他の無線機器を同時に使用すると、転送速度の低下や伝送エラーが発生することがあります。
- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。

## 動画表示について

テレビやビデオを見ているとき、表示の一部がブロック状に見えることがありますが、画像処理によるもので、故障ではありません。

## テレビの画質について

お住まいの地域によっては、テレビ受信チャンネルと本機のワイヤレスチャンネルの組み合わせにより、本機のテレビまたはご家庭のテレビ画面に、雪が降ったようなちらつき（画ノイズ）が出ることがあります。

**対処のしかた**

- 雪が降ったような画ノイズが本機のテレビ画像に出る場合
  本機のワイヤレスチャンネルの調整で「自動選択」のチェックをはずしてから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
  (☞200ページ)
- 本機を使用すると、雪が降ったような画ノイズがご家庭のテレビ画面に出る場合
  本機のワイヤレスチャンネルの調整で「自動選択」のチェックをはずしてから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
  (☞200ページ)
  それでも直らないときは、本機のモニターとベースステーションをご家庭のテレビおよびアンテナ接続ケーブルから離してご使用ください。

## 音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

## データのバックアップについて

修理時に本機のメモリーが壊れて、保存されていたメールのデータ、画像データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。
修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した画像データやメールなどは“メモリースティック”に控えとしてコピーしてください。
弊社の修理によりデータが万一消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を傷つけないようにしてください。
  液晶画面に触れるときは、付属のタッチペンを使用してください。
- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めます。窓際や室外などに置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、液晶画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に液晶画面やモニター、ベースステーションのキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

## “メモリースティック”についてのご注意

“メモリースティック”の挿入口に金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

## 蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用していますが、この蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## 輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99 %以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

## 冷却ファンの音について

本機のモニターには、内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。冷却ファンが回転すると回転音が鳴ります。

## 結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。
バッテリーを取りはずしてから電源プラグを電源コンセントから抜いて、約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

## お手入れ

- お手入れをする前に、必ずモニターとベースステーションの電源を切り、電源プラグをすべてコンセントから抜いてください。クレードルは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾いた柔らかい布、または水をかたくしぼった布で軽く拭いてください。
- 液晶画面の汚れをふきとるときは、付属のクリーニングクロスで軽く拭き取ってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、色落ちや変色する場合がありますので、ご注意ください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使用しないでください。本機の内部に入って、故障の原因となることがあります。

## 搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブルなどをすべてはずしてください。
  落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、ベースステーションとモニターは別々に運んでください。それぞれ図のように左右側面の下を持ち支えるようにしてください。

モニターを運ぶとき

ベースステーションを運ぶとき

## 廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。
  廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

# 接続と準備

# 接続と設定の早わかり

テレビ・インターネット・メールの機能を使うための接続と設定を説明します。
次の手順に従って接続と設定をしてください。

- インターネットやメールをしない場合、準備6～準備11は必要ありません。
- エアボードネットへの入会と設定をする場合、準備9～準備11は必要ありません。

## Step 1

### テレビを見るための接続と設定

準備1：箱の中身を確かめる（☞19ページ）

準備2：テレビアンテナをつなぐ（☞21ページ）

準備3：電源を入れる（☞22ページ）

準備4：タッチペンの位置を調整する（☞25ページ）

準備5：テレビチャンネルを設定する（☞27ページ）

## Step 2

### インターネットやメールをするための接続と設定

準備6：時計を合わせる（☞36ページ）

準備7：インターネット用の回線をつなぐ（☞37ページ）

準備8：インターネットにつなぐための準備をする（☞47ページ）

準備9：回線の設定をする（☞52ページ）

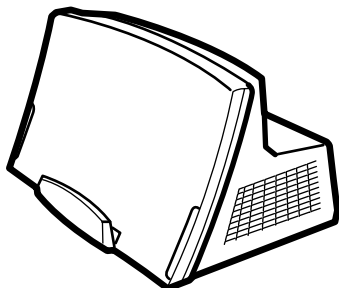
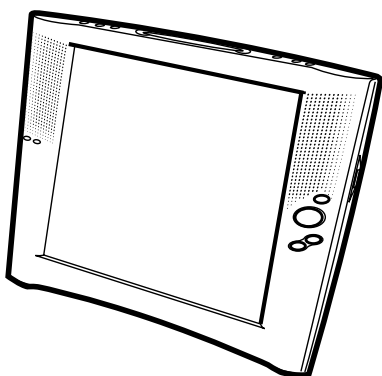
準備10：インターネットを見るための設定をする（☞61ページ）

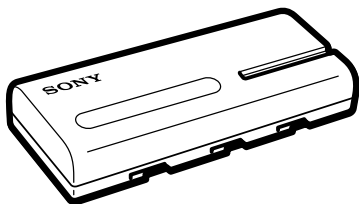
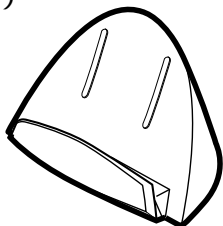
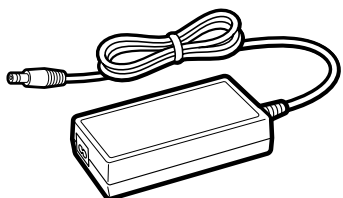
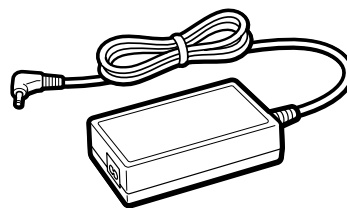
準備11：メールを送受信するための設定をする（☞62ページ）

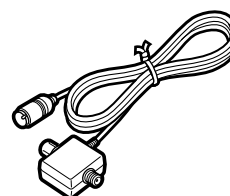
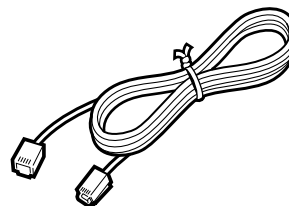
エアボードネットへの入会と設定をする（☞65ページ）

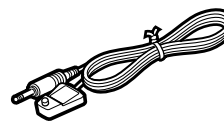
## 準備 1
# 箱の中身を確かめる

箱を開けたら、以下の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表わします。

- **ベースステーション**（1）

- **モニター**（1）

- **タッチペン**（1）

- **バッテリー** BP-LF3（1）

- **クレードル**（1）

- **ベースステーション用 ACパワーアダプター** AC-LF3（1）

- **クレードル用ACパワーアダプター** AC-LF1B（1）

- **電源コード**（2）

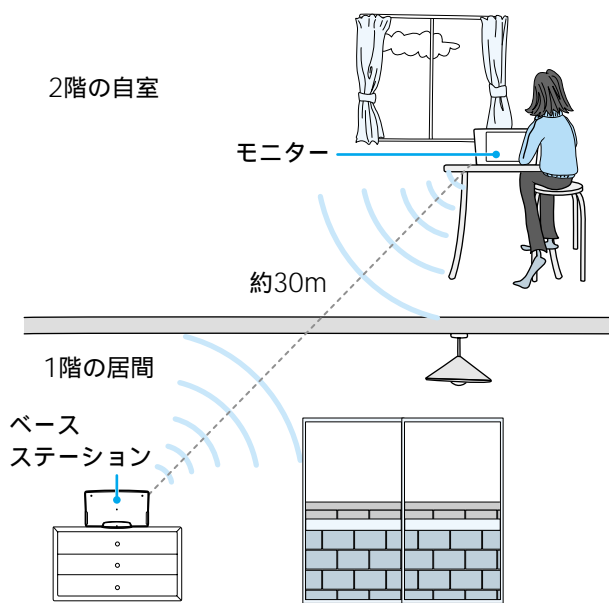
- **アンテナ分配器**（1）

- **テレホンコード**（1）

- **モジュラーテレホンコードカプラー**（1）
- **AVマウス**（1）

- **クリーニングクロス**（1）
- **取扱説明書**（1）
- **ご愛用者カード**（1）
- **エアボードネットニュース**（1）
- **アクセスポイント一覧**（1）
- **インターネットナンバー番号集**（1）
- **保証書**（1）
- **エアボードネット入会申込書**（1）
- **「ご使用上のご注意」シール**（1）
  シールはよく見える場所に貼ってください。



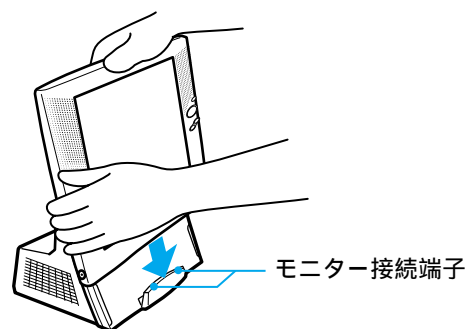
次のページにつづく

## ベースステーションと モニターの働き

本機はモニターとベースステーションで構成されています。
モニターとベースステーションは、ワイヤレス(無線)通信で互いに情報をやりとりしています。
そのため、家の中などベースステーションから約30m以内の通信範囲なら、モニターだけを持ち歩いて、手軽にエアボードを楽しめます。ただし、使用環境によって通信範囲内でも、「圏外」と画面上部に表示されて通信できなくなることがあります。

### モニターの取り外しかた

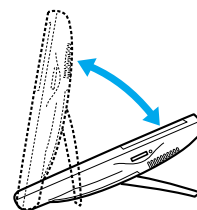
モニター裏面上部の手がけ部を持って、ベースステーションやクレードルから外します。

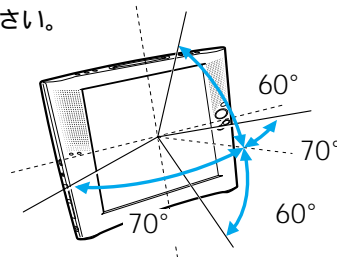
### モニターの置きかた

ベースステーションやクレードルのモニター接続端子部に、モニターを置きます。

### モニタースタンドの使いかた

下図のように、モニタースタンドの角度を自由に調節して使います。

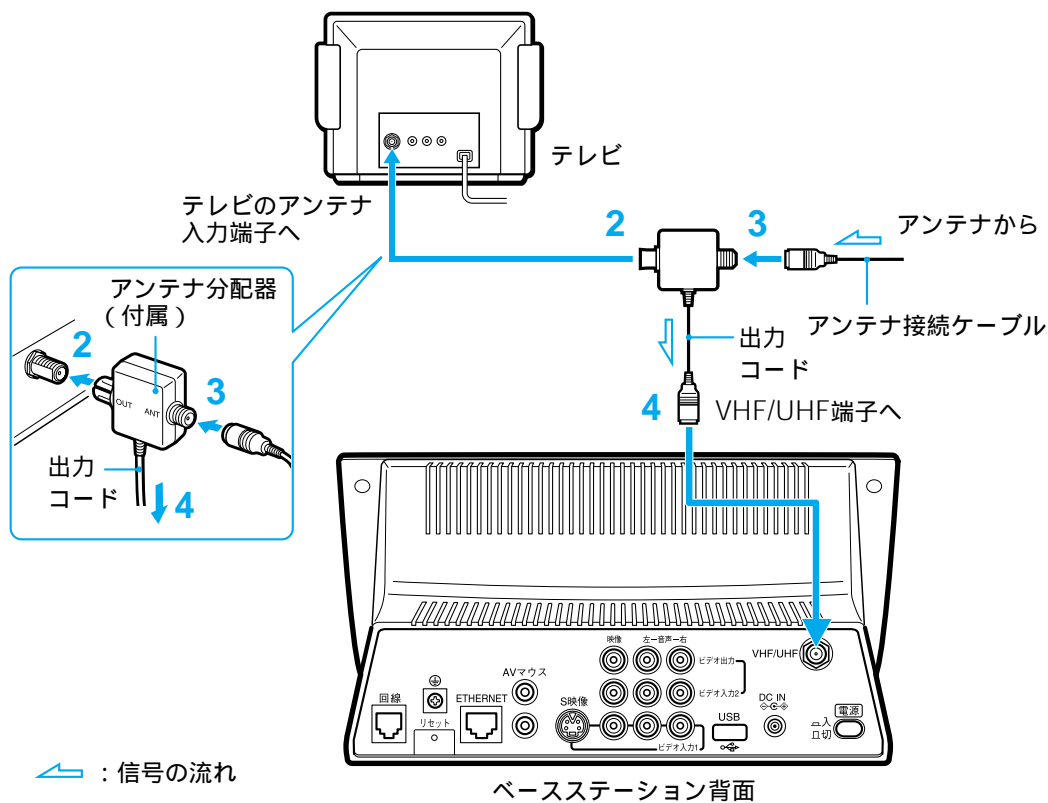
**ご注意**

モニタースタンドを引き出すとき、つめを引っかけないようにご注意ください。

### 適視角度について

モニターは真正面より左右70度以内、上下60度以内でご覧ください。

**ご注意**

**ワイヤレス通信に関するご注意**

- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
- ベースステーションは、できるだけ床から離れた、高く安定した場所に設置してください。
- 金属などの材料を使った家具や流し台、冷蔵庫、電子レンジなどがベースステーションとモニターの間にあると、通信距離が短くなることがあります。
- 鉄筋コンクリートの壁や床、床暖房の入った床などの間を通して通信するときは、電波が通りにくくなりますので、通信距離が短くなることがあります。

# 準備 2
# テレビアンテナをつなぐ


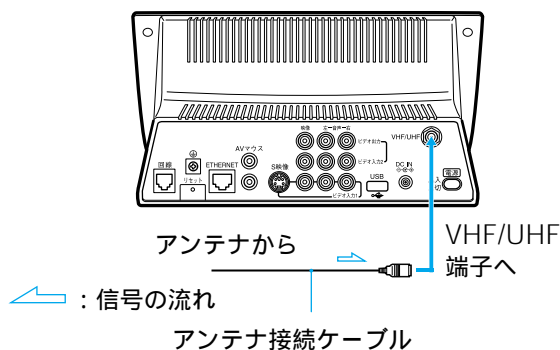

**1** テレビの電源を切り、テレビのアンテナ入力端子につないであるアンテナ接続ケーブルを取りはずす。

**2** 外したアンテナ接続ケーブルの代わりに、付属のアンテナ分配器のOUT側を取り付ける。

**3** アンテナ分配器のANT側に、手順1でテレビから取りはずしたアンテナ接続ケーブルを取り付ける。

**4** ベースステーションのVHF/UHF端子に、アンテナ分配器の出力コードを取り付ける。
出力コードが短いときは、テレビアンテナコネクター（EAC-40*（別売り））とアンテナ接続ケーブル（EAC-315*など（別売り））をお使いください。

### 本機のみ使用する場合は

アンテナ接続ケーブル（EAC-315*など（別売り））が必要です。

### ケーブルテレビをつなぐ場合は

ケーブルテレビの方式により、接続や準備の方法が異なります。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

本機でケーブルテレビをご覧になるときは、本機のビデオ入力端子にケーブルテレビのホームターミナルをつないでご覧ください。

**ご注意**

ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容が見られないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

＊2002年1月現在のアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

準備 3

# 電源を入れる

## 電源コードをつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードをつなぎます。

**1** ベースステーションの⏚（アース）端子と壁のアース端子をアース線（別売り）で接続する。
アース線は、落雷があったときに感電や機器の故障を防ぐためのものです。

**2** 付属の電源コードをコンセントへ接続する。

**ご注意**

- 付属のベースステーション用ACパワーアダプターAC-LF3をご使用ください。クレードル用ACパワーアダプターAC-LF1Bは使用できません。
- ACパワーアダプターのコードとアンテナ接続ケーブルを一緒に束ねないでください。電波の弱い地域では、テレビ画像にノイズが発生する場合があります。

## モニターにバッテリーを取り付ける

**ご注意**

必ず、付属または別売りのバッテリーBP-LF3をご使用ください。別売りのエアボード（IDT-LF1/LF1E）用リチャージャブルバッテリーパックBP-LF1、BP-LF2は使用できません。

**1 モニターを柔らかい布の上に、液晶画面を下にして置く。**

**2 モニタースタンドを図のところまで引き上げ（❶）、バッテリー収納部のふたを取り外す（❷）。**

**3 バッテリー収納部の左端に合わせながらバッテリーを入れ、右にずらす。**

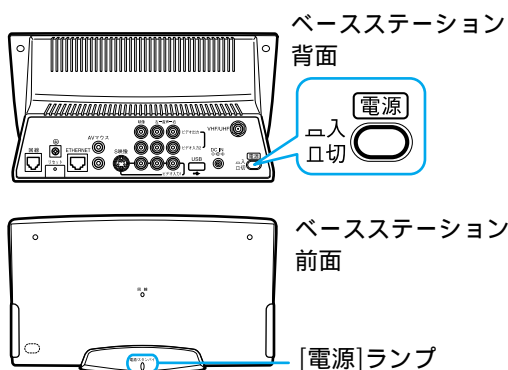
**ご注意**

バッテリーを取り付けるときは、必ずバッテリー収納部の左端に合わせてから右にずらしてください。無理に取り付けるとバッテリー収納部のツメが折れる場合があります。

### 4 バッテリー収納部のふたを戻す。

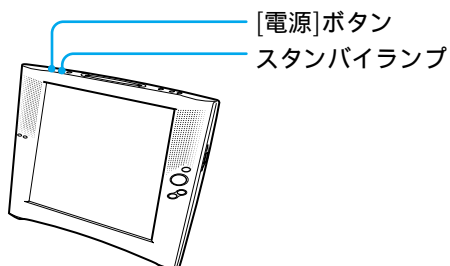
## 電源を入れる

### 1 ベースステーション背面にある［電源］ボタンを押して電源を入れる。

ベースステーション背面

ベースステーション前面

[電源]ランプ

ベースステーション前面の［電源］ランプが緑色に点灯します。

### 2 モニター上部にある［電源］ボタンを押して、電源を入れる。

[電源]ボタン
スタンバイランプ

モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。

**ご注意**

モニターの**[電源]**ボタンを押してもテレビの画像が映らなかったり、モニター画面の上部に**[圏外]**表示が出るときは、ベースステーションの電源が切れていないか確認してください。

## モニターのバッテリーを充電する

### 付属のクレードルを使ってバッテリーを充電するには

付属のクレードルを使用すれば、ベースステーションを使わずにバッテリーを充電できます。充電中も本機を使用できます。

### 1 クレードルにACパワーアダプターと電源コードをつなぐ。

クレードル用ACパワーアダプター
AC-LF1B（付属）

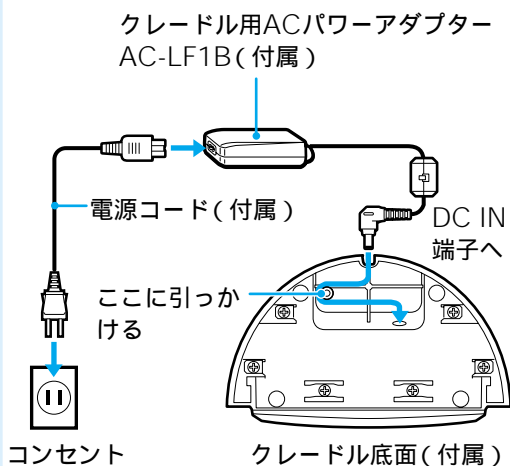
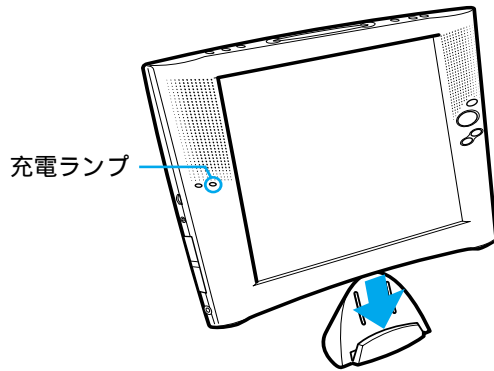
電源コード（付属）

DC IN
端子へ

ここに引っかける

コンセント

クレードル底面（付属）

次のページにつづく

## 2　モニターをクレードルに置く。

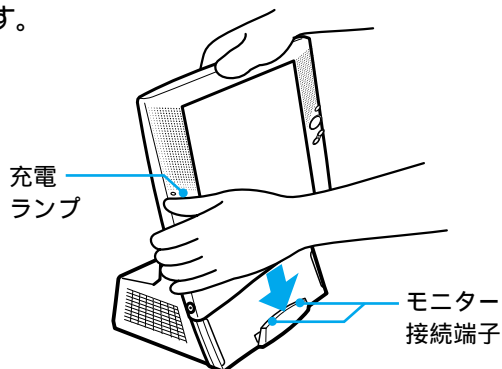
**ご注意**

モニターは、クレードルにしっかりはまるように置いてください。

モニターをクレードルに置くと、自動的にバッテリーが充電され、モニター左側にある充電ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色に点灯します。

| 充電状態 | 充電ランプの色 |
|---|---|
| 充電中 | 赤 |
| 充電完了 | 緑 |

## ベースステーションを使ってバッテリーを充電するには

モニターをベースステーションに設置します。

**ご注意**

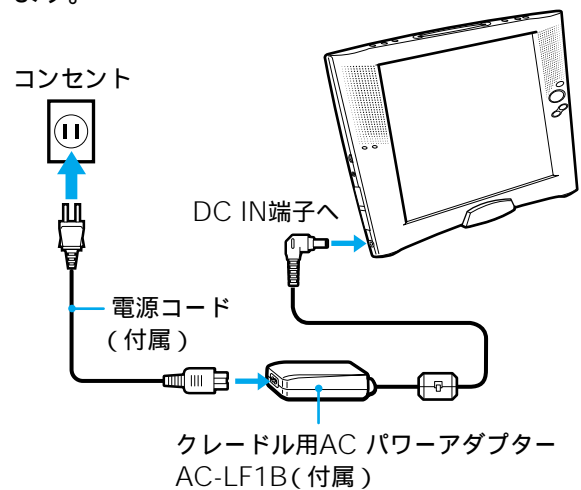
モニターは、ベースステーションにしっかりはまるように置いてください。

モニターをベースステーションに置き、モニターの電源を切ると、自動的にバッテリーが充電され、モニター左側にある充電ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色に点灯します。

**ご注意**

モニター使用中は、バッテリーの充電はできません。充電しながらモニターを使用したい場合は、クレードルをご使用ください。（左記）

## クレードル用ACパワーアダプターを使ってバッテリーを充電するには

付属のクレードル用AC パワーアダプターを直接モニターにつないでバッテリーを充電することもできます。充電中も本機を使用できます。

**ご注意**

別売りのエアボード（IDT-LF1/LF1E）のモニター用ACパワーアダプターAC-LF1Mはご使用になれません。

**ちょっと一言**

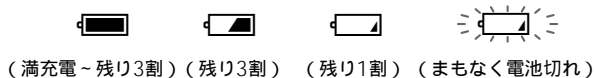
モニターをクレードルやベースステーションに置いて使う場合、バッテリーが取り付けられていなくても使えます。モニターを常にクレードルやベースステーションに置いて使うときは、バッテリーを取り外すことをおすすめします。この方法を使うとバッテリーが長持ちします。

## バッテリー充電時間一覧表

| 充電方法 | モニター電源入 | モニター電源切 |
|---|---|---|
| クレードルを使う | 約7時間 | 約4.5時間 |
| ベースステーションを使う | できません | 約4.5時間 |
| クレードル用ACアダプターを使う | 約7時間 | 約4.5時間 |

## バッテリー使用可能時間

付属のバッテリーは、満充電状態でバックライトの明るさが最小のときに約2時間、中のときに約1.5時間、最大のときに約1時間使用できます。
いずれの場合も、バッテリーが切れるおよそ1〜15分前に画面にお知らせが出ます。
また、画面上部にバッテリー残量が表示されます。

（満充電〜残り3割）（残り3割）（残り1割）（まもなく電池切れ）

### ご注意

- バッテリーを長時間使用しないときは、本機で使い切ってから、取り外して保存してください。また、1年に1回程度は満充電にして、本機で使い切ってから、再び涼しい場所で保存してください。
- 本機のバッテリーは消耗品です。バッテリーにはリチウムイオンバッテリーを採用しています。リチウムイオンバッテリーは通常のバッテリーと同様、充電と放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。バッテリーを使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です（充電放電300回程度が目安）。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーの特性によって、「（まもなく電池切れ）」のお知らせが出ずにバッテリーが切れて電源が切れることがあります。

# 準備 4 タッチペンの位置を調整する



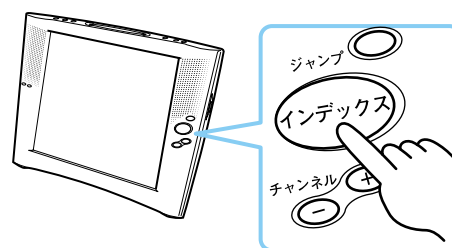
本機は、付属のタッチペンや指で画面に直接軽く触れて、簡単に操作できます。
そのため、タッチペンで選ぼうとしている画面上の位置と、タッチペンが実際に触れた画面の位置とが正しく一致する必要があります。そこで、タッチペンと画面の間で同一の位置を認識できるように調整します。

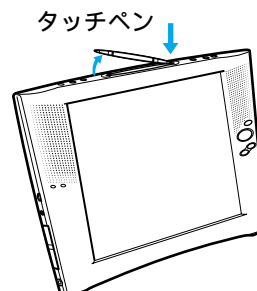
画面上のボタンを選ぶときは、付属のタッチペンや指で軽く触れてください。

他の筆記具や棒などで選んだりすると、画面が傷ついたり割れたりする原因になります。

### ご注意

タッチペン収納部には磁石が入っているため、磁気カードや金属などを近づけないでください。これらのものを近づけると磁気の影響を受けることがあります。

## 1 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。

「インデックス」画面が表示されます。

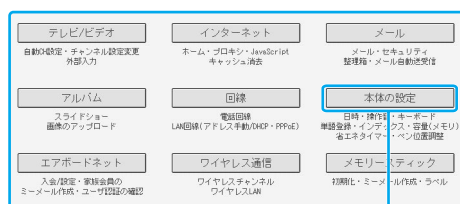
## 2 モニター上部からタッチペンを取り出す。

次のページにつづく

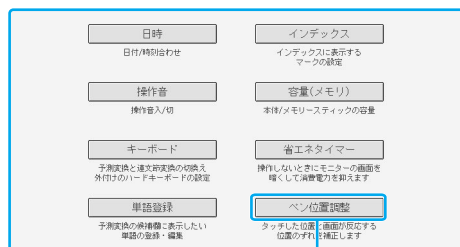
## 準備 4
## タッチペンの位置を調整する（つづき）

### 3 インデックス画面から 設定 を選ぶ。

タッチペンで画面上の 設定 に軽く触れます。

「設定 一覧」画面が表示されます。

### 4 本体の設定 を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

### 5 ペン位置調整 を選ぶ。

調整画面が表示されます。

### 6 画面上の＋マークの中央を、9個すべて選ぶ。

選ぶ順番は自由です。ただし、すべて選ばないと他の操作ができません。

画面上の＋をすべて選び終わると、「設定 本体の設定」画面に戻ります。

### 7 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

**ちょっと一言**

- 引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。
- 操作し終わったら、タッチペンは忘れずにモニター上部にしまってください。

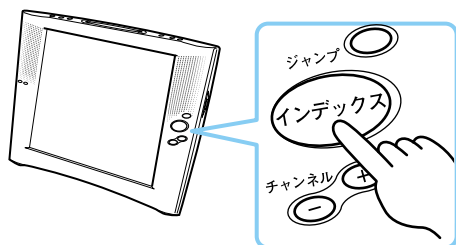
**本機の設定で使用する主なボタン**

本機に共通する主なボタンの機能です。

- OK：設定などを有効にします。
- やめる：操作を中止して、1つ前の画面に戻ります。
- 戻る：1つ前の画面に戻ります。
- 終了：設定を完了し、設定画面を表示する前の画面を表示します。
- 設定一覧：「設定 一覧」画面を表示します。

# 準備 5 テレビチャンネルを設定する

テレビのチャンネルは、お住まいの地域を選ぶだけで自動的に設定されます。また、必要に応じて手動で設定し直すこともできます（☞29〜35ページ）。まず、自動で設定してみましょう。

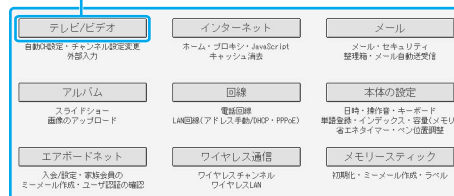
## 1 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。

「インデックス」画面が表示されます。

## 2 インデックス画面から  を選ぶ。

設定

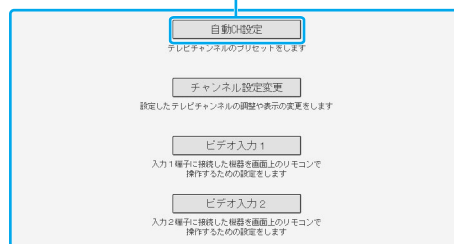
「設定　一覧」画面が表示されます。

## 3 テレビ/ビデオ を選ぶ。

テレビ/ビデオ

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

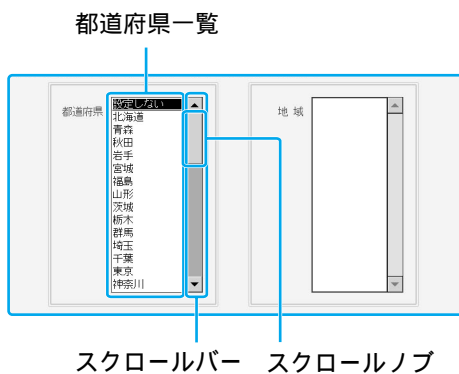
## 4 自動CH設定 を選ぶ。

自動CH設定

自動CH設定
テレビチャンネルのプリセットをします
チャンネル設定変更
設定したテレビチャンネルの調整や表示の変更をします
ビデオ入力1
入力1端子に接続した機器を画面上のリモコンで操作するための設定をします
ビデオ入力2
入力2端子に接続した機器を画面上のリモコンで操作するための設定をします

「設定 テレビ 自動CH設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

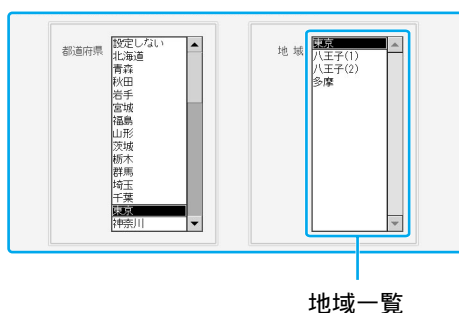
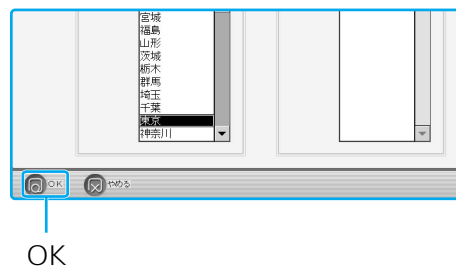
## 準備 5 テレビチャンネルを設定する（つづき）

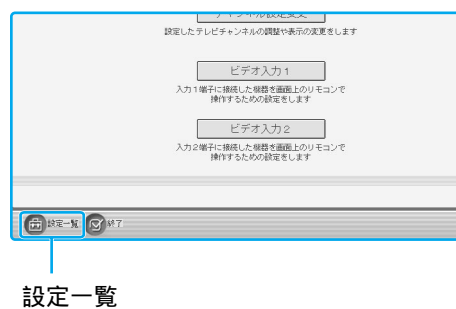
**5** **左側の都道府県一覧からお住まいの都道府県を選ぶ。**

一覧の右側のスクロールバーを上下にスクロールして選びます。スクロールのしかたには3通りあります。

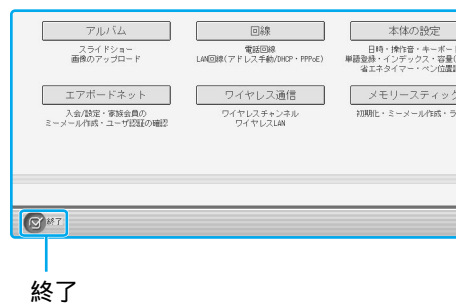
❶ 上下の▲ ▼を軽く押し続ける。

❷ スクロールバー内のスクロールノブを軽く押したまま上下に動かす。

❸ ▲または▼とスクロールノブの間のスペースを選ぶ。

**6** **右側の地域一覧からお住まいの場所に一番近い地域を選ぶ。**

**7** OK **を選ぶ。**

チャンネルが自動設定され「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

**8** 設定一覧 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面に戻ります。

**9** 終了 **を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

## 10 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。

インデックス画面に、自動設定されたテレビのチャンネルが表示されます。

### ちょっと一言

- テレビがきれいに映らない場合は、手順6で近くの別の地域を選び直してください。
- それでもテレビが映らない場合は、手動でテレビチャンネル設定を変更してください。（☞ 右欄）

### ご注意

ホームターミナルを使わずにケーブルテレビ（C13～C35）を設定する場合は、手動設定でチャンネルを追加してください。（☞31ページ）

## テレビチャンネルを手動で設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、チャンネルの表示を書き換えることができます。

### 1 「インデックス」画面を表示する。

### 2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

### 3 テレビ/ビデオ を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

### 4 チャンネル設定変更 を選ぶ。

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

### 5 変更したいテレビチャンネルのリスト部分を選ぶか、左の□（チェックボックス）を選んで✓（チェックマーク）をつけ、編集 を選ぶ。

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

次のページにつづく

## 準備 5
## テレビチャンネルを設定する（つづき）

## 6 「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更する。

［－］または［＋］を使って数字を変更します。

–/+

**ちょっと一言**

**「チャンネル表示」とは**

テレビの画面上部や「インデックス」画面に表示するテレビチャンネルの番号です。

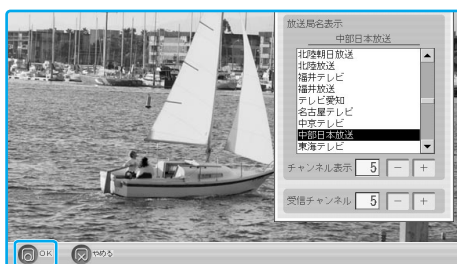
**「受信チャンネル」とは**

新聞のテレビ欄などに記載されているチャンネルです。

受信チャンネル

チャンネル表示

| 受信チャンネル | チャンネル表示 | 放送局名 |
|---|---|---|
| 1 | 1 | NHK総合 |
| 3 | 3 | NHK教育 |
| 4 | 4 | 日本テレビ |
| 6 | 6 | TBSテレビ |
| 8 | 8 | フジテレビ |
| 10 | 10 | テレビ朝日 |
| 12 | 12 | テレビ東京 |

## 7 ［OK］を選ぶ。

OK

チャンネル表示と受信チャンネルが変更された「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻ります。

**ちょっと一言**

テレビチャンネルの順番を入れ換えるときは、「テレビチャンネルの順番を入れ換える」の手順5と6（☞33、34ページ）を行います。

## 8 ［OK］を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

## 9 ［設定一覧］を選んで設定画面に戻る。

設定を終了する場合は、［終了］を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

## テレビチャンネルを追加する

テレビチャンネルの数は、16個まで追加できます。

**本機で受信可能なチャンネル**

VHF放送：1〜12チャンネル
UHF放送：13〜62チャンネル
ケーブルテレビ：C13〜C35チャンネル

### 1 「インデックス」画面を表示する。

### 2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

### 3 テレビ/ビデオ を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

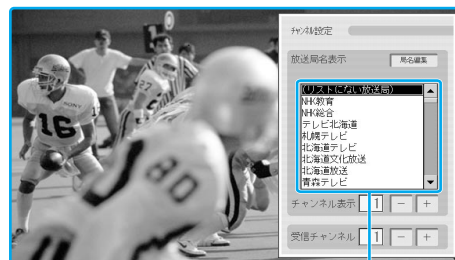
### 4 チャンネル設定変更 を選ぶ。

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

### 5 追加 を選ぶ。

追加

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

### 6 「放送局名表示」の中から追加したい放送局名を選ぶ。

放送局名表示

**ちょっと一言**

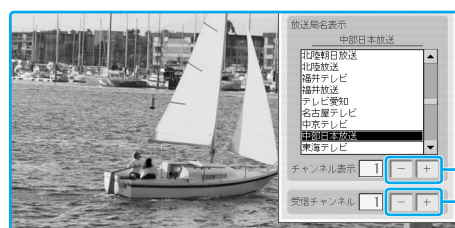
追加したい放送局名が「放送局名表示」の中にないときは「放送局名を編集する」（☞34ページ）を行います。

**ご注意**

放送局名を選ぶときに、正しい局名を選ばないと、エアボードネットのMY番組表やairboテレビで番組を選べません。

### 7 「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を選ぶ。

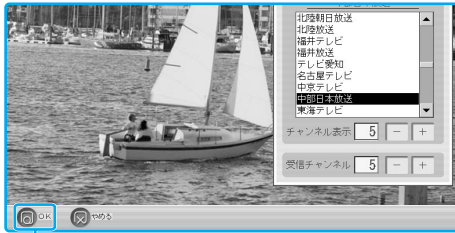
− または ＋ を使って数字を変更します。

−/＋

**ちょっと一言**

ケーブルテレビのときは、チャンネル番号の前に「C」の付いた番号を選びます。− を押し続けると「C」の付いた番号が早く表示できます。

次のページにつづく

**8** OK **を選ぶ。**

OK

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻り、新しく追加されたテレビチャンネルは一覧の一番下に表示されます。

**ちょっと一言**

テレビチャンネルの順番を入れ換えるときは、「テレビチャンネルの順番を入れ換える」の手順5と6（☞33、34ページ）を行います。

**9** OK **を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

**10** 設定一覧 **を選んで設定画面に戻る。**

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

## テレビチャンネルを消去する

設定したテレビチャンネルの中から、見ないテレビチャンネルを消去します。

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2** 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** テレビ/ビデオ **を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

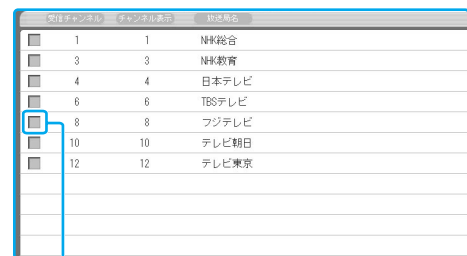
**4** チャンネル設定変更 **を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

**5 消去したいテレビチャンネルの □ に ✓ をつける。**

一度に複数のテレビチャンネルを選べます。

チェックボックス

**6** 消去 **を選ぶ。**

メッセージに従って[OK]を選ぶと消去されます。

**7** OK **を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

**8** 設定一覧 **を選んで設定一覧画面に戻る。**

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

## テレビチャンネルの順番を入れ換える

設定したテレビチャンネルを表示する順番を変更します。

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2** 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** テレビ/ビデオ **を選ぶ。**

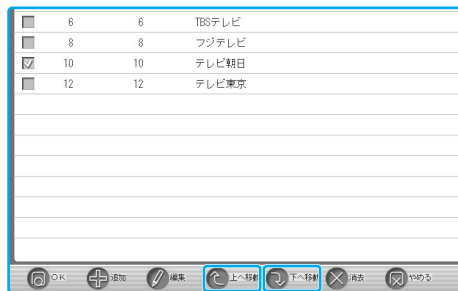
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

**4** チャンネル設定変更 **を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

**5 移動したいテレビチャンネルの□に✓をつける。**

テレビチャンネルの移動は1つずつできます。

次のページにつづく

**6** 上へ移動 または 下へ移動 を選ぶ。

**ご注意**

同時に2つ以上のチャンネルに✓をつけているときは、[上へ移動] または [下へ移動] を選べません。引き続き他のテレビチャンネルを移動する場合は、はじめに移動したチャンネルの✓を外してから、新たに移動させたいチャンネルに✓をつけてください。

**7** OK を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

**8** 設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻る。

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

## 放送局名を編集する

テレビチャンネルを追加するとき、「放送局名表示」の中に追加したい放送局名がないときは、好みの放送局名を入力して、「インデックス」画面に表示できます。

**ご注意**

局名を編集したテレビチャンネルは、エアボードネットのMY番組表やairboテレビで番組を選べません。

**1** 「インデックス」画面を表示する。

**2** 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** テレビ/ビデオ を選ぶ。

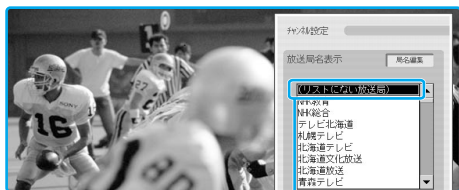
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

**4** チャンネル設定変更 を選ぶ。

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

**5** 追加 を選ぶ。

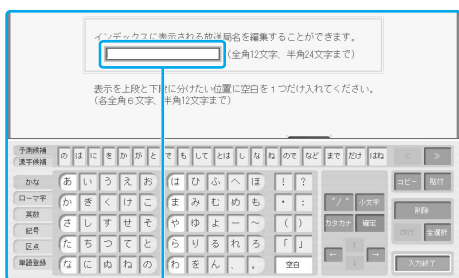
「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

**6** 「放送局名表示」の一番上にある [(リストにない放送局)] を選ぶ。

（リストにない放送局）

## 7 局名編集 を選ぶ。

局名編集

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

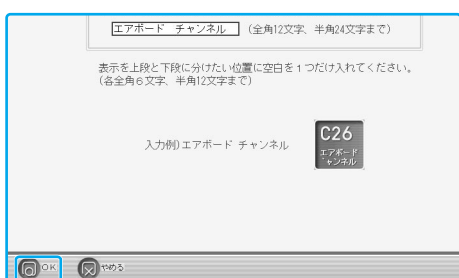
## 8 「インデックス」画面に表示したい放送局名を入力する。

ここに入力します。

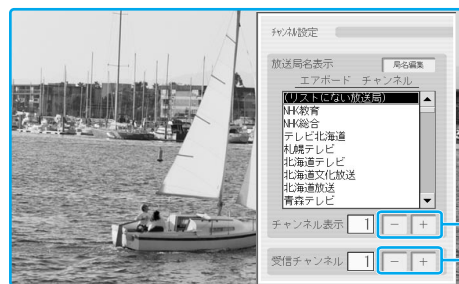
空欄を選ぶと、キーボードが表示されます。キーボードを使って放送局名を入力します。

**ちょっと一言**

「設定　本体の設定　キーボード」画面で **[連文節変換]**、**[画面内のキーボードを使用しない]** の □ に ✓ がついていると、キーボードは表示されません。
文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

## 9 OK を選ぶ。

OK

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻り、新しく入力した放送局名が **[局名編集]** の下に表示されます。

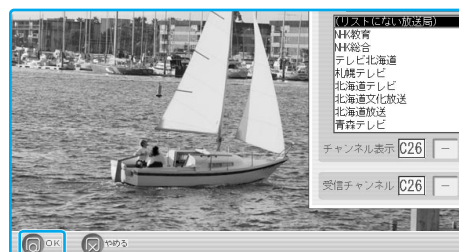
## 10 「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更する。

－ または ＋ を使って数字を変更します。

–/+

**ちょっと一言**

**「チャンネル表示」とは**
テレビの画面上部や「インデックス」画面に表示するテレビチャンネルの番号です。
**「受信チャンネル」とは**
新聞のテレビ欄などに記載されているチャンネルです。

## 11 OK を選ぶ。

OK

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻り、新しく追加されたテレビチャンネルは一覧の一番下に表示されます。

## 12 OK を選ぶ。

## 13 設定一覧 を選んで設定画面に戻る。

設定を終了する場合は、 終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

# 準備 6
# 時計を合わせる

時計の設定が違うと、インターネットのホームページが正しく表示されないため、必ず時計を合わせてください。

## 1 「インデックス」画面を表示する。

## 2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

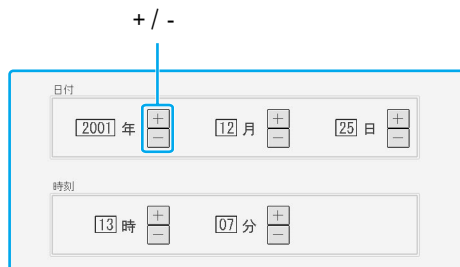
## 3 本体の設定 を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

## 4 日時 を選ぶ。

「設定 本体の設定 日時」画面が表示されます。

## 5 「日付」または「時刻」を設定する。

＋または－を使って設定します。

**ちょっと一言**

- ＋または－を押し続けると早く変わります。
- 年月日時分のどこから設定してもかまいません。

## 6 OK を選ぶ。

時計が動き始めます。時報と同時に【OK】を選ぶと正確になります。

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

設定を終了する場合は、終了を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

準備 7
# インターネット用の回線をつなぐ



インターネットやメールを利用するためには、本機をインターネット用回線につなぐ必要があります。本機は、ケーブルテレビインターネットやADSL回線、ISDN回線、 従来のアナログ電話回線などの方法を使ってインターネットに接続できます。それぞれの回線の特長は、次のとおりです。

## インターネット用回線の特長

### 高速通信、常時接続 — ブロードバンド

#### ケーブルテレビ（CATV）インターネット

ケーブルテレビで使用している同軸ケーブルを利用してインターネットに接続します。回線速度はケーブルテレビ会社により異なりますが、通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。
ケーブルテレビインターネットには、本機の他にケーブルモデムが必要です。通常ケーブルモデムは、インターネット接続契約を結んだ後、ケーブルテレビ会社から貸し出されます。

#### ADSL（エーディーエスエル）（非対称デジタル加入者伝送方式）

1本の電話回線を電話用とインターネット用に共用し、インターネットに接続します。通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。ADSLには、本機の他にADSLモデムとスプリッターが必要です。詳しくは、ご利用のADSL事業者にお問い合わせください。

### 非・常時接続

#### ISDN（アイエスディーエヌ）（総合サービスデジタルネットワーク）

デジタル電話回線(ISDN)を使ってインターネットに接続します。通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。本機をISDN回線の速度で利用するには、ISDN用のルーター（ダイヤルアップルーター）が必要です。

#### 従来のアナログ電話回線

従来のアナログ電話回線と本機に内蔵のモデムを使ってインターネットに接続します。付属のテレホンコードを使うだけで、他の機器は不要です。

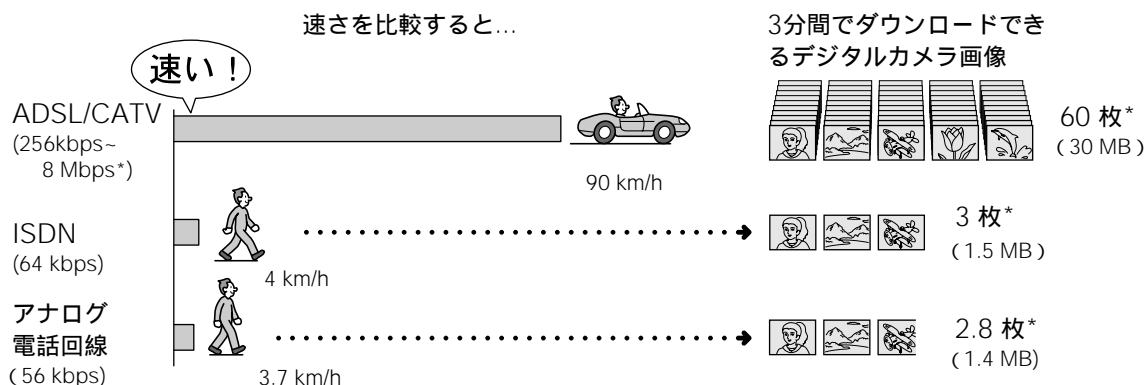
次のページにつづく

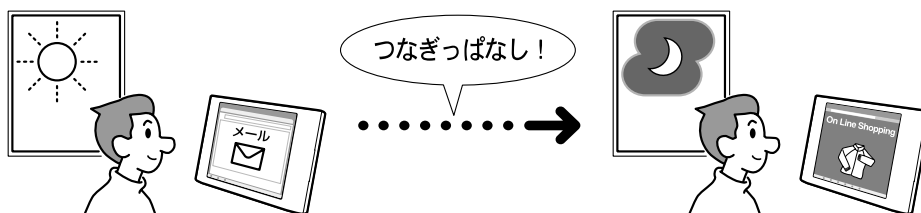
# 準備 7
# インターネット用の回線をつなぐ（つづき）

## ブロードバンドとは？

ケーブルテレビやADSLを使って情報を一度に大量（高速）にやり取りし、ホームページを短時間で表示できる高速のインターネット接続です。次のような特長があります。

### 高 速

ホームページが表示されるまでの時間が短く、快適にインターネットを楽しめます。
情報量の多い（ファイルサイズの大きい）画像なども、メールですばやく送受信できます。

### 常時接続

常にインターネットにつなぎっぱなしになるため、ISDNや従来のアナログ電話回線のようにインターネットに接続するたびに、回線をつないだり切ったりする必要がありません。プロバイダに接続するまでの待ち時間もなく、いつでもインターネットが楽しめます。

＊ イラスト中の数字は概算です。また、数値は技術的な理論値であり、回線やサーバーの状態、回線事業者によって異なります。詳しくは、回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

## インターネット用回線をつなぐのに必要な機器

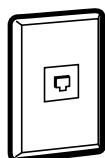
回線ごとに、以下の機器やケーブルが必要です。また、プロバイダとの契約が必要です。
まず、ご自分の接続方法に合わせて必要な機器を準備してください。準備ができたら、接続のページをご覧になって、接続してください。

| インターネット接続の種類（使用回線） | ①下記の機器と… | ②下記のケーブルを準備してください。 | ③接続のしかたは… |
|---|---|---|---|
| **アナログ電話回線（アナログ電話回線）** | モデム（本機に内蔵） | テレホンコード（付属） | ☞ 40ページ |
| ISDN（**ISDN回線**） | ターミナルアダプター | テレホンコード（付属） | ☞ 42ページ |
| | ISDN対応ルーター | イーサネットケーブル | ☞ 43ページ |
| **ケーブルテレビインターネット（ケーブルテレビ回線）** | ケーブルモデム | イーサネットケーブル | ☞ 44ページ |
| ADSL（**アナログ電話回線**） | ADSLモデム*とスプリッター | イーサネットケーブル | ☞ 44ページ |

＊ 本機は、USBで接続するターミナルアダプターやADSLモデムには対応していません。

## インターネット用回線の接続のしかた

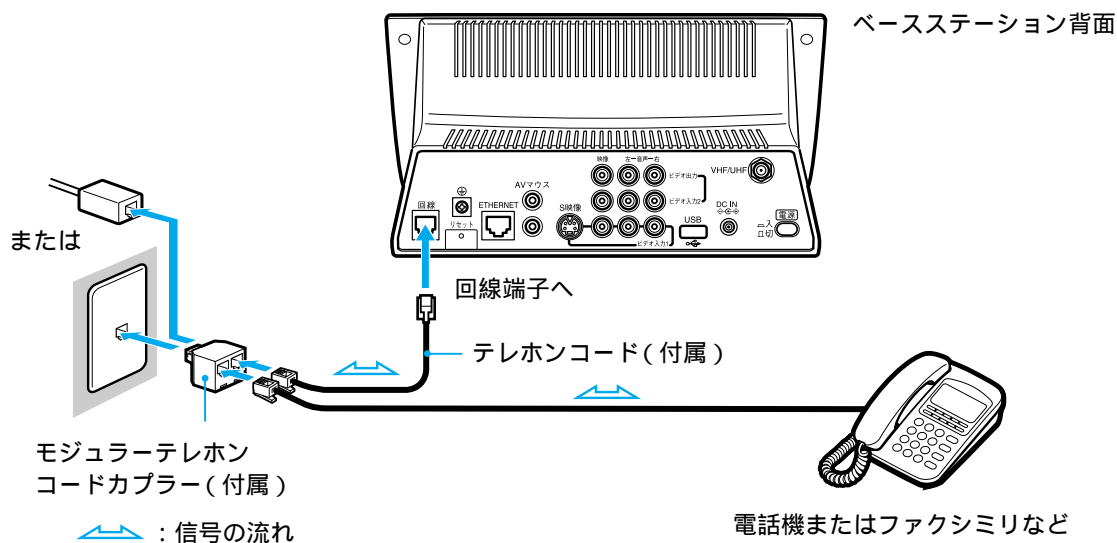
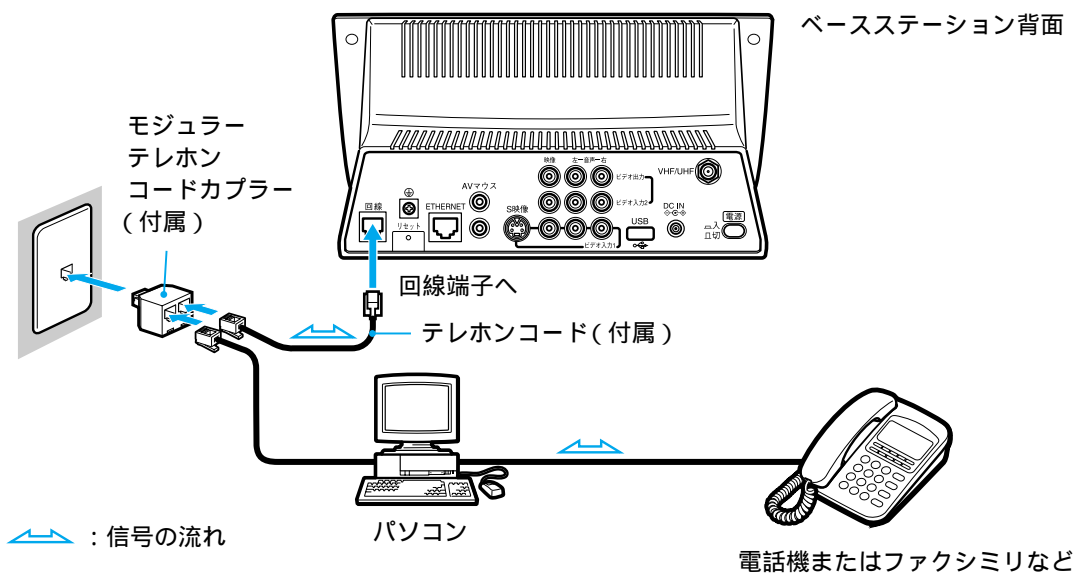
### アナログ電話回線（モデム）のとき

お住まいの電話回線の使用状況に合わせて、40ページ～41ページから選んでつないでください。**壁のコンセントがモジュラージャック式でないときは、「その他のとき」（☞41ページ）をご覧ください。**

モジュラージャック

**ご注意**

- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも、専門業者による工事が必要な場合があります。
- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話および、PHS、自動車電話
  - 船舶電話
- 本機は一般の電話回線使用のため、ビジネスホンなどでは使用できない場合があります。

次のページにつづく

## 準備 7
## インターネット用の回線をつなぐ（つづき）

### ご注意

- 同一回線で電話機やファクシミリを使って通話中のときは、本機でインターネットやメールはできません。
- 本機がインターネットやメールで電話回線を使用しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません（話し中になります）。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの自動転換機TL-P20 C*を使ってください。
- パソコンなどの高速通信をするときや、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの高速データ通信用自動転換器SMD-AP20*（2口用）やSMD-AP300*（3口用）を使ってください。

＊2002年1月現在のアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

### その他のとき

**壁の電話コンセントが3ピンプラグ式のとき**

3ピンプラグ式

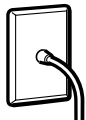
電話コンセントと付属のモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターやTL-30 C*をつないでください。

**壁の電話コンセントがローゼット式ジャックのとき**

ローゼット式

別売りのモジュラーアダプター（TL-36*など）を使ってつなぐことができます。この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番）に依頼してください。

**壁の電話コンセントが直付けタイプのとき**

直付けタイプ

「工事担任者」資格者（NTT116番）にモジュラージャックへの変換工事を依頼してください。

**壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐとき**

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23*を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP300*（3口用）を使ってください。

**壁埋め込みタイプのホームテレホン（電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター）のとき**

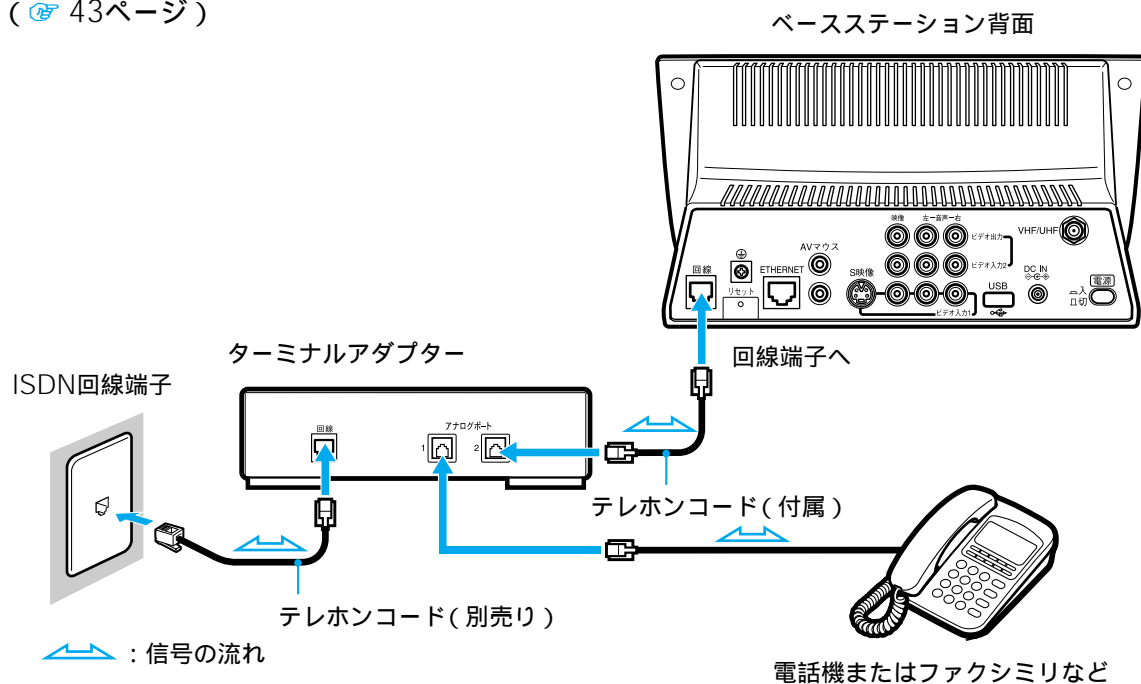
専門業者による工事が必要です。

＊ 2002年1月現在のアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

# 準備 7
# インターネット用の回線をつなぐ（つづき）

## ISDNのとき

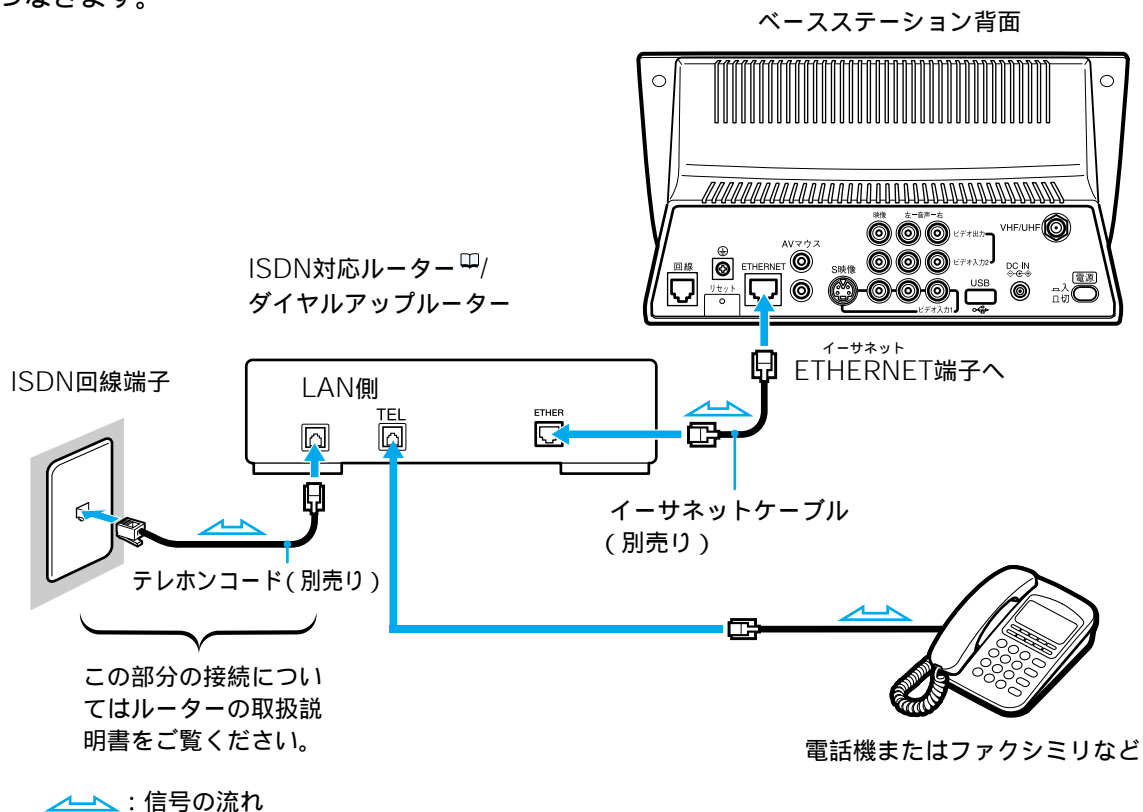
### ISDN回線を使ってアナログ接続するとき

お手持ちのターミナルアダプターのアナログポートに本機を直接つなぎます。
本機内蔵のモデムを使って通信を行うため、アナログ電話回線の通信速度になります。
ISDN回線本来のデジタル回線の通信速度で通信を行うには、ISDN対応ルーターが必要です。
（☞ 43ページ）

### ご注意

- ターミナルアダプターのアナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、本機が正しく働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線の種類を「トーン」に設定してください。（☞ 52ページ、「アナログ電話回線（モデム）を使って接続する」）

## ISDN回線を使ってデジタル接続するとき

本機とISDN対応ルーターまたはダイヤルアップルーターを、イーサネットケーブルを使ってつなぎます。

### ご注意

イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。接続形態により、使用するケーブルの種類が違いますのでご注意ください。詳しくは、ISDN対応ルーターの取扱説明書をご覧ください。

また、フレッツISDNをご利用の場合は、フレッツISDN対応のダイヤルアップルーターをご使用ください。

### ルーターとは

ルーターとは、ネットワークとネットワークを中継する装置です。

ルーターを使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。

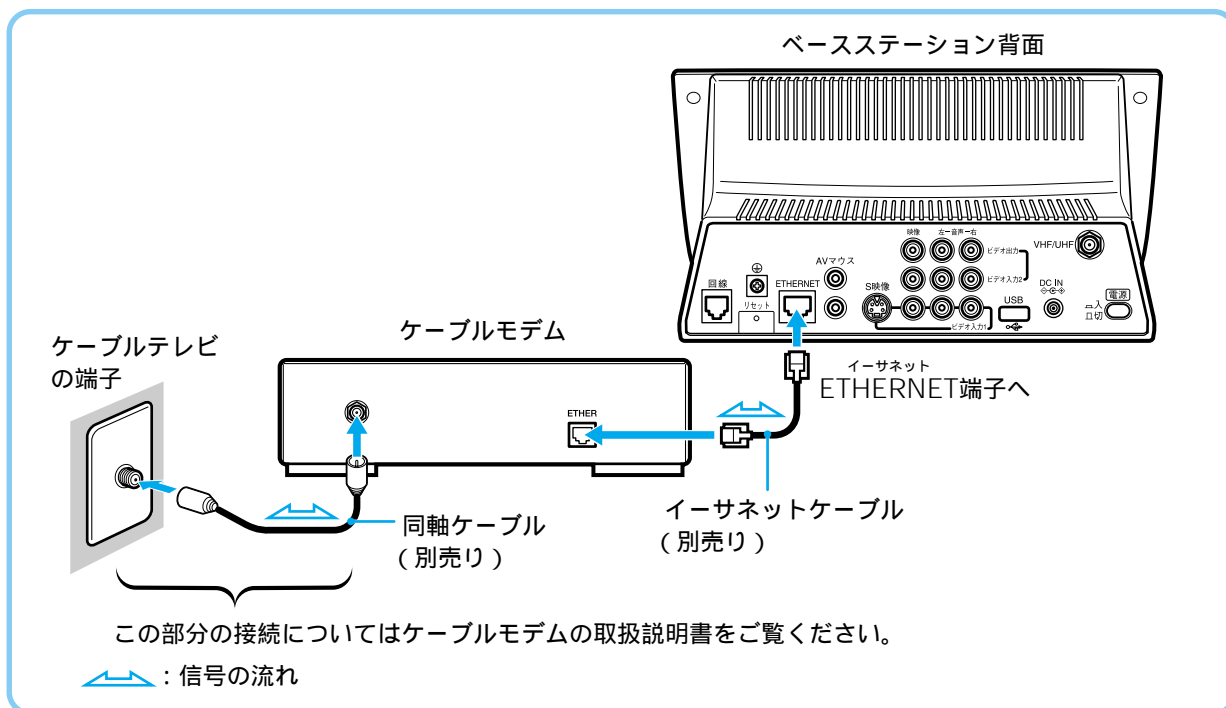
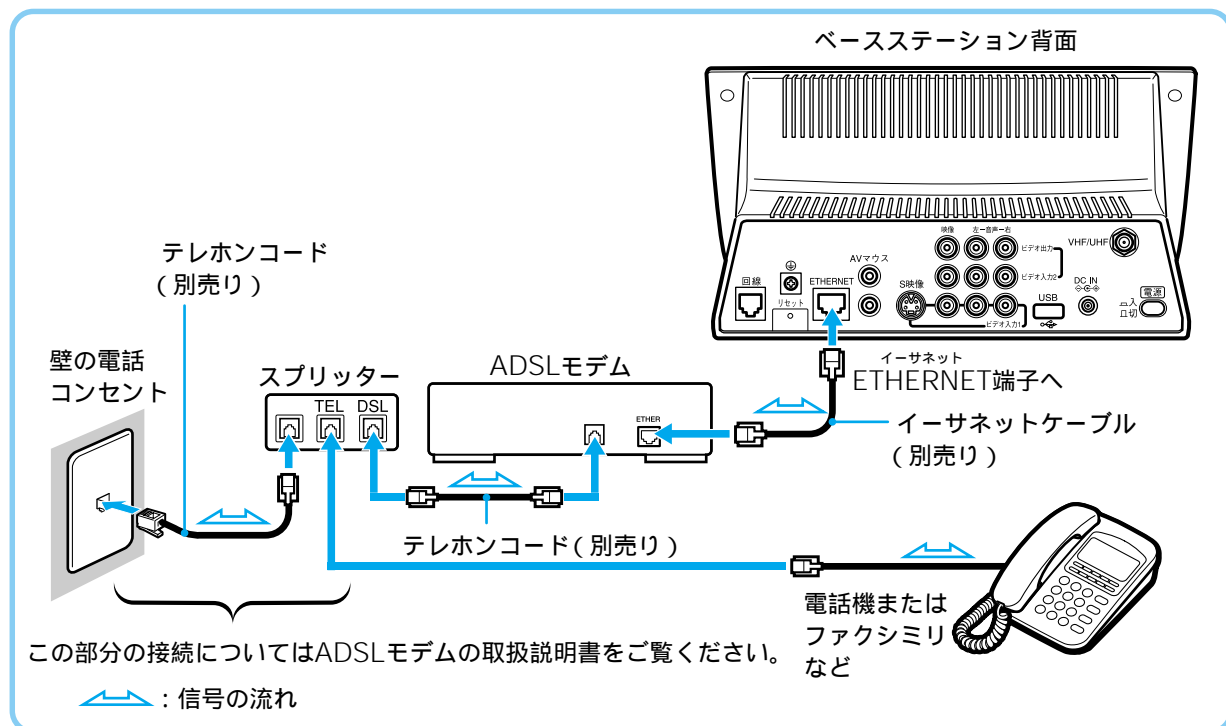
ルーターの設定については46ページをご覧ください。

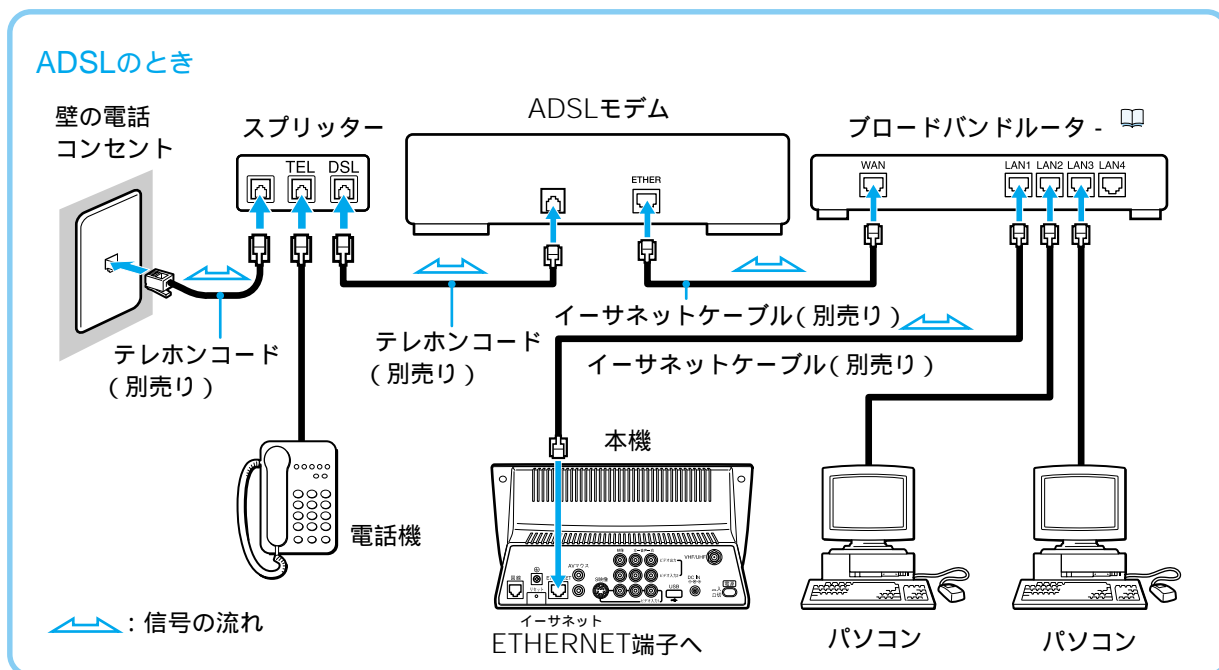
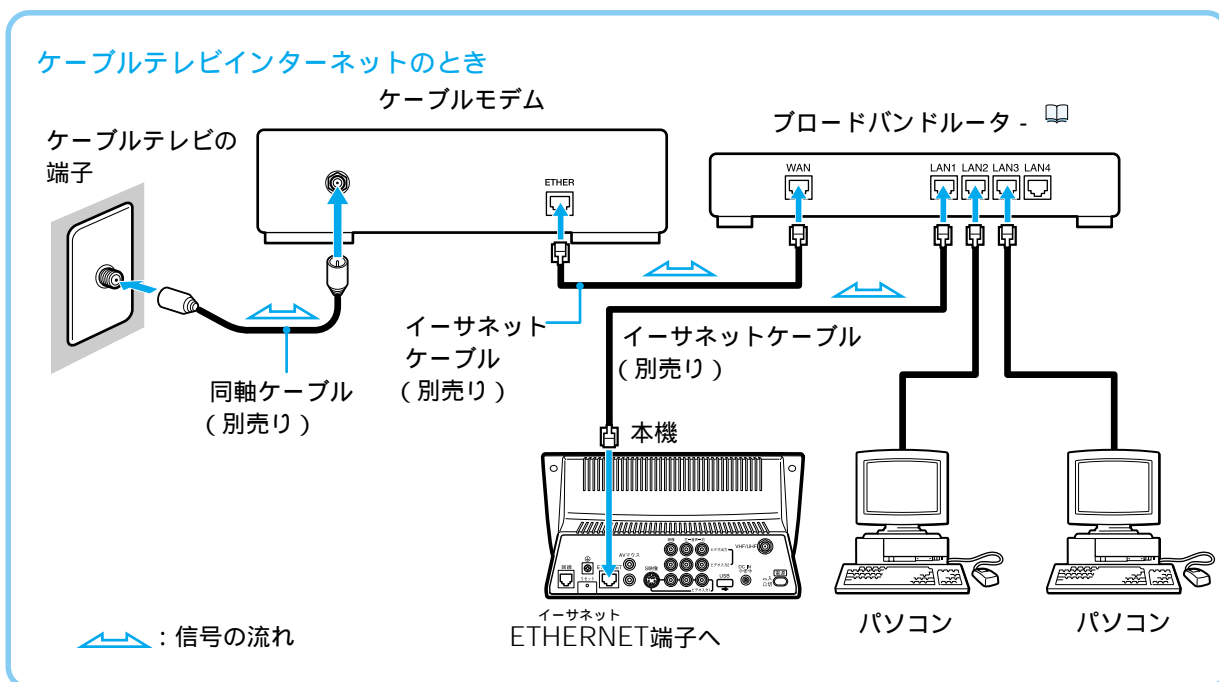
次のページにつづく

## 準備 7 インターネット用の回線をつなぐ（つづき）

### ケーブルテレビインターネットのとき

### ADSLのとき

**ご注意**

- イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。ケーブルモデムやADSLモデムの種類により、使用するケーブルの種類が違いますのでご注意ください。詳しくはケーブルモデムやADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。
- 接続についての詳細はケーブルモデムやADSLモデムの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ご利用のケーブルテレビ会社との契約によっては、ケーブルモデムにエアボードやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。
- ケーブルモデムやADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のケーブルテレビ会社、ADSL回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

## ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき

### ご注意

契約によっては、エアボードやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用のケーブルテレビ会社やADSL事業者、プロバイダへご確認ください。

### ブロードバンドルーターとは

ケーブルテレビ回線やADSL回線に対応したルーターです。このような機器を使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。

### ブロードバンドルーターやISDN対応ルーター本体の設定のしかた

- ブロードバンドルーターの説明書の中で「wwwブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーター）を使って設定画面を表示する」よう指示があった場合、本機ではインターネットチャンネルを使って表示させます。ルーターのIPアドレスを本機のインターネットチャンネルのアドレス欄に入力して設定画面を表示させてください。
- ブロードバンドルーターやISDN対応ルーターの設定について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

# 準備 8 インターネットにつなぐための準備をする

## インターネット接続ガイド

インターネットに接続するための設定は、お使いの回線により異なります。
まず、このガイドを使い、インターネットに接続するために必要な設定を確認してください。
ここでは、以下の4つのインターネット用回線を案内しています。

- **アナログ電話回線（モデム）のとき**（☞ 下記）
- **ケーブルテレビインターネットのとき**（☞ 48ページ）
- ADSL**のとき**（☞ 49ページ）
- ISDN**のとき**（☞ 50ページ）

**ちょっと一言**
上記以外の接続の方は、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

### アナログ電話回線（モデム）のとき

**「アナログ電話回線（モデム）のとき」(☞39ページ～41ページ）をご覧になり、本機と電話回線をつなぎ、電源を入れます。**

**エアボードネットに入会しますか？**

**入会する**

**「エアボードネットへの入会と設定をする」(☞ 65ページ）をご覧になり、入会手続きと設定を行ってください。**
**この場合、準備9～準備11(☞ 52ページ～64ページ）の設定は必要ありません。**

**入会しない（他のプロバイダを利用する）**

**プロバイダから指定されている「接続ID」や「パスワード」などの設定値を確認してください。**
「アナログ電話回線（モデム）を使って接続する」(☞ 52ページ）をご覧になり、本機を設定してください。

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

次のページにつづく

# 準備 8 インターネットにつなぐための準備をする（つづき）

## ケーブルテレビインターネットのとき

**「ケーブルテレビインターネットのとき」(☞ 44ページ）をご覧になり、本機とケーブルモデムをつなぎ、電源を入れます。**

**「LAN(ラン)回線（アドレス手動/DHCP(ディーエッチシーピー)）を使って接続する」（☞ 55ページ）をご覧になり、本機を設定します。**
**その際、手順6（☞ 56ページ）で「自動設定（DHCP)」にチェックし、[OK]を選びます。**

**「ホームページを見てみよう！」(☞ 98ページ)をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。**

**ホームページが正しく表示された場合**

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合**

**本機とケーブルモデムが正しく設置、接続されていますか？**
**ベースステーション、ケーブルモデムの電源は入っていますか？**

**はい**

**いいえ**（最初の手順へ戻る）

**ケーブルテレビインターネット事業者から指定されている「固有のIPアドレス」を確認してください。**
「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞ 55ページ）をご覧になり、もう一度、ネットワークの設定をします。その際、手順6（☞ 56ページ）で「自動設定（DHCP)」に**チェックをせずに**各項目を入力してください。

**再度、「ホームページを見てみよう！」（☞ 98ページ）をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。**

**ホームページが正しく表示された場合**

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**ホームページが正しく表示されなかった場合**

**ご利用のケーブルテレビインターネット事業者にお問い合わせください。**

### ご注意

次のような場合は、本機ではインターネットに接続できません。

- ケーブルテレビインターネット事業者がパソコン以外の機器を接続できないようにしている場合。
- 接続のための専用ソフトをインストールする必要がある場合。
- ケーブルテレビインターネット事業者が、本機で設定できない設定を指定している場合。本機で設定できる項目はIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS1、DNS2、ホスト名です。詳しくは、ケーブルテレビインターネット事業者にお問い合わせください。

## ADSLのとき

**お使いのADSL(エーディーエスエル)モデムに[Ether(イーサー)]や[LAN(ラン)]、[10BASE-T(テンベースティー)]と書かれたイーサネット端子はありますか？**
モデムの側面やモデムに付属されている取扱説明書などをご覧になってください。

**ない** →

**お手持ちのADSLモデムは使えません。**
イーサネット端子があるADSLモデムに変更してください。

**ある** →

**「ADSLのとき」(☞ 44ページ)をご覧になり、本機とADSLモデムをつなぎ、電源を入れます。**

**エアボードネットに入会しますか？**

**入会する** →

**「エアボードネットへの入会と設定をする」(☞ 65ページ)をご覧になり、電話回線を接続して(☞ 40ページ)から、入会手続きと設定を行ってください。この場合、準備9〜準備11(☞ 52ページ〜64ページ)の設定は必要ありません。**

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**入会しない（他のプロバイダを利用する）** →

**「LAN回線（アドレス手動/DHCP(ディーエッチシーピー)）を使って接続する」(☞55ページ)をご覧になり、本機を設定します。**
**その際、手順6（☞56ページ）で「自動設定(DHCP)」にチェックし、[OK]を選びます。**

**「ホームページを見てみよう！」(☞ 98ページ)をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。**

**ホームページが正しく表示された場合** →

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合** →

**本機とADSLモデムが正しく設置、接続されていますか？**
**ベースステーション、ADSLモデムの電源は入っていますか？**

**いいえ** →（「ADSLのとき」(☞ 44ページ)の手順に戻る）

**はい** →

**ADSL事業者から指定される「接続ID」やパスワードを確認してください。**
「LAN回線（PPPoE(ピーピーピーオーイー)）を使って接続する（☞ 57ページ）」をご覧になり、ネットワークの設定をしてください。

**再度、「ホームページを見てみよう！」（☞ 98ページ）をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。**

**ホームページが正しく表示された場合** →

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**ホームページが正しく表示されなかった場合** →

**ご利用のADSL事業者にお問い合わせください。**

### ご注意

- すべてのADSL事業者のPPPoE接続を保証するものではありません。
- 接続のための専用ソフトをインストールする必要がある場合、本機ではインターネットに接続できないことがあります。
詳しくは、ADSL事業者にお問い合わせください。

## ISDNのとき

**ISDN（アイエスディーエヌ）回線の接続に使っている機器は？**

お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

**ダイヤルアップルーター/ISDN対応ルーター**

**本機と接続できます。**

ただし、下記のご注意に該当するときは、本機でルーター本体の設定ができません。パソコンなどを使ってルーターの設定をしてください。詳しくは、ルーターの取扱説明書、またはルーターの製造元にお問い合わせください。

**ターミナルアダプター（TA）**

**ターミナルアダプターのアナログポートを使って本機と接続できます。**

この場合、アナログ電話回線の通信速度による通信になります。
接続方法については「ISDN回線を使ってアナログ接続するとき」（☞ 42ページ）をご覧ください。

**「ISDN回線を使ってデジタル接続するとき」（☞ 43ページ）をご覧になり、本機とルーターを接続し、電源を入れます。**
フレッツISDNをご利用の場合は、フレッツISDN対応のダイヤルアップルーターをご使用ください。

**「LAN（ラン）回線（アドレス手動/DHCP（ディーエッチシーピー））を使って接続する」（☞ 55ページ）をご覧になり、本機を設定します。**
**その際、手順6（☞ 56ページ）で「自動設定（DHCP）」にチェックし、[OK]を選びます。**

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**お使いのルーターの取扱説明書をご覧になり、本機のインターネットチャンネルでルーター本体の設定をしてください。（☞ 46ページ）**

### ご注意

次のような場合は、本機ではルーターの設定ができません。パソコンを使ってルーターの設定をしてください

- フロッピーディスクや、CD-ROMドライブなど本機にない装置を使って設定を行う場合。
- ソフトのインストールが必要な場合。
- ルーターの設定にシリアル端子や、USB端子が必要な場合。

## ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき

**「ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐとき」(☞45ページ)をご覧になり、本機やルーター、その他の機器をつなぎ、電源を入れます。**

**「LAN回線(アドレス手動/DHCP)を使って接続する」(☞55ページ)をご覧になり、本機を設定します。手順6(☞56ページ)で「自動設定(DHCP)」にチェックし、[OK]を選びます。**

**ルーターの設定をしてください。**
**その際、ルーターのDHCP機能を使うように設定してください。**

ルーターが下記のご注意に該当するときは、本機でルーターの設定ができません。パソコンを使って設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書、またはルーターの製造元にお問い合わせください。

**「ホームページを見てみよう!」(☞98ページ)をご覧になり、インターネットチャンネルに切り換えて[更新]を選びます。**

**ホームページが正しく表示された場合**

**インターネットに接続するための本機の回線の設定は終了です。**

**「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合**

**本機とルーターなどの機器が正しく設置、接続されていますか?ベースステーション、ルーターなどの機器の電源は入っていますか?**

**はい**

**正しく設定してもインターネットに接続できない場合は以下のことが考えられます。ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。**

・DHCPサーバーのエラー
・1契約1端末しかインターネット接続を認めていない(フレッツADSLなど)

**いいえ**

### ご注意

次のような場合は、本機ではルーターの設定ができません。パソコンを使ってルーターの設定をしてください

- フロッピーディスクやCD-ROMドライブなど、本機にない装置を使って設定を行う場合
- ソフトウェアのインストールが必要な場合
- ルーターの設定にシリアル端子やUSB端子が必要な場合

フレッツISDNをご使用の場合、ダイアルアップルーターはフレッツISDN対応のものをご使用ください。

準備 9

# 回線の設定をする

## アナログ電話回線（モデム）を使って接続する

付属のテレホンコードを使って、本機の回線端子からアナログ電話回線（モデム）を通じてインターネットに接続する場合の設定です。

### 1 テレホンケーブルがつながっていることと、ベースステーションの電源が入っていることを確認する。

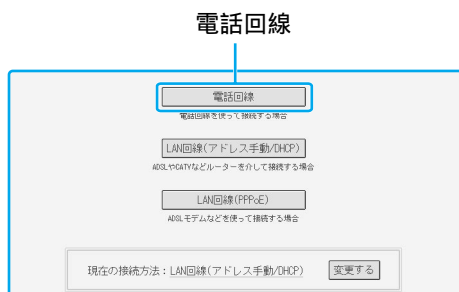
### 2 「インデックス」画面を表示する。

### 3 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

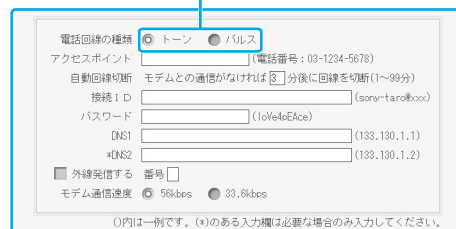
### 4 回線 を選ぶ。

「設定 回線」画面が表示されます。

### 5 電話回線 を選ぶ。

電話回線

「電話回線」画面が表示されます。

### 6 電話回線の種類を選ぶ。

「トーン」または「パルス」のどちらかを選びます。

**ちょっと一言**

**トーンとパルスについて**

電話回線にはトーン回線とパルス回線の2種類があります。電話機の数字ボタンを押したときに聞こえてくる音で区別します。

トーン：ピポパという音がします。

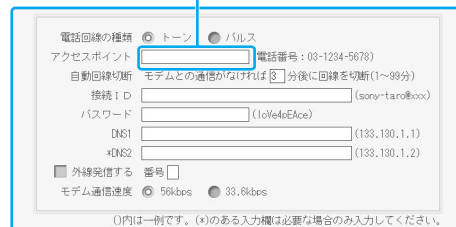
パルス：カチカチカチという音がします。

また、お使いの電話機やファクシミリなどの設定が「トーン」または「PB」になっていれば「トーン」、「20pps」や「10pps」になっているときは「パルス」です。

### 7 プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力する。

▶ プロバイダにかける電話番号の設定です。

「アクセスポイント」欄を選んで、キーボードで電話番号を入力します。

電話番号を入力します。

**ちょっと一言**

入力について詳しくは、「英数字を入力してみよう」（☞161ページ）をご覧ください。

**ご注意**

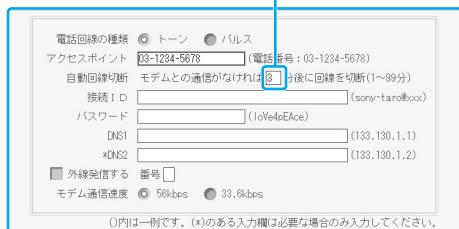
- ここにはご家庭の電話番号を入力しないでください。
- 本機は一般の電話回線用のため、ビジネスホンなどでは使用できない場合があります。
  家庭用の電話機が使える回線であるか確認してください。

## 8 自動的に電話回線を切断するまでの時間を入力する。

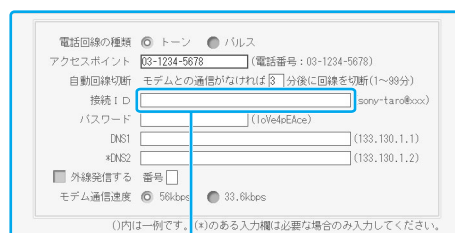
電話回線の切り忘れを防ぐため、インターネットに接続してからモデムとの通信がなくなったときに、自動的に回線を切るまでの時間を設定します。

お買い上げ時は3分に設定されています。

「モデムとの通信がなければ」の横の空欄を選んで、キーボードで入力します。1分〜99分まで設定できます。

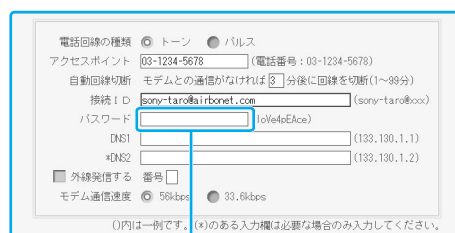
1〜99を入力します。

## 9 接続ID📖を入力する。

インターネットに接続するとき、利用者本人であることを確認するための設定です。

「接続ID」欄を選んで、キーボードで入力します。

接続IDを入力します。

## 10 インターネット接続用パスワード📖を入力する。

利用者本人であることを確認するためのパスワードです。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

パスワードを入力します。

お使いのプロバイダによっては、それぞれの用語は次のように呼ばれています。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

**📖「接続ID」の別の呼びかた**

「ユーザー名」
「ユーザーID」
「PPPログイン名」
「ネットワークID」
「接続ログイン名」
「アカウント名」
「ログオン名」

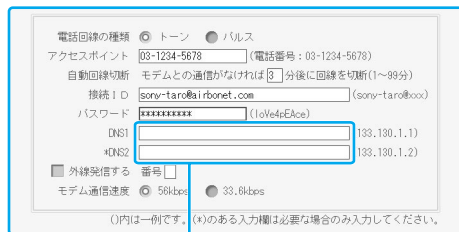
**📖「インターネット接続用パスワード」の別の呼びかた**

「PPPパスワード」
「ネットワークパスワード」
「接続パスワード」

次のページにつづく

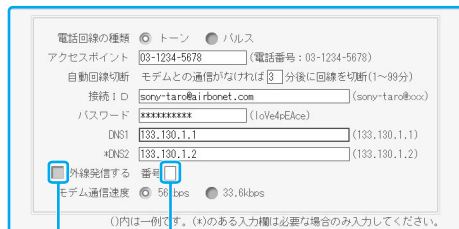
準備 9
# 回線の設定をする（つづき）

## 11 DNS1📖、DNS2📖を入力する。

「DNS1」「DNS2」欄を選んで、キーボードでプロバイダから指定された数字（0.0.0.0〜255.255.255.255）を入力します。

DNS1、DNS2を入力します。

## 12 外線発信の設定をする。

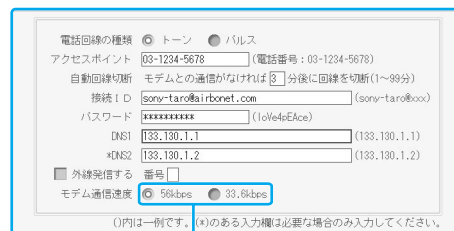
▶ 外線発信番号（0や9）が必要なときの設定です。

「外線発信」の□に✓をつけてから、「番号」欄を選んで、キーボードで入力します。

0〜9を入力します。

チェックマークをつけます。

## 13 モデムの通信速度を選ぶ。

▶ 本機に内蔵のモデムの通信速度を設定します。

通常は56kbpsを選びます。
通信が不安定なときは、33.6kbpsにします。

どちらかを選びます。

### ちょっと一言

接続した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞291ページ）に書き写しておきましょう。

## 14 OK を選ぶ。

OK

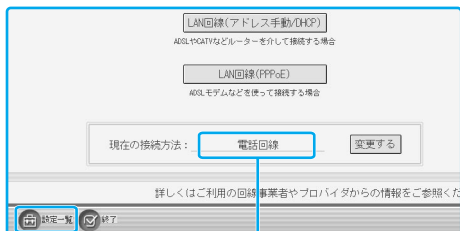
「設定 回線」画面に戻ります。
「現在の接続方法：電話回線」と表示されます。

### 📖「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた

お使いのプロバイダによっては次のように呼ばれています。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

DNS1：
「ネームサーバー」
「プライマリDNSサーバー」
「プライマリネームサーバー」
「ドメインネームサーバー」

DNS2：
「ネームサーバー」
「セカンダリDNSサーバー」
「セカンダリネームサーバー」
「ドメインネームサーバー」

## 15 設定一覧 を選んで、設定一覧画面に戻る。

設定一覧　　電話回線と表示される

設定を終了する場合は、を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

**ご注意**

「電話回線」を正しく設定しても、いったん「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面や「LAN回線（PPPoE）」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」（☞60ページ）に従って、「現在の接続方法」を「電話回線」に戻してください。

# LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する

ルーターを使用するときは、必ずこの設定が必要です。

## 1 イーサネットケーブルがつながっていることと、ベースステーションの電源が入っていること、ルーターの電源が入っていることを確認する。

## 2 「インデックス」画面を表示する。

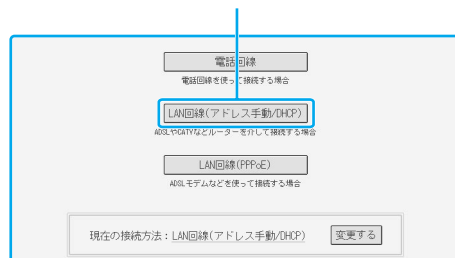
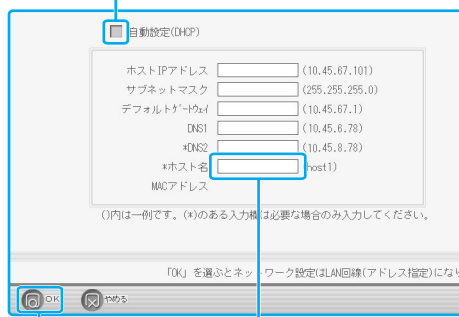
## 3 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

## 4 回線 を選ぶ。

「設定 回線」画面が表示されます。

## 5 LAN回線(アドレス手動/DHCP) を選ぶ。

LAN回線（アドレス手動/DHCP）

「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面が表示されます。

## 6 お使いのプロバイダがDHCPサーバーを使用する場合は、「自動設定（DHCP）」の□に✓をつけ、OK を選ぶ。

DHCPサーバーは必要な設定値を自動的に割り当てるための仕組みです。

**ご注意**

プロバイダからホスト名を指定されているときは、「自動設定（DHCP）」に✓をつける前に「ホスト名」欄に指定された名前を入力してください。

ここに✓をつけます。

OK　　ホスト名

**お使いのプロバイダがDHCPサーバーを使わない場合**

「自動設定（DHCP）」に✓をつけずに手順11に進んでください。

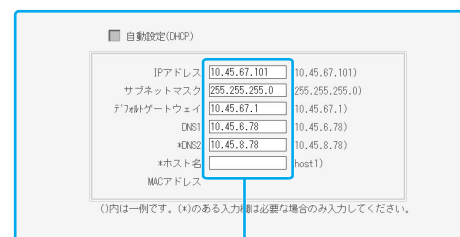
**自動設定（DHCP）を選んだときは**

このあと、インターネットに接続します。一度インターネットに接続することにより、DHCPサーバーから「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が自動的に割り当てられます。DHCPサーバーによっては「DNS」も自動的に割り当てられます。

## 7 モニター右側の[インデックス]ボタンを押す。

## 8 インターネットチャンネルを選ぶ。

## 9 「アドレスを入力してホームページを表示させよう」（☞98ページ）の手順1から8を見て、エアボードのホームページ「http://www.sony.co.jp/airboard」を表示させる。

**エアボードのホームページが表示された場合は**

回線の設定は終了です。

**「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というメッセージが表示された場合は**

お使いのプロバイダの資料をご覧になり、引き続き、次の手順を行ってください。

## 10 「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞55ページ）の手順1～5を行い「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面を表示する。

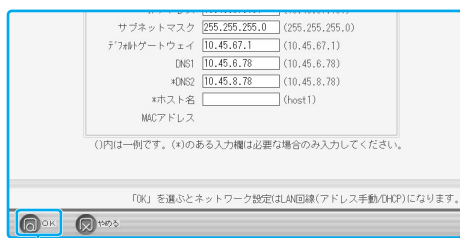
## 11 プロバイダの資料をご覧になり、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「DNS1」、「DNS2」、「ホスト名」を入力する。

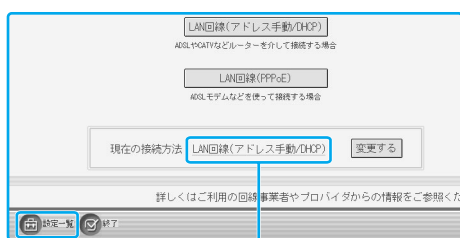
それぞれの項目を入力します。

**ちょっと一言**

接続した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞291ページ）に書き写しておきましょう。

## 12 OK を選ぶ。

OK

「設定 回線」画面に戻ります。
「現在の接続方法：LAN回線（アドレス手動/DHCP)」と表示されます。

## 13 設定一覧 を選んで、設定一覧画面に戻る。

設定一覧　LAN回線（アドレス手動/DHCP）と表示される

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

### ご注意

「LAN回線（アドレス手動/DHCP)」を正しく設定しても、いったん「電話回線」画面や「LAN回線（PPPoE)」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」(☞60ページ）に従って、「現在の接続方法」を「LAN回線（アドレス手動/DHCP)」に戻してください。

# LAN回線（PPPoE（ピーピーピーオーイー））を使って接続する

## 1 イーサネットケーブルがつながっていることと、ベースステーションの電源が入っていることを確認する。

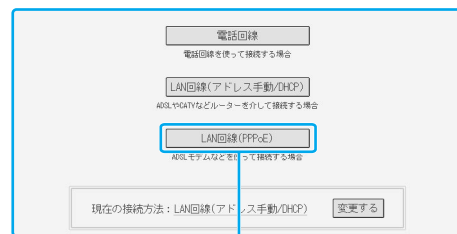
## 2 「インデックス」画面を表示する。

## 3 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

## 4 回線 を選ぶ。

「設定 回線」画面が表示されます。

## 5 LAN回線（PPPoE）を選ぶ。

LAN回線（PPPoE）

「LAN回線（PPPoE)」画面が表示されます。

次のページにつづく

## 準備 9
## 回線の設定をする（つづき）

### 6 プロバイダのサービス名を入力する。

▶ プロバイダを識別する名称です。

プロバイダによって必要な場合と不要な場合があります。プロバイダから入力の指示があるときのみ、「サービス名」欄を選んで、キーボードで入力します。

サービス名を入力します。

### 7 接続ID📖を入力する。

▶ インターネットに接続するとき利用者本人であることを確認するための設定です。

「接続ID」欄を選んで、キーボードで入力します。

接続IDを入力します。

### 8 インターネット接続用パスワード📖を入力する。

▶ 利用者本人であることを確認するための設定です。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

パスワードを入力します。

### 9 DNS1📖、DNS2📖を入力する。

「DNS1」、「DNS2」欄を選んで、キーボードでプロバイダから指定された数字（0.0.0.0～255.255.255.255）を入力します。

DNS1、DNS2を入力します。

お使いのプロバイダによっては、それぞれの用語は次のように呼ばれています。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

**📖「接続ID」の別の呼びかた**

「ユーザー名」
「ユーザーID」
「PPPログイン名」
「ネットワークID」
「接続ログイン名」
「アカウント名」
「ログオン名」

**📖「パスワード」の別の呼びかた**

「PPPパスワード」
「ネットワークパスワード」
「接続パスワード」

**📖「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた**

DNS1：
「ネームサーバー」
「プライマリDNSサーバー」
「プライマリネームサーバー」
「ドメインネームサーバー」

DNS2：
「ネームサーバー」
「セカンダリDNSサーバー」
「セカンダリネームサーバー」
「ドメインネームサーバー」

## 10 自動的にネットワークとの接続を切断するまでの時間を入力する。

インターネットに接続してから自動的にネットワークとの接続を切るまでの時間を設定します。

「自動回線切断」欄を選んで、キーボードで0分～99分を入力します。

自動的に切断しないときは0分に設定してください。

0～99を入力します。

### ちょっと一言

接続した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」(☞291ページ)に書き写しておきましょう。

## 11 OK を選ぶ。

OK

「設定 回線」画面に戻ります。
「現在の接続方法：LAN回線(PPPoE)」と表示されます。

## 12 設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻る。

設定一覧　LAN回線（PPPoE）と表示される

設定を終了する場合は、 終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

### ご注意

「LAN回線（PPPoE)」を正しく設定しても、いったん「電話回線」画面や「LAN回線（アドレス手動/DHCP)」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」（☞60ページ）に従って、「現在の接続方法」を「LAN回線（PPPoE)」に戻してください。

次のページにつづく

## 接続方法を変更する

本機に電話回線、LAN回線など複数の接続をしているとき、回線の設定内容を変更せずに、接続方法だけを切り換えられます。切り換えのたびに入力する必要はありません。

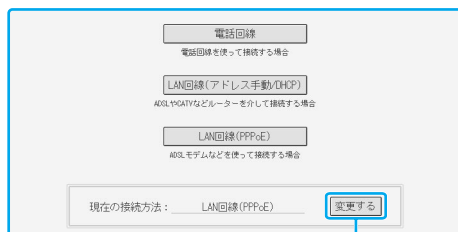
**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 設定 を選ぶ。**

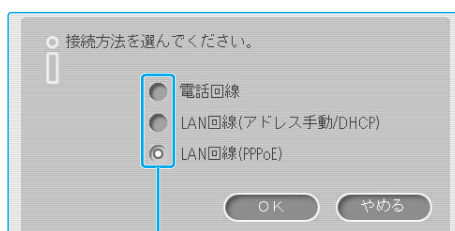
「設定 一覧」画面が表示されます。

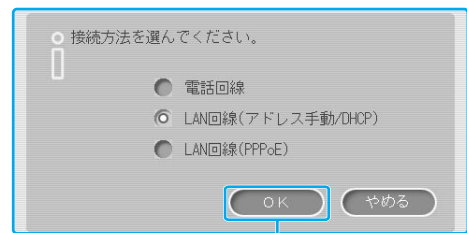
**3 回線 を選ぶ。**

「設定 回線」画面が表示されます。

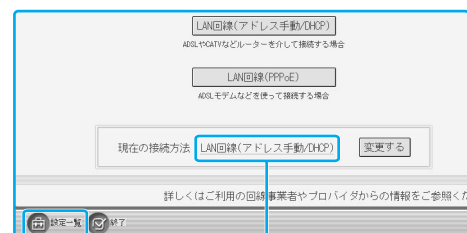
**4 変更する を選ぶ。**

ここを選びます。

変更内容を確認する画面が表示されます。

**5 接続方法を選ぶ。**

いずれかを選びます。

**6 OK を選ぶ。**

OK

「設定 回線」画面に戻ります。接続方法が切り換わり、「現在の接続方法」に変更した方法が表示されます。

**7 設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻る。**

設定一覧　　選択した接続方法が表示される

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

# 準備 10 インターネットを見るための設定をする

## 1 「インデックス」画面を表示する。

## 2 設定 を選ぶ。

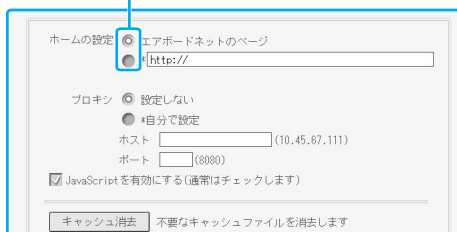
「設定 一覧」画面が表示されます。

## 3 インターネット を選ぶ。

「設定 インターネット」画面が表示されます。

## 4 ホームを設定する。

インターネットにつないだとき、始めに表示されるホームページを設定します。

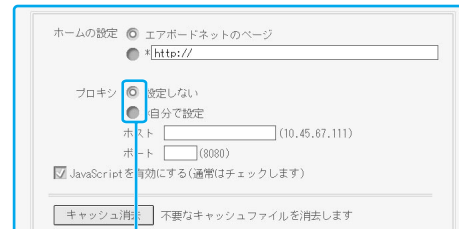
どちらかを選びます。

「エアボードネット」以外のホームページを設定する場合は、「エアボードネットのページ」の下の欄を選んで、キーボードでホームページのアドレス（URL）を入力します。

## 5 プロキシの設定を選ぶ。

プロキシサーバーを使用するかどうかの設定です。

「設定しない」を選ぶと、プロシキサーバーを経由せず、直接インターネットに接続します。
「自分で設定」を選ぶと、プロキシサーバーを経由してインターネットに接続します。

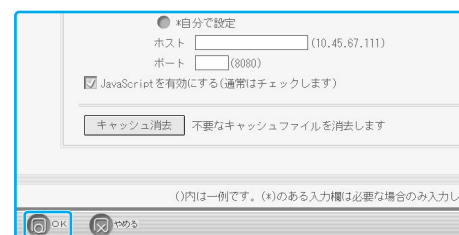
### ちょっと一言

お使いのプロバイダによって入力の要、不要が異なります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

どちらかを選びます。

「自分で設定」を選んだ場合は、キーボードを使って「ホスト」と「ポート」を入力します。

### ちょっと一言

- JavaScriptを使ったホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときは、「JavaScriptを有効にする」のチェックをはずしてください。
- 接続した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞291ページ）に書き写しておきましょう。

## 6 OK を選ぶ。

OK

「設定 一覧」画面が表示されます。

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

# 準備 11 メールを送受信するための設定をする

メールを送信するには、お使いのプロバイダの設定を本機に登録する必要があります。ご利用のプロバイダからの資料に従って設定してください。

## 1 「インデックス」画面を表示する。

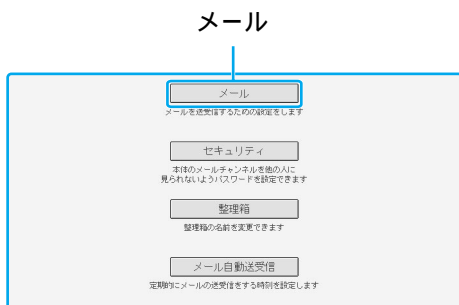
## 2 「設定一覧」画面から 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

## 3 メール を選ぶ。

「設定 メール」画面が表示されます。

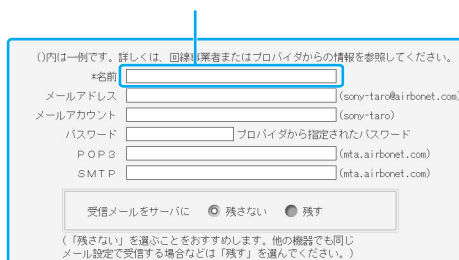
## 4 メール を選ぶ。

メール

「設定 メール」画面が表示されます。

## 5 名前を入力する。

ご自分が送るメールの差出人の欄にこの名前が表示されます。

「名前」欄を選んで、キーボードで入力します。

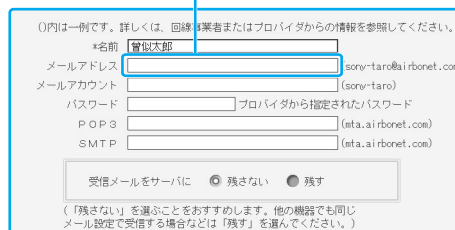
名前を入力します。

**ちょっと一言**

通常はご自分の名前を入力します。

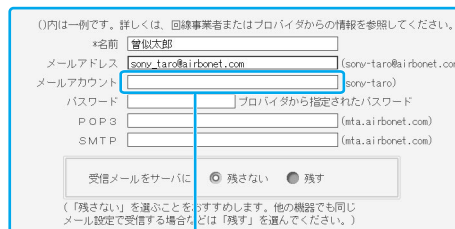
## 6 メールアドレスを入力する。

受取人がメールを開いたときにメールの差出人のアドレスとして表示されます。

「メールアドレス」欄を選んで、キーボードで入力します。

メールアドレスを入力します。

## 7 メールアカウントを入力する。

メールの送信者が利用者本人であることを確認するための設定です。

「メールアカウント」欄を選んで、キーボードで入力します。

メールアカウントを入力します。

**「メールアカウント」の別の呼びかた**

お使いのプロバイダによっては、それぞれの用語は次のように呼ばれています。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「ユーザー名」
「POPアカウント」
「メールサーバーログイン名」
「メールログイン名」
「POPサーバーアカウント」
「POPサーバーログイン名」

## 8 メール用パスワード📖を入力する。

メールの送受信者が利用者本人であることを確認するためのパスワードです。

プロバイダから指定されたパスワードを入力します。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

パスワードを入力します。

## 9 POP3（ポップ）サーバー📖を入力する。

メール受信用のサーバーを指定します。

「POP3」欄を選んで、キーボードで入力します。

サーバー名を入力します。

## 10 SMTP（エスエムティーピー）サーバー📖を入力する。

メール送信用のサーバーを指定します。

「SMTP」欄を選んで、キーボードで入力します。

サーバー名を入力します。

## 11 受信メールをサーバーに残すか、残さないかを選ぶ。

通常は「残さない」を選びます。
同じメールを他の機器（パソコンなど）でも受信したい場合は「残す」を選びます。
お買い上げ時には「残さない」に設定されています。

どちらかを選びます。

### ちょっと一言

接続した内容は、「インターネットとメールの設定メモ」（☞291ページ）に書き写しておきましょう。

お使いのプロバイダによっては、それぞれの用語は次のように呼ばれています。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

📖 **「メール用パスワード」の別の呼びかた**
「メールパスワード」
「メールサーバーパスワード」

📖 **「POP3サーバー」の別の呼びかた**
「POPサーバー」
「メール受信サーバー」

📖 **「SMTPサーバー」の別の呼びかた**
「メール送信サーバー」

次のページにつづく

## 準備 11
## メールを送受信するための設定をする（つづき）

### 12 OK を選ぶ。

OK

「設定 メール」画面が表示されます。

### 13 終了 または 設定一覧 を選ぶ。

- 終了 を選ぶと、「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。
- 設定一覧 を選ぶと、その他本機をお使いの際の詳細設定を行うことができます。

# エアボードネットへの入会と設定をする



## エアボードネットへの入会／簡単設定

**どちらの入会手続きを利用しますか？**

### 「かんたん自動設定」

**→ 申込書にて入会申し込みをする**
**（☞ 66ページ）**

**画面の入力をできるだけ少なくすませたい方におすすめです。**

**画面での入力項目は、同梱の申込書に記載した「ご本人様確認ワード」とお名前だけです。**

① 申込書に必要事項を記入のうえ、エアボードネット入会申込書係までご郵送ください。

② 申込書到着後、約2、3日で登録が完了します。登録完了後にエアボードネット会員証を発送させていただきます。

③ お手元にエアボードネット会員証が届いた後、「設定一覧」画面の[**エアボードネット**]を選んでから、[**入会/設定**]を選んでください。（☞66ページ）

**ご注意**

登録完了のお知らせ到着前に[**入会/設定**]を選んでしまった場合は、[**やめる**]を選んで中断してください。登録完了のお知らせ到着後に、再度「設定一覧」画面の[**エアボードネット**]を選んでから、[**入会/設定**]を選んでください。（☞66ページ）

### 「スピード設定」

**→ オンラインサインアップにて入会手続きをする**
**（☞ 70ページ）**

**すぐにインターネットとメールを使いたい方におすすめです。**

お名前やご住所、お支払いにご利用になるクレジットカード、希望するメールアドレスなどを入力するだけで、その場で入会手続きおよび自動設定ができます。

**ご注意**

フレッツADSLコースをお申し込みの場合は「スピード設定」では申し込めません。「かんたん自動設定」でお申し込みください。

**ちょっと一言**

エアボードネットには、インターネット接続サービスのほかに、すでに他のプロバイダに加入している方のためにエアボードのコンテンツのみを使用できる「コンテンツサービス」もあります。
インデックス画面の［コンテンツサービス］を選ぶと入会できます。
（入会の設定はインターネットに接続して行います。）

## 「かんたん自動設定」でエアボードネットの設定をする

入会申込書にて申し込みをしている場合、エアボードネットに接続してインターネットやメールをするための設定をします。
エアボードネットから送られてきた会員証をお手元にご用意ください。
**エアボードネットへの接続は、電話回線を使って行います。フレッツADSLコースを申し込まれるかたも、この設定をするときはスプリッターのTELにつながれているテレホンコードをベースステーションの回線へ接続し直してください（**☞40、44 ページ**）。**
また、エアボードネットの設定をする前に、電話回線の種類（トーンまたはパルス）を設定してください（☞52ページの手順6）。

**ご注意**
**エアボードネットの設定をするために電話回線が接続されると、電話会社への通話料金がかかります。**

### 1 「インデックス」画面を表示する。

### 2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

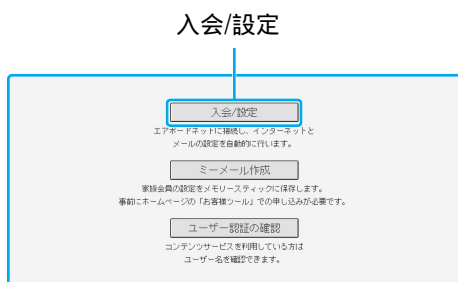
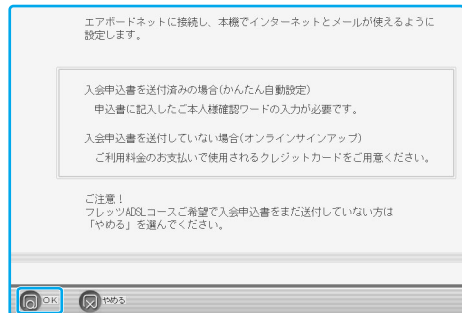
### 3 エアボードネット を選ぶ。

「設定 エアボードネット」画面が表示されます。

### 4 入会/設定 を選ぶ。

入会/設定

### 5 OK を選ぶ。

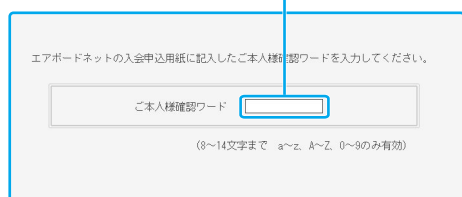
OK

エアボードネットに接続し、メッセージが表示されます。
一度電話回線が切断された後、「ご本人様確認ワードの入力」画面が表示されます。

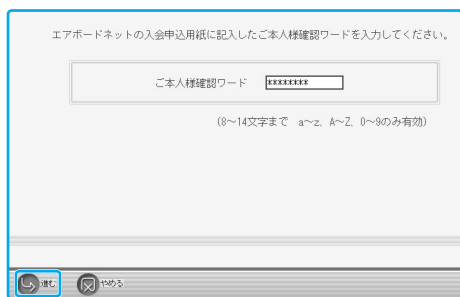
**ご注意**
会員証到着前に手順5を行うと、設定方法の選択画面が表示されます。**[入会申込書を利用]**を選んで［OK］を選ぶと、エアボードネットの設定が中断されます。会員証到着後に再度、「設定 一覧」画面の **[エアボードネット]** を選び、**[入会/設定]** を選んで設定してください。

### 6 入会申込書に記入したご本人様確認ワードを入力する。

入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

**ちょっと一言**
入力について詳しくは、「英数字を入力してみよう」（☞161ページ）をご覧ください。

ここに入力します。

**ご注意**
この間、電話会社への通話料金はかかりません。

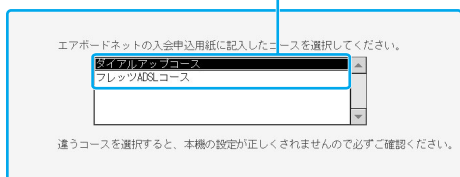
## 7 進む を選ぶ。

進む

「コース選択」画面が表示されます。

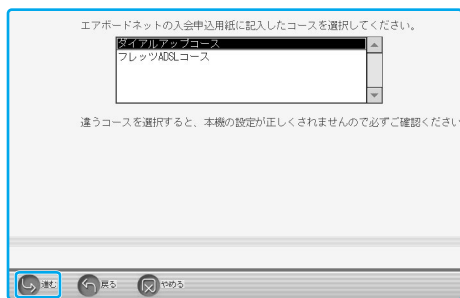
## 8 入会したいコースを選択する。

### ご注意

**必ず、エアボードネットの入会申込書に記入したコースを選択してください。**

どちらかを選びます。

## 9  を選ぶ。

### ご注意

**ご本人様確認ワードを照合するために電話回線が接続されると、電話会社への通話料金がかかります。**

進む

ご本人様確認ワードを照合するために再度エアボードネットに接続し、メッセージが表示されます。

### ご注意

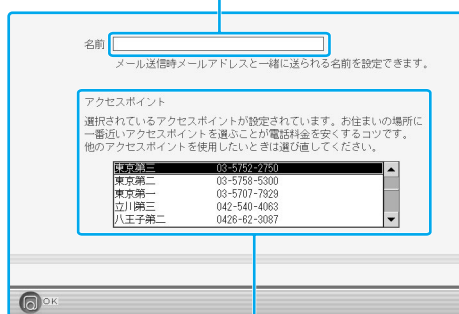
- この間に本機のインターネットとメールの自動設定が行われます。
  これらは電話回線を利用するので、設定中は以下をお守りください。
  - **電話回線を切断しない。**
  - **同じ回線の家の電話を使わない。**
  - **モニターとベースステーションの電源を切らない。**
  - **「圏外」表示が出ないところで行う。**
- キャッチホンに加入している場合、この間にご家庭の電話回線が着信すると、接続している電話回線が切断され、入会手続きと設定が中断されることがあります。その場合は、「設定 一覧」画面の［**エアボードネット**］を選び、［**入会/設定**］を選んでもう一度入会手続きをやり直してください。
- 「本機はすでに入会済みです。設定画面に情報が入力されているか確認してください。」というメッセージが表示されて、設定画面に何も入力されないときは、エアボード カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

一度回線が切断された後、「名前の入力」画面が表示されます。

### ちょっと一言

確認ワードが違っていたときは、正しい確認ワードを入れ直しください。この間も、電話会社への通話料金はかかります。

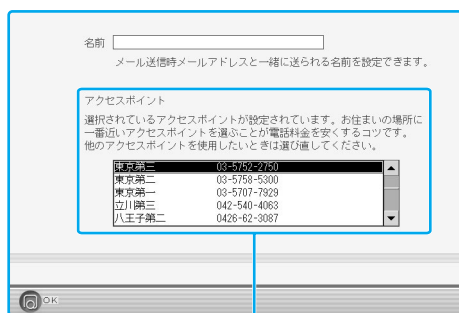
## 10 メールを送信するときの名前を入力する。

「名前」欄を選んで、キーボードで入力します。

### ちょっと一言

文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

## 11 アクセスポイントを確認する。

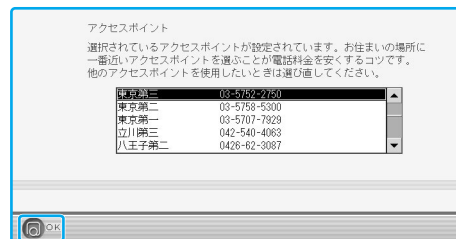
手順8でフレッツADSLコースを選んだ場合は、アクセスポイント一覧が表示されません。

手順12へ進んでください。

アクセスポイントを変更するときは、一覧の中から選び直します。

### ちょっと一言

**アクセスポイントとは？**

電話回線を使ってインターネットに接続する場合、アクセスポイントとよばれる接続地点に電話をつなぐ必要があります。
エアボードネットは全国にアクセスポイントを設置しています。住んでいる地域と同じ市外局番のアクセスポイント、またはそれに一番近いアクセスポイントに接続すると電話料金が安くすみます。

## 12 OK を選ぶ。

「設定終了」画面が表示されます。

## 13 内容を確認し、表示されている内容を291ページの「インターネットとメールの設定メモ」に書き写す。

ダイアルアップコースの終了画面

フレッツADSLコースの終了画面

## 14 OK を選ぶ。

**ご注意**

**エアボードネットへの設定を完了し、その後エアボードネットのページを表示するためにインターネットへ接続されると、ダイアルアップコースの場合は電話会社への通話料金がかかります。**

エアボードネットに接続し、エアボードネットのページが表示されます。引き続きインターネットをお楽しみください。
フレッツADSLコースをご利用の場合は、ここからADSL回線を使って接続します。

## インターネットの接続をやめるには

ダイアルアップコースの場合は、モニター上部にある**[切断]**ボタンを押します。
フレッツADSLコースの場合は切断する必要はありません。

### ちょっと一言

電話回線を使ってインターネットに接続している場合、電話回線の切り忘れに備えて、自動的に電話回線を切るまでの時間を設定できます。「アナログ電話回線（モデム）を使って接続する」の手順8（☞53ページ）で設定してください。

## 「スピード設定」でエアボードネット（ダイアルアップコース）に入会する

申込書による入会申し込みをしていない場合、本機を電話回線につないでエアボードネットへの入会手続きができます（スピード設定「オンラインサインアップ」）。
エアボードネット利用料金のお支払いに利用するクレジットカードをお手元に用意してください。
エアボードネットに入会手続きをする前に、電話回線の種類（トーンまたはパルス）を設定してください。（☞52ページ）

**ご注意**

- **エアボードネットの設定をするために電話回線が接続されると、電話会社への通話料金がかかります。**
- **フレッツADSLコースをお申し込みの場合はスピード設定をご利用になれません。「かんたん自動設定」をご利用ください。（☞66ページ）**

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3 エアボードネット を選ぶ。**

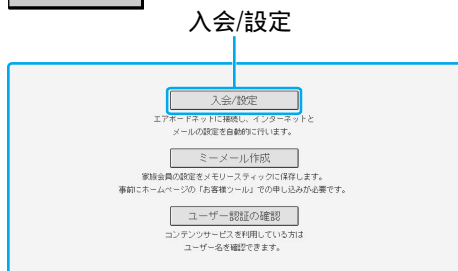
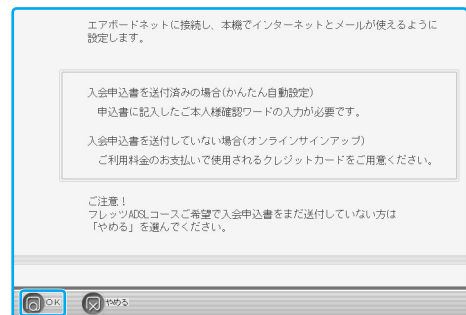
「設定 エアボードネット」画面が表示されます。

**4 入会/設定 を選ぶ。**

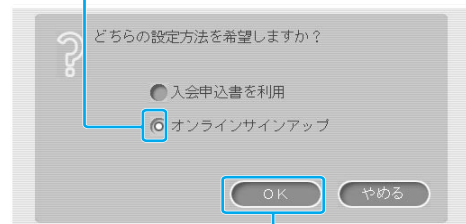
入会/設定

入会/設定
エアボードネットに接続し、インターネットと
メールの設定を自動的に行います。
ミーメール作成
家族会員の設定をメモリースティックに保存します。
事前にホームページの「お客様ツール」での申し込みが必要です。
ユーザー認証の確認
コンテンツサービスを利用している方は
ユーザー名を確認できます。

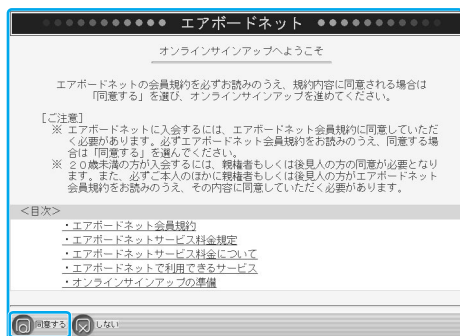
**5 OK を選ぶ。**

OK

エアボードネットに接続し、メッセージが表示されます。

**6 「オンラインサインアップ」を選んでから OK を選ぶ。**

ここを選びます。

OK

一度電話回線が切断された後、「オンラインサインアップ規約」画面が表示されます。

## 7 「会員規約」、「サービス説明」、「コース説明」、「準備するもの」などをお読みの上、会員規約に同意する場合は「同意する」を選ぶ。

同意する

「オンラインサインアップ1／3」画面が表示されます。

### ご注意

この間、電話会社への通話料金はかかりません。

## 「オンラインサインアップ1／3」画面の入力

### 1 名字を入力する。

「お名前」欄を選んで、キーボードで入力します。

ここに入力します。

### 漢字の入力について

1 **[かな]**（五十音入力）または**[ローマ字]**（ローマ字入力）を選ぶ。

2 キーボードのキーを1つ1つ選んでひらがなを入力する。

3 正しく変換されるまでくり返し**[漢字候補]**を選ぶ。

### ちょっと一言

入力について詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

正しい漢字候補が表示されないときは「区点コードを使って入力しよう」（☞163ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

## 2 名前を入力する。

「お名前」欄を選んで、キーボードで入力します。

ここに入力します。

## 3 名字のふりがなを入力する。

「ふりがな」欄を選んで、キーボードでひらがなを入力します。

ここに入力します。

### ひらがなの入力について

**1** **［かな］**（五十音入力）または**［ローマ字］**（ローマ字入力）を選ぶ。

**2** キーボードのキーを1つ1つ選んでひらがなを入力する。

**3** **［確定］**を選ぶ。

**ちょっと一言**

文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

## 4 名前のふりがなを入力する。

「ふりがな」欄を選んで、キーボードでひらがなで入力します。

ここに入力します。

## 5 郵便番号を入力する。

「郵便番号」欄を選んで、キーボードで郵便番号7桁をハイフン（-）で区切って入力します。

ここに入力します。

**ちょっと一言**

文字の入力について詳しくは、「英数字を入力してみよう」（☞161ページ）をご覧ください。

## 6 都道府県を確認する。

表示されている都道府県がお住まいの地域と異なる場合は、「都道府県」欄を選んで、キーボードで入力します。

ここを確認します。

## 7 市区町村を入力する。

「市区町村」欄を選んで、キーボードで入力します。

ここに入力します。

## 8 番地を入力する。

「番地」の横の空欄を選んで、キーボードを使って入力します。

マンション名なども一緒に入力します。

ここに入力します。

### カタカナの入力について

**1** **[かな]**（五十音入力）または **[ローマ字]**（ローマ字入力）を選ぶ。

**2** ひらがなを入力する。

**3** **[カタカナ]** を選ぶ。

## 9 電話番号を入力する。

「電話番号」欄を選んで、キーボードで電話番号を入力します。市外局番から、ハイフン（-）で区切って入力してください。

ここに入力します。

次のページにつづく

## 10 生年月日を入力する。

「生年月日」欄を選んで、キーボードで入力します。
「年」は半角4桁の数字で、「月」と「日」は半角2桁の数字で入力します。

例： 1975年1月10日生まれの場合は、「1975」「01」「10」と入力します。

ここに入力します。

## 11 性別を選ぶ。

どちらかを選びます。

## 12 アクセスポイントを選ぶ。

一覧の中からお住まいに一番近いアクセスポイントを選びます。

ここから選びます。

### ちょっと一言

**アクセスポイントとは？**

エアボードネットは全国にアクセスポイントとよばれる接続地点を設置しています。住んでいる地域と同じ市外局番のアクセスポイント、またはそれに一番近いアクセスポイントに接続すると電話料金が安くすみます。

## 13 [進む] を選ぶ。

進む

「オンラインサインアップ2／3」画面が表示されます。

## 「オンラインサインアップ2／3」画面の入力

### 1 メールアドレスを入力する

メールアドレスは、メールを受信したり送信したりするときに必要な宛名です。

他の人がすでに使用しているメールアドレスは使用できないため、第1希望から第3希望まで入力してください。

それぞれ欄を選んで、@の前に入れるアドレスを、キーボードで半角で16文字以内で入力します。

例：sony-taro@airbonet.comの「sony-taro」を入力します

ここに入力します。

**ご注意**

- 一度登録すると変更できませんので、入力には充分ご注意ください。
- 以下の文字はメールアドレスには使えません。

| 使えない文字 | 使えない場所 | 悪い例 |
|---|---|---|
| -（ハイフン） | 先頭と最後 | -sony@airbonet.com<br>sony-@airbonet.com |
| _（アンダーバー） | 先頭と最後 | _sony@airbonet.com<br>sony_ @airbonet.com |
| .（ピリオド） | 先頭と最後 | .sony@airbonet.com<br>sony. @airbonet.com |
| +（プラス） | すべての場所 | +sony@airbonet.com |
| ..（連続ピリオド） | すべての場所 | sony.. @airbonet.com |

### 2 パスワードを入力する。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで8文字以上14文字以内のお好きな数字またはアルファベットを入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

ここに入力します。

### 3 確認のためにもう一度同じパスワードを入力する。

右下の空欄を選んで、キーボードで入力します。

ここに入力します。

### 4 進む を選ぶ。

進む

「オンラインサインアップ3／3」画面が表示されます。

次のページにつづく

## エアボードネットへの入会と設定をする（つづき）

### 「オンラインサインアップ3／3」画面の入力

### 1 カード会社を選ぶ。

ここから選びます。

### 2 カード名義を入力する。

「カード名義」欄を選んで、キーボードでクレジットカードに記載されている名前を正確に入力します。

ここに入力します。

### 3 カード番号を入力する。

「カード番号」欄を選んで、キーボードでカード会員番号を半角数字で入力します。

ここに入力します。

### 4 カードの有効期限を入力する。

「カード有効期限」欄を選んで、キーボードで入力します。
最初の空欄には「月」を半角2桁の数字で、次の空欄には「年」を半角4桁の数字で入力します。

例：カードに記載されている有効期限が10/05の場合は、「月」に「10」、「年」に「2005」と入力します。

ここに入力します。

5  **を選ぶ。**

ご利用料金のお支払いで使用されるクレジットカードの情報を入力してください。

カード会社 VISA JCB AMEX Master Diners
カード名義 AIRBOARD TARO （例：SONY TARO）
カード番号 1234-5678-1234-5678 （例：1234-5678-1234-5678）
カード有効期限 09 / 2007 （例：01/2005）

ご確認
上記クレジットカードは私本人の名義に間違いありません。
クレジットカード利用に関しては上記クレジットカード会社の規約を厳守します。



進む

「オンラインサインアップ確認」画面が表示されます。

6 **確認して間違いがなければ、入会する を選ぶ。**

**ちょっと一言**

**エアボードネットに入会するために電話回線が接続されると、電話会社への通話料金がかかります。**

内容を確認して、間違いがなければ「入会する」を選んでください。
入会手続きが終了するまで本機の電源を切らないでください。
ダイアルアップコース

お名前：エアボード　太郎
ふりがな：えあぼーど　たろう
郵便番号：141-0001
住所：東京都 品川区北品川
電話番号：03-5448-
*生年月日：
*性別：
カード会社：VISA
カード名義：AIRBOARD TARO
カード番号：1234-5678-1234-5678
カード有効期限：09 / 2007
アクセスポイント：東京第三　03-5752-2750
希望メールアドレス：1.sony-taro　2.sony-hanako　3.aibo-sample
パスワード：********

入会する　直す

入会する

間違いがあるときは、**［直す］**を選んで、入力し直します。
エアボードネットに接続し、メッセージが表示されます。

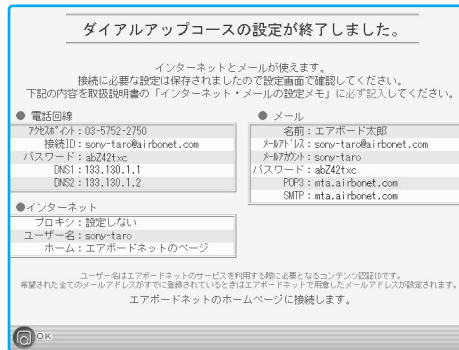
**ご注意**

- この間に本機のインターネットとメールの自動設定が行われます。
  これらは電話回線を利用するので、設定中は以下をお守りください。
  - **電話回線を切断しない。**
  - **同じ回線の家の電話を使わない。**
  - **モニターとベースステーションの電源を切らない。**
  - **「圏外」表示が出ないところで行う。**
- キャッチホンに加入している場合、この間にご家庭の電話回線が着信すると、接続している電話回線が切断され、入会手続きと設定が中断されることがあります。
  その場合は、「設定 一覧」画面の**［エアボードネット］**を選び**［入力/設定］**を選んでもう一度入会手続きをやり直してください。
- 「本機はすでに入会済みです。設定画面に情報が入力されているか確認してください。」というメッセージが表示されて、設定画面に何も入力されないときは、エアボード カスタマーサポートセンターにお電話ください。

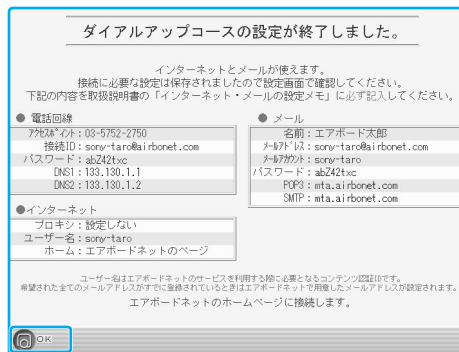
エアボードネットへの入会が完了すると、一度電話回線が切断された後、「オンラインサインアップ終了」画面が表示されます。

**ちょっと一言**

「「オンラインサインアップ2／3」画面の入力」の手順1（☞75ページ）で入力したメールアドレスが受け付けられないときは、「希望のメールアドレスが他の人にすでに使われているときには」（☞78ページ）をご覧ください。

**7** **内容を確認し、表示されている内容を291ページの「インターネットとメールの設定メモ」に書き写す。**

**8** **OK を選ぶ。**

**ご注意**

**エアボードネットへの入会を完了し、その後エアボードネットのページを表示するために電話回線が接続されると、電話会社への通話料金がかかります。**

エアボードネットに接続し、エアボードネットのページが表示されます。引き続きインターネットをお楽しみください。

### インターネットの接続をやめるには

モニター上部にある**［切断］**ボタンを押します。

### 希望のメールアドレスが他の人にすでに使われているときには

**1** 違うメールアドレスを入力する。
第1希望から第3希望まで入力できます。

**2** ［OK］を選ぶ。
エアボードネットに接続し、メールアドレスを照合します。まだ使用されていないメールアドレスが受け付けられるまで手順1と2をくり返し行います。エアボードネットへの入会が完了すると、一度電話回線が切断された後、「オンラインサインアップ終了」画面が表示されます。

## エアボードネットの家族会員用［ミーメール］を作成する

家族会員を申し込んだ場合は、別売りの“メモリースティック”を使って、自分専用のメールチャンネル［ミーメール］を作成できます。“メモリースティック”を以下のようにして［ミーメール］用に設定してください。

**ご注意**

- ［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するときに、“メモリースティック”の中に別の人の［ミーメール］や、整理箱上にメールデータがすでにあるときは、そのメールは消去されます。［ミーメール］用“メモリースティック”を作成する前に、もう一度“メモリースティック”の内容を確認してください。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に入っている設定情報などをパソコンなどを使ってコピーすることはできません。［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するには、本機でもう一度［ミーメール］の設定をしてください。

**1** “メモリースティック”を挿入し、インターネットチャンネルを表示する。

**2** エアボードネットのホームページ(http://www.airbonet.com) にある「お客様ツール」のページから家族会員の申し込みをする。

**3** 家族会員のメールアドレス、ユーザー名（メールアカウント）、パスワードを登録し、この3点をメモする。

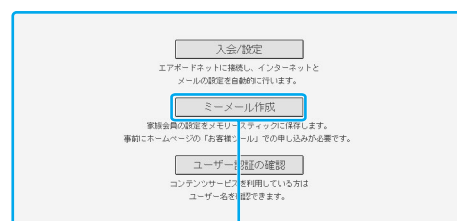
**4** 「インデックス」画面を表示する。

**5** 設定 を選ぶ。

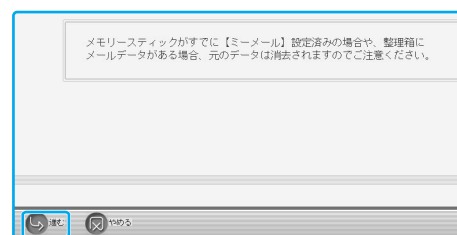
「設定 一覧」画面が表示されます。

**6** エアボードネット を選ぶ。

「設定 エアボードネット」画面が表示されます。

**7** ミーメール作成 を選ぶ。

ミーメール作成

「設定 メモリースティック」画面が表示されます。

**8** 進む を選ぶ。

進む

「設定 ミーメール メール」画面が表示されます。

次のページにつづく

## 9 名前を入力する。

「名前」欄を選んで、キーボードで入力します。

ここに入力します。

### ちょっと一言

エアボードネットの家族会員は、親会員の回線設定を利用します。また、「POP3」と「SMTP」は、本体のメール設定が自動的にコピーされて表示されます。

## 10 メールアドレスを入力する。

「メールアドレス」欄を選んで、手順3で登録したメールアドレスをキーボードで入力します。

ここに入力します。

()内は一例です。詳しくは、回線事業者またはプロバイダからの情報を参照してください。
*名前 エアボート花子
メールアドレス (sony-taro@airbonet.com)
メールアカウント (sony-taro)
パスワード プロバイダから指定されたパスワード
POP3 mta.airbonet.com (mta.airbonet.com)
SMTP mta.airbonet.com (mta.airbonet.com)
受信メールをサーバに 残さない 残す
（「残さない」を選ぶことをおすすめします。他の機器でも同じメール設定で受信する場合などは「残す」を選んでください。）

## 11 メールアカウントを入力する。

「メールアカウント」欄を選んで、手順3で登録したユーザー名（メールアカウント）を、キーボードで入力します。

ここに入力します。

## 12 パスワードを入力する。

「パスワード」欄を選んで、手順3で登録したパスワードを、キーボードで入力します。

ここに入力します。

()内は一例です。詳しくは、回線事業者またはプロバイダからの情報を参照してください。
*名前 エアボート花子
メールアドレス airboard-hanako@airbonet.com (sony-taro@airbonet.com)
メールアカウント airboard-hanako (sony-taro)
パスワード プロバイダから指定されたパスワード
POP3 mta.airbonet.com (mta.airbonet.com)
SMTP mta.airbonet.com (mta.airbonet.com)
受信メールをサーバに 残さない 残す
（「残さない」を選ぶことをおすすめします。他の機器でも同じメール設定で受信する場合などは「残す」を選んでください。）

## 13 受信メールをサーバーに残すか、残さないかを選ぶ。

通常は「残さない」を選びます。

どちらかを選びます。

## 14 OK を選ぶ

OK

「ミーメールを作成しました。メールを自分専用に使えます。」と表示されます。

## 15 OK を選ぶ。

OK

「設定 エアボードネット」画面に戻ります。

## 16 終了 を選ぶ。

［ミーメール］用"メモリースティック"が作成されると、画面上の（通常"メモリースティック"）表示が（［ミーメール］専用"メモリースティック"）表示に変わります。

### ご注意

ミーメール作成に失敗したときは、「メモリースティック書き込み中にエラーが起きました。」というメッセージが表示されます。［OK］を選んで、もう一度手順7（☞79ページ）からやり直してください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

### ちょっと一言

**［ミーメール］**の使いかたは「ミーメールでメールを使う」（☞179ページ）をご覧ください。

## コンテンツサービスの
## ユーザー名を確認する

エアボードネットのコンテンツサービスに入会している方は、サービスを受けるために必要なユーザー名を確認できます。

**ちょっと一言**

ダイアルアップコース、フレッツADSLコースへ登録されている方は、「設定 メール」画面のメールアカウントでユーザー名を確認できます。（☞62ページ）

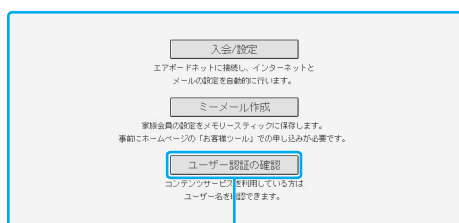
**1 「インデックス」画面を表示する。**

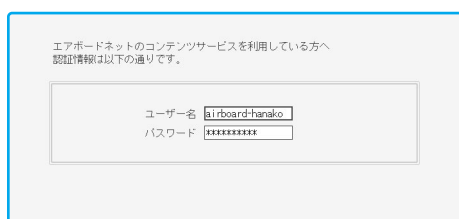
**2 設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3 エアボードネット を選ぶ。**

「設定 エアボードネット」画面が表示されます。

**4 ユーザー認証の確認 を選ぶ。**

ユーザー認証の確認

ユーザー認証の確認画面が表示されます。

一度エアボードネットのホームページに接続してユーザー名とパスワードを入力すると、入力した情報がこの画面に自動的に書き込まれます。次回からエアボードネットのホームページに接続するとき、この画面の情報がユーザー本人を確認するための情報として利用されます。

**ご注意**

他の人のエアボードからエアボードネットのホームページに接続してあなたのユーザー名を入力すると、入力した情報が他の人のエアボードの「ユーザー認証の確認」画面に残ります。その後、他の人がそのエアボードでエアボードネットのホームページに接続すると、「ユーザー認証の確認」画面に入力されている情報で自動認証されるため、ユーザー名が使用され、あなたの情報が見られてしまいます。ご使用後は、この画面の情報を削除してください。

**5 OK を選ぶ。**

「設定 エアボードネット」画面に戻ります。

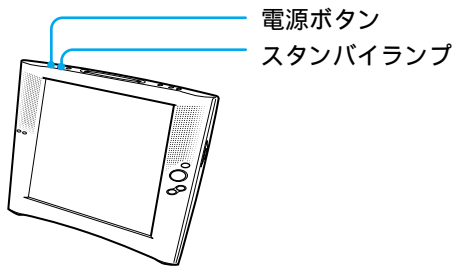
**6 終了 を選ぶ。**

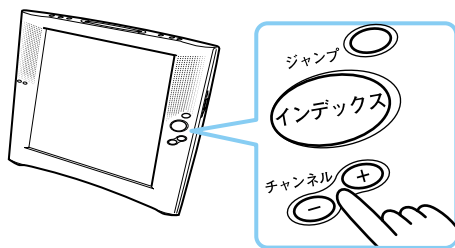
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

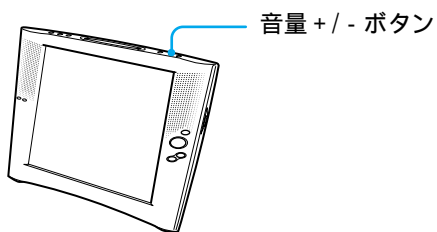
引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

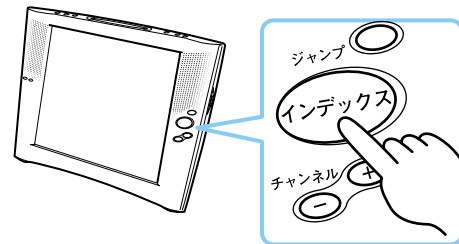
# テレビ/ビデオ

# テレビを見る

**1 モニター上部の［電源］ボタンを押して、電源を入れる。**

モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。

**2 モニター右側の［チャンネル+/−］ボタンを押して、見たいテレビチャンネルを選ぶ。**

選んだチャンネルが表示されます。

**3 モニター上部の［音量+/−］ボタンを押して、音量を調節する。**

### インデックス画面のチャンネル一覧から選ぶには

**1 モニター右側の［インデックス］ボタンを押す。**

「インデックス」画面が表示されます。

**2 見たいテレビチャンネルを選ぶ。**

### 音を消すには

モニター上部の［消音］ボタンを押す。
画面上部に消音が点滅します。
再び音を出すには、もう一度［消音］ボタンを押すか、モニター上部の［音量+］ボタンを押します。

**ちょっと一言**

消音中は画面上下のガイド表示が常に表示されます。

### 前のチャンネルを見るには

モニター右側の［ジャンプ］ボタンを押す。
1つ前に見たチャンネルが表示されます。

**ちょっと一言**

設定画面はチャンネルに含まれません。

# つないだ機器の映像を見る

**1 モニター右側の［チャンネル+/–］ボタンをくり返し押して［ビデオ入力1］、または［ビデオ入力2］を表示する。**

またはインデックス画面の［ビデオ入力1］や［ビデオ入力2］ボタンを選びます。

**2 つないだ機器を使って操作する。（☞216ページ）**

**ご注意**

つないだ機器を本機で操作するためにはAVマウスの接続と設定が必要です。「リモコンで他機器を操作する」（☞211ページ）をご覧になって接続と設定を行ってください。

# 画質を調整する

テレビチャンネルとビデオチャンネルの画質が同時に調整されます。

**1** 画質調整 **を選ぶ。**

画質調整

「設定 画質」画面が表示されます。

**2** **［－］や［＋］、［赤］や［緑］を選んで、各項目のレベルを調整する。**

［標準］を選ぶと、すべての項目が標準の設定になります。

－/＋

標準　赤/緑

| 設定項目 | ［－］を選ぶと | ［＋］を選ぶと |
|---|---|---|
| ピクチャー | 明暗の差が弱くなる | 明暗の差が強くなる |
| 明るさ | 暗くなる | 明るくなる |
| 色の濃さ | 淡くなる | 濃くなる |
| シャープネス | 映像の輪郭が柔らかくなる | 映像の輪郭がくっきりする |

| 設定項目 | ［赤］を選ぶと | ［緑］を選ぶと |
|---|---|---|
| 色あい | 赤みがかる | 緑がかる |

**3** OK **を選ぶ。**

テレビまたはビデオチャンネルに戻ります。

### 画面のバックライトの明るさを調整するには

モニター左側面の **［☼（明るさ調整）］** つまみを上下に動かして調整する。
このとき、メールチャンネルやアルバムチャンネル、インターネットチャンネルの明るさも同時に調整されます。

# 音質を調整する

テレビチャンネルとビデオチャンネルの音質が同時に調整されます。

**1**  **を選ぶ。**

「設定 音質」画面が表示されます。

**2** **［－］や［＋］、［左］や［右］を選んで、各項目を調整する。**

［標準］を選ぶと、すべての項目が標準の設定になります。

| 設定項目 | ［－］を選ぶと | ［＋］を選ぶと |
| --- | --- | --- |
| 高音 | 弱くなる | 強くなる |
| 低音 | 弱くなる | 強くなる |

| 設定項目 | ［左］を選ぶと | ［右］を選ぶと |
| --- | --- | --- |
| バランス | 左側の音が強くなる | 右側の音が強くなる |

**3** ［OK］ **を選ぶ。**

テレビまたはビデオチャンネルに戻ります。

# テレビを子画面で見る［子画面］

インターネットチャンネル、メールチャンネル、アルバムチャンネルを見ているとき、または設定画面にて操作を行っているとき、以下の画面を子画面に表示できます。
－ テレビチャンネル
－ ビデオ入力1、ビデオ入力2チャンネル

## 子画面を表示する

**子画面入 を選ぶ。**

子画面 入

画面右下に、テレビまたはビデオ入力1、ビデオ入力2チャンネルで最後に見ていたチャンネルが子画面表示されます。

子画面 操作ボタン

子画面

**子画面のチャンネルを変えるときは**

画面右上の、子画面 操作ボタンの － または ＋ で選ぶ。

**全画面で見るには**

画面右上の 子画面 操作ボタンの 全画面 を選ぶ。

**子画面を消すときは**

画面右上の子画面 操作ボタンの 子画面 切 を選ぶ。

**ご注意**

- 外部入力機器がつながっていなかったり、外部入力機器の電源が入っていなかったりしたときに子画面にビデオチャンネルを表示すると、子画面には黒い画面が表示されます。
- インターネットのホームページのリンクなどが子画面の後ろに隠れているときに子画面を選ぶと、インターネットのホームページのリンクが押されたことになり、リンクでつながっているホームページなどが表示されます。

# 静止画にする［画面メモ］

テレビ番組に表示されるメールアドレスやホームページのアドレスなどを書き留めるのに便利です。

画面メモ を選ぶ。

画面メモ

画面が停止します。音声は通常通り聞こえます。

通常の画面に戻るには、画面下部の**［メモ解除］**を選びます。

# 静止画を保存する［画面保存］

テレビの画面を静止画として本機またはメモリースティックのアルバムに保存し、後でいつでも見ることができます。「画面メモ」で静止画にしているときも保存できます。

**保存したい画面が表示されたときまたは画面メモ中に 画面保存 を選ぶ。**

画面保存

見ていたテレビ画面が本機のアルバムに保存されます。

## 保存した画像を見るには

**1 ［インデックス］**ボタンを押す。
「インデックス」画面が表示されます。

**2 ［アルバム］**を選ぶ。
「画像の一覧」画面が表示されます。

最後に保存した画像がアルバムの左上に表示されます。
画像の中央を押すと拡大表示されます。

次のページにつづく

**ちょっと一言**

アルバムについて詳しくは142ページをご覧ください。

**ご注意**

- ワイヤレス通信の状態が悪いと、ノイズが入った画面がそのまま保存されます。
- ビデオ入力1、ビデオ入力2の画面は、保存できません。

## “メモリースティック”に保存するには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。（☞174ページ）

**2** 保存したい画面が表示されたときまたは画面メモ中に 画面保存 を選ぶ。

見ていたテレビ画面が“メモリースティック”のアルバムに保存されます。

# 音声を切り換える［二重音声］

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

**二重音声 をくり返し押す。**

二重音声

押すたびに、「主」→「副」→「主／副」→「主」の順に切り換わります。

**ちょっと一言**

ステレオ放送のときは、「ステレオ」と表示されます。

**ちょっと一言**

ビデオ入力につないだ機器の二重音声切り換えは、つないでいる機器のリモコンで行ってください。リモコンを設定してあれば、画面上のリモコンの**［二重音声］**からも切り換えできます。

# 自動で電源を切る［スリープ］

本機のモニターの電源を自動的に切るよう設定します。本機をつけたまま寝てしまっても設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。
テレビチャンネルやビデオチャンネル以外のチャンネルを使用しているときでもスリープは働きます。

**ご注意**

ベースステーションの電源は切れません。

**1** **テレビ、またはビデオ入力1、ビデオ入力2チャンネルを表示する。**

**2** スリープ **を選ぶ。**

スリープ

「設定 スリープタイマー」画面が表示されます。

**3** **電源を切る時間を「30分後」、「60分後」、または「90分後」から選ぶ。**

いずれかを選びます。

スリープを設定しないときは、「設定しない」を選びます。

**4** セット **を選ぶ。**

セット

スリープタイマーが動き始めます。

**5** 戻る **を選ぶ。**

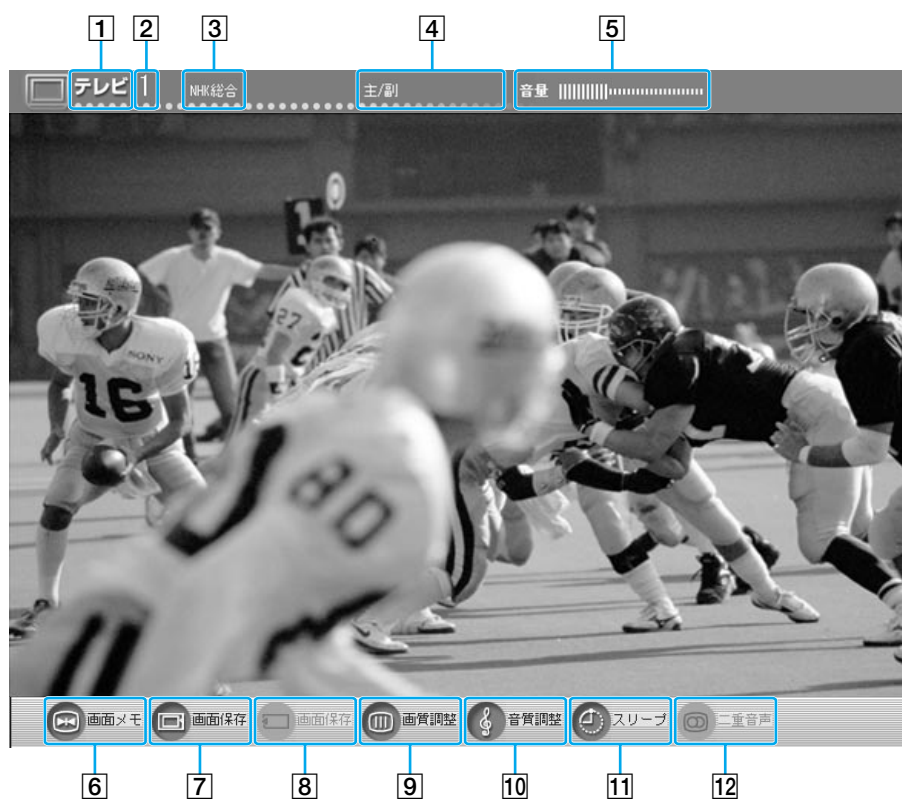
戻る

元のチャンネルに戻ります。

## スリープ設定時間が近づくと

設定時間の3分前に、「スリープにより、3分後にモニターの電源が切れます。「やめる」を選ぶとスリープを解除します。」というメッセージが表示されます。

# テレビ/ビデオチャンネル画面の各部の名前

## テレビチャンネル画面の各部の名前

1 **テレビチャンネル表示**

2 **テレビのチャンネル番号**

3 **放送局名**

4 **二重音声表示**（☞90ページ）
二重音声放送のとき、「主」、「副」、「主／副」のいずれかが表示されます。
ステレオ放送のときは「ステレオ」と表示されます。

5 **消音/音量表示**（☞84、85ページ）

6 **画面メモ**（☞89ページ）
静止画にします。

7 **画面保存（本体用）**（☞89ページ）
静止画を本体のアルバムに保存します。

8 **画面保存（“メモリースティック”用）**（☞90ページ）
静止画を“**メモリースティック**”に保存します。

9 **画質調整**（☞86ページ）

10 **音質調整**（☞87ページ）

11 **スリープ**（☞91ページ）
自動的に電源を切る時間を設定します。

12 **二重音声**（☞90ページ）
二重音声放送時、音声を切り換えます。

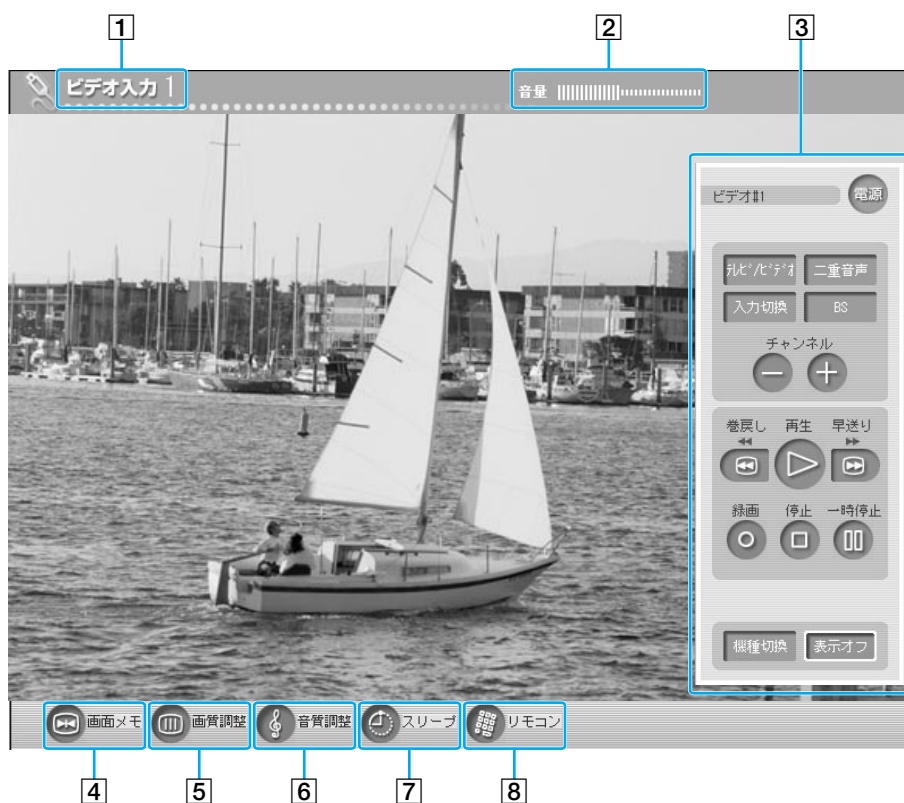
### 画面上下のガイド表示について

テレビチャンネルやビデオチャンネルに切り換えたとき、5秒ほど表示された後、消えます。
タッチペンで画面に触れると、再度表示できます。

### ちょっと一言

モニターが圏外にあるときや消音中は、ガイド表示が常に表示されています。

## ビデオチャンネル画面の各部の名前

ビデオ入力1、ビデオ入力2チャンネル画面に共通です。

1 **ビデオチャンネル表示（ビデオ入力1またはビデオ入力2）**

2 **音量表示**

3 **画面上のリモコン**（☞216ページ）
つないだ機器を操作できます。

4 **画面メモ**（☞89ページ）
静止画にします。

5 **画質調整**（☞86ページ）

6 **音質調整**（☞87ページ）

7 **スリープ**（☞91ページ）
自動的に電源を切る時間を設定します。

8 **リモコン**（☞216ページ）
ビデオ入力1またはビデオ入力2のリモコンを表示します。

### 画面上下のガイド表示について

テレビチャンネルやビデオチャンネルに切り換えたとき、5秒ほど表示された後、消えます。
タッチペンで画面に触れると、再度表示できます。

### ちょっと一言

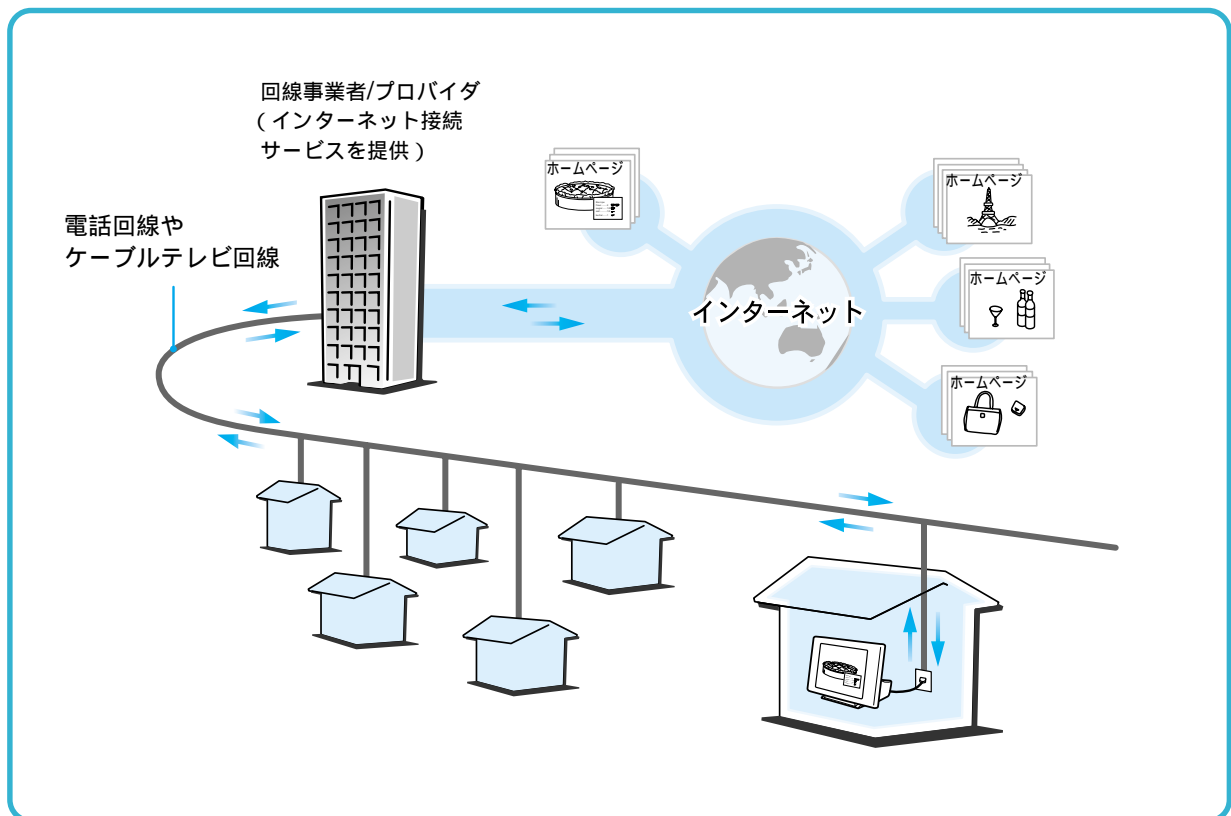
モニターが圏外にあるときや消音中は、ガイド表示が常に表示されています。

### ご注意

パソコンのモニターなどに使用されているノンインターレース信号は、本機のモニターでは表示できません。

# インターネット

# インターネットって何？

「インターネット」は、世界中のコンピューター(パソコンなど)が網の目のようにつながっていて、情報が行き交う通信網です。
そのため、エアボードをこのインターネットにつなぐだけで、いつでも好きな時間に、世界中で発信されている情報から必要なものを探したり、その場にいながら買い物をしたり（オンラインショッピング)、世界中の人々と「手紙」(メールや電子メール、Eメールとも言う)をやり取りしたりできます。
インターネットを楽しむには、まず、インターネットへ接続するサービスを提供する会社(プロバイダや回線事業者)と契約し、電話回線やケーブルテレビ回線を使って接続します(☞47ページ)。

## インターネットを楽しむときに、気をつけて！

**個人情報を求められたり、商品を購入したりするときは、🔒を確認！**

インターネットでは、まれに情報が誤って漏れたり盗まれたりする可能性があります。本機では、情報を暗号化して漏洩しないSSLに対応しています。SSLに対応しているホームページのときにはインターネットチャンネルのアドレス欄右横に🔒が表示されます。

懸賞などの応募やアンケートなどで、氏名や住所・電話番号などの個人情報を記入するときや、商品購入のためにクレジットカード番号を入力するときは、必ず🔒を確認しましょう。

**ホームページ**
インターネット上での情報発信ページで、写真やイラスト、文字などの情報を満載したインターネット上の雑誌や新聞、本のようなものです。

**アドレス**(URL)
インターネット上にあるホームページの住所です。「http://」で始まるアルファベットと数字記号の組み合わせで表されます。このアドレスを入力することで、見たいホームページを直接表示できます。URL(Uniform Resource Locator)とも呼ばれます。

**リンク**
選ぶと、関連(リンク)した新しいホームページに進める「下線付きの青文字」や「画像」などです。自動的に相手先にメール(手紙)を送るためのメール作成画面に切り換わるリンクもあります(☞102ページ)。

**更新**
ホームページは内容が随時更新されていきます。その最新情報を本機に読み込んで表示することを更新といいます。

**有料のホームページもあります！**

ホームページの中には、インターネット接続料とは別にお金がかかるページもあります。詳しくは、該当ホームページで確認してください。

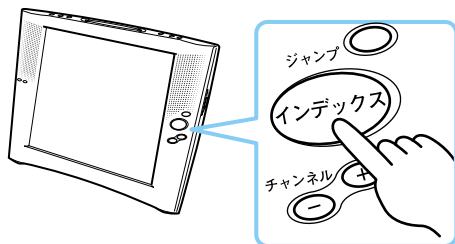
**本人確認(ユーザー認証)が必要なホームページを見終わったら…**

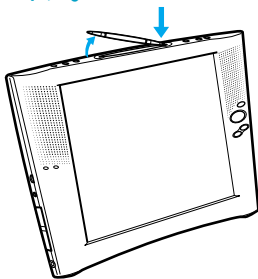
プライバシー保護のために、ユーザーID(本人の名前など)とパスワード(暗証番号)を入力してログインし、本人と確認されて初めて表示するホームページがあります。このページを見終わったら、画面にログアウトボタンがある場合は、必ず「ログアウト」ボタンを選んで他のページに進んでください。他の人があなたの個人的な情報を見てしまう恐れがあるためです。

# ホームページを見てみよう！

## インターネットチャンネルに切り換えよう

ホームページを見るには、まずインターネットチャンネルに切り換える必要があります。

### 1 モニターの右側にある[インデックス]ボタンを押す。

チャンネルの一覧が表示されます。

### 2 モニター上部からタッチペンを取り出す。

### 3 インターネットチャンネルを選ぶ。

インターネットチャンネルが表示されます。

**ちょっと一言**

モニター右側の[**チャンネル**+/–]ボタンをくり返し押しても表示できます。

## アドレスを入力してホームページを表示させよう

ホームページのアドレス(URL)を直接入力して、ホームページを表示してみましょう。
ここでは、例として、エアボードのホームページを表示します。
エアボードのホームページのアドレスは、「http://www.sony.co.jp/airboard」です。
ホームページアドレスには、住所が「都道府県」の後に、「市町村、丁目、番地」と続くように、部分ごとに意味があります。

**ちょっと一言**

文字の入力について詳しくは、「英数字を入力してみよう」(☞161ページ) をご覧ください。

### 1 アドレス入力欄を選ぶ。

アドレス入力欄

画面上にキーボードが表示されます。

### 2 キーボードの[全選択]を選ぶ。

アドレス入力欄のアドレス全体が選択されます。

アドレス http://www.airbonet.com/

## 3 キーボードの[http://]を押す。

アドレス入力欄に「http://」と入力されます。

アドレス http://

**ちょっと一言**

ホームページのアドレス(URL)は、必ず、この「http://」で始まるアルファベットと数字記号の組み合わせで表されます。「:」をコロン、「/」をスラッシュと呼びます。この他に、アドレスには「_」(アンダーバー)、「~」(チルダ)などの記号も使われます。

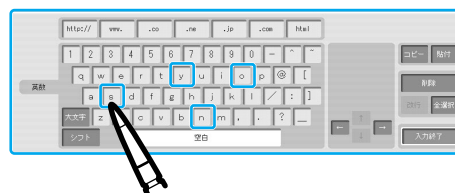
## 4 キーボードの[www.]を押す。

「http://」の後に「WWW.」と入力されます。

アドレス http://www.

**ちょっと一言**

ホームページのアドレスの多くが「http://」の後に「www.」(world wide web:ワールドワイド ウェブの略)と続きます。「.」をドット(またはピリオド)と呼びます。

## 5 キーボードを[s],[o],[n],[y]の順で押す。

「www.」の後に「sony」と入力されます。

アドレス http://www.sony

**ご注意**

**まちがえて入力したときは**

**[削除]** をくり返し選びます。

｜(カーソル)の左の文字が、**[削除]** を選ぶごとに1文字ずつ消えます。

**ちょっと一言**

「www.」の後に、そのページ特有の名前(会社名や組織名、個人ページ名)などが続きます。

## 6 キーボードの[.co] [.jp]を押す

「sony」の後に「.co.jp」と入力されます。

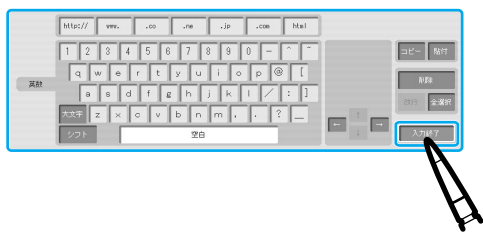
アドレス http://www.sony.co.jp

## ホームページを見てみよう！（つづき）

**7 以下、キーボードで1字ずつ「/airboard」と入力する。**

これでエアボードのホームページのアドレスが入力されました。入力したアドレスに間違いがないか確かめてみましょう。

アドレス http://www.sony.co.jp/airboard

**8 正しく入力されていることを確認したら、キーボードの 入力終了 を選ぶ。**

キーボードが消え、エアボードのホームページの読み込み（ダウンロード）が始まります。読み込み中は画面左上の（インターネットマーク）が回っています。完了するとエアボードのホームページが表示され、は止まります。

**ちょっと一言**

エアボードのホームページのアドレス「http://www.sony.co.jp/airboard」を入力すると、アドレス入力欄には「http://www.sony.co.jp/sd/airboard/index.html」と表示され、エアボードのホームページが表示されます。

**ご注意**

漢字やかな、スペースが使用されているアドレスは、表示できないことがあります。

## 見たいホームページを探してみよう

いちいち、ホームページのアドレスを入力するのは面倒なものです。また、見たいホームページのアドレスがわからないときもあります。
そんなときは、見たいホームページを探すための「検索サービス」のホームページを大いに活用しましょう。「検索サービス」のホームページでは、知りたい情報のキーワード(言葉や見出し)を入力したり、知りたいテーマやトピックスを選んだりすると、自動的に条件にあったホームページを探して、一覧で表示してくれます。

ここでは、「Yahoo! JAPAN」という代表的な「検索サービス」を利用して、エアボードのホームページを探してみましょう。

**1 「アドレスを入力してホームページを表示させよう」(☞98ページ)の方法を使い、アドレス入力欄に「Yahoo! JAPAN」のアドレス「http://www.yahoo.co.jp」を入力する。**

アドレス http://www.yahoo.co.jp

**2 正しく入力されていることを確認したら、キーボードの 入力終了 を選ぶ。**

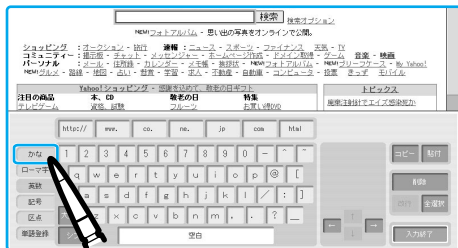
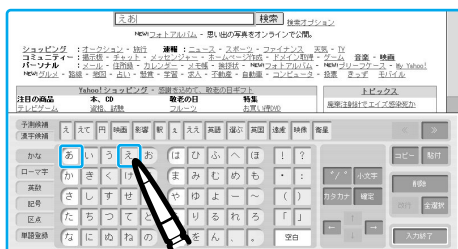
「Yahoo! JAPAN」のホームページが表示されます。

## 3 ［検索］の左横の空欄を選ぶ。

画面上にキーボードが表示されます。

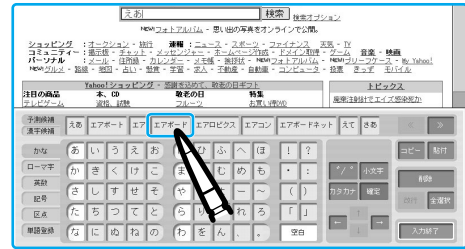
空欄の中に、知りたい情報のキーワードを入れます。

今回は、「エアボード」と入力していきます。

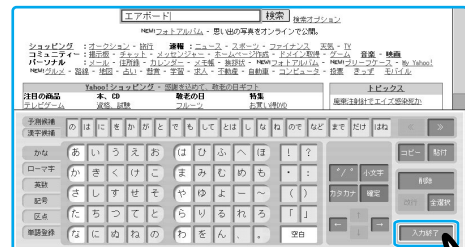
## 4 キーボードの かな を選ぶ。

## 5 キーボードの え と あ を順に選ぶ。

キーボードの上にいくつかの語句の候補が表示されます。

### ご注意

予測一覧に表示される語句の候補は一例です。

## 6 予測一覧から[エアボード]を選ぶ。

### ちょっと一言

予測一覧に表示されないときは、「えあぼーど」と入力し、［カタカナ］キーを選んで変換します。

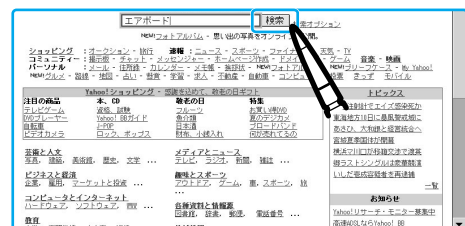
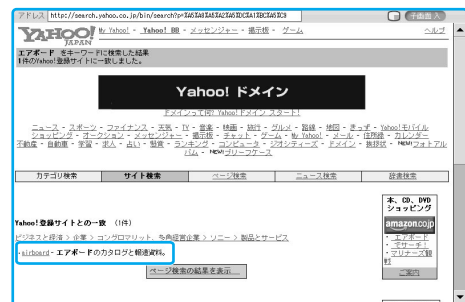
## 7 キーボードの 入力終了 を選ぶ。

これでキーワードの入力が終わりました。では実際に検索してみましょう。

## 8 画面上の[検索]ボタンを選ぶ。

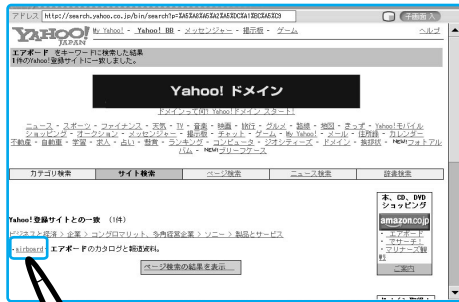
しばらくすると検索結果画面が表示されます。

インターネット

次のページにつづく

## ホームページを見てみよう！（つづき）

**9** **青色の文字「airboard」を選ぶ。**

**ちょっと一言**

「airboard」のように、選ぶと関連した新しいホームページに進める「下線付きの青文字」や「画像」などを「リンク」と呼びます。自動的に相手先にメール(手紙)を送るためのメール作成画面に切り換わるリンクもあります。

しばらくするとエアボードのホームページに切り換わります。

**ちょっと一言**

画像がたくさん入っているなど、情報量の多いホームページを表示するには時間がかかり、絵や文章が途切れて見えたりしますが故障ではありません。ホームページが表示されても一部絵が欠けて見えたり、文字が正しく表示されないときは、画面下部にある**[更新]**を選んでもう一度ホームページを読み込みます。

以上が検索サービスを利用したホームページの探しかたです。
検索サービスは、今回例に挙げたYahoo! JAPANのほかにもたくさんありますので、探してみてください。

## インターネットナンバーを使ってホームページを表示させよう

本機は、ホームページごとに決められた数字（インターネットナンバー）を入力するだけでホームページを表示できるインターネットナンバーサービスに対応しています。
インターネットナンバーはインターネットナンバー（株）が提供しているサービスです。

**インターネットナンバーの例：**
エアボードネットのホームページ
**1201**（http://www.airbonet.com）

インターネットナンバー株式会社のホームページ：**888**（http://www.hatch.co.jp）

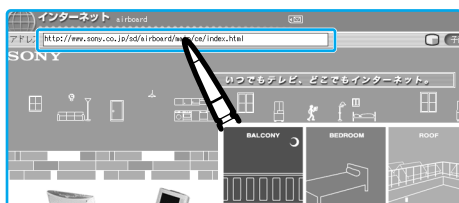
**ちょっと一言**

- インターネットナンバーは雑誌などに掲載されています。
- 本機には、インターネットナンバー番号集が付属されています。
- インターネットナンバーサービスには、郵便番号を入力してその場所の地図を表示する、便利なサービスもあります。

**ご注意**

インターネットナンバーはすべてのホームページに付いているわけではありません。そのため、インターネットナンバーに登録されていないホームページは表示できません。

ここでは、インターネットナンバーを入力してエアボードネットのホームページを表示してみましょう。

## 1 アドレス入力欄を選ぶ。

画面上にキーボードが表示されます。

## 2 キーボードの[全選択]を選ぶ。

アドレス全体が選択されます。

アドレス http://www.sony.co.jp/sd/airboard/

## 3 キーボードの[1] [2] [0] [1]を順番に押す。

1201はエアボードネットのホームページのインターネットナンバーです。

アドレス入力欄に「1201」と表示されます。

アドレス 1201

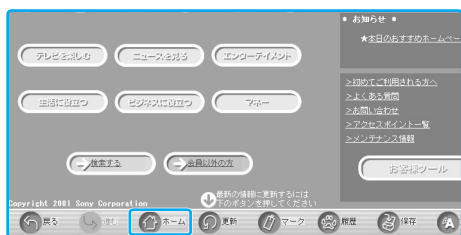
## 4 正しく表示されていることを確認したら、キーボードの 入力終了 を選ぶ。

キーボードが消え、エアボードネットのホームページの読み込みが始まります。読み込みが完了するとエアボードネットのホームページが表示されます。

# ホームに登録したホームページを見る［ホーム］

インターネットチャンネルの「ホーム」ボタンを押すと、「ホーム」として登録してあるホームページが必ず表示されます。お買い上げ時はエアボードネットのホームページが「ホーム」に設定してあります。（☞61ページ「インターネットを見るための設定をする」）

**1　インターネットチャンネルを表示する。**

**2　［ホーム］を選ぶ。**

ホーム

「ホーム」に登録したホームページが表示されます。

### ちょっと一言

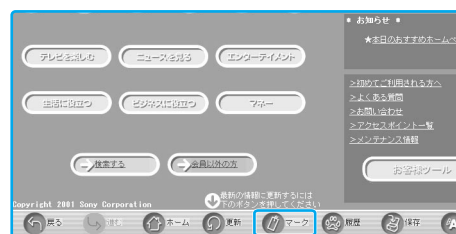
- 最初に表示される「ホーム」のページは、前回読み込んだ古い内容の場合があります。最新の情報に更新するには［更新］を選んでください。
- 本機では、Cookieを自動的に受け付けています。

# ホームページのアドレスを登録する［マーク］

## 好みのホームページのアドレスを登録する

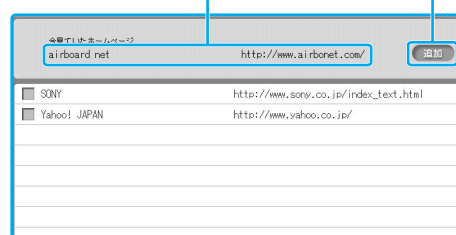
よく見るホームページやお気に入りのホームページは、見るたびに、毎回アドレスを入力したり、「検索サービス」のホームページで探したりするのは、面倒です。
そこで、よく見るホームページのアドレスを登録(マーク)しておけば、すぐに表示できます。本機には最大50件のホームページのアドレスを登録できます。

**1　登録したいホームページを表示する。**

**2　［マーク］を選ぶ。**

マーク

「マークの一覧」画面が表示され、ホームページのタイトルとアドレスが「今見ていたホームページ」の下に表示されます。

**3　［追加］を選ぶ。**

今見ていたホームページ　　追加

「今見ていたホームページ」のタイトルとアドレスが「マークの一覧」に登録され、手順1で表示していたホームページに戻ります。

**ご注意**

登録できるマークの数（50件）を超えた場合は、「登録したマークを消去するには」（☞106ページ）で不要なマークを消して登録し直してください。マークを残したいときは、あらかじめ“メモリースティック”にマークをコピーしてから、本機のマークを消してください。（☞106ページ）

### “メモリースティック”にホームページのアドレスを登録するには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。

**2** 登録したいホームページを表示しているときに［**マーク**］を選ぶ。

「マークの一覧」画面が表示されないときは、［**切換え**］を選ぶ。

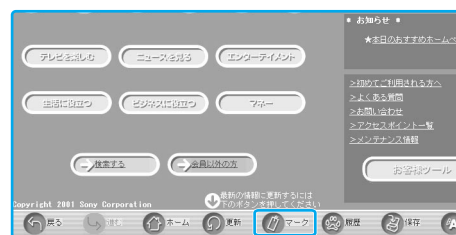
「マークの一覧」画面が表示され、ホームページのタイトルとアドレスが「今見ていたホームページ」の下に表示されます。

**3** ［**追加**］を選ぶ。

手順2で表示したホームページに戻ります。

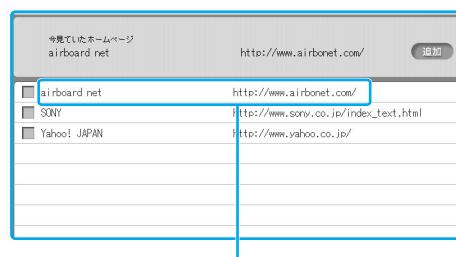
ホームページのタイトルを変更したり、登録したマークを消去するには「登録したマークを消去するには」（☞106ページ）の手順に従ってください。

## マークに登録したホームページを見る

**1** マーク **を選ぶ。**

マーク

「マークの一覧」画面が表示されます。

最後に見たホームページのタイトルとアドレスが一番上に表示されます。

**2** **「マークの一覧」の中から見たいホームページのアドレスを選ぶ。**

ここを選びます。
（チェックボックスを選んでも表示できません。）

選んだホームページが表示されます。

### "メモリースティック"に登録したホームページを見るには

**1** 本機に"メモリースティック"を挿入する。

**2** **［マーク］**を選ぶ。

「 マークの一覧」画面が表示されないときは、**［切換え］**を選ぶ。

「 マークの一覧」画面が表示されます。

**3** 見たいホームページのアドレスを選ぶ。

選んだホームページが表示されます。

### マークにあるホームページのタイトルを変更するには

**1**「マークの一覧」画面の中からタイトルを変えたいマークの□を選び、✓をつける。

タイトルは1つずつの変更となります。

**2** 画面下部にある**［名称変更］**を選ぶ。

「マークの名称変更」画面が表示されます。

**3**「タイトル」の欄に新しいタイトルを入力する。

「タイトル」欄を選んで、キーボードで入力します。

**ちょっと一言**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

**4**［OK］を選ぶ。

### 登録したマークを消去するには

**1**「マークの一覧」画面で消去したいマークをチェックする。

一度に2つ以上のマークを消去するときは、それぞれの□を選び、✓をつけます。

**2** **［消去］**を選ぶ。

### 本機に登録したマークを"メモリースティック"にコピーするには

**1** 本機に"メモリースティック"を挿入する。

**2** **［マーク］**を選ぶ。

「マークの一覧」画面が表示されます。

「 マークの一覧」画面が表示されたときは、**［切換え］**を選ぶ。本機に登録したマークの一覧が表示されます。

**3** "メモリースティック"にコピーしたいマークの□を選び、✓をつける。

**4** **［コピー］**を選ぶ。

**［切換え］**を選んで「 マークの一覧」画面を表示すると、マークがコピーされているか確認できます。

### "メモリースティック"に登録したマークを本機にコピーするには

**1** 本機に"メモリースティック"を挿入する。

**2** **［マーク］**を選ぶ。

「 マークの一覧」画面が表示されないときは、**［切換え］**を選ぶ。

「 マークの一覧」画面が表示されます。

**3** 本機にコピーしたいマークの□を選び、✓をつける。

**4** **［コピー］**を選ぶ。

**［切換え］**を選んで「マークの一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。

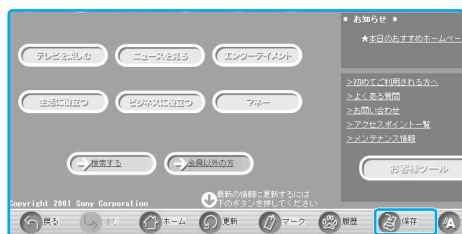
**ご注意**

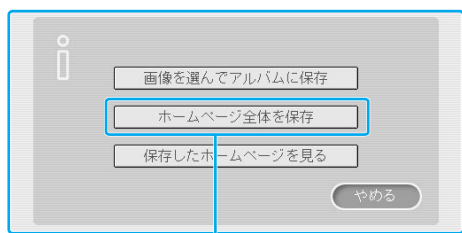
コピーできるマークの数を超えたときは、「登録したマークを消去するには」（☞左記）の手順に従って不要なマークを消去してから、再度コピーし直してください。

# ホームページを保存する［保存］

## ホームページを保存する

表示しているホームページの内容を、そのまま保存できます。一度保存しておくと、インターネットにつなぐことなく、見たいときにゆっくり見ることができます。

### 1 ホームページを表示しているときに、保存を選ぶ。

保存

### 2 [ホームページ全体を保存]を選ぶ。

ここを選びます。

ホームページが保存され、手順1で表示していたホームページに戻ります。

**ご注意**

- ホームページの読み込みが完了していない場合は保存できません。保存できないときは、手順2の画面で［**ホームページ全体を保存**］が薄く表示されます。［**やめる**］を選んでホームページの表示画面に戻り、読み込みが完全に終わってから再度［**保存**］を選んでください。
- ホームページは“メモリースティック”には保存できません。
- 内容が違うホームページでもアドレスが同じ場合は、保存できないことがあります。

**ちょっと一言**

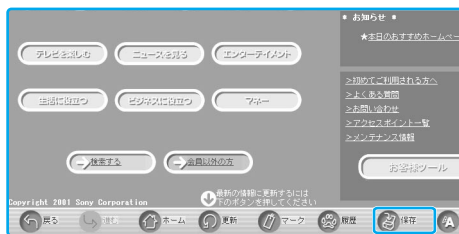
**［履歴］［マーク］［保存］の違いと使いかた**

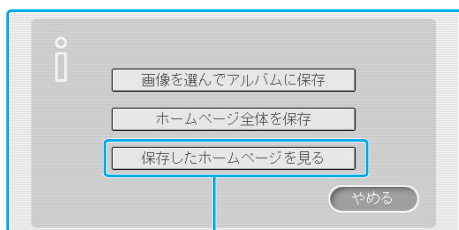
**［マーク］**：ホームページのアドレスを登録します。よく見るホームページのアドレスを登録しておくと、アドレスを入力する手間が省けて便利です。

**［履歴］**：表示したホームページのアドレスを自動的に記録します。履歴がいっぱいになると、古いものから自動的に消去されます。

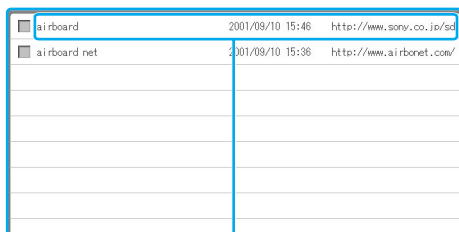
**［保存］**：ホームページの画面を保存します。インターネットに接続することなく、いつでも保存したページを見ることができます。

## 保存したホームページを見る

**1** 保存 **を選ぶ。**

保存

**2** **[保存したホームページを見る]を選ぶ。**

ここを選びます。

「保存したホームページの一覧」画面が表示されます。

**3** **一覧の中から見たいホームページを選ぶ。**

ここを選びます。
（チェックボックスを選んでも表示されません。）

選んだホームページが表示されます。

### ホームページのタイトルを変更するには

**1** 「保存したホームページの一覧」画面の中からタイトルを変えたいマークの☐を選び、✓をつける。
タイトルは1つずつの変更となります。

**2** 画面下部にある **[名称変更]** を選ぶ。
「保存ページの名称変更」画面が表示されます。

**3** 「タイトル」の欄に新しいタイトルを入力する。
「タイトル」欄を選んで、キーボードで入力します。

**ちょっと一言**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

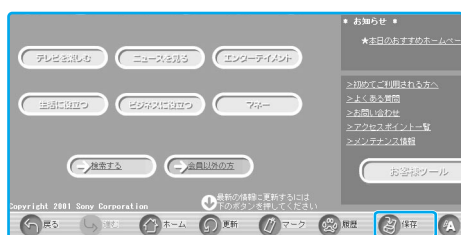
**4** [OK] を選ぶ。

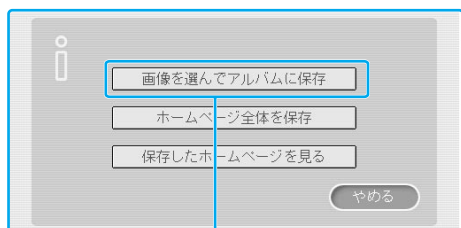
### 保存したホームページを消去するには

**1** 「保存したホームページの一覧」画面で消去したいマークの☐を選び、✓をつける。
一度に2つ以上のマークを消去するときは、それぞれの☐に✓をつけます。

**2** **[消去]** を選ぶ。

## ホームページの画像をアルバムに保存する

**1** ホームページを表示しているときに、保存 を選ぶ。

保存

**2** [画像を選んでアルバムに保存]を選ぶ。

ここを選びます。

手順1で表示していたホームページに戻り、画面上部（「インターネット」表示の右側）に「保存したい画像を選んでください」と表示されます。

**3** 保存したい画像の上を選ぶ。

選ばれた画像に枠がつき、「選択した画像をアルバムに保存しますか？」と表示されます。

**4** OK を選ぶ。

画像がアルバムに保存され、手順1の画面に戻ります。

ちょっと一言

**[やめる]** を選ぶと、画像を選び直せます。

### “メモリースティック”に画像を保存するには

1 本機に“メモリースティック”を挿入する。
2 ホームページを表示しているときに **[保存]** を選んで、**[画像を選んでアルバムに保存]** を選ぶ。
3 保存したい画像の上を選ぶ。
「どちらのアルバムに保存しますか？」のメッセージが表示されます。
4 **[メモリースティック]**を選び、[OK]を選ぶ。

### 保存した画像を見るには

1 インデックス画面を表示する。
2 アルバムチャンネルを選ぶ。
「画像の一覧」画面が表示されます。
保存した画像は、一覧の中に表示されます。
“ メモリースティック ”に保存した画像を見るには **[切換え]** を選んで「 画像の一覧」画面を表示します。

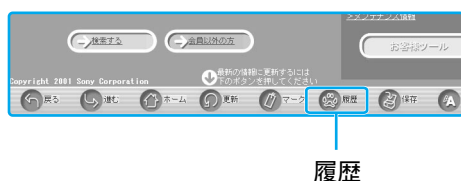
インターネット

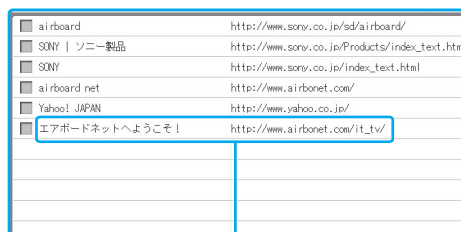
# 過去に表示したホームページを見る［履歴］

過去に表示したホームページのアドレスは履歴として最新の30件までが自動的に記録されます。その履歴の一覧からアドレスを選ぶだけでホームページを見ることができます。ホームページのアドレスを入力する必要がなく便利です。

## 1  を選ぶ。



履歴

「履歴の一覧」画面が表示されます。

## 2 「履歴の一覧」の中から見たいホームページを選ぶ。

ここを選びます。
（チェックボックスを選んでも表示されません。）

選んだホームページが表示されます。

### ちょっと一言

- 「履歴の一覧」画面からホームページのアドレスを選んだ場合、読み込んだ時点のホームページが表示されることがあります。最新のホームページを見たい場合は、画面下部にある［**更新**］を選んでください。
- 履歴が30件を越えた場合、古いものから順に削除されます。
- 「履歴の一覧」画面から選んだホームページの内容が本機に記録されていない場合は、「インターネットに接続しますか？」というメッセージが表示されます（電話回線またはPPPoEで接続している場合のみ）。インターネットに接続すると、最新のページが表示されます。

## 履歴の一覧のアドレスを消去するには

**1** 消去したいホームページの□を選び、✓をつける。
一度に2つ以上のホームページを選ぶときは、それぞれの□に✓をつけます。

**2** 画面下部にある［**消去**］を選ぶ。

# サービスチャンネルを使ってホームページを見る

インデックス画面のサービスチャンネルのアイコンを選ぶと、インターネットへ接続して特定のホームページを表示します。
本機には、出荷時にいくつかのサービスチャンネルが登録されています。

サービスチャンネルの例*：

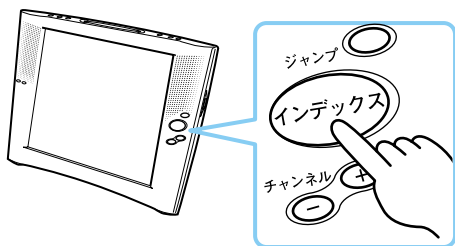
サービスチャンネル

：エアボードネットのコンテンツサービスの登録ページにジャンプします。

：エアボードネットのホームページにあるインターネットナンバーのページにジャンプします。

＊ 実際に本機に登録されているものとは異なる場合があります。

## サービスチャンネルからホームページを表示する

**1** **モニターの右側の[インデックス]ボタンを押す。**

「インデックス」画面が表示されます。

**2** **サービスチャンネルのアイコンを選ぶ。**

タッチペンを使って画面上のサービスチャンネルのアイコンを選びます。

インターネットへ接続して、選んだホームページが表示されます。

**ご注意**

モニター右側の[**チャンネル**+/–]ボタンを押してもサービスチャンネルに切り換えできません。

## サービスチャンネルを追加する

エアボードネットにある「サービスチャンネルダウンロード」画面から、好みのサービスチャンネルをいくつでもダウンロードして、本機に登録できます。
詳しくは、エアボードネットのホームページ（http://www.airbonet.com）をご覧ください。

**ご注意**

サービスチャンネルのダウンロードには、エアボードネットへ入会するか、コンテンツサービスの登録が必要です。



次のページにつづく

## インデックス画面にサービスチャンネルを表示する

本機に登録したサービスチャンネルの中から、最大5個のアイコンをインデックス画面に表示できます。

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3 本体の設定 を選ぶ。**

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

**4 インデックス を選ぶ。**

「設定 本体の設定 インデックス」画面にサービスチャンネルの一覧が表示されます。

アイコン　サービスチャンネルの名称　ホームページのアドレス

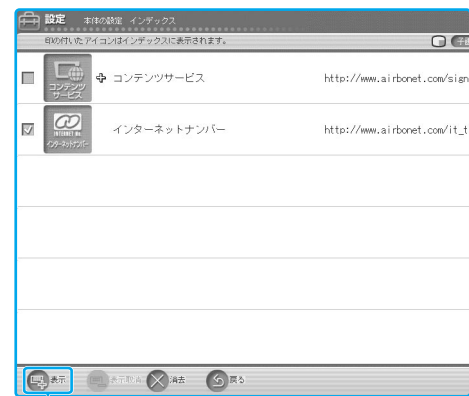
「+」がついているアイコンがインデックス画面に表示されます。

**5 インデックス画面に表示したいアイコンの□を選び、✓をつける。**

ここを選びます。

一度に2つ以上のアイコンを表示させたいときは、それぞれに✓をつけます。

**6 表示 を選ぶ。**

表示

選んだアイコンの後ろに「+」がつきます。

**7 戻る を選ぶ。**

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

**8 終了 を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

インデックス画面を表示して、設定したサービスチャンネルのアイコンが表示されることを確かめてみましょう。

## インデックス画面のサービスチャンネル表示をやめるには

**1** 「設定 本体の設定 インデックス」画面を表示する。(☞112ページ)

**2** 表示をやめたいアイコンのを選んで、をつける。
後ろに「+」がついているサービスチャンネルがインデックス画面に表示されています。
一度に2つ以上のアイコンの表示をやめたいときは、それぞれにをつけます。

**3** [**表示取消**]を選ぶ。
「インデックス表示を取り消してよろしいですか?」というメッセージが表示されます。

**4** [OK]を選ぶ。
アイコンの後ろの「+」が消えます。
これでインデックス画面にアイコンが表示されなくなります。

## サービスチャンネルの登録を消すには

登録したサービスチャンネルをサービスチャンネル一覧から消します。

**ご注意**

いったん登録を消すと、そのサービスチャンネルを再び表示するには、エアボードネットからのダウンロードが必要となります。

**1** 「設定 本体の設定 インデックス」画面を表示する。(☞112ページ)

**2** 消したいアイコンのを選んで、をつける。
一度に2つ以上のアイコンを消したいときは、それぞれにをつけます。

**3** [**消去**]を選ぶ。
「チェックした項目を消去しますか?」というメッセージが表示されます。

**4** [OK]を選ぶ。
選んだサービスチャンネルが一覧から消えます。

# 過去に表示したホームページをキャッシュから消去する

表示したホームページの内容は、いったん本機の中に取り込まれ、回線を接続しなくても表示することができます。これを「キャッシュ」といいます。
アドレスを入力したりマークや履歴を選んだりしてホームページを表示させるとき、そのホームページがキャッシュされていれば、まず画面にキャッシュの内容が表示されます。
**[更新]**を選ぶと、ホームページの最新の内容が読み込まれます。
キャッシュの中身は、一定量以上になると日付の古いものから順に自動的に消されますが、以下の操作ですべてのキャッシュを消去できます。

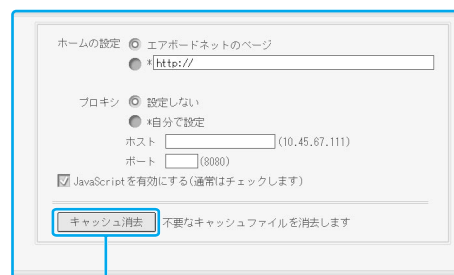
**1** **「インデックス」画面を表示する。**

**2** 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** インターネット **を選ぶ。**

「設定 インターネット」画面が表示されます。

**4** キャッシュ消去 **を選ぶ。**

キャッシュ消去

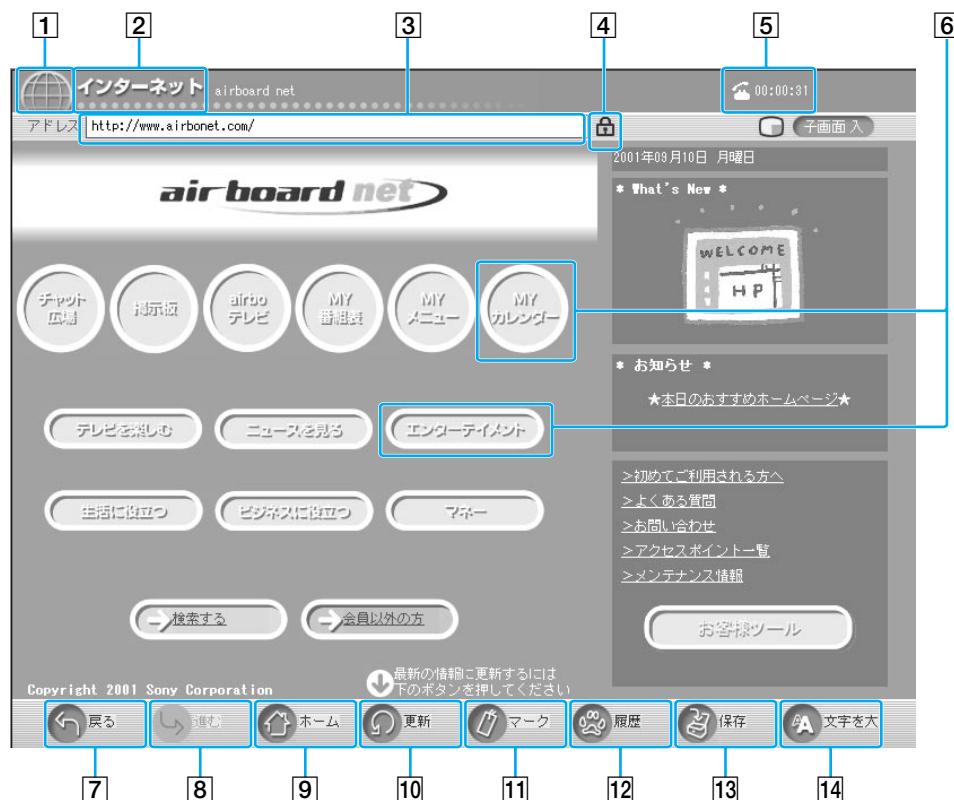
「OK」を選ぶと「キャッシュを消去し、自動的に電源を入れ直します。「そのままお待ち下さい」というメッセージが表示されます。

**5** OK **を選ぶ。**

自動的にモニターの電源が切れ、再度入ります。この間にキャッシュの内容がすべて、消去されます。

**ご注意**

消去されるキャッシュの量によっては、自動的にモニターの電源が入るまで、しばらく時間がかかることもあります。そのままお待ちください。

# インターネットチャンネル画面の各部の名前

1 **インターネットマーク**
ホームページなどを読み込んでいる（ダウンロードしている）ときは、このマークが動きます。

2 **インターネットチャンネル表示**

3 **アドレス入力欄**（☞98ページ）
現在見ているホームページのアドレスが表示されます。他のホームページを表示させるときは、ここにアドレスを入力します。

4 SSL（☞96ページ）
SSL対応のホームページのとき、このマークが表示されます。

5 **接続中表示**（☞116ページ）
「電話回線」で接続しているときは「00:00:31」が、「LAN回線（PPPoE）」で接続しているときは「接続中」が表示されます。
回線の設定を「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」に設定しているときは何も表示されません。

6 **リンク**（☞97ページ）
リンクを選ぶと、関連するホームページが表示されます。

7 **戻る**
1つ前のページに戻ります。

8 **進む**
次のページに進みます。

9 **ホーム**（☞104ページ）
ホームに登録したホームページを表示します。

10 **更新**（☞104ページ）
現在表示しているアドレスのホームページを読み込んで、最新のホームページを表示します。
（**停止**：ホームページの読み込みをやめます）

11 **マーク**（☞104ページ）
表示しているホームページのアドレスを登録します。また登録されたホームページの一覧を表示します。
よく見るホームページのアドレスを登録しておくと、アドレスを入力する手間が省けて便利です。

12 **履歴**（☞110ページ）
履歴にあるホームページのアドレスの一覧を表示します。

13 **保存**（☞107ページ）
ホームページの画面やホームページ内の画像を保存します。ホームページの画面を保存しておくと、インターネットに接続することなく、保存したページを見ることができます。

14 **文字を大（小）**
画面上の文字の大きさを変えます。

次のページにつづく

## 接続中の画面表示と切断のしかた

インターネットへの接続のしかたによって、接続中の表示と切断のしかたが異なります。

| ネットワークの設定 | 接続中の画面とランプの表示 | | | 切断方法 |
|---|---|---|---|---|
| | モニターの接続表示 | モニターの回線ランプ | ベースステーションの回線ランプ | |
| 「電話回線」 | 00:00:31 表示 | 点灯 | 点灯 | 本機の[**切断**]ボタンを押す |
| 「LAN回線（PPPoE）」 | 接続中 表示 | 点灯 | 点灯 | 本機の[**切断**]ボタンを押す |
| 「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」 | 表示なし | 消灯 | 点灯 | ルーターを使っている場合はルーター側で切断する |
| ISDN回線（ISDNルーター使用）のとき「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」 | 表示なし | 消灯 | 点灯 | ISDNルーター側で切断する（本機の[**切断**]ボタンは使わない） |

### ちょっと一言

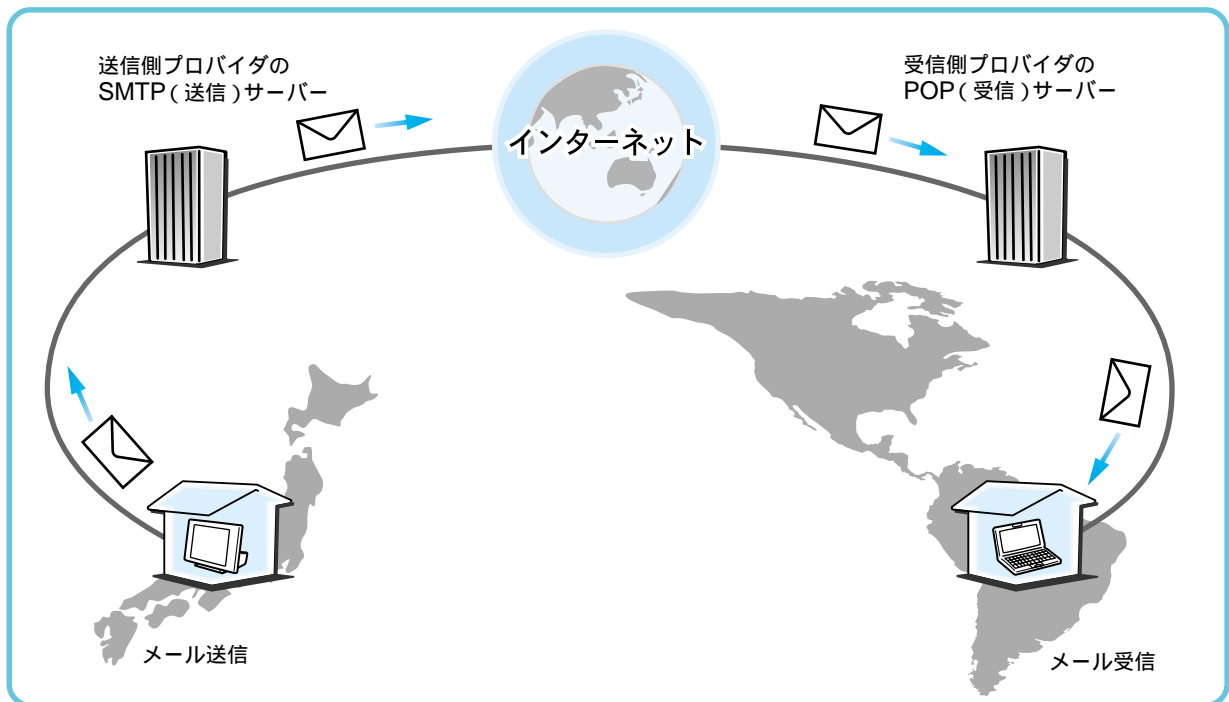
接続開始から接続中になるまでの接続準備状態では、ベースステーションの回線ランプが点滅します。

### ご注意

お使いの回線事業者やプロバイダにより、契約上、同時に1つの端末しかインターネットに接続できないことがあります。詳しくは回線事業者またはプロバイダに確認してください。この場合、パソコンなど別の端末をインターネットに接続したいときは、本機の[**切断**]ボタンを押して、本機のインターネット接続を切断してください。

# メール

# メールって何？

「メール」(電子メール、Eメール)は、ふつうの手紙と異なり、インターネットを使って、紙を使わないで、文章の情報を、相手のコンピュータなどと、やりとりできます。これは、インターネットが世界中のコンピューター(パソコンなど)と網の目のようにつながっているためです。

## メールは、こんなところが便利!

**いつでも読める！**
送られてきたメールは、プロバイダの受信(POP)サーバーに保管されているので、都合のよいときに受信して読めます。

**いつでも送れる！**
送るメールも、相手側プロバイダの受信サーバーに保管されるので、相手の都合を気にせず、好きなときにメールを送れます。

**どこでも一定料金で送れる！**
メールアドレスがある相手ならパソコンでも携帯電話でも、世界中どこへでも、プロバイダのアクセスポイントまでの通信料だけで送れます。（電話回線使用時）

**みんなに一度に送れる！**
一通のメールを複数の相手に同時に送れます。

**画像データやイラストデータも送受信できる！**
ふつうの手紙に写真や絵を同封するように、メールでも、デジタルスチルカメラで撮影した画像や手書きのメモなどの情報を同封(添付)して、送ったり受け取ったりできます。

## メールアドレスって何？

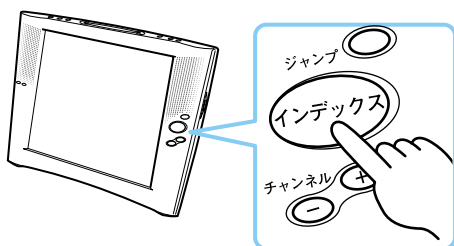
**メールアドレス(アドレス)は、メールの送信先や受信元の住所です。@(アットマーク)を間にはさんだアルファベットと数字記号の組み合わせで表わされます。このアドレスを入力することで、相手にメールを送信できます。**

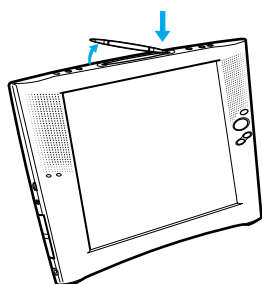
例：ソニー太郎さんのアドレスの例・・・sony-taro@airbonet.com

# メールを書いて送ってみよう！

## メールチャンネルを開いてみよう

メールを書いたり送受信したりするときは、まず、メールチャンネルに切り換えます。

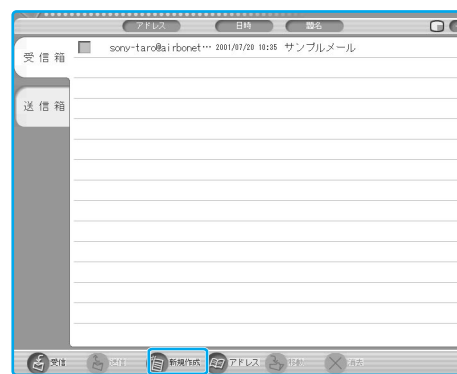
**1** **モニターの右側の[インデックス]ボタンを押す。**

チャンネルの一覧が表示されます。。

**2** **モニター上部からタッチペンを取り出す。**

**3** **メールチャンネルを選ぶ。**

メールチャンネルが表示されます。

**ちょっと一言**

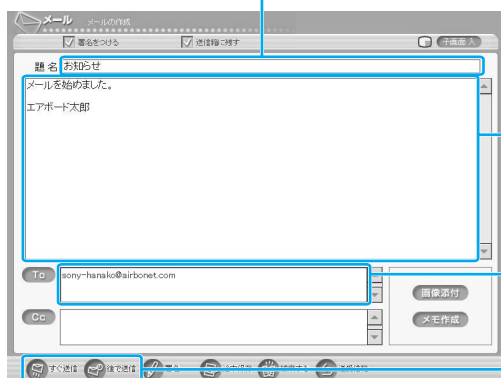
モニター右側の[**チャンネル＋/－**]ボタンをくり返し押しても表示できます。

**4** 新規作成 **を選ぶ。**

新規作成

「メールの作成」画面が表示されます。

**ちょっと一言**

[**新規作成**]ボタンが表示されていないときは、[**送受信箱**]を選ぶと[**新規作成**]ボタンを表示できます。

**メール作成画面の例**

**題名を入力する**（☞120ページ）：用件を短く、分かりやすい言葉で入力します。

**メールを書く**（☞120ページ）：メールの本文を書きます。相手が読みやすいように、適当に改行してください。送り主が誰であるか分かるように、メールの最後に署名を付けることもできます。（☞121ページ）

**宛先を入力する**（☞122ページ）：送り先のメールアドレスを半角英数字で入力します。

**メールを送信する**（☞123ページ）：すぐに送信するか後で送信するかのどちらかを選びます。

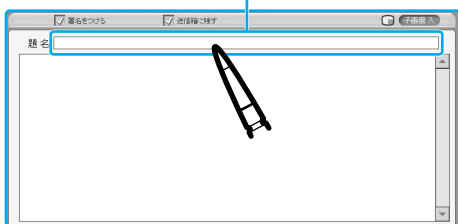
次のページにつづく

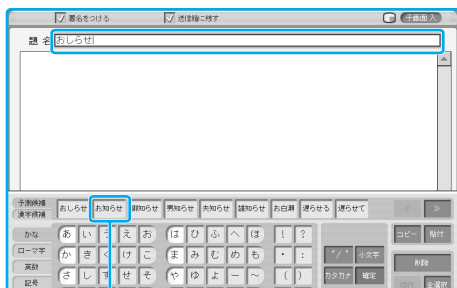
## メールを書いて送ってみよう！（つづき）

### 題名を入力しよう

メールの題名はわかりやすく、短くまとめるのがコツです。ここでは例として、題名を「お知らせ」と入力します。

**1 題名欄を選ぶ。**

ここを選びます。

**2 キーボードで「お」,「し」,「ら」,「せ」と入力する。**

「予測候補」の右横に「お知らせ」と表示されたら、「お知らせ」を選ぶ。

ここを選びます。

**ちょっと一言**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

これで題名が入力できました。
次はメールの本文を書きましょう。

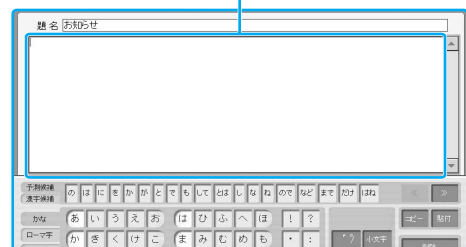
### メールの本文を書こう

画面上の文字は、紙よりも読みづらいものです。メールの本文は、改行を適当に入れ、相手が読みやすいようにします。
ここでは例として、「メールを始めました。」と入力します。

**ちょっと一言**

本機は、文字入力を終了したとき、一定の文字数を超えると、自動的に改行を入れます。

**1 文章入力欄を選ぶ。**

ここを選びます。

**2 キーボードで「メールを始めました。」と入力する。**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

これで文章が入力されました。
続いて、このメールの送信元が誰かわかるように、署名（例：「エアボード太郎」）を付けます。

## 3 [改行]を2回選んでから、キーボードを使って「エアボード太郎」と入力する。

署名は別に保存し、繰り返し使えます。詳しくは（☞下記）をご覧ください。

これで署名ができあがりました。続いて宛先を入力します。

### 署名を保存するには

メールの本文の最後に入れる送信元の名前やメールアドレスなどの情報を「署名」として保存できます。

#### ご注意

「署名」はニックネームや氏名など他の人に知られてもよい情報にしましょう。むやみに、住所や電話番号、会社名などの個人情報を署名として保存したり、メールの最後に付けたりすることはお勧めできません。インターネットでは、お客様の個人情報が誤って流れたりする可能性があるためです。

**1** 画面下部にある **[署名]** を選ぶ。
「署名の編集」画面が表示されます。

**2** 「署名」欄に入力する。

**3** [OK] を選ぶ。
署名が保存されます。

### 保存した署名をメールに付けるには

お買い上げ時は、メールを送信するときに署名が自動的に本文の後に入るように設定されています。署名を付けるには、先に左の「署名を保存するには」で署名を作成してください。
署名を入れないようにするには、「メールの作成」画面上部にある **[署名をつける]** の✓を消してください。

#### ご注意

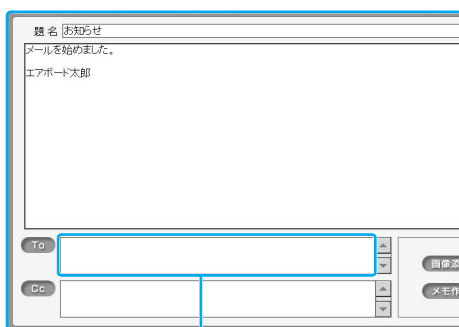
保存した署名をメールに付けるときは、文章中に署名を入力しないでください。二重に署名が入ってしまいます。

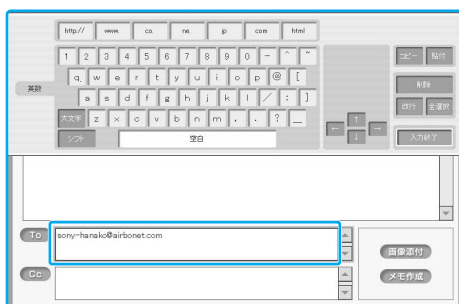


次のページにつづく

## 宛先を入力しよう

メールの題名と本文が書き終わったら、宛先(メールアドレス)を入力します。メールアドレスは、@(アットマーク)を間にはさんだ半角のアルファベットと数字記号の組み合わせです。
手紙の住所と同じように、1文字まちがえても相手に届かないので、正確に入力しましょう。
ここでは、例として、ソニー花子さん（sony-hanako@airbonet.com）に送ります。

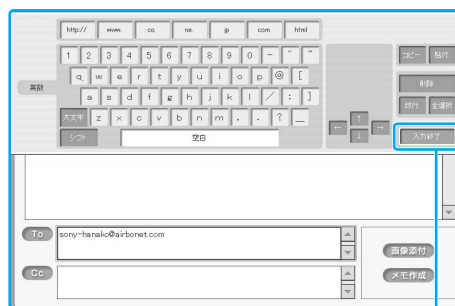
### 1 To（宛先）欄を選ぶ。

ここを選びます。

### 2 キーボードで「sony-hanako@airbonet.com」と入力する。

**ちょっと一言**

宛先は、次の方法でも入力できます。

宛先欄の左の[To]を選び、「宛先の選択」画面の宛名を直接選ぶか、宛名の前の□に✓をつけてから[To]を選びます。

この方法で入力するときは、あらかじめアドレス帳にメールアドレスを登録しておく必要があります。（☞ 132ページ）

### 3 キーボードの 入力終了 を選ぶ。

ここを選びます。

続いてメールの送信をします。

## 宛先を入力するときのコツ

**一通のメールを複数の相手に同時に送りたいときは？**

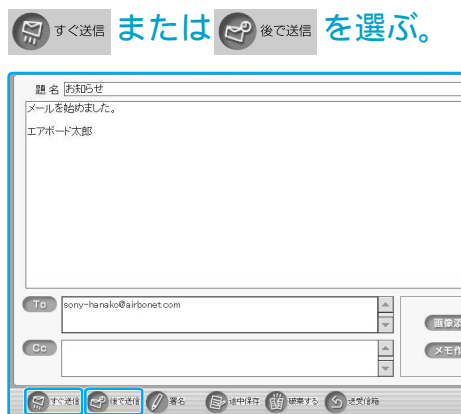
「To」や「Cc」など送信先の欄で、メールアドレスとメールアドレスの間に、半角の「,」(コンマ)を入れます。

**To と Cc の違いって何？**

「To」は宛先で、メールを送りたい相手先です。「Cc」はカーボンコピー(Carbon copy：カーボン紙で複写する）の意味で、メールのコピーを送りたい相手先（「To」以外の人）です。どちらの宛先に入力してもメールは届きますが、「To」と「Cc」のどちらで受け取るかで、相手の受け取りかたが異なることがあるので、うまく使い分けましょう。

## メールを送信しよう

メールは一度送信してしまうと、取り消せません。送信を行う前に、もう一度メールの内容に間違いがないか確認しましょう。

### [すぐ送信] または [後で送信] を選ぶ。

すぐ送信　後で送信

**[すぐ送信]を選ぶと**
選んだ瞬間に送信を始めます。

**[後で送信]を選ぶと**
一度送信箱に保存され、送信箱のメールの左端に と表示されます。次に[**すぐ送信**]や受信箱、送信箱、整理箱の[**送信**]を選んだときに送信されます。また、メールの自動送受信が設定されているときにも、設定時間になると送信されます。

**ご注意**

メールアドレスを入力しないと、[**すぐ送信**] や [**後で送信**] は選べません。

**ちょっと一言**

**送信箱や受信箱を表示するには**

画面下部の [**送受信箱**] を選びます。その後、[**送信箱**] タブを選ぶと送信箱が、[**受信箱**] タブを選ぶと受信箱が表示されます。

**送信箱や受信箱のリストの並び順を変えるには（ソート）**

| | |
|---|---|
| アドレス | メールアドレスがABC順に並びます。 |
| 日時 | 日付の新しい順に並びます。 |
| 題名 | アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字順に並びます。 |

### 送信箱にある［後で送信］に指定されたメールをすべて送信するには

画面下部にある［**送信**］を選ぶ。

### 送信箱からメールを消去するには

**1** 消去したいメールの□（チェックボックス）を選び、✓（チェックマーク）をつける。

**2** ［**消去**］を選ぶ。

**ちょっと一言**

送信したメールは送信箱に残るように設定されています。「メールの作成」画面上部の [**送信箱に残す**] のチェックマークを消してから送信すると、送信箱に残らずに消去されます。

### メールの送信が失敗したときは

送信箱のメールの左端に が表示され、以下のときに送られます。

- 次にメール作成画面で［**すぐ送信**］を選んだとき
- 送信箱で［**送信**］を選んだとき
- 自動送受信が設定されていて、設定時間になったとき

**ご注意**

メールが送信されるとき、[To] にメールアドレスが正しく入力されていないメールがあると、エラーメッセージが表示され、送信されません。また、複数のメールを送信するときに、メールアドレスが正しく入力されていないメールが送信箱のリストの途中にあると、それ以降のメールは送信されません。この場合は、送信箱を開き、送信されなかったメールのアドレスを確認し、正しく入力してください。

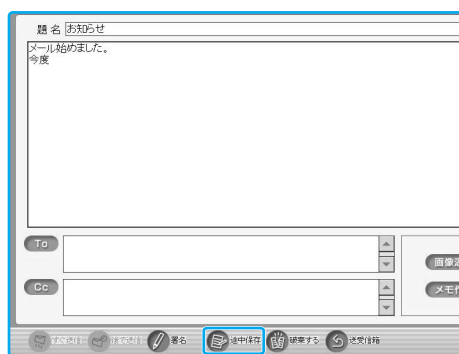
メール

次のページにつづく

# メールを書いて送ってみよう！（つづき）

## 作成途中のメールを保存する[途中保存]

メール作成を中断して、保存できます。

**途中保存 を選ぶ。**

途中保存

送信箱が表示され、途中保存したメールの左端に が表示されます。

**ちょっと一言**

「送受信箱」を選んでも途中保存されます。

**途中保存したメールを再び作成するには**

再び作成するメールを直接選んで、文章を編集します。

元の文章に戻すには、画面下部にある［**やめる**］を選んでください。

**作成途中のメールや途中保存したメールを消すには**

- **メール作成中は**
  作成途中のメール画面下部にある［**破棄する**］を選ぶ。
- **送信箱からは**
  送信箱リストの中から消したいメールの□を選んで✓をつけ、［**消去**］を選ぶ。

## メールで画像を送ってみよう[画像添付]

ふつうの手紙に写真や絵を同封するように、メールでも、デジタルスチルカメラで撮影した画像を同封(添付)して、送れます。

**送りたい画像は、本機の「アルバム」に保存されている画像から選べます。**

**ご注意**

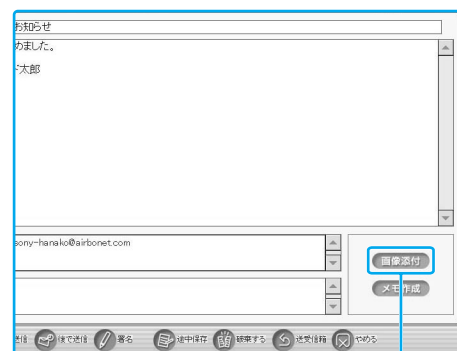
1 つのメールに添付できる画像は10枚までです。また、メールの本文と画像の合計サイズが4 MBを超えると送信できません。画像のサイズはアルバムの［**詳細**］で確認できます。（☞144ページ）

**ちょっと一言**

“ メモリースティック ”の画像をメールに添付するには、181ページをご覧ください。

**1 メールの題名と本文、宛先を入力する。**

「メールチャンネルを開いてみよう」から「宛先を入力しよう」（☞119〜122ページ）をご覧ください。

**2 画像添付 を選ぶ。**

画像添付

「画像の選択」画面が表示されます。

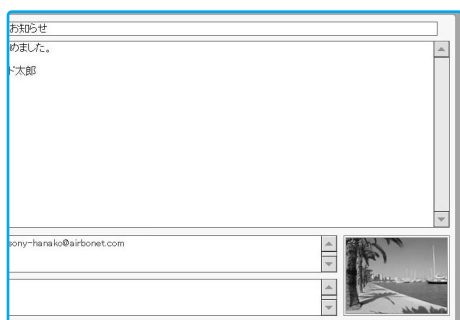
## 3 送りたい画像の□に✓をつける。

今回は「sea side 」という名前の画像を送ってみましょう。

ここに✓をつけます。

2枚以上の画像を添付したいときは、添付したい画像の□にすべて✓をつけてください。

## 4 OK を選ぶ。

画像が選択されると、メール作成画面に選んだ画像が表示されます。

### ちょっと一言

複数の画像を添付するときは、最初に選んだ画像がメール作成画面に表示されます。

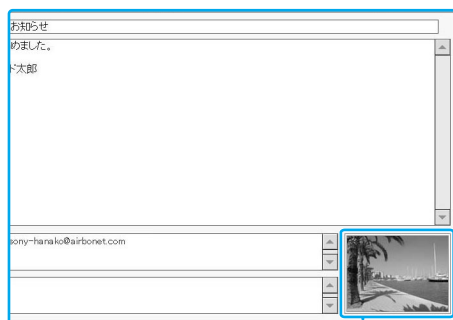
## 5 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。

送信のしかたがわからない場合は「メールを送信しよう」(☞123ページ) をご覧ください。

### ご注意

- メールに添付できる画像のみ表示されます。
- 受信先のメールに表示される名前は、画像の名前ではなくファイル名です。
- 送受信するメールに画像ファイルが添付されている場合、画像ファイルのサイズにより、送受信にしばらく時間がかかることがあります。

### 送る画像を確認するには

手順4で画像を選ぶと、画像が拡大されます。

ここを選びます。

送る画像が複数の場合は、**[次画像]** を選ぶと、✓をつけた画像が次々と確認できます。メールの作成画面に戻るには、**[戻る]** を選んでください。



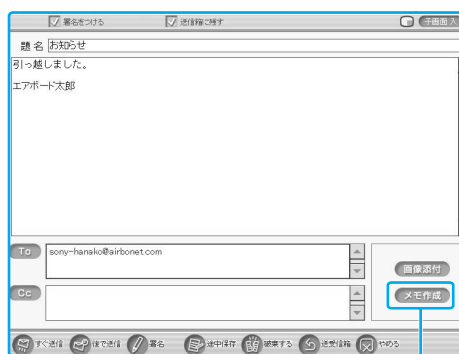
次のページにつづく

## 手書きのメールも送ってみよう [メモ作成]

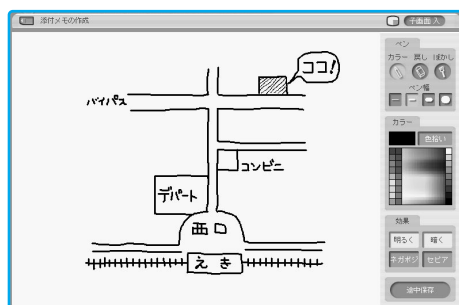
写真などの画像だけではなく、手書きの絵や文字もメールで送れます。

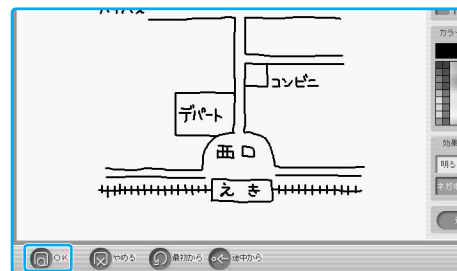
### 1 メールの題名と本文、宛先を入力する。

「メールチャンネルを開いてみよう」から「宛先を入力してみよう」（119～122ページ）をご覧ください。

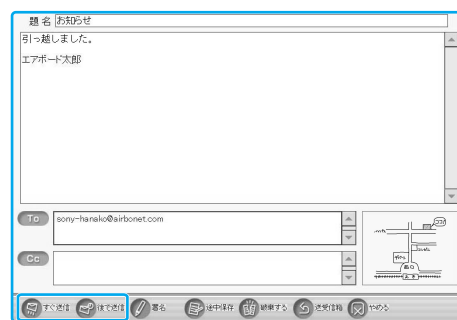
### 2 メモ作成 を選ぶ。

メモ作成

「添付メモの作成」画面が表示されます。

### 3 絵や文字を描く。

絵の描きかたについては、「お絵かきパレットの使いかた」（☞147ページ）をご覧ください。

### 4 OK を選ぶ。

OK

「メールの作成」画面に描いた絵がメモ作成欄に表示されます。

### 5 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。

[すぐ送信] か [後で送信] を選ぶ

詳しくは「メールを送信しよう」（☞ 123ページ）をご覧ください。

### ご注意

- 「メールの作成」画面からは、「画像添付」と「メモ作成」のどちらか一方しかできません。
- 「メールの作成」画面から「メモ作成」したときは、そのとき作成したメモしかメールに添付できません。複数のメモを一度に添付したいときは、アルバムチャンネルの「メールで画像を送る」（☞148ページ）を行ってください。
- 「メモ作成」した画像をアルバムに保存したいときは、メール送信後に、送信済メールを開き、画像を拡大して**[保存]**を選びます。

# 届いたメールを見てみよう！

## メールを受信しよう [受信]

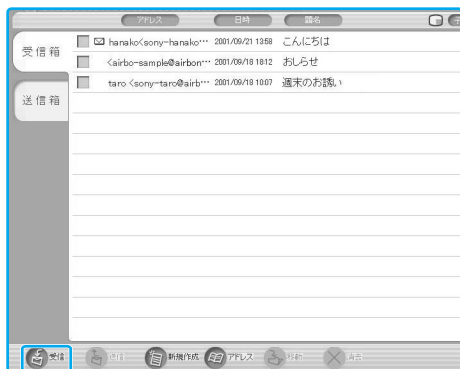
送られてきたメールがあるかどうか受信箱で確認しましょう。

**ご注意**

本機は、携帯電話のように、新着メールを自動的に通知しませんが、モニターの電源がスタンバイのときに、設定した時間に新着メールがあるかどうかチェックする「自動送受信」機能があります。(☞137ページ)

### 1 [受信] を選ぶ。

受信箱の画面に切り換わり、新たに届いたメールには、受信箱のメールの横に ✉ (未開封) マークがつきます。

受信

**ご注意**

モニターの左側の ✉ ランプは、メールを受信しても点灯しません。このランプは、メール自動送受信用です。

### 2 ✉ (未開封) マークのついているメールを選ぶ。

未開封マーク

ここを選びます。

メールの内容が表示されます。

**ちょっと一言**

一度メールの内容を表示した後は、✉ は消え、受信箱のメールの文字の色が青から黒になります。

**ご注意**

- 受信メールに画像などの添付ファイルがある場合、受信にしばらく時間がかかることがあります。
- 本機で表示できない添付書類が送られてきたときは、リストの横に📎が表示されます。メールをパソコンなどに転送し、添付書類をご覧ください。

### 受信したメールを消去するには

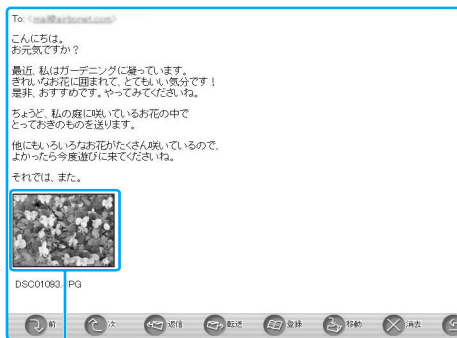
消去したいメールを表示し、画面下部にある **[消去]** を選ぶ。または、受信箱を表示し、消去したいメールの□を選んで✓をつけてから、**[消去]** を選ぶ。

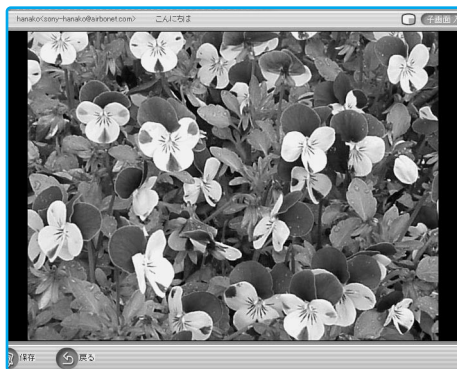
### 受信したメールの文中にホームページのアドレスが青色で表示されているときは

ホームページのアドレスを選ぶと、インターネットチャンネルに切り換わり、そのホームページが表示されます。

# 届いたメールを見てみよう！（つづき）

## メールで送られてきた画像を拡大する

メールに添付された画像を選ぶと拡大表示されます。**[戻る]**を選ぶと、元の画面に戻ります。

ここを選びます。

拡大

### ご注意

MPEG１形式の動画を添付したメールを受け取ると、1コマ目の画像のみがメール画面に表示されます。メールチャンネルでは動画は再生できません。画像を選んで拡大し、**[保存]**を選んでアルバムに動画を保存してください。その後、アルバムチャンネルから動画再生してください。（☞149ページ）

## メールで送られてきた画像をアルバムに保存する

**1** メールに添付された画像を選んで拡大表示する。

**2** **[保存]**を選ぶ。
「本体のアルバムに保存しています。」と表示され、アルバムに保存されます。

## メールで送られてきた画像を“ メモリースティック ”のアルバムに保存する

**1** 本機に“ メモリースティック ”を挿入する。

**2** メールに添付された画像を選んで拡大表示する。

**3** **[保存]**を選ぶ。
「どちらのアルバムに保存しますか？」と表示されます。

**4** 「メモリースティック」を選び、[OK]を選ぶ。
“ メモリースティック ”のアルバムに保存されます。

## 返事を書いてみよう [返信]

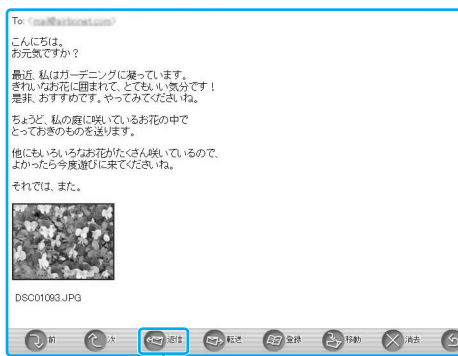
先ほど受信したメールに返事を書いてみましょう。受信したメールの文面を引用して返事を書けます。

### 1 受信箱を表示する。

### 2 返信したいメールを選ぶ。

ここを選びます。

返信したいメールの内容が表示されます。

### 3 返信 を選ぶ。

返信

返信用の「メールの作成」画面が表示されます。

返信先のメールアドレスがすでに自動的に入力された「メールの作成」画面が表示されます。

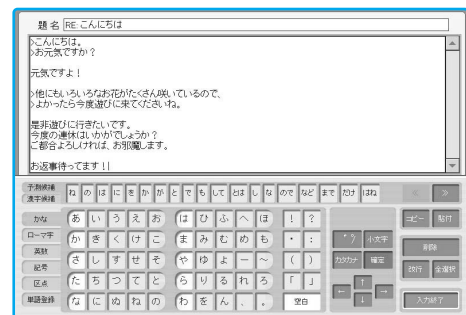
題名の文頭には返信を表す「RE:」が、文面の行頭には「>」(引用符)が自動的につきます。

返信に必要な部分だけを残しながら返事を書きましょう。

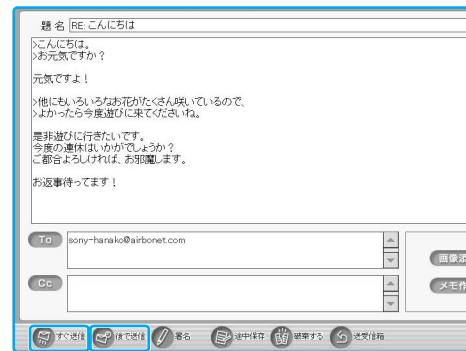
**「どのように返信しますか?」というメッセージが表示されたときは**

返信するメールの宛先が複数の場合表示されます。「全員に返信してみよう」(☞130ページ)の手順4の操作を行ってください。

### 4 返信する文章を入れる。

キーボードで入力してください。

### 5 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。

すぐ送信　後で送信

メール

## 全員に返信してみよう

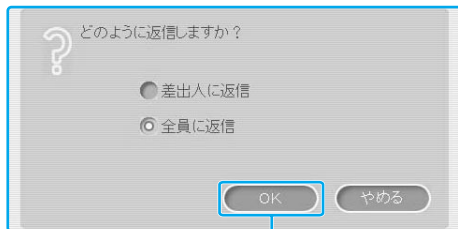
メールは、宛先が自分の他、複数の人にも送られる場合があります。メールが送られた全員に、一度に返信できます。

**1 受信箱を表示する。**

**2 返事を書きたいメールを選ぶ。**

**3 返信 を選ぶ。**

メール宛先が複数の場合、「どのように返信しますか？」というメッセージが表示されます。

**4 [全員に返信]を選んで OK を選ぶ。**

OK

全員に返信用の「メールの作成」画面が表示されます。

「To」には元のメールの差出人と、元のメールで「To」に入っていた方のメールアドレスがすべて自動的に入力されます。

「Cc」には受信したメールの「Cc」に入っていた方のメールアドレスがすべて自動的に入力されます。

題名の文頭には返信を表す「RE:」が、文面の行頭には「＞」が自動的に付きます。返信に必要な部分だけを残しながら返事を書きましょう。

**受信したメール**
To：自分、Aさん、Bさん
Cc：Dさん
差出人：Zさん

全員に返信

**返信するメール**
To：Zさん、Aさん、Bさん
Cc：Dさん
差出人：自分

**元のメールの差出人にだけ返信したいときは**
**[全員に返信]**の代わりに、**[差出人に返信]**を選びます。

**特定の方には返信したくないときは**
**[全員に返信]**を選んだ後、「To」または「Cc」の欄で返信したくない方のメールアドレスをなぞって黒く反転させ、キーボードの**[削除]**を選ぶ。

**さらに返信したい方を追加したいときは**
[To]や[Cc]に追加したい方のメールアドレスを入力します。

**5 返信する文章を入力する。**

キーボードで入力してください。

**6 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。**

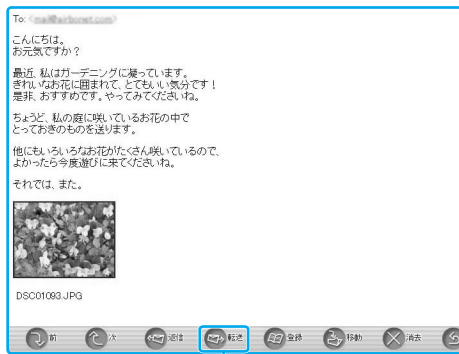
## 届いたメールを他の人に送ってみよう [転送]

届いたメールを他の人にも読んで欲しいときは、メールを「転送」します。
「転送」とは、ある人から届いたメールを他の人に送ることをいいます。

### 1 受信箱を表示する。

### 2 転送したいメールを選ぶ。

ここを選びます。

### 3 転送 を選ぶ。

転送

転送用の「メールの作成」画面が表示されます。
元のメールの受信情報とメールの文面が自動的に入力されます。題名の文頭には転送を表す「FW:」が自動的に付きます。文章を付け加えて転送したい場合は、キーボードで文章を入力します。

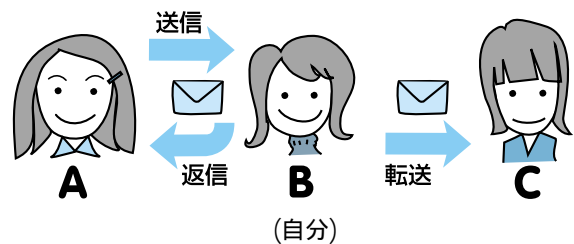
### 4 宛先を入力する。

ここに入力します。

### 5 すぐ送信 または 後で送信 を選んで送信する。

#### ちょっと一言

**返信・転送について**

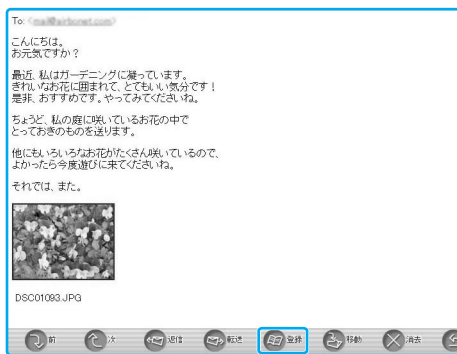
「返信」とは、Aさんから自分に送られたメールに対し、自分がAさんに返事を書くことです。
「転送」とは、Aさんから自分に送られたメールを、自分がCさんにそのまま送ることです。

# アドレス帳を使う

あらかじめメールアドレスをアドレス帳に登録しておけば、メール作成時にアドレス帳から選んで自動的に入力できるので、簡単で正確です。

## アドレスを登録する [登録]

**1 受信箱または送信箱を表示する。**

**2 アドレス帳に登録したいメールアドレスの入っている送信済みメール、または受信メールを表示する。**

**3 登録 を選ぶ。**

登録

「アドレス帳」画面が表示され、メールアドレス入力欄にメールアドレスが入力されます。

**ちょっと一言**

受信メールを表示しているときは、差出人のメールアドレスが登録されます。

送信済みメールを表示しているときは、「To」と「Cc」に表示されているメールアドレスがすべてアドレス帳に登録されます。グループをまとめて登録したいときに便利です。

**4 ニックネーム入力欄にメールアドレスのニックネームを入力する。**

「ニックネーム」欄を選んで、キーボードで入力します。

**ちょっと一言**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

**ニックネームって、どう付ければいい？**

例えば、sony-hanako@airbonet.comというメールアドレスのニックネームを「はなこ」にすれば、アドレス帳に「はなこ」と表示されます。相手のメールには表示されませんので、本名でもニックネーム(あだ名)でも、あなたが識別しやすい名前にしましょう。

ニックネーム入力欄

**5 OK を選ぶ。**

OK

手順1で表示したメールの画面に戻ります。

**ちょっと一言**

アドレス帳のリストでは、アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字順にニックネームが並びます。

### メールアドレスを直接アドレス帳に入力して登録するには

**1** **［アドレス］**を選ぶ。
「アドレス帳」画面が表示されます。

**2** **［新規作成］**を選ぶ。
「アドレスの登録」画面が表示されます。

**3** 「ニックネーム」欄にメールアドレスのニックネームを、キーボードで入力する。

**ちょっと一言**
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。

**4** メールアドレス入力欄にメールアドレスを入力する。
同じニックネームに複数のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスとメールアドレスの間にコンマ（,）を入れて区切ります。

**ちょっと一言**
入力のしかたについて詳しくは、「英数字を入力してみよう」（☞161ページ）をご覧ください。

**5** ［OK］を選ぶ。

### アドレス帳を変更するには

**1** **［アドレス］**を選ぶ。
「アドレス帳」画面が表示されます。

**2** 内容を変更したいメールアドレスを選ぶかメールアドレスの□を選んで✓をつけ、**［編集］**を選ぶ。
「アドレスの編集」画面が表示されます。

**3** キーボードを使って項目を変更する。

**4** ［OK］を選ぶ。

### アドレス帳からメールアドレスを消すには

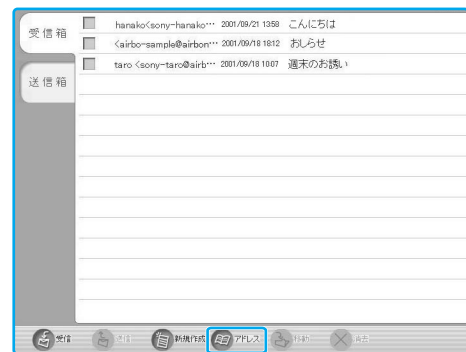
**1** **［アドレス］**を選んで、「アドレス帳」画面を表示する。

**2** 消去したいメールアドレスの□を選んで✓をつける。

**3** **［消去］**を選ぶ。

## アドレス帳から登録した送り先を選ぶ［アドレス］

**1** **受信箱または送信箱を表示する。**

**2** **アドレス を選ぶ。**

アドレス

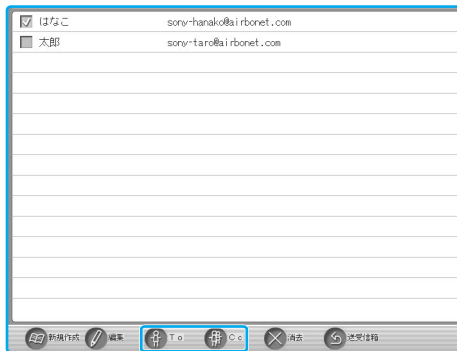
「アドレス帳」画面が表示されます。

**3** **使いたいメールアドレスの□を選んで✓をつける。**

ここに✓をつけます。

メール

次のページにつづく

## アドレス帳を使う（つづき）

**4** To または Cc を選ぶ。

ToまたはCc

メールアドレスが自動的に入力された「メールの作成」画面が表示されます。

メールを作成してください。

**ちょっと一言**

**メールの新規作成画面からアドレス帳を利用するには**

宛先覧左の To や Cc を選び「宛名の選択」画面で宛名の前の□に✓をつけてから To または Cc を選びます。

# メールチャンネルのパスワードを設定する

本機のメールチャンネルを他人に見られないように、パスワード（暗証番号）を設定します。

**ご注意**

**入力したパスワードは忘れないでください。**

パスワードを忘れるとメールチャンネルが使えなくなり、修理が必要です。ご注意ください。

**ちょっと一言**

[ミーメール]用“メモリースティック”のメールチャンネルにもパスワードを設定できます。パスワードを設定したい“メモリースティック”を本機に挿入してから、以下の手順を行ってください。

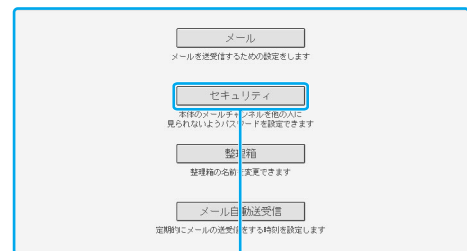
**1** モニターの右側の[インデックス]ボタンを押して「インデックス」画面を表示する。

**2** 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** メール を選ぶ。

「設定 メール」画面が表示されます。

**4** セキュリティ を選ぶ。

セキュリティ

「セキュリティ」画面が表示されます。

## 5 OK を選ぶ。

「セキュリティ　パスワード登録」画面が表示されます。

## 6 パスワードを入力する。

ここに入力します。

キーボードで半角英数字を8文字以内で入力します。入力した文字は＊で表示されます。

## 7 確認のため、もう一度同じパスワードを入力する。

ここに入力します。

## 8 OK を選ぶ。

OK

「パスワード設定」画面が表示されます。

## 9 「メールチャンネルを見るときにパスワードを入力する」に ✓ がついていることを確認してから、OK を選ぶ。

ここを確認します。

OK

「設定 メール」画面に戻ります。

## 10 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

次のページにつづく

メール

## メールチャンネルのパスワードを変更するには

**1** 「インデックス」画面を表示する。

**2** **[設定]** を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** **[メール]** を選ぶ。
「設定 メール」画面が表示されます。

**4** **[セキュリティ]** を選ぶ。
「設定 セキュリティ」画面が表示されます。

**5** 変更前のパスワードを入力する。

**6** [OK] を選ぶ。
「パスワード設定」画面が表示されます。

**7** **[変更]** を選ぶ。
「パスワード変更」画面が表示されます。

**8** 変更前のパスワードと、新しいパスワードをキーボードで半角英数字8文字以内で入力する。

変更前のパスワードを入力します。

新しいパスワードを入力します。

### ご注意

**入力したパスワードは忘れないでください。**パスワードを忘れるとメールチャンネルが使えなくなり、修理が必要ですのでご注意ください。

**9** [OK] を選ぶ。
「パスワード設定」画面が表示されます。

**10** 「メールチャンネルを見るときにパスワードを入力する」がチェックされていることを確認してから、[OK] を選ぶ。

ここを確認します。

「設定 メール」画面に戻ります。

**11** **[終了]** を選ぶ

## パスワードを消去するには

「メールチャンネルのパスワードを変更するには」の手順7（☞左記）で **[消去]** を選ぶ。

# メールを自動で送受信できるようにする

モニターの電源スタンバイ時に1日最高3回まで自動的に電子メールを送受信できます。

**ご注意**

メールの自動送受信は、モニターのスタンバイランプが赤く点灯しているときのみ行われます。モニターのバッテリーの残量がなくなったとき、またはモニターが「圏外」の場所にあるときはメールの自動送受信は行われません。自動送受信するときは、必ずモニターをクレードルまたはベースステーションに戻してください。

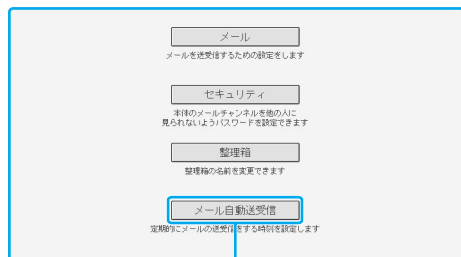
## 1 モニターの右側の［インデックス］ボタンを押して、「インデックス」画面を表示する。

## 2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

## 3 メール を選ぶ。

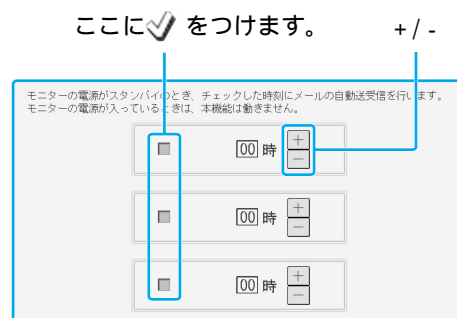
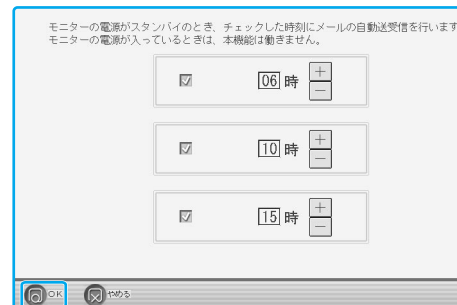
「設定 メール」画面が表示されます。

## 4 メール自動送受信 を選ぶ。

「メール自動送受信」画面が表示されます。

## 5 ＋ または － を使って時刻を設定してから、時刻の左側の □ を選んで、✓ をつける。

3つの時刻まで設定できます。

**ご注意**

✓ をつけないと、メールの自動送受信はできません。

## 6 OK を選ぶ。

「設定 メール」画面に戻ります。

## 7 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

モニターの電源を切ると、スタンバイランプが赤く点灯し、メールの自動送受信設定が有効になります。

電話回線またはPPPoEで接続しているときは、メールの自動送受信中、モニター上部の回線ランプが緑色に点灯します。新着メールがあるときは、モニター左側にある メール自動送受信ランプが赤く点灯します。

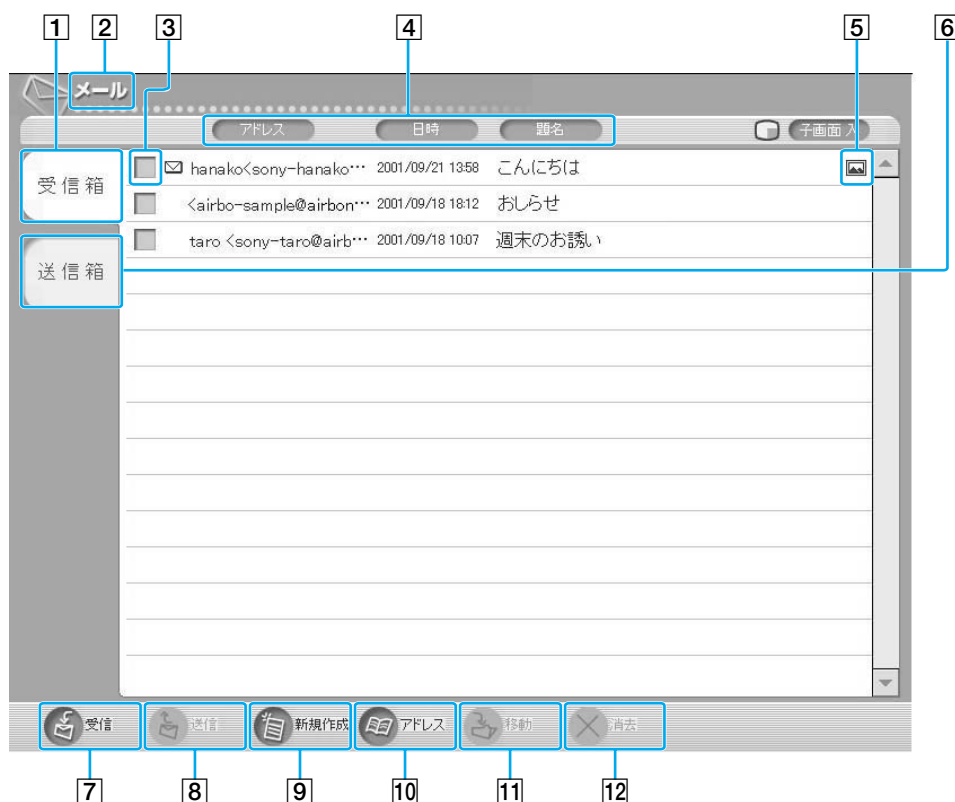
### 自動送受信設定をやめるには

「メールを自動で送受信できるようにする」の手順5で、設定をやめたい時刻の を消してから［OK］を選ぶ。

**ご注意**

- 以下のとき、メールの自動送受信は働きません。
  - 本機にテレホンコードやイーサネットケーブルがつながっていない。
  - モニターのバッテリーの残量がなくなっている。
  - ベースステーションの電源が切れている。
  - ベースステーションの電源コードが抜かれている。
  - モデムやルーターの電源が切れている。
  - ［ミーメール］用“メモリースティック”が挿入されている。
  - モニターが圏外にある。
- メール自動送受信中にモニター上部にある**［電源］**ボタンを押したときは、メッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。
- 通信エラーやアクセスポイントが混雑していて自動送受信ができなかったときは、最大2回、10分おきに再度メールの自動送受信を行います。自動送受信できなかったときは、モニターの電源を入れたときに画面上部に「メール自動送受信失敗」と表示されます。
  音量を調節したり、“メモリースティック”を入れたりすると「メール自動送受信失敗」の表示は消えます。

# メールチャンネル画面の各部の名前

## 送受信箱画面

1 **受信箱タブ**（☞127ページ）
受信メール（送られてきたメール）の一覧を表示します

2 **メールチャンネル表示**

3 □（**チェックボックス**）
選ぶたびに✓がついたり消えたりします。

4 **ソートボタン**（☞123ページ）
アドレス、日時または題名の各項目ごとにメールを並び変えられます（ソート）。

5 **添付画像ファイル**（☞124ページ）

6 **送信箱タブ**
送信済みメール・送信待ちメール・途中保存メールの一覧を表示します。

7 **受信**（☞127ページ）
メールを受信します。

8 **送信**（☞123ページ）
送信待ちのメールを送信します。

9 **新規作成**（☞119ページ）
メールを作成します。

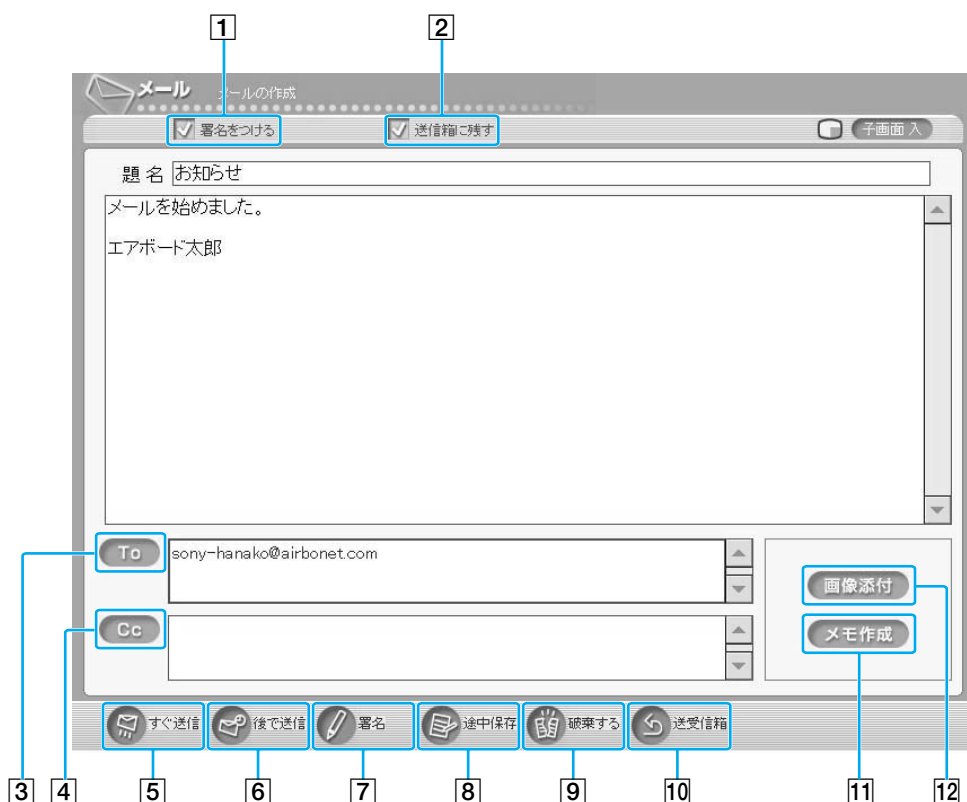
10 **アドレス**（☞133ページ）
アドレス帳を表示します。

11 **移動**（☞180ページ）
✓をつけたメールを整理箱などへ移動します。

12 **消去**（☞123、124、127ページ）
□に✓をつけたメールとそのメールに添付されているファイルを消去します。

メール

# メールチャンネル画面の各部の名前（つづき）

## メール作成画面

1 **署名をつける**（☞121ページ）
送信するメールに、登録した署名を自動的につけます。

2 **送信箱に残す**（☞123ページ）
送信済みのメールを送信箱に残します。

3 To（☞122ページ）
宛名を選ぶためにアドレス帳を表示します。

4 Cc（☞122ページ）
宛名を選ぶためにアドレス帳を表示します。

5 **すぐ送信**（☞123ページ）
作成したメールをすぐ送信します。

6 **後で送信**（☞123ページ）
作成したメールを一度送信箱に保存します。

7 **署名**（☞121ページ）
署名を編集します。

8 **途中保存**（☞124ページ）
作成途中のメールを送信箱に保存します。

9 **破棄する**（☞124ページ）
表示しているメールを破棄します。

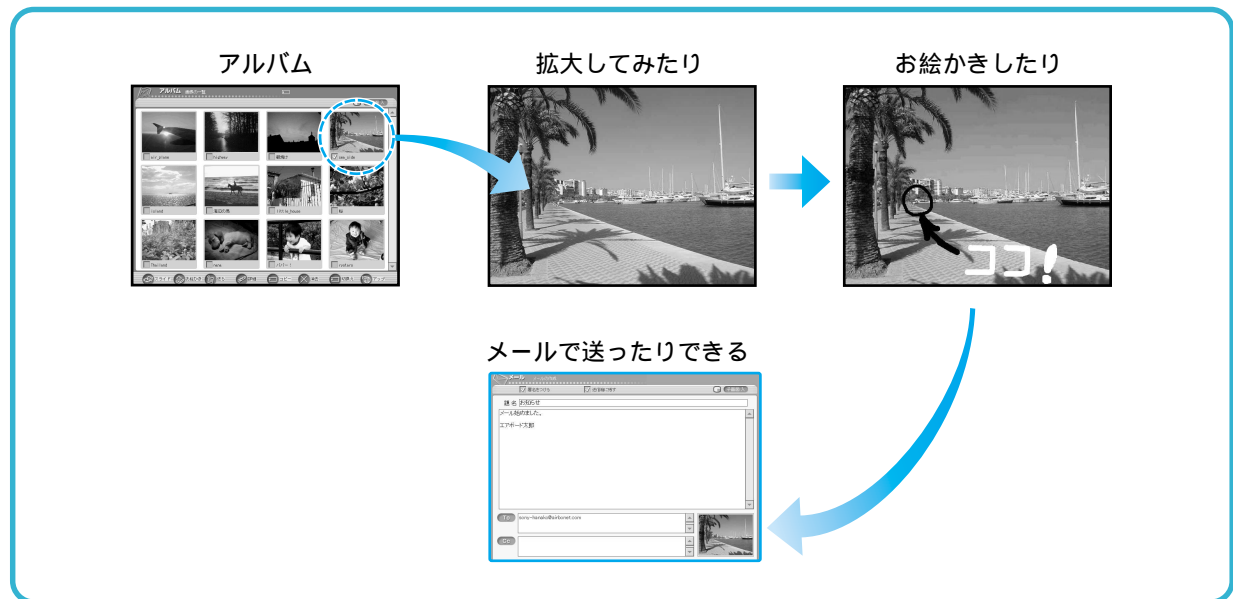
10 **送受信箱**（☞139ページ）
送信箱、受信箱、整理箱を表示します。

11 **メモ作成**（☞126ページ）
手書きの絵や文字を作成してメールに添付します。

12 **画像添付**（☞124ページ）
メールに画像を添付します。

# アルバム

# アルバムって何？

本機のアルバムでは、メールで送られてきた画像やデジタルカメラで撮った写真、インターネットから取り込んだホームページ上の画像、テレビの画像などをまとめて保存できます。アルバムの画像にお絵かきしてメールに添付するなど楽しい使いかたができます。

## アルバムでできること

- 本機や別売りの"メモリースティック"に、以下の画像をまとめて保存管理します。
  －保存したテレビの静止画像（☞89ページ）
  －インターネットから取り込んだホームページ上の画像（☞109ページ）
  －メールで送られてきた画像（☞128ページ）
  －デジタルカメラで撮影した画像、動画（☞144ページ）
- 保存されている画像を一覧表示できます。（☞143ページ）
- 1枚の画像を拡大表示できます。（☞143ページ）
- 保存されている画像の上から「お絵かき」できます。（☞146ページ）
- 画像を自動的に次々と切り換えて見るスライドショーができます。（☞148ページ）
- 保存されている動画を見られます。（☞149ページ）
- 保存されている画像をメールに添付して送れます。（☞148ページ）
- 保存されている画像をインターネット上にアップロードできます。（☞150ページ）

## お絵かきとは？

本機に内蔵の「お絵かき」機能で、アルバムに保存されている画像に絵や文字などを描き加えたり、白紙画面に絵や文字を描いたりできます。（☞146ページ）
お絵かきした画像は元の画像とは別に保存されます。

## インターネットのアルバムサービスとは？

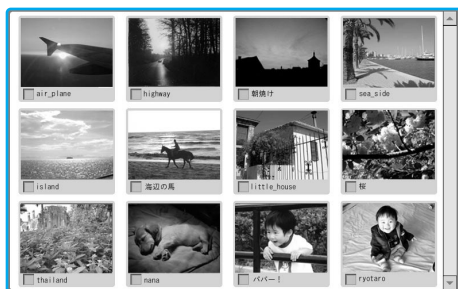
本機やメモリースティックに保存されている画像をアップロードして、インターネット上にあるデータの倉庫（サーバー）に保存できます。アップロードした画像はインターネット上にあり、どこからでも見ることができるので、家族の写真や旅行の写真を友だちなどに見てもらうときに使える便利なサービスです。（☞150ページ）

# 画像の一覧を表示する

アルバムチャンネルで本機および“メモリースティック”に保存した画像の一覧を表示できます。

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 アルバム を選ぶ。**

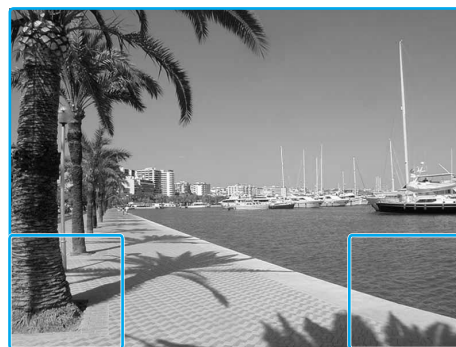
「画像の一覧」画面が表示されます。保存された日時順に、左上から表示されます。

## 拡大画像を見るには

1 「画像の一覧」画面の中から拡大したい画像を直接選ぶ。

画像か名前を選びます。（□は選ばない。）

画像が拡大表示されます。

**ご注意**

- 画像によっては拡大表示に数十秒ほどかかることがありますが、この間、他の操作はできません。
- サイズが小さい画像（800×600ドット未満）は、画面いっぱいに拡大されません。

**左下隅を選ぶと**
1つ前の画像に切り換わります。
最初の画像まで表示されると、最後の画像に戻ります。

**右下隅を選ぶと**
次の画像に切り換わります。
最後の画像まで表示されると、最初の画像に戻ります。

2 拡大表示をやめるには、画像の左右下隅以外の部分に触れる。

「画像の一覧」画面に戻ります。

**ちょっと一言**

**[インデックス]**、**[チャンネル+/–]**、**[ジャンプ]** ボタンを押しても、拡大表示をやめられます。

**ちょっと一言**

画像の□を選んで✓をつけてから **[詳細]** を選び、**[拡大表示]** を選んでも画像を拡大表示できます。この場合、拡大された画像の左右下隅以外の部分に触れると「画像の詳細」画面に戻ります。



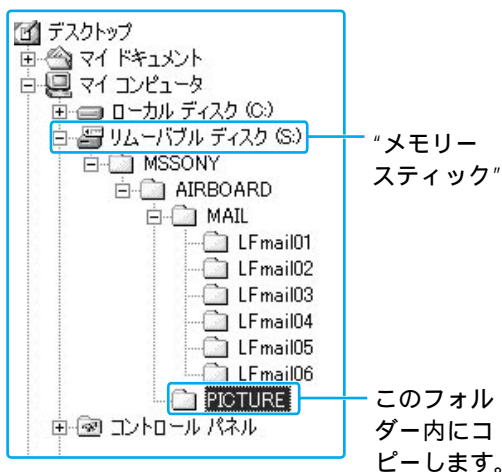
次のページにつづく

## “メモリースティック”の画像を表示するには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入し、**［切換え］**を選ぶ。
「 画像の一覧」画面が表示されます。

**2** 見たい画像を直接選ぶ。
画像が拡大表示されます。
拡大された画像の左右下隅以外の部分に触れると「画像の一覧」画面に戻ります。

### ちょっと一言

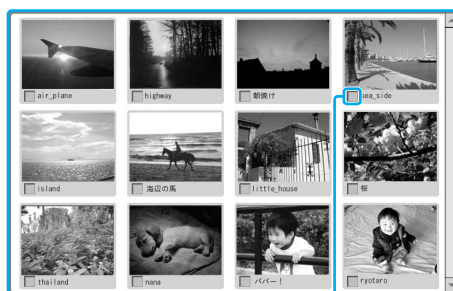
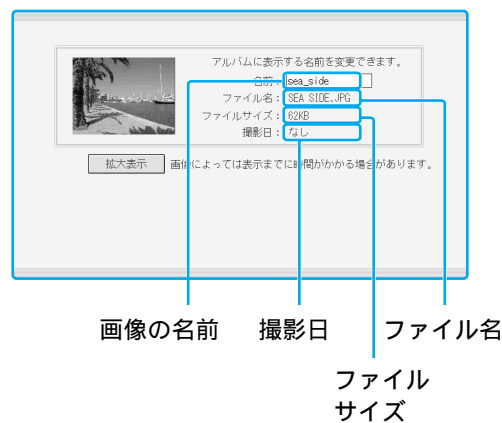
- パソコンで作成した画像を本機のアルバムで表示する場合、画像を“メモリースティック”内の以下のフォルダにコピーしてください。

- “メモリースティック”内に上記フォルダが存在しないときは、パソコンで上記フォルダを作成するか、本機に“メモリースティック”を**一度挿入する**と自動的にフォルダが作成されます。
- 本機のアルバムの画像を“メモリースティック”に保存してパソコンで確認するときも、上記フォルダを参照してください。

### ご注意

- ソニー製デジタルスチルカメラDSC-P5/20/50などのEメールモードで撮影した画像を、本機のアルバムチャンネルで表示すると、同じ画像が2つ表示されますが、これらの画像を拡大表示すると異なった大きさで表示されます。このとき、大きい画像を消去すると、“メモリースティック”をデジタルスチルカメラに戻したときに画像が表示されなくなりますのでご注意ください。
- ファイル名に全角の文字が使われている画像をパソコンから“メモリースティック”にコピーした場合、本機のアルバムチャンネルでは表示できないことがあります。
- 本機では（社）日本電子工業振興会の規格（Design rule for Camera File system）で記録された画像を表示できますが、この規格に対応していないデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900やデジタルスチルカメラDCF-D700/D770などで記録された画像は表示できないことがあります。

## 画像の詳細を表示するには

画像の名前やファイル名、サイズ、撮影日などを表示できます。

**1** 「画像の一覧」画面の中から詳細を表示したい画像の□（チェックボックス）を選び、✓（チェックマーク）をつける。

**2** 画面下部の**［詳細］**を選ぶ。
「画像の詳細」画面が表示されます。

💡 ちょっと一言

撮影日はデジタルカメラで撮影した画像のみ表示されます。

**3**［OK］を選ぶ。

「画像の一覧」画面に戻ります。

## 画像の名前を変更するには

それぞれの画像に1つずつ名前を付けられます。この名前を変更してもファイル名は変更されません。また、メールに添付したときは、送信先にはファイル名が表示されます。

**1**「画像の一覧」画面の中から名前を変更したい画像の□を選び、✓をつけてから**［詳細］**を選ぶ。

「画像の詳細」画面が表示されます。

**2**「名前」欄を選んで、キーボードで名前を入力する。

💡 ちょっと一言

入力について詳しくは、「文字入力（☞154ページ）をご覧ください。

**3**［OK］を選ぶ。

## 画像を消すには

**1**「画像の一覧」画面の中から消去したい画像の□を選び、✓をつける。

**2****［消去］**を選ぶ。

## 本機のアルバムに保存されている画像を"メモリースティック"にコピー（複製）するには

**1** 本機に"メモリースティック"を挿入し、「画像の一覧」画面の中からコピーしたい画像の□を選び、✓をつける。

**2****［コピー］**を選ぶ。

**［切換え］**を選んで「 画像の一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。

コピーした画像は「 画像の一覧」画面の左上から順番に表示されます。

ⓘ ご注意

本機の時刻設定が正しくないと、先頭に表示されないことがあります。

## "メモリースティック"の画像を本機にコピー（複製）するには

**1** 本機に"メモリースティック"を挿入し、**［切換え］**を選ぶ。

「 画像の一覧」画面が表示されます。

**2** コピーしたい画像の□を選び、✓をつける。

**3****［コピー］**を選ぶ。

**［切換え］**を選んで「画像の一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。

コピーした画像は「画像の一覧」画面に保存された日時順に左上から表示されます。

💡 ちょっと一言

同じファイル名の画像がすでにある場合はファイル名の最後に「^」と「数字」が付きます。

# 画面に絵を描く [お絵かき]

アルバムに保存されている画像や白い画面に絵や文字を描いて、アルバムに保存できます。

**1** **「画像の一覧」画面を表示する。**

**2** **お絵かきしたい画像を1つだけ選び、□に✓をつける。**

**白い画面にお絵かきしたいときは**

すべての画像の✓をはずしてください。

**3** **[お絵かき]を選ぶ。**

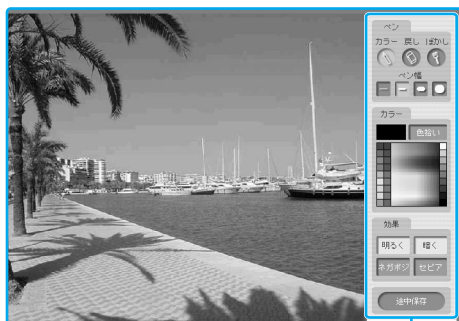
選択した画像が拡大表示されます。

**ご注意**

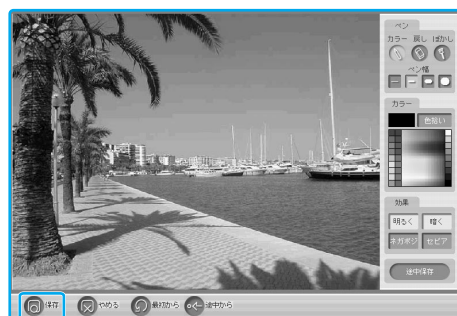
複数の画像に✓がついているときは、[お絵かき]が選べません。

**ちょっと一言**

小さいサイズの画像を選ぶと、画像のまわりに余白ができます。余白の部分に絵や文字を描き込めます。

**4** **画面右側のお絵かきパレットを使って、絵や文字を描く。**

お絵かきパレット

お絵かきパレットの使いかたについて詳しくは、「お絵かきパレットの使いかた」(☞147ページ) をご覧ください。

**5** **お絵かきが完成したら[保存]を選ぶ。**

保存

「画像の一覧」画面に戻ります。

お絵かきした画像は、元の画像とは別の画像として、JPEG形式でアルバムの先頭に保存されます。

**ちょっと一言**

[保存]した画像はJPEG形式で保存され、保存のたびに圧縮されます。お絵かきの途中で保存したいときは、お絵かきパレットの［**途中保存**］で一時保存しておき、最後に[保存]で保存することをおすすめします。

## お絵かき中の作業を一時的に保存するには

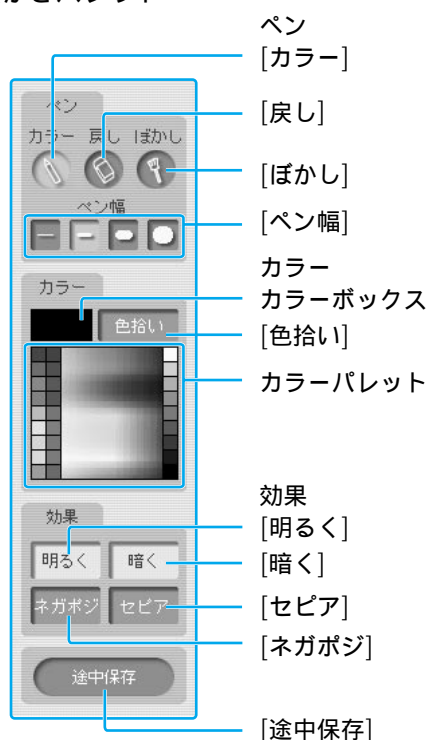
お絵かきパレット下部の[**途中保存**]を選びます。あとで途中保存した状態に戻すには、画面下部の[**途中から**]を選びます。

## お絵かきを最初からやり直すには

画面下部の[**最初から**]を選びます。お絵かきする前の画像の状態に戻ります。

あなたが撮影、制作した画像以外は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## お絵かきパレットの使いかた

**お絵かきパレット**

### 絵や文字を描くには

1 ペンの[**カラー**] を選ぶ。
2 カラーパレットを選んで、カラーボックスに使いたい色を表示する。
3 ペンの[**ペン幅**]で、使いたいペンの太さを選ぶ。
4 画面上に絵や文字を描く。

### 描いた線や文字を消すには

1 ペンの[**戻し**]を選ぶ。
2 [**ペン幅**]でペンの太さを選ぶ。
3 タッチペンで消したい部分をこする。
消しゴムのように描いた線や文字が消えます。

### 画像をぼかすには

ぼかし効果を入れられます。

1 ペンの[**ぼかし**]を選ぶ。
2 [**ペン幅**]でペンの太さを選ぶ。
3 タッチペンでぼかしたい部分をこする。
こすった部分にぼかし効果が入ります。

### ぼかした画像を元に戻すには

1 ペンの[**戻し**]を選ぶ。
2 [**ペン幅**]でペンの太さを選ぶ。
3 元に戻したい部分をこする。

### 画像の一部と同じ色を使うには（色拾い）

1 カラーの[**色拾い**]を選ぶ。
2 画像の中の使いたい色にタッチする。
カラーボックスにタッチした色が表示され、その色に一番近い色で描けます。

### 画像全体の色を変えるには

効果を使うと、画像全体の色を変えられます。

[**明るく**]**：**タッチするたびに画像全体の色が明るくなります。
[**暗く**]**：**タッチするたびに画像全体の色が暗くなります。
[**ネガポジ**]**：**画像全体の色が反転します。
[**セピア**]**：**画像全体がセピア色（茶色っぽい色）になります。

**ご注意**

一度 [**ネガポジ**] 以外の効果を使うと、途中保存の状態までしか元に戻りません。元の色に戻すときは、[**最初から**]を選んでやり直してください。[**ネガポジ**]のみ再度選ぶと、元に戻ります。

# メールで画像を送る

アルバムチャンネルから画像を選ぶと、一度に複数の画像をメールに添付して送れます。

**1** **「画像の一覧」画面を表示する。**

**2** **メールに添付したい画像の□を選び、✓をつける。**

2枚以上の画像を添付するときは、それぞれに✓をつけます。

ここに✓をつけます。

**ご注意**

1つのメールに添付できる画像は10枚までです。ただし、メールの本文と画像の合計サイズが4 MBを超えると送信できないため、画像サイズによっては、10枚より少ない場合があります。画像のサイズは「画像の詳細」画面（☞144ページ）で確認できます。

**3** **送る を選ぶ。**

「メールの作成」画面が表示されます。複数の画像を添付するときは、最初に✓をつけた画像が「メールの作成」画面に表示されます。

送る

**ちょっと一言**

2番目以降の画像を確認するときは、「メールの作成」画面の画像を選んで拡大表示し、**[次画像]**を選びます。

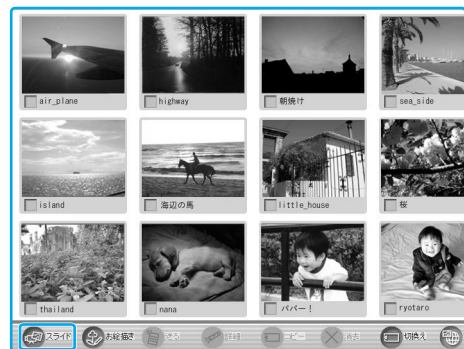
**4** **メールを書いて送る。（☞119ページ）**

# 拡大画像を順番に見る［スライドショー］

アルバム内の画像を次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。

**1** **「画像の一覧」画面を表示する。**

画像の✓がすべて消えていると、アルバム内の画像すべてがスライドショーで表示されます。

**2** **画面下部の スライド を選ぶ。**

スライド

拡大画像が次々と自動的に切り換わって表示されます。（スライドショー）

**3** **スライドショーをやめるには、拡大画像に触れる。**

「画像の一覧」画面に戻ります。

**ちょっと一言**

**[インデックス]**、**[チャンネル+/–]**、**[ジャンプ]**、**[印刷]** ボタンを押しても、拡大表示をやめることができます。

**ちょっと一言**

アルバム内のアニメーションGIF形式の画像やMPEG1形式の動画は、1コマ目だけをスライドショーで表示します。

**ご注意**

拡大表示できない画像がスライドショーに含まれているときは、その画像をとばして次の画像を表示します。
アルバムの中のすべての画像が拡大表示できない場合は、スライドショーが開始されません。

### 好きな画像だけを好きな順番で表示するには

**1** 「画像の一覧」画面を表示し、スライドショーで表示したい画像の□を表示したい順番に、✓をつける。

**2** [**スライド**]を選ぶ。

✓をつけた画像だけが選んだ順番で次々と表示されます。

**ご注意**

- 1枚だけに✓をつけて[**スライド**]を選ぶと、同じ画像が表示され続けます。
- 拡大表示できない画像は、その画像をとばして、次の画像を表示します。

### 画面が切り換わる時間を変えるには

設定画面で変更します。

**1** 「インデックス」画面を表示する。

**2** [**設定**]を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

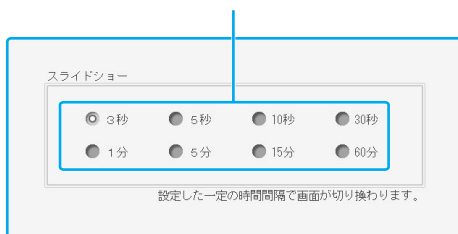
**3** [**アルバム**]を選ぶ。

「アルバムの設定」画面が表示されます。

**4** [**スライドショー**]を選ぶ。

「スライドショー」画面が表示されます。

**5** 画面が切り換わる時間を選ぶ。

いずれかを選びます

**ご注意**

サイズの大きな画像が含まれている場合、次の画像へ切り換わるのに、選んだ時間より長くかかることがあります。

**6** [OK]を選ぶ。

# 動画を見る

アルバムに保存した動画を再生します。（音声は出ません。）

本機では、MPEG1方式の動画を再生できます。

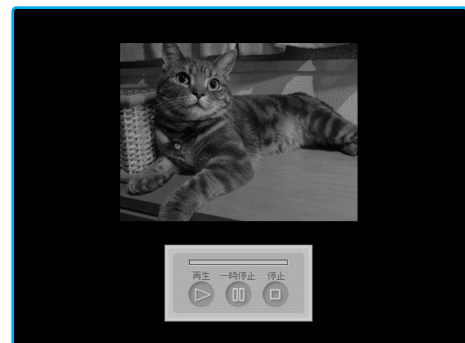
**ご注意**

- 本機では、「.mpg」以外の拡張子がついたMPEG1方式の動画は再生できません。
- 本機では横400ドット、縦250ドットを超える大きさの動画は再生できません。サイバーショットやハンディカムで撮影した動画は、この範囲内のため再生できますが、パソコンで作成した動画はこの範囲を超えると再生できません。
- アニメGIFの表示方法は、静止画GIFと同じです。

**1** **「画像の一覧」画面を表示する。**

**2** **再生したい動画を直接選ぶ。**

動画は、一覧表示画面のファイル名の横に▤が表示されています。

動画再生画面が表示され、再生が始まります。

一時停止：再生を一時停止します。もう一度選ぶと再生が再開します。

停止：再生を止めます。

再生：再生を再開します。

アルバム

## 動画を見る（つづき）

**[一時停止]**または**[停止]**を選ぶまで繰り返し再生されます。

**[戻る]**を選ぶと、「画像の一覧」画面に戻ります。

**ちょっと一言**

「画像の一覧」画面で、動画に✓をつけてから**[詳細]**を選び、「画像の詳細」画面で**[動画再生]**を選んでも再生できます。この場合、動画再生画面で**[戻る]**を選ぶと、「画像の詳細」画面に戻ります。

**ちょっと一言**

- 再生バー表示は、現在再生中の位置の目安となります。
- 動画のサイズが大きいときは、本来の再生速度よりゆっくりと再生されることがあります。

# インターネットに画像を保存する［アップロード］

インターネット上に画像を保存することを、「アップロードする」と言います。
インターネットには画像をアップロードできるサービスを行っているホームページがあります。本機からこれらのホームページにアルバムの画像をアップロードできます。

## 画像のアップロード先を確かめる

ここでは、エアボードネットのホームページの「MYアルバム」を画像のアップロード先として選びます。

**ご注意**

「MYアルバム」を利用するには、エアボードネットへの入会が必要です。

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 設定 を選ぶ。**

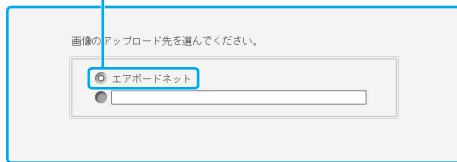
「設定 一覧」画面が表示されます。

**3 アルバム を選ぶ。**

「アルバムの設定」画面が表示されます。

**4 画像のアップロード を選ぶ。**

「画像のアップロード」画面が表示されます。

## 5 [エアボードネット]が選ばれていることを確かめる。

**ご注意**

2002年1月現在で利用できるアップロード先は「エアボードネット」だけです。「エアボードネット」の下の空欄に他のアップロードサービスのアドレスを入力しても、アップロードできません。

## 6 OK を選ぶ。

「アルバムの設定」画面に戻ります。

## 7 設定一覧 を選ぶ。

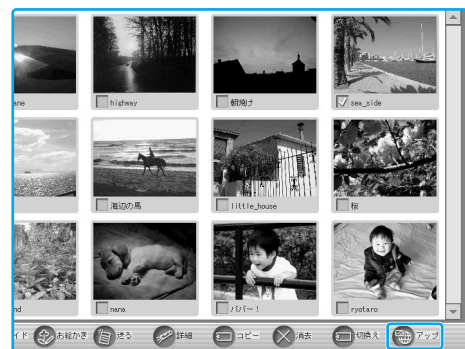
「設定 一覧」画面に戻ります。

終了 を選ぶと、「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

# 画像をアップロードする

アルバムの画像を、指定したアップロード先にアップロードしてみましょう。
このサービスを利用するには、事前にエアボードネットへの入会が必要です。（☞65ページ）

## 1 アルバムチャンネルを選び、「画像の一覧」画面を表示する。

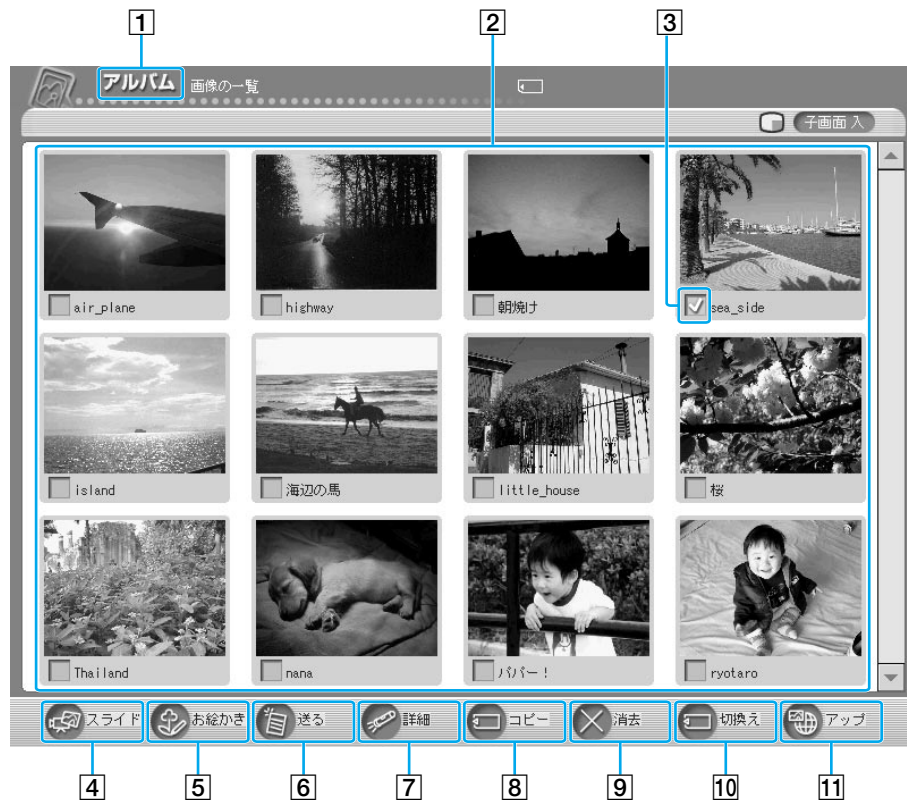
## 2 画面下部の アップ を選ぶ。

インターネットに接続され、エアボードネットのアルバムサービスのページが表示されます。

## 3 ホームページに表示されている使いかたに従って、アップロードする

**ご注意**

保存したテレビ画面やインターネットのホームページ上の画像は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。従って、アップロードすることはできません。

アルバム

# アルバムチャンネル画面の各部の名前

1 **アルバムチャンネル表示**

2 **画像**

直接選ぶと画像が拡大表示されます。

3 **（チェックボックス）**

選ぶたびに✓がついたり消えたりします。

4 **スライド**（☞148ページ）

アルバム内の全画像、または✓をつけた画像を自動的に次々と表示します。

5 **お絵かき**（☞146ページ）

絵や文字を手描きします。

6 **送る**（☞148ページ）

✓をつけた画像をメールに添付します。

7 **詳細**（☞144ページ）

✓をつけた画像の名前の変更と拡大表示（動画表示）をしたり、画像のサイズを確認します。

8 **コピー**（☞145ページ）

✓をつけた画像を本機と“メモリースティック”の間でコピーします。

9 **消去**（☞145ページ）

✓をつけた画像を消去します。

10 **切換え**（☞145ページ）

本機と“メモリースティック”の画面を切り換えます。

11 **アップ**（☞151ページ）

インターネット上にあるアップロード先のホームページにつながります。

# 文字入力

# 予測入力（POBox）機能って何？

文字入力には、本機のモニター画面に表示されるキーボード、または市販のキーボード（☞ 224ページ）が使えます。
本機のキーボードには予測入力（POBox*）機能があります。予測入力機能とは、入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、一覧表示から選んだ単語から文脈を予測していく機能です。さらに、よく使う単語も学習しますので、キーボードを打つ回数が減り便利です。
予測候補一覧の使いかたは2通りあり、組み合わせて使うと便利です。

❶ 単語の最初の1文字を入力すると、その文字で始まる単語が予測候補一覧に表示されます。
❷ 予測候補一覧から一度単語を選ぶと、その単語から予測される次の単語が予測候補一覧に表示されます。

例として「富士山に登った」と入力してみます。

**ご注意**

予測入力機能はかな入力（☞155ページ）とローマ字入力（☞158ページ）のときのみ使えます。
予測入力機能を使わずに文字を入力したいときは、本機の設定を変更してください（☞224ページ）。
＊ POBoxはPredictive Operation Based On eXampleの略です。

# 文字を入力してみよう

予測入力機能を使って文章を入力してみましょう。

## かな入力で文字を入力しよう

例として、「メールの作成」画面で「プレゼントをありがとう (^o^)／」を入力してみます。

**1** **メールチャンネルを選び、「メールの作成」画面を表示する。**
**(☞119ページ)**

**2** **文字入力欄を選ぶ。**

キーボードが表示されます。

**3** **かな を選ぶ。**

かな

かなキーボードが表示されます。

**4** **キーボード上部の予測候補一覧に「プレゼント」が表示されるまで、順に ふ 、 れ 、 せ 、 ん 、 と を選ぶ。**

選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

1文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

**予測候補の絞り込み例**

- 「ふ」を入力したときの予測候補例：
  「ふ」「富士山」「分」「振込」
- 「ふれ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれ」「プレーヤー」「フレンチ」
- 「ふれせ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれせ」「プレゼント」

**ちょっと一言**

［ふ］を選ぶと、予測候補には「ふ」のほか、「ぷ」、「ぶ」、「フ」、「プ」、「ブ」が表示されます。したがって、「ふ」を「プ」に変えなくても、「ふれせんと」と選んでいくと「プレゼント」という予測候補が表示されるはずです。

もし予測候補に表示されなかった場合は、一度、濁点や小文字を正しく最後まで入力した後、予測候補から選んでください。一度選んだ単語は、次回から濁点、小文字を気にせずに入力しても予測候補に表示されます。

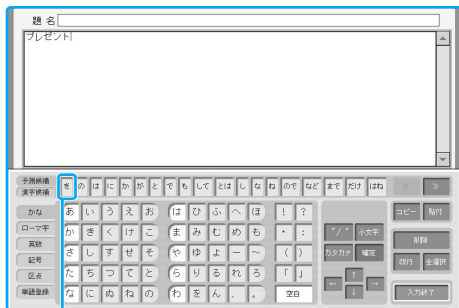
**5** **プレゼント を予測候補一覧から選ぶ。**

プレゼント

黒字で「プレゼント」が入力されます。

文字入力

次のページにつづく

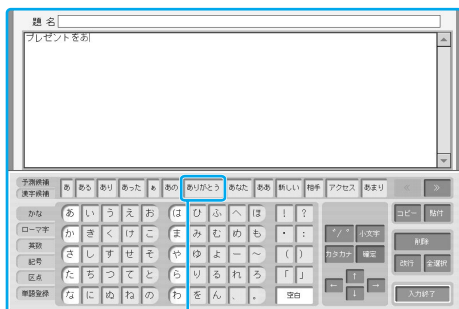
## 6 予測候補一覧の中に、目的の を があれば選ぶ。

を

なければ、キーボードの［を］と［確定］を選びます。

黒字で「を」が入力されます。

**ちょっと一言**

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」「だけ」「まで」

## 7 予測候補一覧の中に、目的の ありがとう があれば選ぶ。

ありがとう

なければ、順にキーボードの［あ］、［り］、［か］、［と］、［う］を選び、予測候補一覧に「ありがとう」が表示されたら選びます。

黒字で「ありがとう」が入力されます。

## 8 「空白」を選ぶ。

全角のスペースが入力されます。

## 9 顔文字の「(^o^)／」を入力するために か 、 お 、 え 、 み を選ぶ。

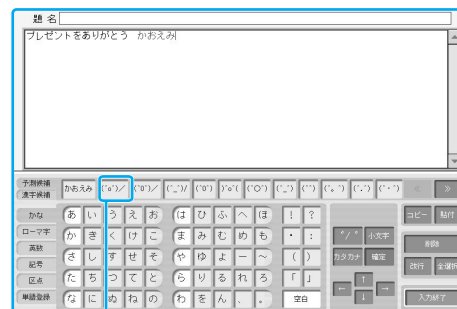
「かおえみ」とひらがなで入力すると、予測候補一覧に顔文字が表示されます。顔文字は「かおえみ」の他に以下のようなものがあります。

**顔文字辞書**

- 「かおえみ」を入力したときの予測候補：「(^o^)／」、「(^_^)」、「(^。^)」...
- 「かおこまり」を入力したときの予測候補：「(>_<)」、「(・・:)」、「(^_^;)」...
- 「かおむひょうじょう」を入力したときの予測候補：「(-.-)」、「(°_°)」、「(・_・)」...
- 「かおおどろき」を入力したときの予測候補：「(・o・)」、「(° 0 °)」、「(@_@)」
- 「かおあいさつ」を入力したときの予測候補：「(＾.＾)／~~~」、「m(_ _)m」、「<(_ _)>」...

**ちょっと一言**

顔文字は、ローマ字キーボードや英数キーボード（大文字/小文字）を使って、[(]、[^]、[>] などを選んでも入力できます。

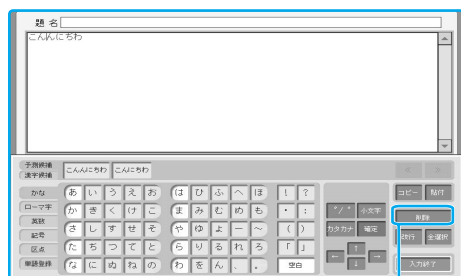
## 10 (^o^)／ を選ぶ。

(^o^)／

黒字で「(^o^)／」が入力されます。

## 文字を削除したいときは

**1** **←、→、↑、↓を使うか、直接画面に触れて、削除したい文字の右側に「I」（カーソル）を置く。**

削除したい文字の
右側を選びます。

**2** **削除を選ぶ。**

削除

文字が削除されます。

**ちょっと一言**

続けて文字を消したいときは［**削除**］を押し続けます。

### 一度に複数の文字を削除したいときは

削除したい文字をすべてタッチペンでなぞって反転してから［**削除**］を選ぶ。
黒字で表示されているときのみ一度に複数の文字を削除できます。

### 一度にすべての文字を削除したいときは

[**全選択**]を選んで文字入力欄のすべての文字を反転してから[**削除**]を選ぶ。

### 文字を削除すると同時に文字を入力するには

削除したい文字をすべて反転してから、次に入力したい文字を入力する。

例：「今週末**キャンプ**に行きます」を「今週末**山登り**に行きます」に変更する

→「キャンプ」を反転してから「山登り」を入力する。
「キャンプ」が削除されると同時に「山登り」が入力されます。



次のページにつづく

## ローマ字入力で文字を入力してみよう

例として「ラッキーな一日だったね」を入力してみます。
小文字や濁点・半濁点の入力のしかたなどは264ページの「ローマ字対照表」をご覧ください。

### 1 ローマ字 を選ぶ。

ローマ字

ローマ字キーボードが表示されます。

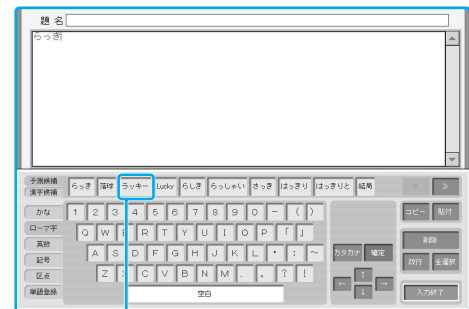
### 2 キーボード上部の予測候補一覧に「ラッキー」が表示されるまで、順に R 、 A 、 K 、 K 、 I 、 ー を選ぶ。

選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

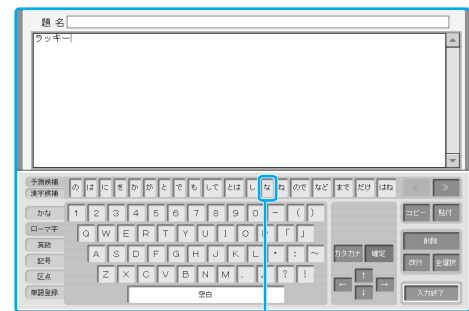
1文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

**ちょっと一言**

- ら行は［R］＋母音（［A］［I］［U］［E］［O］）を選びます。
- 小文字の「っ」は次の子音を2つ重ねて選ぶと入力できます。

### 3 ラッキー を予測候補一覧から選ぶ。

ラッキー

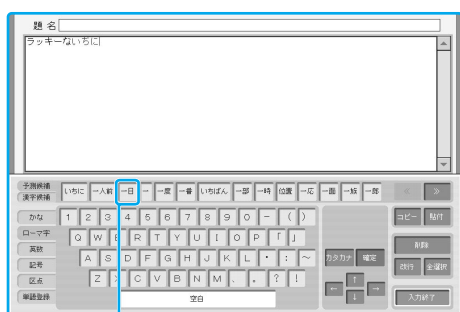
黒字で「ラッキー」が入力されます。

### 4 予測候補一覧の中に目的の な があれば選ぶ。

な

なければ、キーボードの［N］、［A］、**［確定］**を選びます。
黒字で「な」が入力されます。

**ちょっと一言**

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」「だけ」「まで」

## 5 予測候補一覧の中に目的の 一日 があれば選ぶ。

一日

なければ、順にキーボードの [I]、[T]、[I]、[N]、[I]、[T]、[I] を選び、予測候補一覧に「一日」が表示されたら選びます。

黒字で「一日」が入力されます。

## 6 予測候補一覧の中に目的の だったね があれば選ぶ。

だったね

なければ、順にキーボードの [D]、[A]、[T]、[T]、[A]、[N]、[E] を選び、予測候補一覧に「だったね」が表示されたら選びます。

黒字で「だったね」が入力されます。

### ちょっと一言

キーボードの [D]、[A]、[T]、[T]、[A]、[N]、[E] を選んでいく途中で、予測候補一覧に「だった」が表示されたら選び、[N]、[E] と選んで少ない手順で入力することもできます。



次のページにつづく

## 入力した文字を変換してみよう

今までは予測候補の中から目的の単語を表示できましたが、中には予測候補に表示されない単語があります。このようなときには、入力した文字を直接単語や漢字に変換します。

### 漢字に変換しよう

例として「こういち」を漢字に変換してみます。

**1 「こういち」と入力します。**

**2 漢字候補 を選ぶ。**

漢字候補

「こういち」の漢字候補一覧が表示されます。

**3 漢字候補一覧から選ぶ。**

漢字候補一覧

選んだ漢字が黒字で入力されます。

### カタカナに変換してみよう

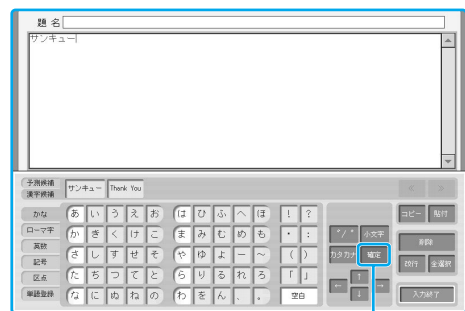
例として「さんきゅー」をカタカナに変換してみます。

**1 「さんきゅー」と入力します。**

**2 カタカナ を選ぶ。**

カタカナ

青字で「サンキュー」が入力されます。

**3 確定 を選ぶ。**

確定

黒字で「サンキュー」が確定されます。

**ひらがなに戻したいときは**

手順3でカタカナへの変換を確定する前（青字で表示されているとき）に、**[カタカナ]** を選ぶ。もう一度 **[カタカナ]** を選ぶとひらがなになります。

一度カタカナに確定された文字（画面上で黒く表示される文字）は **[カタカナ]** を選んでもひらがなに戻せません。

## 英数字を入力してみよう

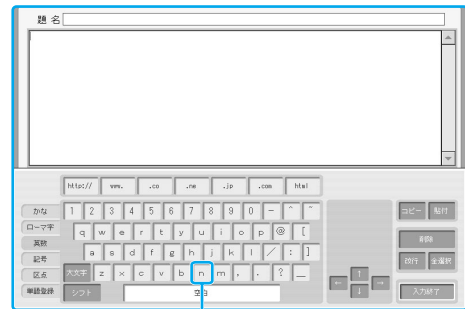
今までは「ひらがな」「カタカナ」「漢字」を入力しましたが、英数字はこれらの方法では入力できませんでした。ここでは例として、英数字で「Number 1」と入力してみましょう。英数字はすべて半角になります。

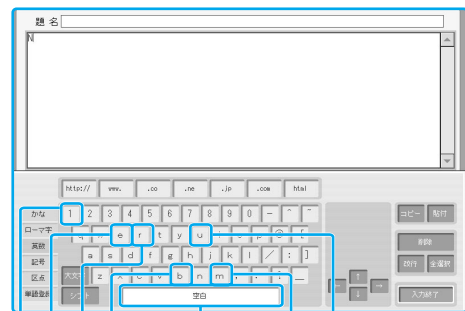
**1** 英数 を選ぶ。

「英数キーボード」が表示されます。

**2** シフト を選ぶ。

「大文字キーボード」が表示されます。

**3** N を選ぶ。

「N」が入力され、「小文字キーボード」に戻ります。

**4** 順に u 、 m 、 b 、 e 、 r 、 空白 、 1 を選ぶ。

「umber 1」が入力されます。

### 大文字の入力について

大文字の入力のしかたには2通りあります。

- **［シフト］を選んだ場合：**一度「大文字キーボード」が表示され、1文字選んだ後は「小文字キーボード」に戻ります。単語の冒頭の大文字を入力するときに便利です。
- **［大文字］を選んだ場合：**「大文字キーボード」が表示されます。もう一度［**大文字**］を選ぶと「小文字キーボード」になります。大文字を2つ以上入力するときに使います。

文字入力

# 文字を入力してみよう（つづき）

## 記号を入力しよう

記号はすべて全角になります。

### 1 キーボードの 記号 を選ぶ。

記号

「記号キーボード」が表示されます。

### 2 記号キーボードを選ぶ。

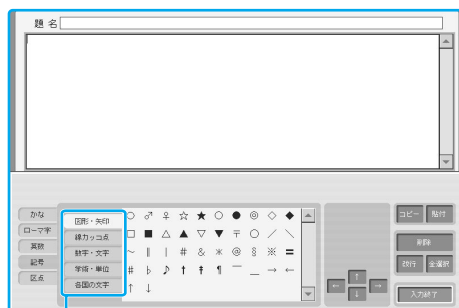
「記号キーボード」は5種類あります。

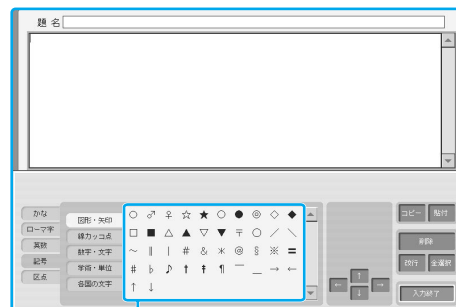
図形・矢印 （○、★、〒、△など）

線カッコ点 （［、］、；、”など）

数字・文字 （３、々など）

学術・単位 （％、℃、±、√など）

各国の文字 （Ｂ、α、Ω、Жなど）

記号キーボード

### 3 記号を入力する。

ここから選びます。

## 区点コードを使って入力しよう

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は区点コードを使って入力できます。「区点コード表」（☞266ページ）を使って文字を入力してみましょう。

例として「栞」（しおり）を入力してみます。

**1 キーボードの 区点 を選ぶ。**

区点

「区点キーボード」が表示されます。

**2 数字ボタンを使って区点コード番号を入力する。**

「区点コード」の空欄に4桁の数字を入力します（例：5957）。
区点コードは「区点コード表」（☞266ページ）をご覧ください。

ここに入力します　数字ボタン

**3 「文字」に漢字が表示されたら、選ぶ。**

ここに表示されます

漢字が入力されます。

### 区点コードを間違って入力したときは

**[クリア]** を選ぶ。
また、4桁入力した後に、数字ボタンを選んでも最初から入力できます。

# 予測入力を使わずに文字を入力してみよう

今までは予測入力を使って文字を入力してきましたが、この機能を使わずに文字を入力することもできます。

## 予測入力を使わずに入力する

予測入力機能を使わないときは、連文節変換機能を使います。
キーボードを連文節変換機能に設定しておいてください。（「市販のキーボードをつなぐ」（☞224ページ））

**1　キーボードを選ぶ。**

キーボードを選びます。

選んだキーボードが表示されます。

**2　入力する。**

入力のしかたは下記をご覧ください。

### ひらがなのままにするには

**［確定］**を選ぶ。

### 漢字に変換するには

正しい漢字が表示されるまで**［変換］**をくり返し選んでから**［確定］**を選ぶ。
1つ前の変換候補を表示したいときは**［前候補］**を選びます。

### カタカナに変換するには

**［カタカナ］**を選んでから**［確定］**を選ぶ。
詳しくは、「カタカナに変換してみよう」（☞160ページ）をご覧ください。

### 小文字に変換するには

**［小文字］**を選んでから**［確定］**を選ぶ。

### 文節を変更するには

長い文章を一度に変換したとき、希望通りの文節で区切られない場合があります。このような場合、文節の区切りを変更できます。
例として「今朝は医者にいきました。」と変換された文章を「今朝歯医者に行きました。」に変更してみます。

**1** ひらがなで「けさはいしゃにいきました。」と入力する。

**2** **［変換］**を選ぶ。
「**今朝は**医者にいきました。」が表示されます。

**3** **［文節縮］**を1回選ぶ。
「**けさ**歯医者にいきました。」が表示されます。

**4** **［変換］**を選ぶ。
「**今朝**歯医者にいきました。」が表示されます。

**5** **［後の文節］**を2回選ぶ。
「今朝歯医者に**いきました。**」が表示されます。

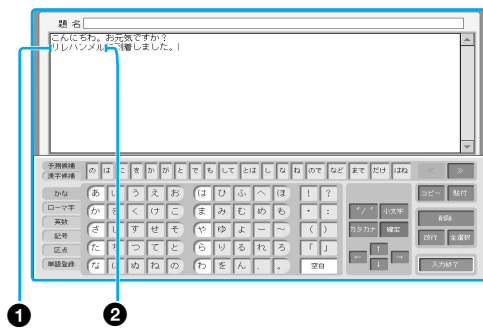
**6** **［変換］**を選ぶ。
「今朝歯医者に**行きました。**」が表示されます。

－ **［前の文節］**＝1つ前の文節に移動します。
－ **［後の文節］**＝1つ後の文節に移動します。
－ **［文節縮］**＝文節を短くします。
－ **［文節伸］**＝文節を長くします。

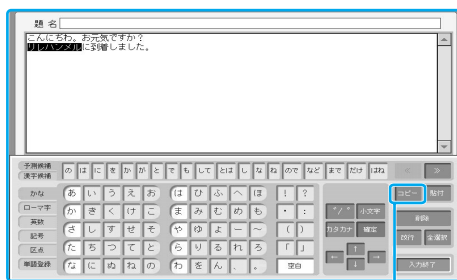
# 選んだ文章を他の場所にも使う［コピー/貼付け］

文章をコピー（複写）して他の場所に貼り付けられます。似た文章や同じ文章をくり返し入力する必要がなく便利です。
単語だけでなく、文章ごとコピーして貼り付けられます。

## 1 コピーしたい単語または文章を、すべてタッチペンでなぞって反転する。

❶から❷までをなぞります。

### ちょっと一言

文字入力欄のすべての文字をコピーしたいときは**[全選択]**を選びます。すべての文字が反転します。

## 2 コピー を選ぶ。

## 3 貼り付けたい位置に「|」（カーソル）を置く。

## 4 貼付 を選ぶ。

単語または文章が貼り付けられます。

### ご注意

コピーした文字列が貼り付け先の入力欄より長い場合、表示しきれず、文字列の最後しか表示されないときがあります。キーボードの[←]を押すと、貼り付けられた文字を確認できます。

# よく使う単語を登録する［ユーザー辞書］

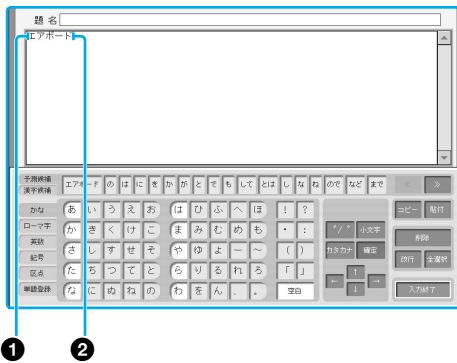
あらかじめよく使う単語を予測入力機能の辞書に登録しておけば、早く予測候補に表示されるので便利です。

**ご注意**

キーボードが「連文節変換」(☞224ページ)に設定されているときは、単語登録はできません。

## 1 予測入力キーボードを表示する。

## 2 登録したい単語をすべてタッチペンでなぞって反転する。

❶から❷までをなぞります。

## 3 単語登録 を選ぶ。

単語登録

キーボード上部に単語が表示されます。

## 4 登録する単語の読みを入力する。

キーボードを使って「よみ」の横の入力欄にひらがなで入力します。

ここに入力します。　登録する単語が表示されます。

「よみ」が入力されます。

## 5 登録する を選ぶ。

キーボード（かな、ローマ字、英数、記号）　登録する

単語が登録されます。

**ご注意**

- **［登録する］**を選ぶ前にキーボード一覧から好みのキーボード（かな、ローマ字、英数、記号）を選ぶと単語登録は中止されます。
- 登録したい単語を反転させてから**［単語登録］**を選ばないと登録できません。

### 設定画面で単語を登録するには

**1** 「インデックス」画面を表示する。

**2** **［設定］**を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** **［本体の設定］**を選ぶ。
「設定 本体の設定」画面が表示されます。

**4** **［単語登録］**を選ぶ。
「設定 本体の設定 単語登録」画面が表示されます。

**5** **［新規作成］**を選ぶ。
「単語登録」画面が表示されます。

**6** 読み入力欄に登録する単語の読みを入力する。
「よみ」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってひらがなで入力します。

**7** 単語入力欄に登録する単語を入力する。
「単語」の横の空欄を選んで、キーボードを使って単語を入力します。
入力が終了したらキーボードを消します。

**8** ［OK］を選ぶ。

### 登録した単語やその読みを変更するには

**1** 上記の「設定画面で単語を登録するには」の手順1〜4を行う。

**2** 単語を直接選ぶか、単語をチェックしてから**［編集］**を選ぶ。
「単語登録」画面が表示されます。

**3** 単語やその読みを変更する。

**4** ［OK］を選ぶ。

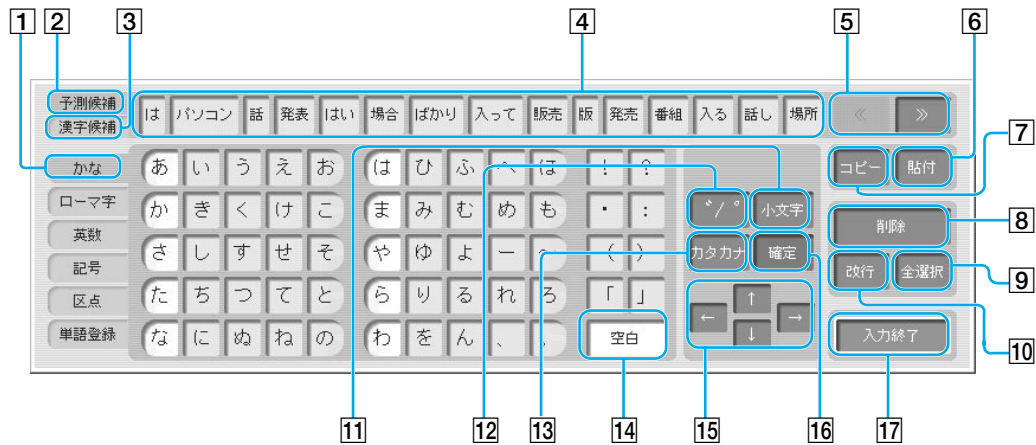
### 登録した単語を消去するには

**1** 「設定画面で単語を登録するには」の手順1〜4を行う。

**2** 消去したい単語をチェックする。

**3** **［消去］**を選ぶ。

# キーボードの各部の名前

## かなキーボード

1 **かな**（☞155ページ）
かなキーボードを表示します。

2 **予測候補**（☞155ページ）
予測候補一覧を表示します。

3 **漢字候補**（☞160ページ）
読みと一致した単語や漢字などを表示します。

4 **予測候補一覧**

5 **<</>>**
<<：前の候補一覧を表示します。
>>：次の候補一覧を表示します。

6 **貼付**（☞165ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

7 **コピー**（☞165ページ）
文字をコピーします。

8 **削除**（☞157ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

9 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

10 **改行**
改行します。

11 **小文字**
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

12 **"/°**
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

13 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

14 **空白**
全角スペースを挿入します。

15 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

16 **確定**
予測候補や漢字候補から選ばずに、ひらがなやカタカナの確定、小文字や濁点・半濁点への変換の確定をするときに選びます。

17 **入力終了**
キーボードを消します。

### ご注意

- **[カタカナ]** や **[小文字]**、["/°] は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- [←] / [↑] / [→] / [↓] は、入力した文字の変換を確定した後にのみ働きます。
- メールアドレスなど半角の英数字（記号や空白などを含む）を入力したい場合は、**[英数]** を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。

## ローマ字キーボード

1 **ローマ字**（☞158ページ）
ローマ字キーボードを表示します。

2 **予測候補**（☞155ページ）
予測候補一覧を表示します。

3 **漢字候補**（☞160ページ）
読みと一致した単語や漢字などを表示します。

4 **予測候補一覧**

5 **<</>>**
<<：前の候補一覧を表示します。
>>：次の候補一覧を表示します。

6 **貼付**（☞165ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

7 **コピー**（☞165ページ）
文字をコピーします。

8 **削除**（☞157ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

9 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

10 **改行**
改行します。

11 **空白**
全角スペースを挿入します。

12 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

13 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

14 **確定**
予測候補や漢字候補から選ばずに、ひらがなやカタカナの確定、小文字や濁点・半濁点への変換の確定をするときに選びます。

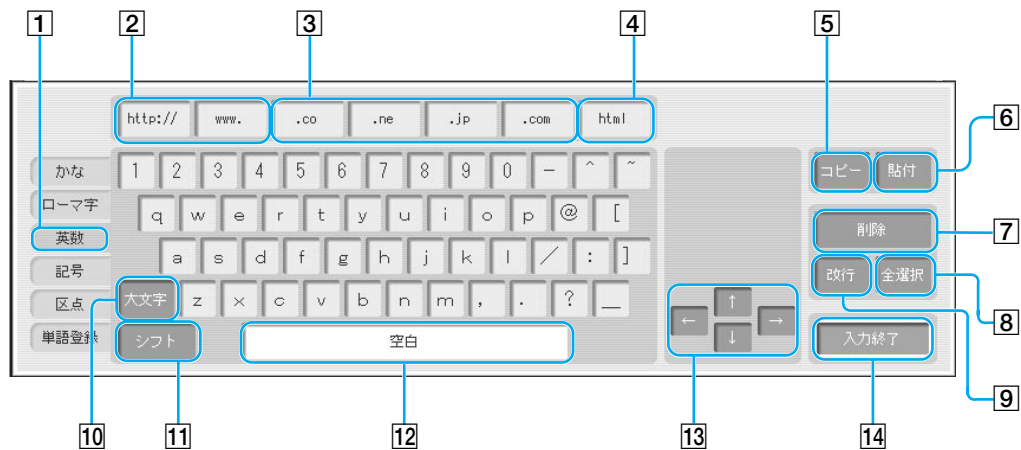
15 **入力終了**
キーボードを消します。

文字入力

### ご注意

- **[カタカナ]** は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- メールアドレスなど半角の英数字（記号や全角などを含む）を入力したい場合は、**[英数]** を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。
- 全角の英字を入力したい場合は、**[記号]** を選び、**[各国の文字]** を選んで入力してください。

次のページにつづく

## 英数字キーボード

1 **英数**（☞161ページ）
英数キーボードを表示します。

2 http://、www.
ホームページのアドレスを入力するときに使います。

3 .co、.ne、.jp、.com
ホームページのアドレスやメールアドレスを入力するときに使います。

4 html
ホームページのアドレスを入力するときに使います。

5 **コピー**（☞165ページ）
文字をコピーします。

6 **貼付**（☞165ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

7 **削除**（☞157ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

8 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

9 **改行**
改行します。

10 **大文字**
大文字キーボードを表示します。

11 **シフト**
大文字キーボードを表示し、1文字選んだ後は、小文字キーボードを表示します。

12 **空白**
半角スペースを挿入します。

13 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

14 **入力終了**
キーボードを消します。

## 記号キーボード

1 **記号**（☞162ページ）
記号キーボードを表示します。

2 **記号キーボード切り換え**

3 **コピー**（☞165ページ）
文字をコピーします。

4 **貼付**（☞165ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

5 **削除**（☞157ページ）
「I」（カーソル）の前の文字、または反転された文字を削除します。

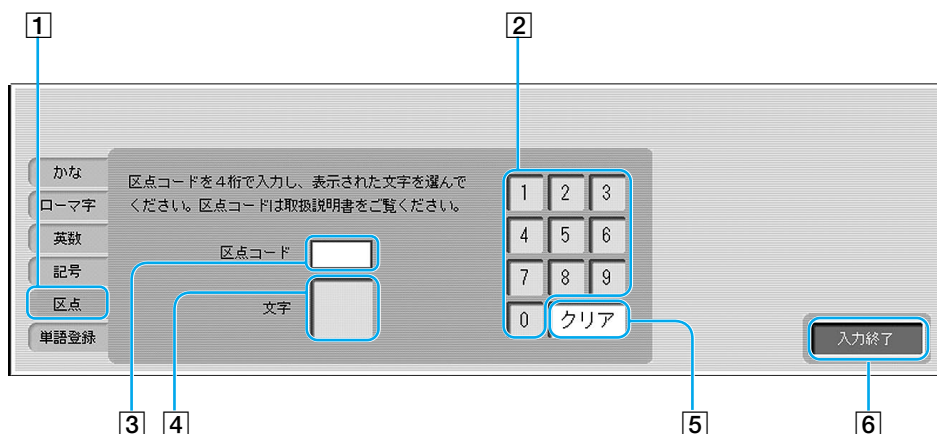
6 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

7 **改行**
改行します。

8 **スペース**
全角スペースを入力します。

9 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

10 **入力終了**
キーボードを消します。

## 区点キーボード

1 **区点**（☞163ページ）
区点キーボードを表示します。

2 **数字ボタン**
区点コード番号を選びます。

3 **区点コード**
入力した区点コードが表示されます。

4 **文字**
入力した区点コードに対応した文字が表示されます。

5 **クリア**
区点コードが消去（クリア）されます。

6 **入力終了**
キーボードを消します。

文字入力

## キーボードの各部の名前（つづき）

### 連文節キーボード（かなキーボードの例）

1 **キーボード選択**
キーボードを選びます。

2 **数字ボタン**
全角の数字を入力します。

3 **前の文節/後の文節**（☞164ページ）
前の文節/次の文節に移動します。

4 **文節縮/文節伸**（☞164ページ）
文節を短く/長くします。

5 **貼付**（☞165ページ）
コピーした文字を貼り付けます。

6 **コピー**（☞165ページ）
文字をコピーします。

7 **削除**（☞157ページ）
「I」（カーソル）の前の文字を削除します。

8 **全選択**
文字入力欄のすべての文字を選びます。

9 **改行**
改行します。

10 **前候補**
前の変換候補を表示します。

11 **変換**
入力した文字を漢字に変換します。

12 **"/°**
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

13 **カタカナ**
入力した文字をカタカナに変換します。

14 **空白**
全角スペースを挿入します。

15 **←/↑/→/↓**
入力位置を移動します。

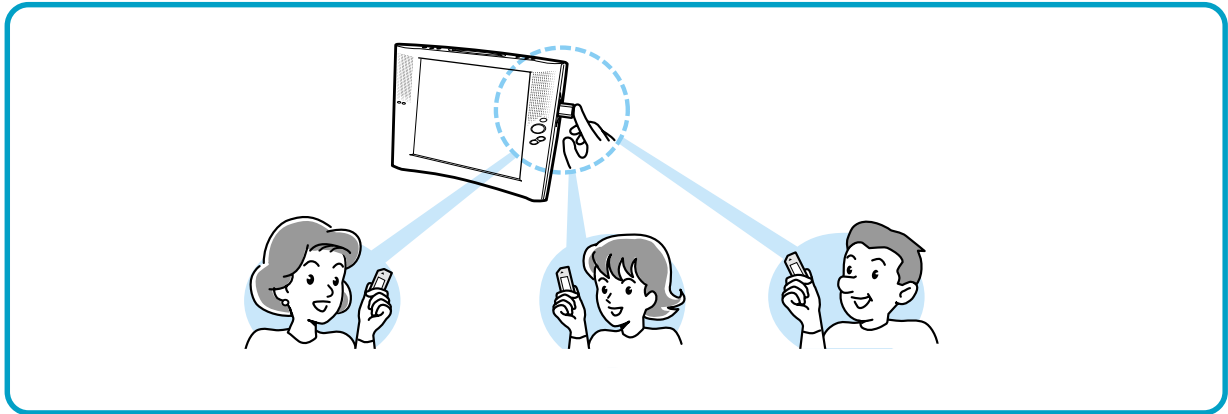
16 **確定**
漢字に変換せずにひらがなのまま入力したり、変換した文字を確定するときに使います。

17 **小文字**
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

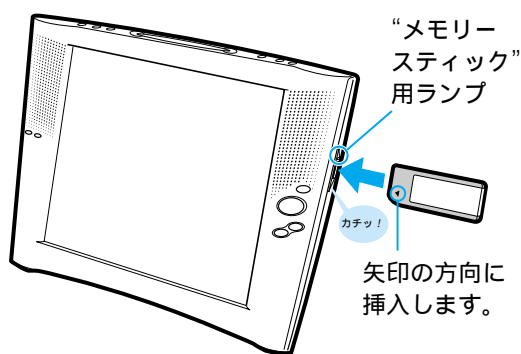
18 **入力終了**
キーボードを消します。

# メモリースティック

# “メモリースティック”って何？

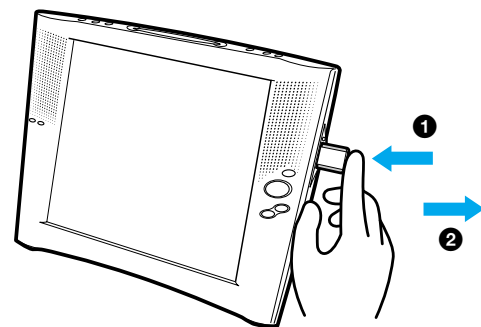
別売りの“メモリースティック”(“Memory Stick”) は、小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きい新世代のIC記録メディアです。着脱可能な外部記録メディアとしてデータの保存にお使いいただけます。
“メモリースティック”を使えば、１台のエアボードを家族で共有して、ひとりひとりの好みの画像やメールを管理できます。

**“メモリースティック”でできること**

- インターネットのマーク（ブックマーク）を登録できます。
- インターネットのホームページ上の画像を保存できます。
- テレビの静止画像を保存できます。
- メールを整理箱に入れて分類できます。
- アルバムの画像を保存できます。
- 自分専用のメールチャンネル［ミーメール］を持つことができます。

## “メモリースティック”を入れるには

モニター右側面にあるメモリースティックスロットに、カチッと音がするまで一気に挿入する。

**ちょっと一言**

本機と“メモリースティック”の間で情報のやりとりがあるときは、“メモリースティック”用ランプが赤く点灯します。

## “メモリースティック”を取り出すには

“メモリースティック”を軽くモニター側に押してから(❶)、指を添えたまま取り出す(❷)。

**ご注意**

以下のとき、［ミーメール］用“メモリースティック”を抜かないでください。
ー メールの送受信中
ー メールの作成や移動中・消去中
ー 印刷中
ー メールの添付画像を“メモリースティック”から本機にコピーしているとき、または本機から“メモリースティック”にコピーしているとき
ー “メモリースティック”用ランプ点灯中

## “メモリースティック”の内容を表示している画面について

“メモリースティック”が挿入されているときに、画面上部に［アイコン］または［アイコン］（[ミーメール] 用）が表示されます。

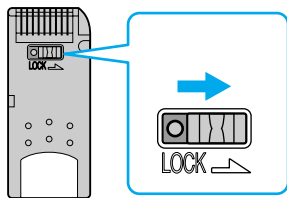
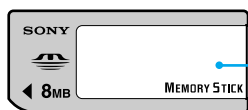
切換え

“メモリースティック”の内容を表示している画面の左上に［アイコン］が表示されます。

［アイコン］が表示されないときは画面下部にある **[切換え]** を選んでください。**[切換え]** をくり返し選ぶと、本機の内容を表示する画面と“メモリースティック”の内容を表示する画面が交互に入れ替わります。

## 記録されている画像を誤って消さないためには

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」にします。

“メモリースティック” 裏

## “メモリースティック”についてのご注意

ラベル貼り付け部
専用ラベルをはみ出さないように貼ってください。

### 取り扱いについて

- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- お子さまの手の届く場所に放置しないでください。

### 使用場所について

以下の場所での使用や保存は避けてください。

－ 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
－ 直射日光のあたる場所
－ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

### データについて

- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、画像やメールなどデータの記録や編集、消去ができなくなります。本体のデータを“メモリースティック”へ移動やコピーをしたり、“メモリースティック”内のデータを消去する場合は、「LOCK」をはずしてください。また［ミーメール］でメールの作成や送受信をするときも、「LOCK」をはずしてください。
- 以下のような場合、“メモリースティック”を抜き挿ししたり、本機の電源を切るようなことは、絶対にやめてください。
  －“メモリースティック”用ランプが赤く点灯しているとき
  －メールなどのデータを“メモリースティック”に移動しているとき
  －画像やメールなどのデータを“メモリースティック”にコピーしているとき
  －“メモリースティック”内のデータを消去しているとき
  －［ミーメール］で、メールの作成や送受信をしているとき
  －“メモリースティック”を初期化しているとき
  －“メモリースティック”内のメールなどのデータを印刷しているとき
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  －読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  －静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンなどを使って他の“メモリースティック”やハードディスクにコピーし、保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。
- “メモリースティック”に保存したパソコンのメールソフトのデータは、本機のメールチャンネルでは見られません。
- “メモリースティック”内の「MAIL」フォルダ（MSSONYフォルダ中のAIRBOARDフォルダの中にあります。）にパソコンなどを使ってコピーされたデータは、“メモリースティック”を本機に挿入したとき、消去されます。

# 自分専用の“メモリースティック”を作成する［ミーメール］

“メモリースティック”を自分専用のメールチャンネル［ミーメール］として使えます。［ミーメール］用“メモリースティック”にメールの基本設定情報を記録します。
この“メモリースティック”を本機に挿入することで、メールチャンネルが自分専用になります。

**ご注意**

- **［ミーメール］**の設定をすでにしている“メモリースティック”や、メールデータの入っている整理箱を保存している“メモリーティック”を使って、新たに**［ミーメール］**を作成すると、先に入っていたメールデータや、**［ミーメール］**の設定は消えます。**［ミーメール］**の作成をする前に、使用する“メモリースティック”の内容をもう一度ご確認ください。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に入っている設定情報などをパソコンなどを使ってコピーすることはできません。
  ［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するには、本機でもう一度**［ミーメール］**の設定をしてください。
- エアボーネットの家族会員でミーメールを作成する場合は、79ページをご覧ください。

**1** **“メモリースティック”を挿入する。**

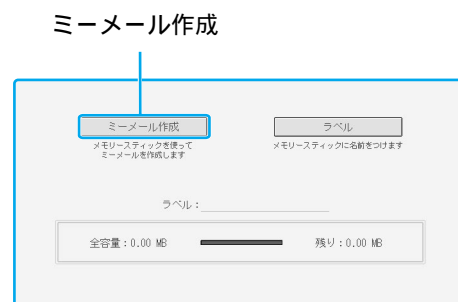
**2** **「インデックス」画面を表示する。**

**3** **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**4** **メモリースティック を選ぶ。**

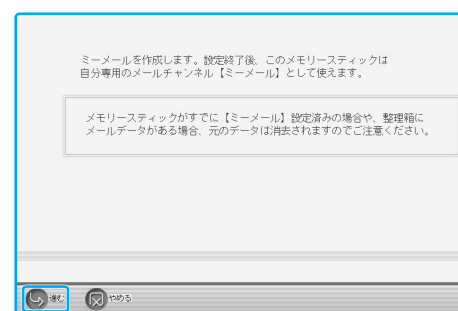
「設定　メモリースティック」画面が表示されます。

**5** **ミーメール作成 を選ぶ。**

ミーメール作成

「 ミーメール作成」画面が表示されます。

**ご注意**

「ミーメール作成」画面に表示される注意書きは必ず、よくお読みください。

**6** **進む を選ぶ。**

進む

ミーメール用ネットワーク設定画面が表示されます。

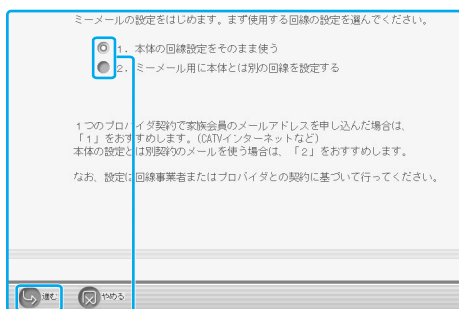
## 7 設定方法を選ぶ。

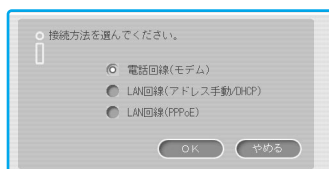
下記のどちらかを選択し、進むを選んでください。

**「本体の回線設定をそのまま使う」**

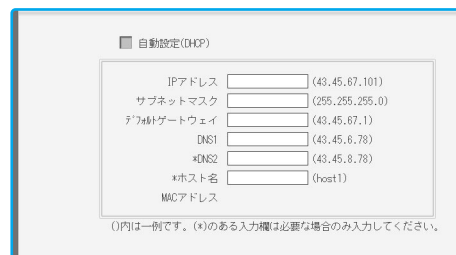
1つのインターネット接続契約で、家族会員に登録したメールアドレスをミーメールで利用する場合などは、こちらを選びます。
（手順12に進んでください。手順8～11は不要です。）

**「ミーメール用に本体とは別の回線を設定する」**

こちらを選ぶと、［ミーメール］用“メモリースティック”の中にミーメール専用の回線設定の情報が保存され、インターネットに接続するときに、その情報を利用することができます。
本体の回線設定とは別の回線設定で使いたい場合や、本体とは別の回線事業者やプロバイダを使いたい場合は、こちらを選びます。
手順8に進んでください。

進む　どちらかを選びます。

## 8 ミーメール用に設定したい接続方法（☞60ページ）を選ぶ。

## 9 OKを選ぶ。

選んだ接続方法に応じた「設定 回線」画面が表示されます。

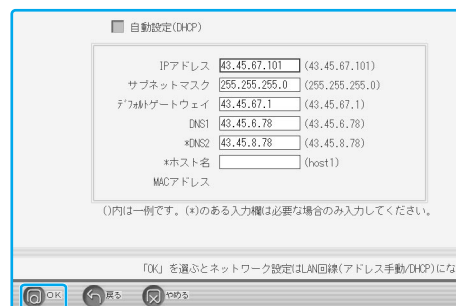
## 10 各項目を入力する。

「準備9：回線の設定をする」（☞52ページ）をご覧ください。

## 11 OKを選ぶ。

OK

「メール」画面が表示されます。



次のページにつづく

## 12 各項目を入力する。

「準備11：メールを送受信するための設定をする」の手順5〜11（☞62ページ）をご覧ください。

## 13 OK を選ぶ。

「ミーメールを作成しました。メールを自分専用に使えます。」のメッセージが表示されます。

## 14 OK を選ぶ。

［ミーメール］用“メモリースティック”が作成されると、（通常“メモリースティック”）表示が（［ミーメール］専用“メモリースティック”）表示に変わります。

### ご注意

ミーメール作成追加に失敗したときは、「メモリースティック書き込み中にエラーが起きました。」というメッセージが表示されます。［OK］を選んで、もう一度手順5（☞176ページ）からやり直してください。

## 15 終了 を選ぶ。

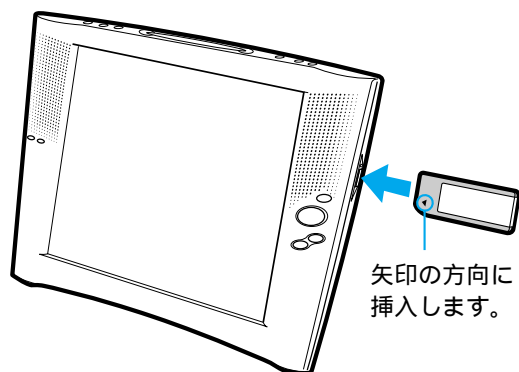
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

# ミーメールでメールを使う

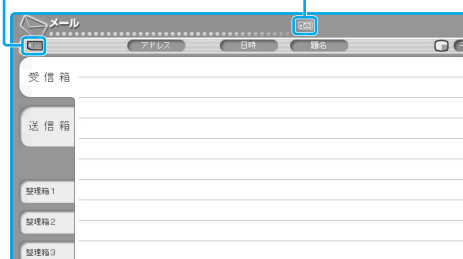
［ミーメール］用“メモリースティック”を使うと、自分専用のメールチャンネルが使えます。
メールの内容が［ミーメール］用“メモリースティック”に保存されるため、“メモリースティック”を抜けば本機にはメールの内容が表示されません。家族の中で本機のメールチャンネルを使い分けたいときに便利です。

**ご注意**

ミーメールの設定方法により、［ミーメール］用“メモリースティック”を使う場合に利用する回線が、異なります。（☞177ページ）

**本機右側面のメモリースティックスロットに、［ミーメール］用“メモリースティック”を挿入する。**

［ミーメール］用“メモリースティック”が画面に表示され、本機の設定が、**［ミーメール］**を作成したときの内容に切り換わります。

“メモリースティック”の内容を表示していることを示す

**［ミーメール］**を使っていることを示す

**［ミーメール］**に切り換わったときのメールの操作については、「メール」（☞118ページ）をご覧ください。

## ［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するには

［ミーメール］用“メモリースティック”を本機で作成することができます。「自分専用の“メモリースティック”を作成する［ミーメール］」（☞176ページ）をご覧ください。

**ご注意**

- ［ミーメール］でメールを作成したり、送受信したりする場合は、“メモリースティック”の「LOCK」をはずしてください。（☞175ページ）
- ［ミーメール］用“メモリースティック”を抜くと、ネットワークやメールの設定が［ミーメール］の設定から本機の設定に切り換わります。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”を入れてインターネットを使用したときの履歴は、本機の履歴に残ります。履歴を残したくないときは、履歴を消去してください。（☞110ページ）
- ［ミーメール］ではメールの自動送受信はできません。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に入っている設定情報は、パソコンでコピーできません。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に保存されているメールの内容は、パソコンで見ることができます。
- ソニーIDT-LF1で作成したミーメール用“メモリースティック”を本機に挿入したときは、回線の設定は「電話回線」になります。ベースステーションに電話回線を接続してメールの送受信をするか、「設定　回線」画面で「本体の設定を利用する」に✓をつけてください。本機の接続方法が「LAN回線」のときは、メールの送受信ができないことがあります。

# “メモリースティック”でメールを整理する［整理箱］

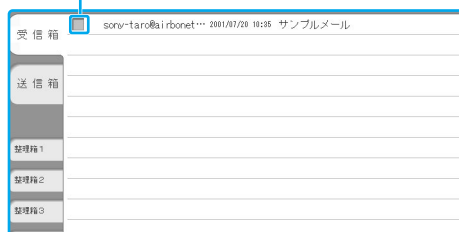
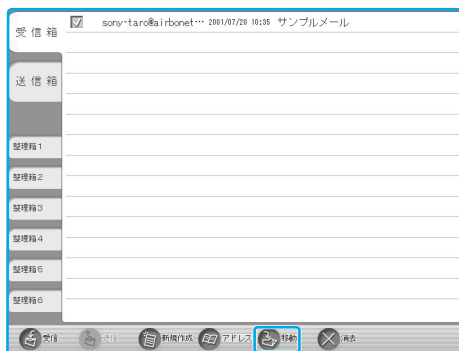
## メールを整理箱に移動する

保存されているメールを“メモリースティック”の「整理箱」に移動してメールを分類できます。

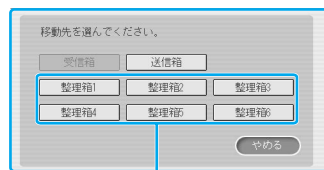
**1 本機に“メモリースティック”を挿入する。**

**2 メールチャンネルの受信箱または送信箱を表示する。**

**3 整理箱に移動したいメールの□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）をつける。**

ここに✓をつけます。

**4 移動 を選ぶ。**

移動

メッセージが表示されます。

**5 移動先を選ぶ。**

どれかを選びます。

選択したメールが整理箱に移動します。

**ご注意**

メールの移動中にメモリースティックを抜いたり、本体の電源を切ったりしないでください。

### 整理箱内のメールを消去するには

1 消去したいメールを含む整理箱を選ぶ。
選んだ整理箱が表示されます。

2 消去したいメールの□に✓をつける。

3 **［消去］** を選ぶ。

### 整理箱に名前を付けるには

1「インデックス」画面を表示する。

2 **［設定］** を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **［メール］** を選ぶ。
「設定 メール」画面が表示されます。

4 **［整理箱］** を選ぶ。
「 整理箱」画面が表示されます。

5 名前を付けたい整理箱の横の入力欄を選んで、キーボードを使って名前を変更する。

6 **［戻る］** を選ぶ。

**ちょっと一言**

整理箱内のメールをパソコンで確認するときは、“メモリースティック”の中の「LFmailxx」(xxは任意の数字）というフォルダを検索してください。
パソコンでメールを編集すると、そのメールは、“メモリースティック”を本機に挿入したとき、消去される場合がありますので、ご注意ください。

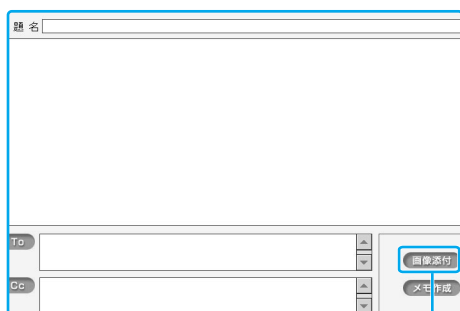
# “メモリースティック” の画像をメールに添付する

## 1 本機に“ メモリースティック ”を挿入する。

## 2 メールチャンネルで 新規作成 を選ぶ。（☞119ページ）

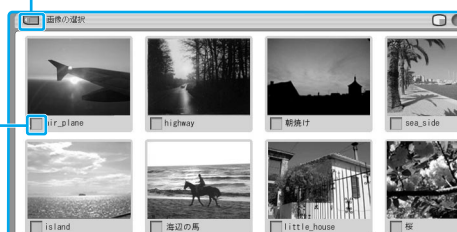
## 3 画像添付 を選んで「画像の選択」画面を表示する。

画像添付

## 4 切換え を選ぶ。

切換え

「 画像の選択」画面に切り換わり、“メモリースティック”に保存されている画像が表示されます。

## 5 添付する画像の□に✓をつける。

「 画像の選択」画面

チェックボックス

## 6 OK を選ぶ。

画像の添付された「メールの作成」画面に戻ります。

### ちょっと一言

アルバムチャンネルの「画像の一覧」画面からメールに画像を添付することもできます。（☞148ページ）

## メールに添付されてきた画像を“ メモリースティック ”に保存するには

**1** 受信箱や整理箱から画像の添付されたメールを選ぶ。
メールの内容が表示されます。

**2** 画像を選ぶ。
画像が拡大表示されます。

**3** 本機に“メモリースティック”を挿入し、**[保存]** を選ぶ。
「どちらのアルバムに保存しますか？」というメッセージが表示されます。

**4** [**メモリースティック**]を選んでから、[OK]を選ぶ。

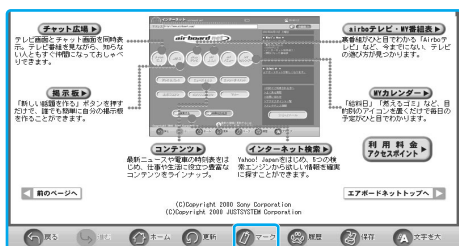
アルバムチャンネルを表示し、[**切換え**]を選んで「 画像の一覧」画面を表示すると、メモリースティックに保存されたことが確認できます。

# “メモリースティック ”にホームページのアドレスを登録する（マーク）

好みのホームページのアドレスを“ メモリースティック ”に登録したり、登録したホームページを見たりできます。

**1 本機に“ メモリースティック ”を挿入する。**

**2 インターネットチャンネルで登録したいホームページを表示する。**

**3 マーク を選んで「マークの一覧」画面を表示する。**

マーク

本機の「マークの一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「マークの一覧」画面を表示する。

**4 追加 を選ぶ。**

マークが登録され、手順2で表示したホームページに戻ります。

マークのタイトルを変更したり、登録したマークを消去するには、「マークにあるホームページのタイトルを変更するには」(☞106ページ）または「登録したマークを消去するには」（☞106ページ）の手順に従ってください。

## “ メモリースティック ”に登録したアドレスのホームページを見るには

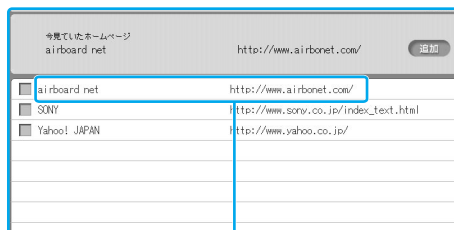
**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。

**2** インターネットチャンネルを表示する。

**3** **[マーク]** を選ぶ。

本機の「マークの一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「マークの一覧」画面を表示する。

**4** 見たいホームページのマークを選ぶ。

選んだホームページが表示されます。

ここを選びます。（チェックボックスを選んでも表示できません。）

## 本機に登録したアドレスを“メモリースティック”にコピーするには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。

**2** インターネットチャンネルで **[マーク]** を選ぶ。

が左上に表示されている「マークの一覧」画面が表示されていたら、**[切換え]**を選んで「マークの一覧」画面を表示する。

**3** “メモリースティック”にコピーしたいマークの□に、✓をつける。

**4** **[コピー]**を選ぶ。

「チェックした項目を本体からメモリースティックにコピーします。」というメッセージが表示されます。

**5** [OK]を選ぶ。

**6** 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

**[切換え]**を選んで「マークの一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

## “メモリースティック”に登録したアドレスを本機にコピーするには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。

**2** インターネットチャンネルで **[マーク]** を選ぶ。

本機の「マークの一覧」画面が表示されていたら、**[切換え]**を選んで「マークの一覧」画面を表示する。

**3** 本機にコピーしたいマークの□に、✓をつける。

**4** **[コピー]**を選ぶ。

「チェックした項目をメモリースティックから本体にコピーします。」というメッセージが表示されます。

**5** [OK]を選ぶ。

**6** 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

**[切換え]**を選んで本機の「マークの一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

# “メモリースティック”に保存した画像を表示する

メモリースティックには、アルバムの画像やメールに添付されてきた画像、ホームページで保存した画像など、いろいろな画像を保存することができます。ここでは、“メモリースティック”に保存した画像を見る方法を説明します。

## 1 本機に“メモリースティック”を挿入する。

## 2 アルバムチャンネルで「画像の一覧」画面を表示する。

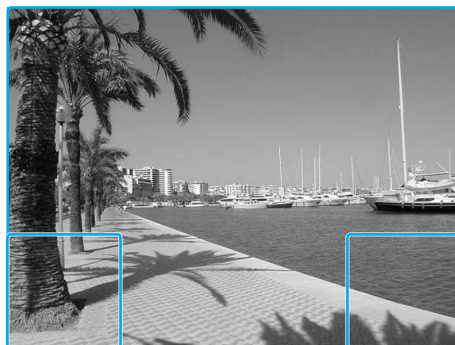
本機の「画像の一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「画像の一覧」画面を表示します。

切換え

## 3 見たい画像を直接選ぶ。

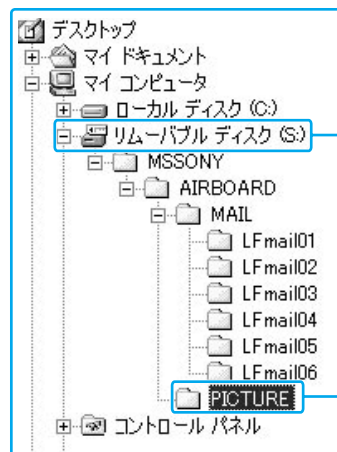
ここを選びます。

画像が拡大表示されます。

## 4 「画像の一覧」画面に戻るには、拡大された画像の左右下隅以外に触れる。

ここ以外に触れます。

### ちょっと一言

- パソコンで作成した画像を本機のアルバムで表示する場合、画像を“メモリースティック”内の以下のフォルダにコピーしてください。

  パソコンのフォルダ例：

“メモリースティック”

このフォルダ内にコピーします。

- “メモリースティック”内に上記フォルダが存在しないときは、パソコンで上記フォルダを作成するか、本機に“メモリースティック”を一度挿入すると自動的にフォルダが作成されます。
- 本機のアルバムの画像を“メモリースティック”に保存してパソコンで確認するときも、上記フォルダを参照してください。

**ご注意**

- デジタルスチルカメラDSC-P5/20/50などのEメールモードで撮影した画像を本機のアルバムチャンネルで表示すると、同じ画像が2つ表示されますが、これらの画像を拡大表示すると異なった大きさで表示されます。このとき、大きい画像を消去すると、“メモリースティック”をデジタルスチルカメラに戻したときに画像が表示されなくなりますのでご注意ください。
- ファイル名に全角の文字が使われている画像をパソコンから“メモリースティック”にコピーした場合、その画像は本機のアルバムチャンネルでは表示できないことがあります。
- パソコンで初期化した“ メモリースティック ”に保存されている画像は、本機で表示できないことがあります。“メモリースティック”は、本機で初期化してください。(☞187ページ)
- 本機では（社）日本電子工業振興会の規格（DCF：Design rule for Camera File system）で記録された画像を表示できますが、この規格に対応していないデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900やデジタルスチルカメラDCF-D700/D770などで記録された画像は表示できないことがあります。

## 本機のアルバムに保存されている画像を“メモリースティック”にコピーするには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。

**2** アルバムチャンネルで「画像の一覧」画面を表示する。

が左上に表示されている「画像の一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで本機の「画像の一覧」画面を表示します。

**3** “メモリースティック”にコピーしたい画像の□に、✓をつける。

**4** **[コピー]** を選ぶ。

「チェックした項目を本体からメモリースティックにコピーします。」というメッセージが表示されます。

**5** [OK]を選ぶ。

**6** 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

[**切換え**]を選んで「画像の一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

## “メモリースティック”の画像を本機にコピーするには

**1** 本機に“メモリースティック”を挿入する。

**2** アルバムチャンネルで「画像の一覧」画面を表示する。

本機の「画像の一覧」画面が表示されていたら、[**切換え**]を選んで「画像の一覧」画面を表示します。

**3** 本機にコピーしたい画像の□に、✓をつける。

**4** **[コピー]** を選ぶ。

「チェックした項目をメモリースティックから本体にコピーします。」というメッセージが表示されます。

**5** [OK]を選ぶ。

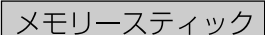
**6** 「コピーしました。」のメッセージが出たら、[OK]を選ぶ。

**[切換え]** を選んで本機の「画像の一覧」画面を表示すると、コピーされたことが確認できます。

**ちょっと一言**

同じファイル名の画像がすでにある場合はファイル名の最後に「^」と「数字」が付きます。

# “メモリースティック”にラベルを付ける

本機では“メモリースティック”に名前（ラベル）を登録することができます。
ラベルを付けると、画面上部の　（もしくは　）の横にラベルが表示されます。

ラベルが表示されます

## 1 「インデックス」画面を表示する。

## 2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

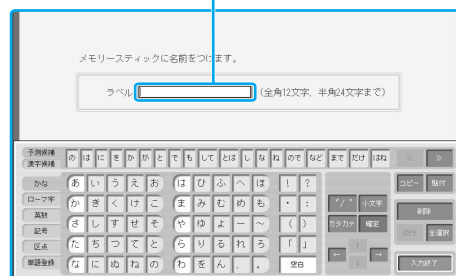
## 3 メモリースティック を選ぶ。

「設定 メモリースティック」画面が表示されます。

## 4 ラベル を選ぶ。

「 ラベル作成」画面が表示されます。

## 5 「ラベル」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってラベル名を入力する。

ここに入力する。

## 6 OK を選ぶ。

## 7 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、 設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

# “メモリースティック”を初期化する

本機を使って"メモリースティック"を初期化するときは、以下の操作に従ってください。

**ご注意**

- 本機で“メモリースティック”を初期化すると、“メモリースティック”に記録されているデータはすべて消去されます。本機以外で記録したデータも消去されます。[ミーメール] 用“メモリースティック”も初期化すると **[ミーメール]** ではなくなります。初期化する前に内容を確認してください。
- 必要なとき以外は“メモリースティック”を初期化しないでください。

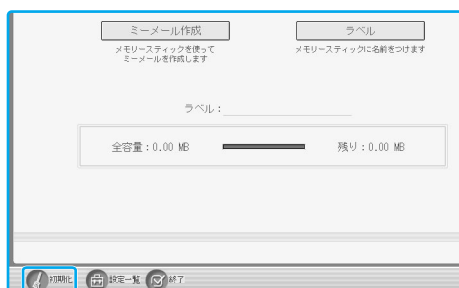
**1** **「インデックス」画面を表示する。**

**2** 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

**3** メモリースティック **を選ぶ。**

「設定 メモリースティック」画面が表示されます。

**4** 初期化 **を選ぶ。**

初期化

**初期化中は“メモリースティック”を絶対に抜かないでください。**

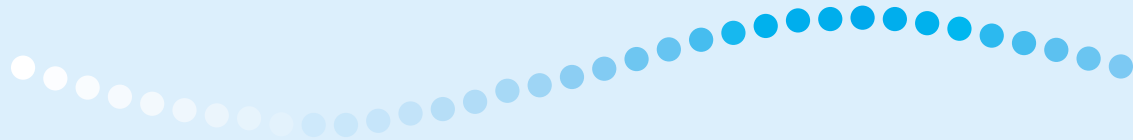
**5** 終了 **を選ぶ。**

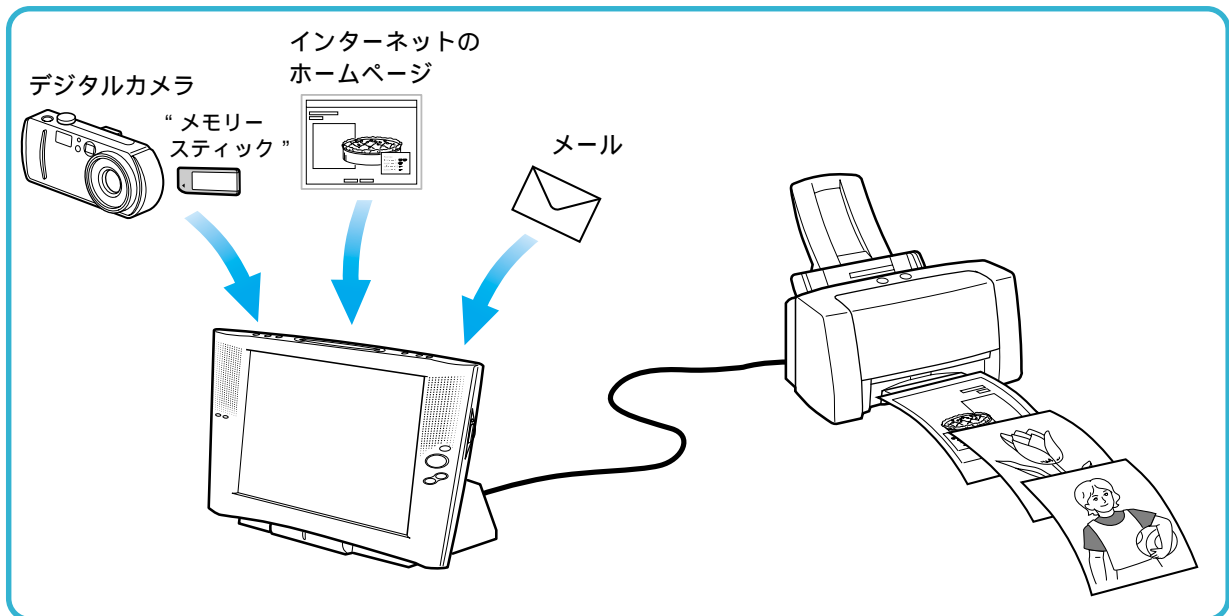
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

**ご注意**

- “メモリースティック”をパソコンで初期化すると、その“メモリースティック”は本機で使えなくなる場合があります。その場合は、“メモリースティック”に記録されているデータをパソコンなどでバックアップをとったうえで本機で初期化し直してください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、初期化できません。

# 印刷

# 印刷について

本機のベースステーションにプリンターを接続すると、アルバムに保存した画像やメール、インターネットのホームページなどを印刷することができます（「標準印刷」）。また、モニターに映るテレビなどの画面をそのまま印刷できる「見たまま印刷」もできます。

## 「見たまま印刷」とは？

テレビやビデオの画面なども含め、印刷ボタンを押した瞬間に本機のモニターに表示されている画面をそっくりそのまま印刷します。モニターに表示されている操作ボタンや枠などもそのまま印刷されます。
（テレビ、ビデオ、アルバムのMPEG1動画の場合、ボタンや枠は印刷されません。）

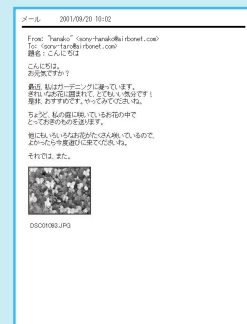
## 「標準印刷」とは？

アルバムの画像やインターネットのホームページの画面、メールの文書などを印刷します。モニター画面の操作ボタンや枠などは印刷されません。画面をスクロールしなければ全体が表示できないような大きな画面を印刷するときに便利です。

**受信メールの印刷例：**

モニター画面

「見たまま印刷」

「標準印刷」

## 本機につなげるプリンターは？

（2002年1月現在）

| メーカー名 | 機種名 |
|---|---|
| ソニー | MPR-501 |
| キヤノン | BJ S300、BJ S500、BJ S700 |
| エプソン | PM-730C、PM-830C、PM-890C |
| ヒューレットパッカード | deskjet 845c、deskjet 948c、deskjet 990cxi |

**ちょっと一言**

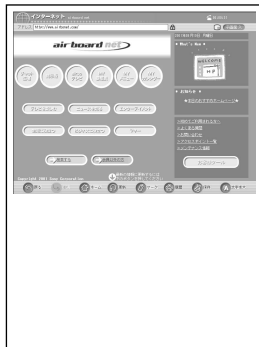
つなげるプリンターの最新情報は、エアボードのホームページの「Q＆A」
http://www.sony.co.jp/airboard/QAで確認できます。

## 印刷例

### 「見たまま印刷」

**印刷できる画面：**
画質調整、音質調整、スリープタイマー、チャンネル設定変更、ワイヤレス通信調整を除くすべての画面
**対応用紙サイズ：**A4縦、ハガキ縦

用紙上部に、画面に表示されている通りに印刷されます。

A4縦

ハガキ縦

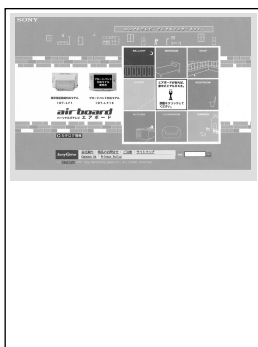
### 「標準印刷」

**印刷できる画面：**
**インターネットチャンネル**（ホームページの画面、履歴の一覧、マークの一覧、保存したホームページの一覧）
**メールチャンネル**（受信箱や送信箱、整理箱にあるメール、作成中のメール、アドレス帳）
**アルバムチャンネル**（画像の一覧、拡大表示）
**対応用紙サイズ：**A4縦、ハガキ縦、ハガキ横

〈インターネットチャンネル〉

#### ホームページ印刷例

左上を起点として印刷されます。

A4縦

ハガキ縦

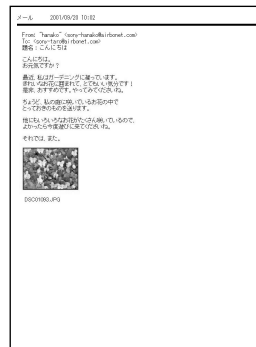
**ご注意**

ホームページの印刷で、印刷内容の横幅が用紙サイズを超えてしまった場合、その部分は印刷されません。

〈メールチャンネル〉

#### メール印刷例

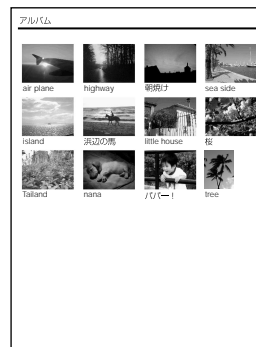
左上を起点として印刷されます。

A4縦

ハガキ縦

〈アルバムチャンネル〉

#### 画像一覧印刷例

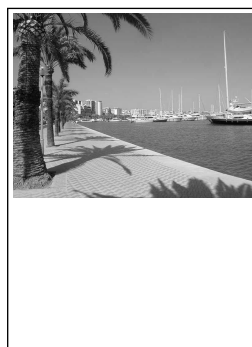
左上を起点として印刷されます。

A4縦

ハガキ縦

#### 拡大表示印刷例

横長、縦長の画像とも、左上を起点として印刷されます。

A4縦

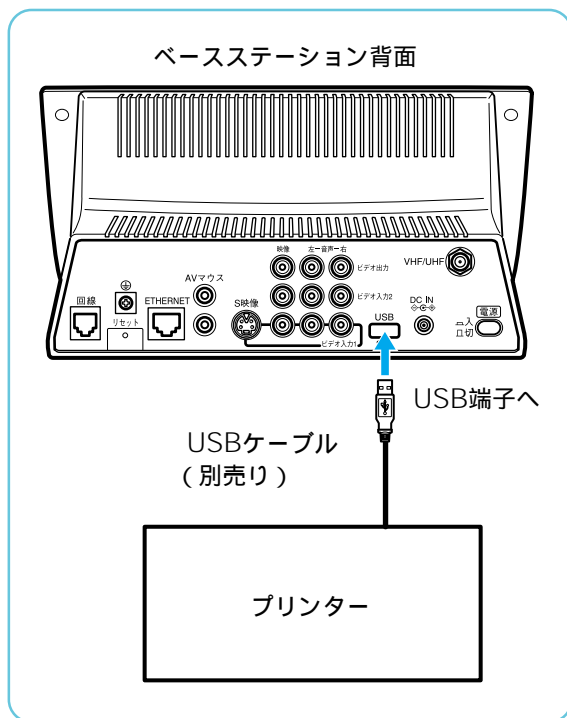
ハガキ縦

**ハガキ横**

横長、縦長の画像とも、中央を起点として印刷されます。

**ご注意**

「ハガキ横」の印刷は、アルバムチャンネルの拡大表示したものを標準印刷したときのみできます。

# プリンターをつなぐ

ベースステーションのUSB端子にプリンターをつなぎます。プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

**ご注意**

- 次のときはUSBケーブルの抜き差しをしないでください。
  －ベースステーションの電源コードをつないでから電源ランプが緑に点灯するまでの間
  －プリンターで印刷中
  USBケーブルはベースステーションやプリンターの電源が入っているときでもケーブルの抜き差しができます。ただし、上記の場合にケーブルの抜き差しを行うと、本機やプリンターが正しく動作しなくなる場合があります。
- ベースステーションやプリンターの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、必ず抜いてから5秒以上の間隔をあけて差してください。抜いてすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります。
- USB端子には、対応プリンターやプリンタ以外の機器は接続しないでください。

**キヤノンとソニーのプリンターをお使いのかたへ**
プリンターを接続し、お使いになる前に、エアボードのホームページの「Q＆A」（http://www.sony.co.jp/airboard/QA）または、本機に保存されている「プリンターメンテナンス」（☞108ページ）の **［プリントヘッド位置調整］** を行ってください。また、プリンターを使用していてインクづまりしたときも、こちらのホームページからクリーニングを行えます。

## 印刷できる紙とサイズ

| メーカー名 | 用紙サイズ | 用紙設定 | 使用可能な用紙 |
|---|---|---|---|
| ソニー/キヤノン | A4縦 | 普通紙 | 一般的な普通紙 |
| | | 高品位用紙 | プロフェッショナルフォトペーパーA4 PR-101 |
| | ハガキ縦/横 | 普通紙 | 官製はがき（普通紙） |
| | | 高品位用紙 | インクジェット官製はがき（コーティング面） |
| | | | プロフェッショナルフォトはがき PH-101 |
| | | | 光沢はがき EPP-P20CT ソニー製 |
| エプソン | A4縦 | 普通紙 | 一般的な普通紙 |
| | | 高品位用紙 | スーパーファイン専用紙 MJA4SP1 |
| | | | スーパーファイン専用紙2 KA4100SF2 |
| | ハガキ縦/横 | 普通紙 | 官製はがき（普通紙） |
| | | 高品位用紙 | インクジェット官製はがき（コーティング面） |
| | | | スーパーファイン専用ハガキ MJSP5 |
| | | | フォト・クォリティ・カード2 PMHSP1 |
| ヒューレットパッカード | A4縦 | 普通紙 | 一般的な普通紙 |
| | | | インクジェット用上質普通紙 C5977B |
| | | 高品位用紙 | フォト用紙 C6765A |
| | | | プレミアムインクジェット専用紙 51634Z |
| | ハガキ横 | 普通紙 | 官製はがき（普通紙） |
| | | 高品位用紙 | インクジェット官製はがき（コーティング面） |
| | ハガキ横 | 普通紙 | 官製はがき（普通紙） |
| | | 高品位用紙 | インクジェット官製はがき（コーティング面） |

# 画面を「見たまま印刷」する

「見たまま印刷」では、**[印刷]**ボタンを押す瞬間にモニターに表示されている画面が印刷されます。

**ご注意**

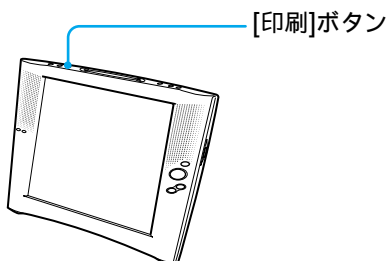
テレビを見ながら設定する画面（スリープタイマーなど）は印刷できません。

## 1 プリンターの電源を入れ、用紙をセットする。

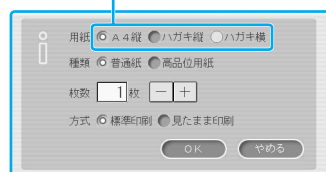
A4用紙、ハガキのいずれかをセットしてください。用紙のセットのしかたはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

**ご注意**

「見たまま印刷」はハガキ横では印刷できません。ハガキ横で印刷できるのは、アルバムに保存されているJPEG画像を拡大表示して「標準印刷」を選択したときのみです。

## 2 印刷したい画面をモニターに表示する。

## 3 モニター上部の[印刷]ボタンを押す。

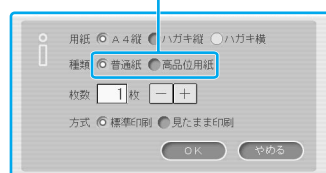
印刷の選択画面が表示されます。

## 4 用紙のサイズを選ぶ。

いずれかを選びます。

**ご注意**

選べない項目は白丸で表示されます。

## 5 紙の種類を選ぶ。

どちらかを選びます。

**ちょっと一言**

**[高品位用紙]**とは、プリンターメーカーの専用紙やインクジェットはがきなどです。

## 6 印刷枚数を選ぶ。

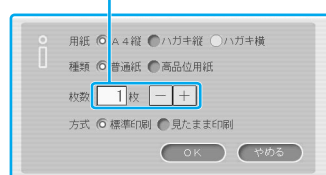
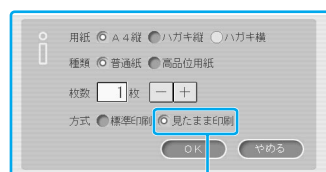
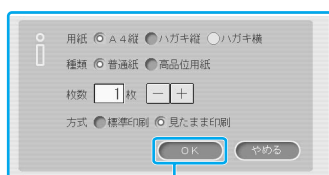
[+]または[−]を使って選びます。

## 7 [見たまま印刷]を選ぶ。

印刷

次のページにつづく

## 画面を「見たまま印刷」する（つづき）

**8** 

**を選ぶ。**

OK

印刷が始まります。

### ちょっと一言

- テレビやビデオ、動画を「見たまま印刷」する場合、**[印刷]**ボタンを押した瞬間の画面が印刷されます。
- 子画面を表示しているときに**[印刷]**ボタンを押すと、子画面は消え、印刷終了後に再び表示されます。子画面は印刷されません。
- 「インク切れ」などのエラーメッセージが表示された場合は、プリンターの取扱説明書をご覧になって対処してください。

### ご注意

- モニターが圏外にあるときは印刷できません。
- 印刷中は「印刷中」のメッセージが画面に表示され、他の操作はできません。
- 印刷中にプリンターの電源を切らないでください。
- 印刷中にプリンターのUSBケーブルを抜かないでください。
- 印刷中は、“メモリースティック”を抜き挿ししないでください。印刷が中断されます。
- ホームページの読み込み中は印刷できません。

# 画面を「標準印刷」する

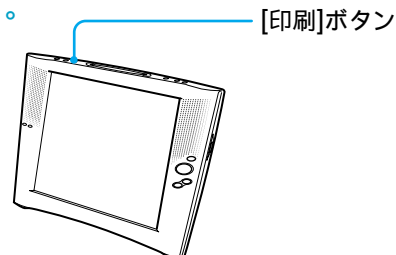
「標準印刷」では、モニターに表示されている画像や文書などを印刷します。

**標準印刷できる画面**

**インターネットチャンネル**
　ホームページの画面
　履歴の一覧
　マークの一覧
　保存したホームページ一覧
**メールチャンネル**
　受信箱や送信箱、整理箱にあるメール
　作成中のメール
　アドレス帳
**アルバムチャンネル**
　画像の一覧
　拡大表示

**1 プリンターの電源を入れ、用紙をセットする。**

A4用紙、ハガキのいずれかをセットしてください。用紙のセットのしかたはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

**2 印刷したい画面をモニターに表示する。**

**3 モニター上部の[印刷]ボタンを押す。**

**[印刷]**ボタン

印刷の選択画面が表示されます。

## 4 用紙のサイズを選ぶ。

いずれかを選びます。

**ご注意**

選べない項目は白丸で表示されます。

## 5 紙の種類を選ぶ。

どちらかを選びます。

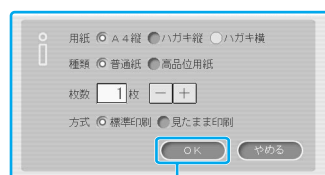
**ちょっと一言**

**[高品位用紙]**とは、プリンターメーカーの専用紙やインクジェットはがきなどです。

## 6 印刷枚数を選ぶ。

[+]または[−]を使って選びます。

## 7 [標準印刷]を選ぶ。

## 8 ＯＫ を選ぶ。

印刷が始まります。

**ちょっと一言**

- 子画面を表示しているときに**[印刷]**ボタンを押すと、子画面は消え、印刷終了後に再び表示されます。子画面は印刷されません。
- 「インク切れ」などのエラーメッセージが表示された場合は、プリンターの取扱説明書をご覧になって対処してください。
- ホームページによっては、画面を切り換えても同じアドレスで表示されるものがあります。「標準印刷」でそのようなホームページを印刷した場合、印刷終了後に最初に表示した画面に自動的に切り換わります。

**ご注意**

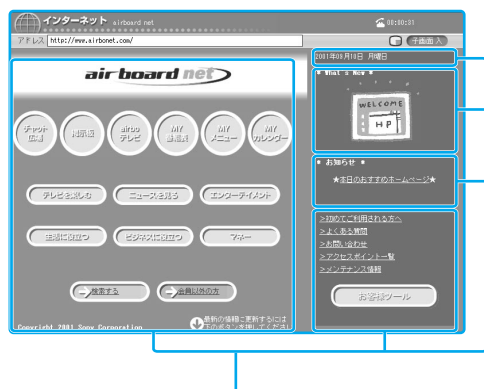
- モニターが圏外にあるときは印刷できません。
- 印刷中は「印刷中」のメッセージが画面に表示され、他の操作はできません。
- 印刷中にプリンターの電源を切らないでください。
- 印刷中にプリンターのUSBケーブルを抜かないでください。
- 印刷中は、“メモリースティック”を抜き挿ししないでください。印刷が中断されます。
- ホームページの読み込み中は印刷できません。



次のページにつづく

## 複数のフレームから構成されているホームページを印刷するときは

インターネットのホームページの中には、いくつかの部分を組み合わせて1ページを構成しているものがあります。この各部分をフレームといいます。「標準印刷」では、フレームごとに印刷を行います。

**エアボードのホームページの例**

5枚のフレームから構成されています。

**1** 「標準印刷」の手順1～8（☞194ページ～195ページ）を行う。

手順8で[OK]を選ぶと画面上部（「インターネット」表示の右側）に、「印刷したい部分（フレーム）を選んでください」と表示されます。

**2** ホームページの印刷したい部分を選ぶ。

選んだ部分に枠が表示され、「選択した部分（フレーム）を印刷しますか？」というメッセージが表示されます。

**3** [OK]を選ぶ。

枠で囲まれた部分が印刷されます。

別の部分（フレーム）を印刷するには、[**やめる**]を選び、印刷したい部分を選び直します。

### ご注意

- インターネットのホームページ上にあるサイズの大きな画像は、「標準印刷」できない場合があります。ホームページの画像をアルバムに保存する（☞109ページ）と、「見たまま印刷」も「標準印刷」もできます。
- インターネットのホームページ上にあるFlashコンテンツは印刷できません。

# その他の設定

# 省エネタイマーの時間を設定する

本機をしばらく使わないとき、省エネタイマーが働いて本機のバッテリーの消費電力を少なくするように設定できます。省エネタイマーが働くと、画面は真っ暗になります。

**ご注意**

省エネタイマーは、テレビチャンネルやビデオチャンネルをご覧になっているときや子画面が表示されているとき、スライドショー動作中は実行されません。

**1** **「インデックス」画面を表示する。**

**2** 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

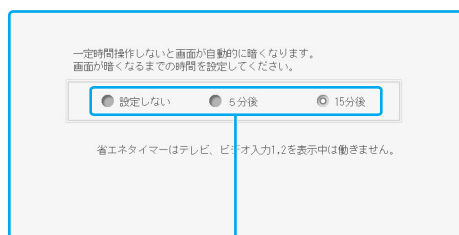
**3** 本体の設定 **を選ぶ。**

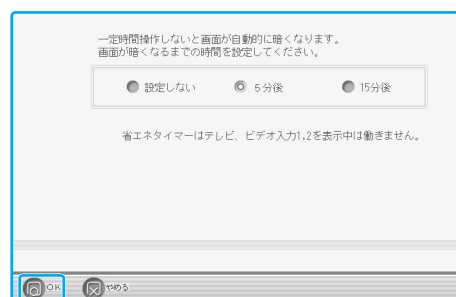
「設定 本体の設定」画面が表示されます。

**4** 省エネタイマー **を選ぶ。**

「省エネタイマー」画面が表示されます。

**5** **タイマーを実行する時間を変更する。**

「設定しない」、「5分後」、または「15分後」のいずれかを選びます。

ここから選びます。

**6** OK **を選ぶ。**

OK

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

**7** 終了 **を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧を選んで設定一覧画面に戻ります。

省エネタイマーで本機を何も操作しないまま設定した時間がたつと、画面が真っ暗になります。以下のいずれかを行うと省エネタイマーは解除され、画面は元に戻ります。

- 画面に触れる
- モニターの上部または右側にあるボタンを押す（電源ボタンも省エネタイマー解除ボタンとして働きます）
- 接続した市販のキーボードを操作する

# 操作音を消す

ここでは本機を操作するときの操作音を消す方法を説明します。

**1** 「インデックス」画面を表示する。

**2** 設定 を選ぶ。

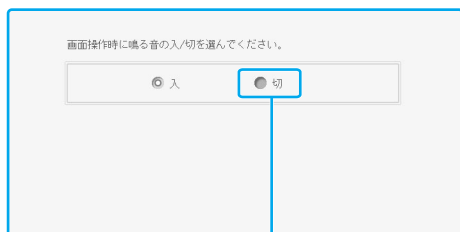
「設定 一覧」画面が表示されます。

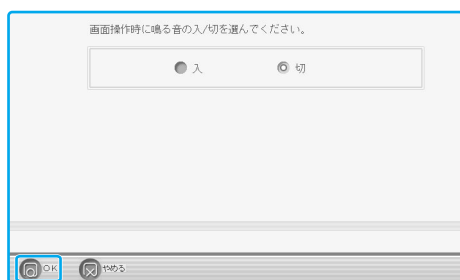
**3** 本体の設定 を選ぶ。

「設定 本体の設定」画面が表示されます。

**4** 操作音 を選ぶ。

「操作音」画面が表示されます。

**5** ［切］を選ぶ。

ここを選びます。

**6** OK を選ぶ。

OK

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

**7** 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

## 操作音を出すには

「操作音を消す」の手順5で［入］を選ぶ。

# ワイヤレスチャンネルを変更する

ワイヤレスの通信状態の悪い状態が数秒間続くと、本機は、自動的に最適なワイヤレスチャンネルに変更しますが、以下のときは、手動でワイヤレスチャンネルを変更します。

- テレビの画像の乱れが気になる
- 手動で最適なワイヤレスチャンネルを設定したい
- 本機の近くに同じ周波数を使っている機器がある
- パソコンをベースステーションに無線接続する

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 設定 を選ぶ。**

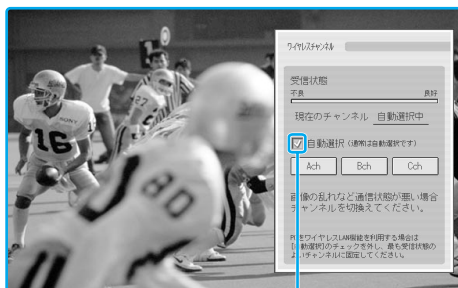
「設定 一覧」画面が表示されます。

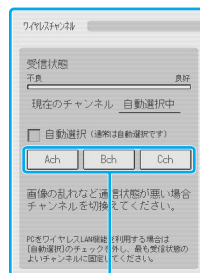
**3 ワイヤレス通信 を選ぶ。**

「設定 ワイヤレス通信」画面が表示されます。

**4 ワイヤレスチャンネル を選ぶ。**

「ワイヤレスチャンネル」画面が表示されます。

**5 [自動選択]の□（チェックボックス）を選んで✓（チェックマーク）を消す。**

この✓を消します。

**6 画面を見ながら受信状態の良好なワイヤレスチャンネルを選ぶ。**

ここから選びます。

メッセージが表示されます。

**ご注意**

圏外表示の出ないところで行ってください。

**7 戻る を選ぶ。**

戻る

「設定 一覧」画面に戻ります。

**8 終了 を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

**ちょっと一言**

- 本機では2.4GHz帯の無線周波数を使用しています。Achには1チャンネル、Bchには6チャンネル、Cchには11チャンネルが割り当てられています。「自動選択」をチェックしていると、本機が自動的に最適なワイヤレスチャンネルを選択します。
- 近距離で本機を2台以上使用する場合は、「自動選択」の✓をはずしてそれぞれ別のワイヤレスチャンネルを選んでください。

### 近くでワイヤレスLANを使用するときは

近くで「2.4GHz、IEEE802.11b」準拠のワイヤレスLANのアクセスポイントを使用するときは、本機のワイヤレス通信の「自動選択」をチェックした状態で、ワイヤレスLANのアクセスポイントのチャンネルを1、6、11のいずれかに設定してください。
それでも本機の画像などが正しく表示されないときは、本機のワイヤレス通信の「自動選択」の✓をはずし、ワイヤレスLANで設定しているチャンネル以外のチャンネルに変更してください。
たとえば、ワイヤレスLANのアクセスポイントが1チャンネル（Ach）であれば、本機はBch（6チャンネル）またはCch（11チャンネル）に設定します。

**ご注意**

ここで言っているアクセスポイントは、本機ベースステーションのワイヤレスLANアクセスポイント機能（☞228ページ）のことではありません。

## 本機をお買い上げ時の設定に戻す

本機を初期化することにより、お買い上げ時の設定に戻すことができます。
初期化すると、本機に保存されたデータはすべて消去されます。

**ちょっと一言**

メールチャンネルのサンプルメールやアルバムチャンネルのサンプル画像も消去されます。

**初期化の前に**

- ベースステーションの電源が入っているかを確認し、ベースステーションの近くで行ってください。
- 初期化を行っている間はバッテリーをはずさないでください。
- 初期化の途中でモニターが再起動されますが、初期化終了のお知らせが表示されるまで、そのままお待ちください。

**1 ベースステーションの電源は［入］、モニターの［電源］は［切］にする。**

**2 モニター上部の［消音］、［音量ー］、［電源］ボタンを同時に押す。**

このとき、**［消音］**と**［音量ー］**ボタンは押し続けてください。「設定 初期化」画面が表示されます。

**3 OK を選ぶ。**

モニターが自動的に再起動し、初期化されます。

その他の設定

# メモリの残量を確認する

本機や“メモリースティック”に残っているメモリの容量を確認できます。

**1 「インデックス」画面を表示する。**

**2 設定 を選ぶ。**

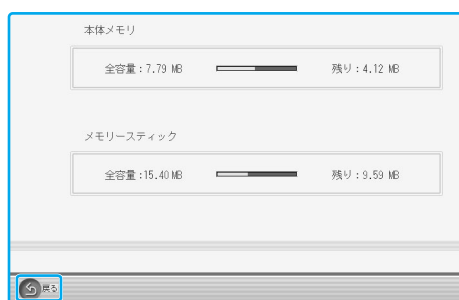
「設定 一覧」画面が表示されます。

**3 本体の設定 を選ぶ。**

「本体の設定」画面が表示されます。

**4 容量(メモリ) を選ぶ。**

「容量（メモリ）」画面が表示されます。

**5 戻る を選ぶ。**

戻る

「設定 本体の設定」画面に戻ります。

**6 終了 を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

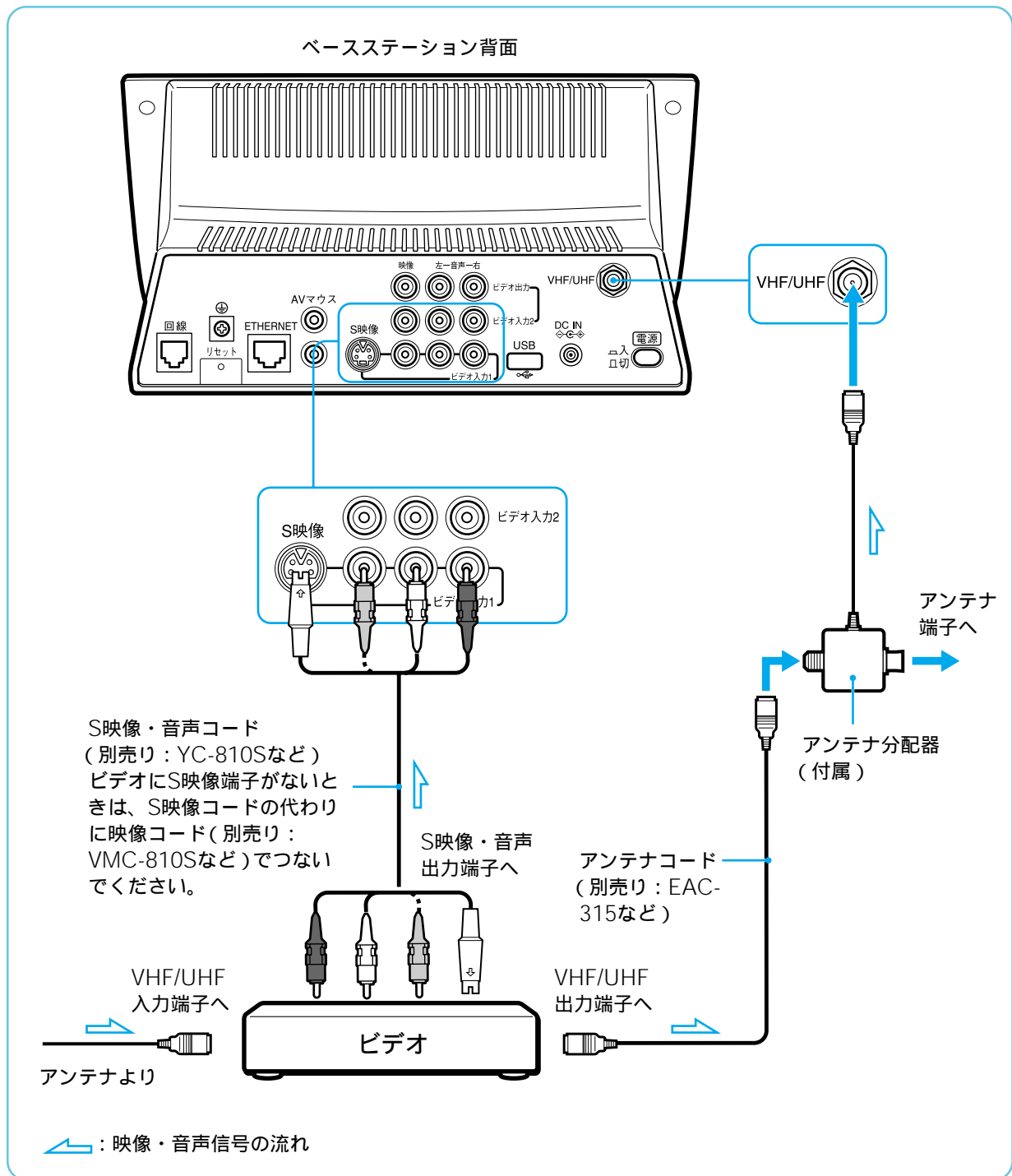
引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定一覧画面に戻ります。

**ご注意**

- “メモリースティック”表面に記載されている容量と実際に使用できる容量は異なります。画面上の「全容量」に表示された容量分のみ使用できます。
- 本体メモリや“メモリースティック”の中には、設定データなどお客様自身で消去できないデータも含まれています。

# 他機との接続と設定

# ビデオをつなぐ

ビデオデッキをつなぎます。ビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## S映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、つなぐ機器にS映像端子がある場合はS映像端子につないでください。
S映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

## ビデオを見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ入力1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ入力**1］ボタンを選びます。

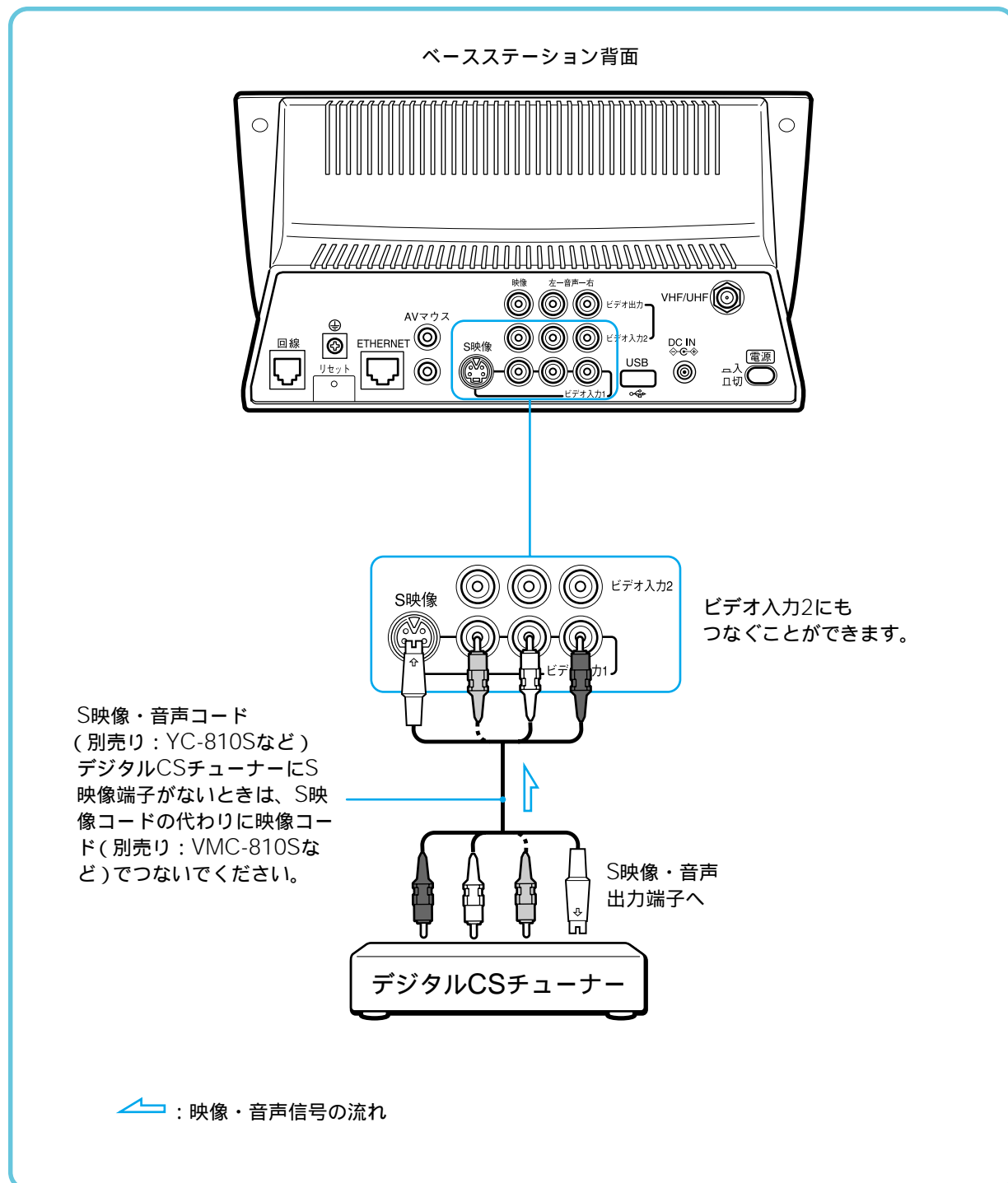
## テレビの映像・音声入力端子へビデオをつなぐときは

ビデオを本機のビデオ入力2端子へつなぎ、本機のビデオ出力端子をテレビの映像・音声入力端子へつなぎます。

## ビデオを見るには

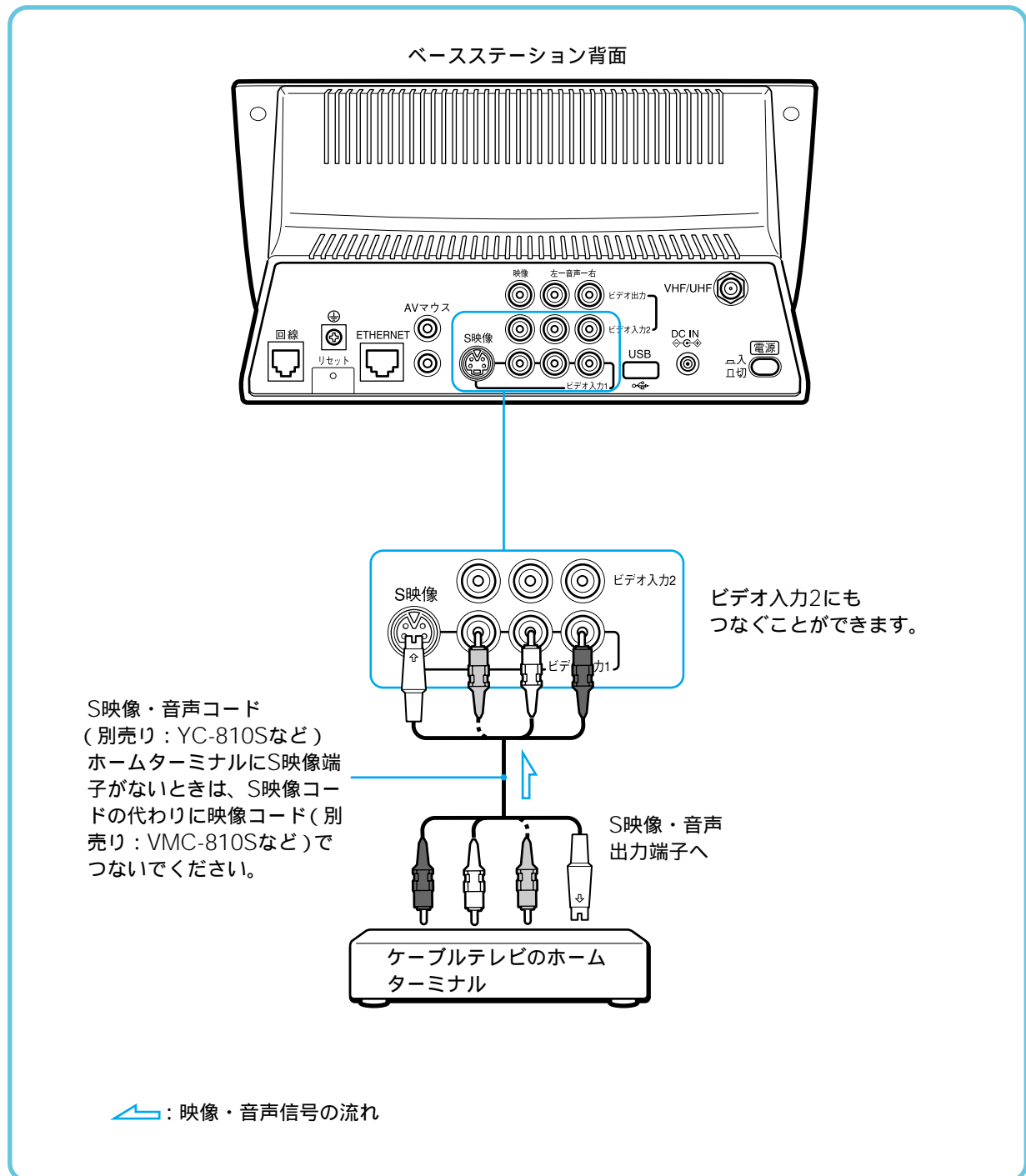
モニター右側の［**チャンネル+/–**］ボタンを押して「ビデオ入力2」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ入力2**］ボタンを選びます。

# デジタルCSチューナーをつなぐ

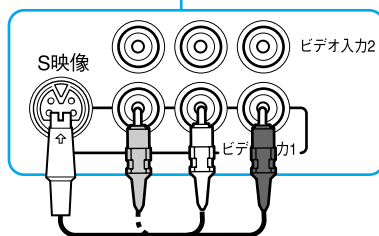
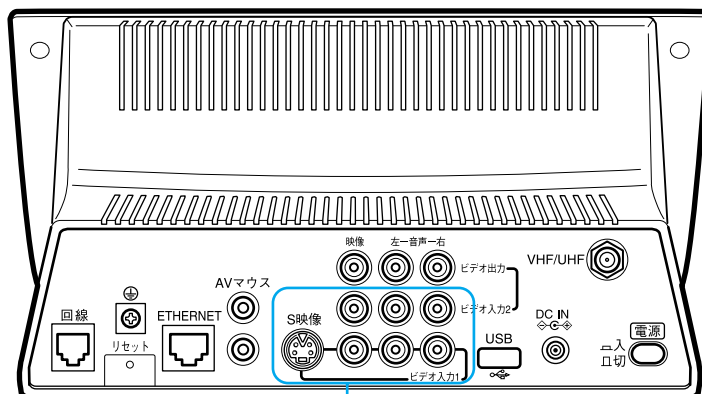
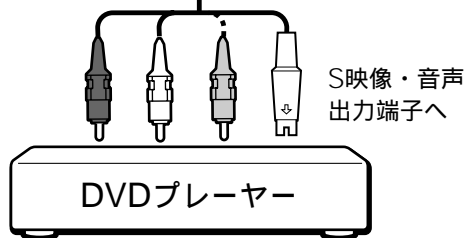
デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## デジタルCS放送を見るには

モニター右側の **［チャンネル+/–］** ボタンを押して「ビデオ入力1」を表示させるか、インデックス画面の **［ビデオ入力1］** ボタンを選びます。

# ケーブルテレビのホームターミナルをつなぐ

ケーブルテレビ放送を見るには、ケーブルテレビ会社と受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容が見れないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社へお問い合わせください。
ホームターミナルの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ケーブルテレビ放送を見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ入力1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ入力**1］ボタンを選びます。

# DVDプレーヤーをつなぐ

## DVDを見るには

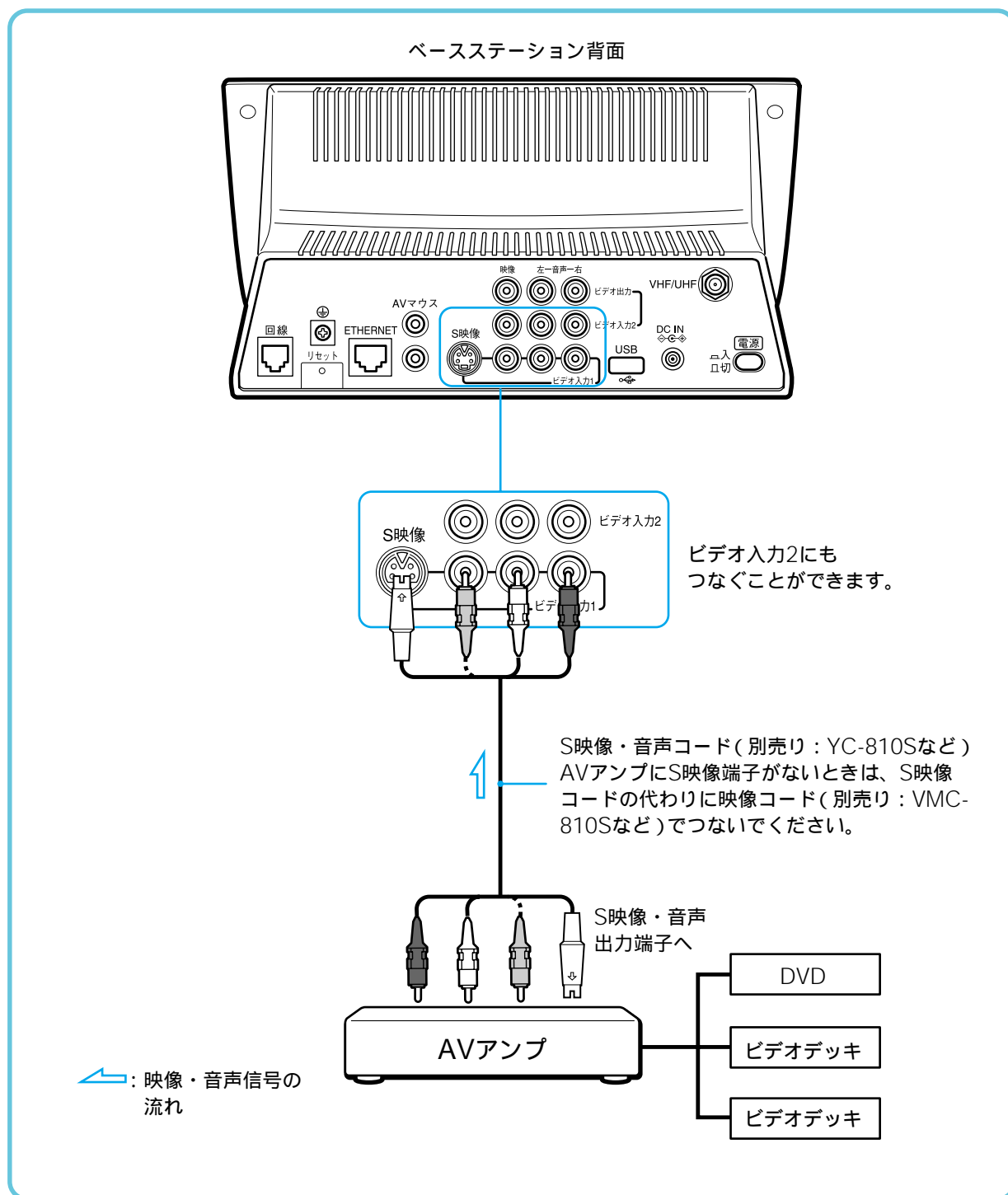
モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ入力1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ入力**1］ボタンを選びます。

### ちょっと一言

DVDプレーヤーをビデオ入力2端子につないだときは「ビデオ入力2」を選びます。

### ご注意

DVDをビデオ経由で本機につないだときは、ビデオの録画防止機能（コピーガード）が働き、DVDの映像が乱れたり、暗くなったりすることがあります。DVDは本機のビデオ入力端子に直接つないでください。

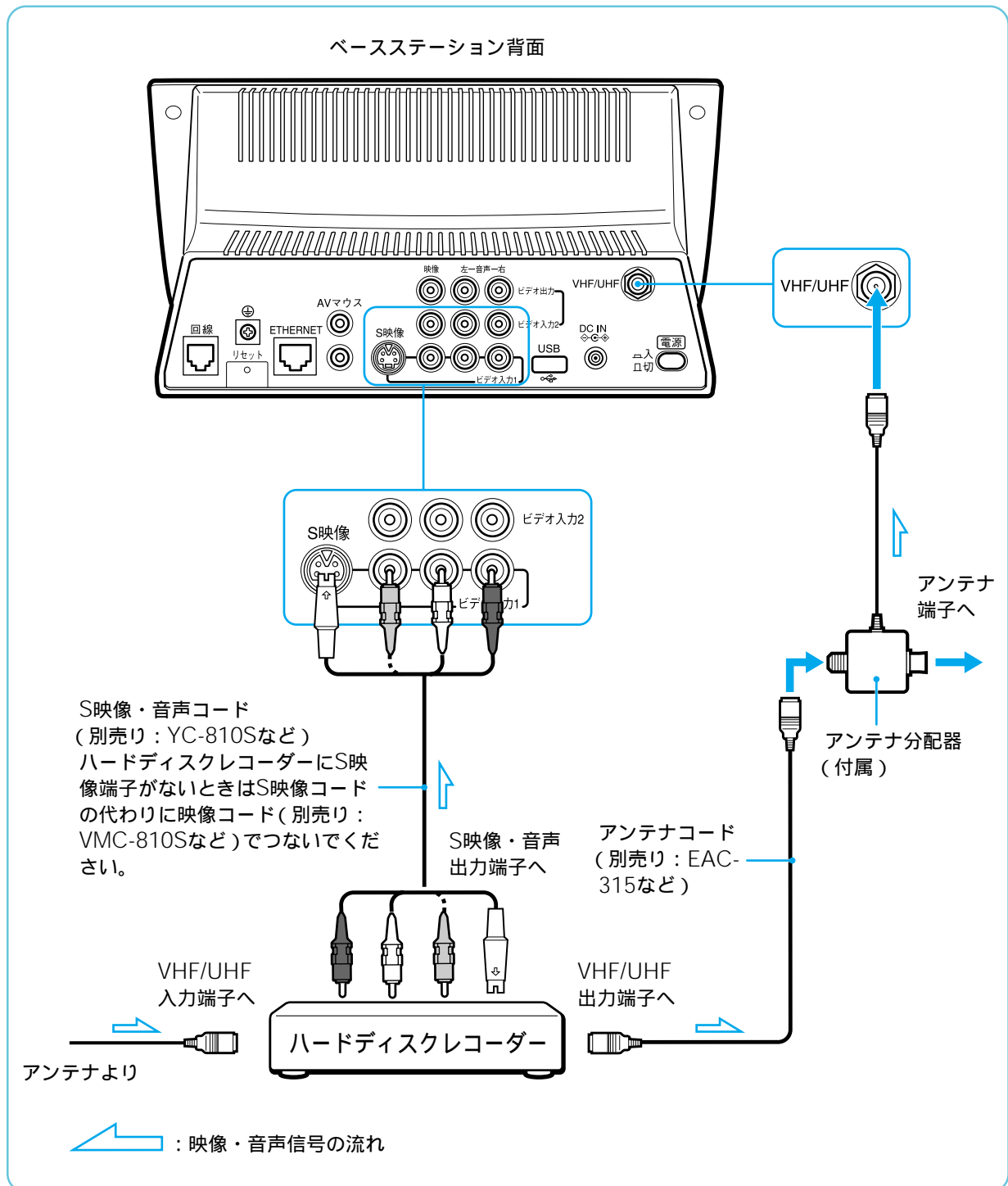
# AVアンプを つなぐ

## AVアンプからの映像を見るには

モニター右側の［**チャンネル+/–**］ボタンを押して「ビデオ入力1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ入力1**］ボタンを選びます。

### ちょっと一言

AVアンプをビデオ入力2端子につないだときは「ビデオ入力2」を選びます。

# ハードディスクレコーダーをつなぐ

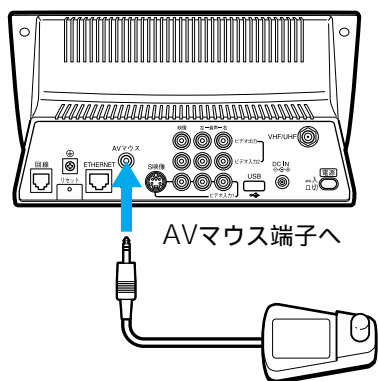
ハードディスクレコーダーをつなぎます。ハードディスクレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ハードディスクレコーダーに録画した番組を見るには

モニター右側の［**チャンネル**+/–］ボタンを押して「ビデオ入力1」を表示させるか、インデックス画面の［**ビデオ入力**1］ボタンを選びます。

# リモコンで他機器を操作する

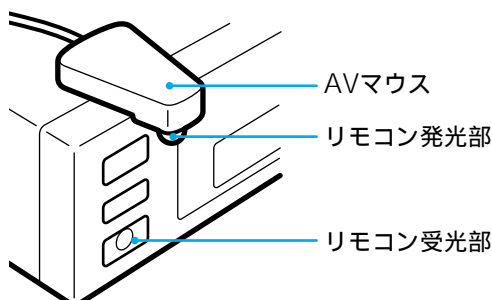
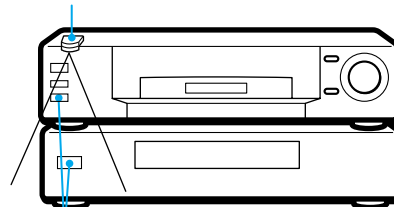
ベースステーションにつないだ機器を画面上のリモコンで操作するための設定を行います。付属のAVマウスをつないだ機器に取り付けて操作します。
各機器の接続については、204ページ～210ページをご覧ください。

## AVマウスの接続、設定をする

### 1 付属のAVマウスをベースステーションのAVマウス端子につなぐ。

### 2 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

つないだ機器のリモコン受光部位置をその機器の取扱説明書で確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

**ご注意**

AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。

1台のAVマウスで2台の機器をコントロールするときは、AVマウスと機器を以下のように配置します。

**ちょっと一言**

- AVマウスがつないだ機器に届かない場合は、別売りの接続コードRK-G131（3m）で延長してください。
- ソニー製ビデオなどのリモコン受光部にはRマークが付いています。

### 3 「インデックス」画面を表示する。

### 4 設定 を選ぶ。

設定

「設定 一覧」画面が表示されます。

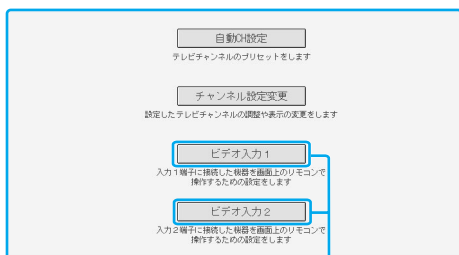
次のページにつづく


他機器との接続と設定

## 5 テレビ/ビデオ を選ぶ。

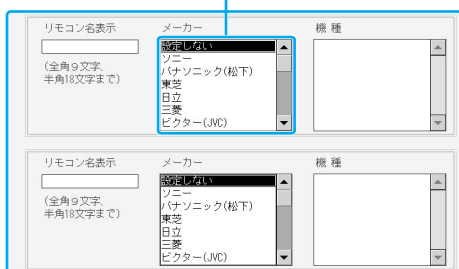
「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

## 6 ビデオ入力1（または ビデオ入力2）を選ぶ。

▶機器をつないだ端子の方のビデオ入力を選びます。

ビデオ入力1またはビデオ入力2を選びます。

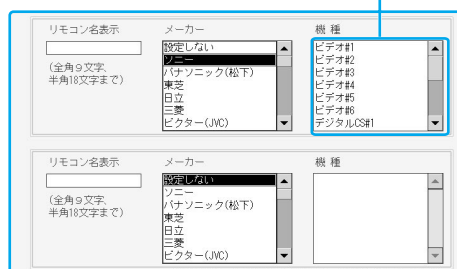
「設定 ビデオ入力1」または「設定 ビデオ入力2」画面が表示されます。

## 7 上部中央の「メーカー」リストの中からつないだ機器のメーカー名を選ぶ。

「メーカー」リスト

右上に「機種」リストが表示されます。

## 8 右上の「機種」リストの中からつないだ機器を選ぶ。

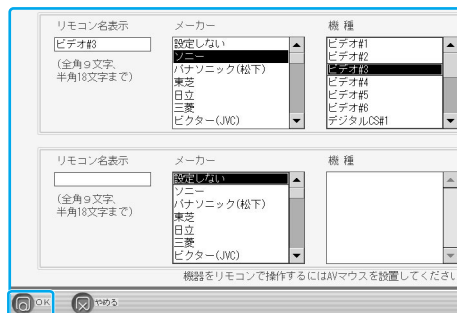
同じ機種がいくつかある場合は、＃1から順番に設定してください。

「機種」リスト

「リモコン名表示」の欄に、選んだ機種名が表示されます。リモコン名は、画面上にリモコンを表示したときに表示されます。

リモコン名を変えるには、「リモコン名表示」の下の空欄を選んで、キーボードを使って変更します。

### ちょっと一言

- キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字入力」（☞154ページ）をご覧ください。
- 1つの端子に外部入力機器を2台つなぐときは、本機に直接接続した機器を1台目として設定をしてください。

## 9 OK を選ぶ。

OK

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

**10** 終了 **を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

**11** **ビデオ入力1(またはビデオ入力2)チャンネルを表示する。**

**12** リモコン **を選ぶ。**

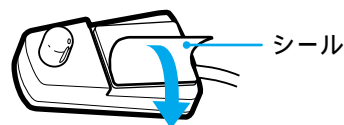
**13** **リモコンの 電源 をくり返し押して、つないだ機器の電源入/切を確認する。**

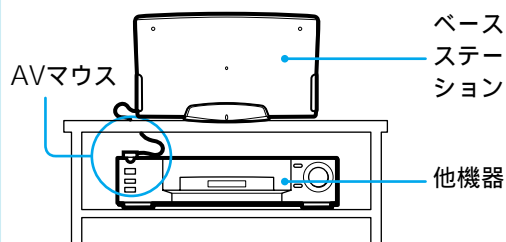
つないだ機器の電源入/切が確認できないときは、つないだ機器のメーカーまたは機種の設定が合っていない可能性があります。「AVマウスの接続、設定をする」の手順8(☞212ページ)からやり直してください。

それでも電源入/切が確認できないときは、本機のリモコン設定に対応していない機器です。

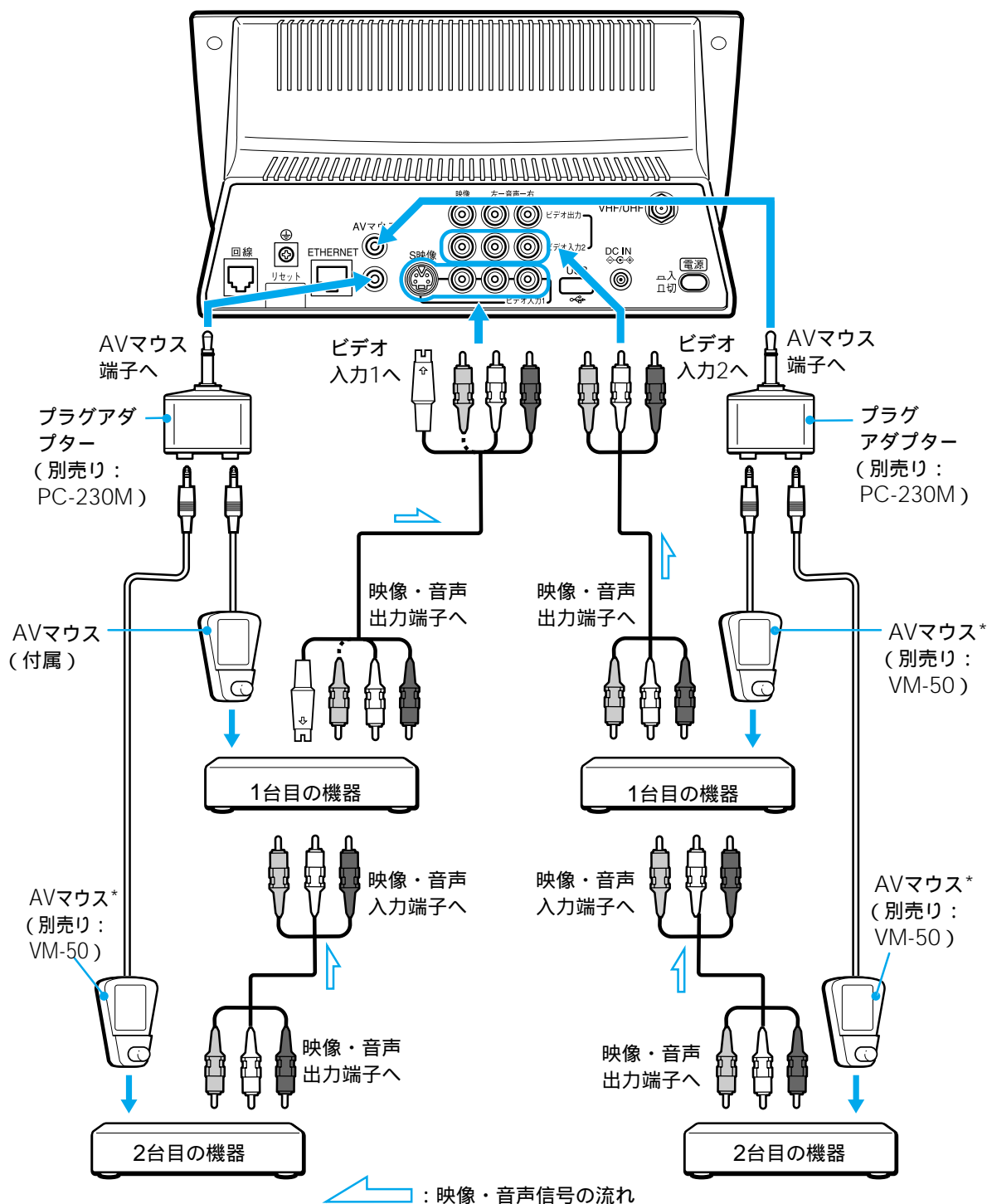
**ご注意**

「操作できる機種一覧」(☞221ページ)に記載されている機器でも、一部操作できない機種もあります。

**14** **確認ができたら、AVマウス裏面のシールをはがす。**

**15** **「AVマウスの接続、設定をする」の手順2(☞211ページ)で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。**

**ご注意**

モニターの画面に「圏外」表示されているときは、リモコン ボタンの表示がうすくなり、選べなくなっています。「圏外」表示が消えてから操作してください。

## 2台以上の機器にAVマウスを取り付ける

＊ 1台のAVマウスのリモコン発光部が2台の機器のリモコン受光部にあたるように設置すれば、別売りのAVマウスを使わずに、付属のAVマウス1台だけで他の機器をコントロールすることも可能です。（☞211ページ）

## ご注意

プラグアダプターを1つの入力に、重ねて2つ以上つながないでください。正常に動作しないことがあります。

＊ 1台のAVマウスのリモコン発光部がすべての機器のリモコン受光部にあたるように設置すれば、別売りのAVマウスを使わずに、付属のAVマウス1台だけで他の機器をコントロールすることも可能です。（☞211ページ）

次のページにつづく

## 各機器のリモコンの機能

つないだ機器によって、表示されるリモコンが異なります。リモコンの使いかたについては、それぞれの表をご覧ください。画面上にリモコンが表示されていないときは、**［リモコン］**を選んでリモコンを表示してください。

**ご注意**

基本的には、つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、つないだ機器に無い機能はボタンが画面上のリモコンに表示されていても、操作できません。

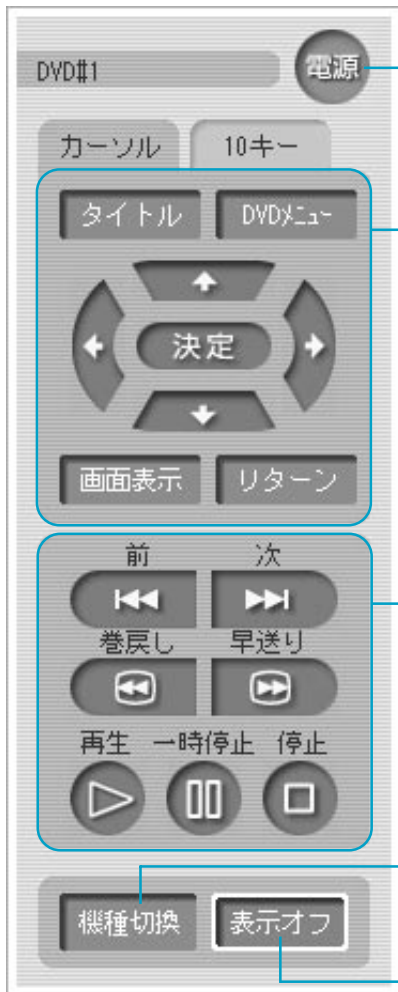
### ビデオ

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 電源 | ビデオの電源オン/オフ |
| テレビ/ビデオ | テレビ/ビデオ切換 |
| 二重音声 | 音声多重放送時の切換 |
| 入力切換 | ビデオデッキの入力切換 |
| BS | 衛星放送受信 |
| チャンネル−/＋ | チャンネル−/＋ |
| （巻戻しボタン） | 巻戻し |
| （再生ボタン） | 再生 |
| （早送りボタン） | 早送り |
| （録画ボタン） | 録画 |
| （停止ボタン） | 停止 |
| （一時停止ボタン） | 一時停止 |
| 機種切換* | ビデオ入力1/2に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え |
| 表示オフ | リモコンの表示を消す |

* 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

## DVD

**[カーソル] タブと [10キー] タブで操作できる機能が変わります。**

**[カーソル] タブ**

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 電源 | DVDの電源オン/オフ |
| タイトル | タイトル再生 |
| DVDメニュー | DVDメニューの表示 |
| ↑/↓/←/→ | カーソルの移動 |
| 決定 | 設定値の確定 |
| 画面表示 | 画面表示を出す |
| リターン | 1つ前の画面に戻る |
| | 再生中にチャプターや映像を戻す |
| | 再生中にチャプターや映像を進める |
| | 巻戻し（2倍速） |
| | 早送り（2倍速） |
| | 再生 |
| | 一時停止 |
| | 停止 |
| 機種切換* | ビデオ入力1/2に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え |
| 表示オフ | リモコンの表示を消す |

* 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

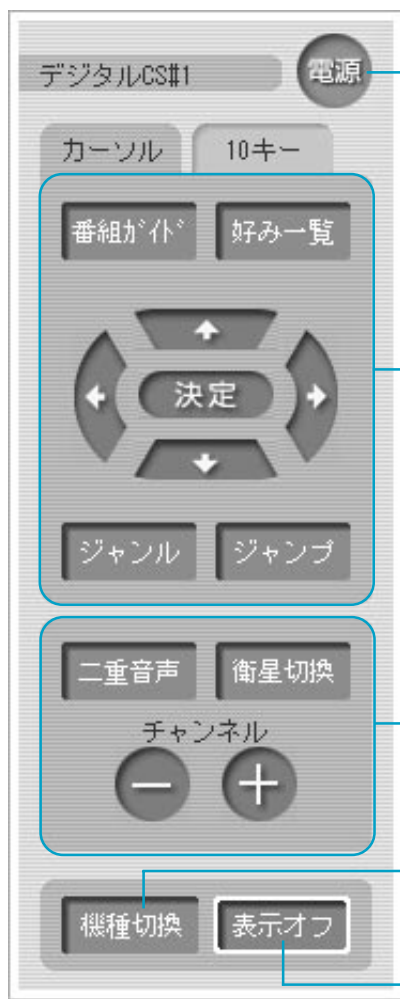
**[10キー] タブ**

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 0～9 | 数字ボタン |
| 決定 | 設定値を確定する |
| クリア | 選んだ設定値を取り消す |



次のページにつづく

## デジタルCS（スカイパーフェクトTV!）/ケーブルテレビ

**［カーソル］タブと［10キー］タブで操作できる機能が変わります。**

**［カーソル］タブ**

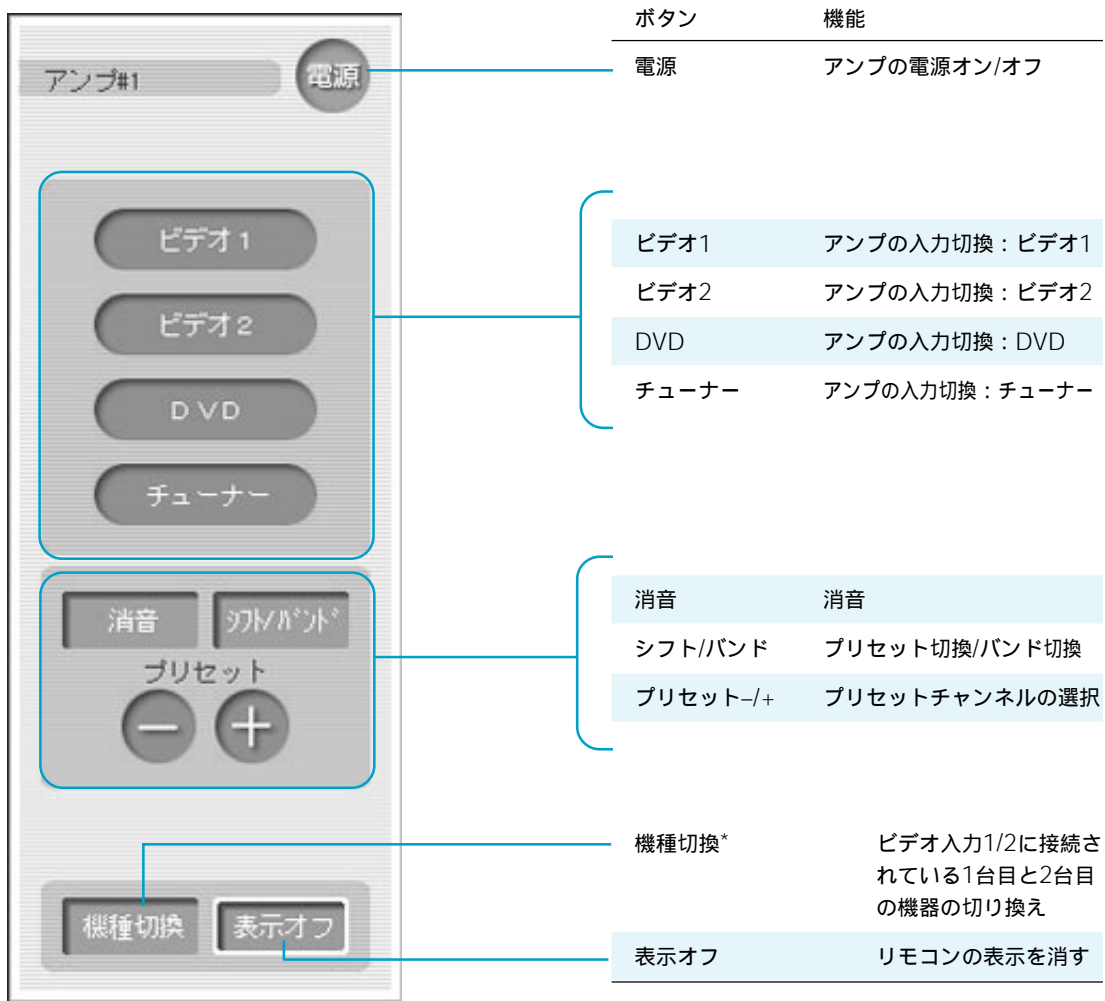
| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 電源 | デジタルCS、ケーブルテレビの電源オン/オフ |
| 番組ガイド | 番組表の表示 |
| 好み一覧 | 「好み一覧」に登録したチャンネルの選択 |
| ↑/↓/←/→ | カーソルの移動 |
| 決定 | 設定値の確定 |
| ジャンル | ジャンルの表示 |
| ジャンプ | 1つ前に見ていたチャンネルに戻す |
| 二重音声 | 音声多重放送時の切換 |
| 衛星切換 | 衛星の種類切換 |
| チャンネル－/＋ | デジタルCS、ケーブルテレビのチャンネル－/＋ |
| 機種切換* | ビデオ入力1/2に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え |
| 表示オフ | リモコンの表示を消す |

＊ 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

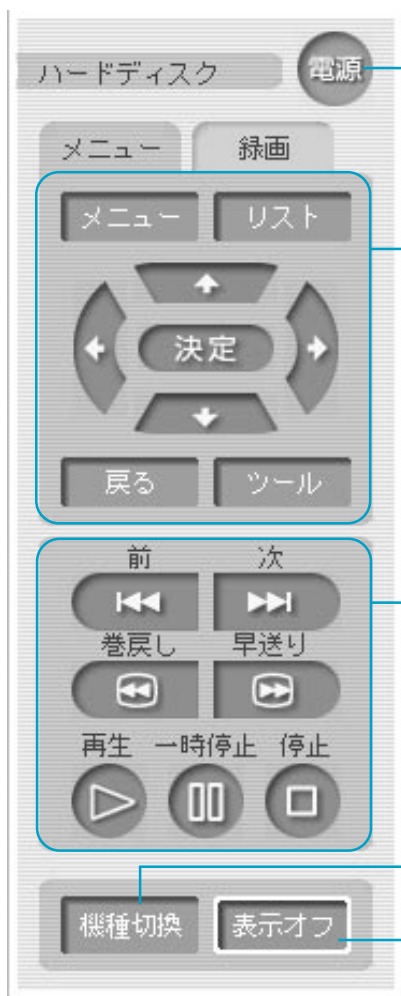
**［10キー］タブ**

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 0～9 | 数字ボタン |
| 選局 | 数字ボタンを押した後このボタンを選ぶとチャンネルが切り換わる |

## アンプ

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 電源 | アンプの電源オン/オフ |
| ビデオ1 | アンプの入力切換：ビデオ1 |
| ビデオ2 | アンプの入力切換：ビデオ2 |
| DVD | アンプの入力切換：DVD |
| チューナー | アンプの入力切換：チューナー |
| 消音 | 消音 |
| シフト/バンド | プリセット切換/バンド切換 |
| プリセット–/+ | プリセットチャンネルの選択 |
| 機種切換* | ビデオ入力1/2に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え |
| 表示オフ | リモコンの表示を消す |

＊　2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

## ハードディスクレコーダー

**［メニュー］タブと［録画］タブで操作できる機能が変わります。**

**［メニュー］タブ**

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 電源 | デジタルCS、ケーブルテレビの電源オン/オフ |
| メニュー | メニュー画面の表示 |
| リスト | リスト画面の表示 |
| ↑/↓/←/→ | カーソルの移動 |
| 決定 | 設定値の確定 |
| 戻る | 前の画面に戻る |
| ツール | ツール画面の表示 |
| ⏮ | 再生中に前のタイトルに戻る |
| ⏭ | 再生中に次のタイトルに進む |
| ⏪ | 巻戻し |
| ⏩ | 早送り |
| ▷ | 再生 |
| ⏸ | 一時停止 |
| ■ | 停止 |
| 機種切換* | ビデオ入力1/2に接続されている1台目と2台目の機器の切り換え |
| 表示オフ | リモコンの表示を消す |

＊　2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

**［録画］タブ**

| ボタン | 機能 |
|---|---|
| 音声切換 | 音声多重放送時の切り換え |
| 入力切換 | 入力端子の映像への切り換え |
| 画面表示 | カウンターやハードディスクの残量表示 |
| 録画モード | 録画モードの切り換え |
| ● | 録画 |
| ■ | 録画停止 |
| ⏸ | 録画一時停止 |
| チャンネル–/+ | チャンネル–/+ |

## 2台以上の機器の設定をするには

設定する前に、「2台以上の機器にAVマウスを取り付ける」（☞214ページ～215ページ）に従って機器を接続しておいてください。

**1** 「AVマウスの接続、設定をする」の手順4～6（☞211ページ～212ページ）を行う。
機器をビデオ入力１端子につないだときは **[ビデオ入力1]** を、ビデオ入力2端子につないだときは **[ビデオ入力2]** を選びます。

**2** 「設定 ビデオ入力１」（または「設定 ビデオ入力2」）画面の中央下の「メーカー」リストの中から2台目の機器（1台目の機器を経由してつないだ機器）のメーカーを選ぶ。
画面右下に「機種」リストが表示されます。

**3** 右下の「機種」リストの中から2台目の機器を選ぶ。
「リモコン名表示」欄に選んだ機種名が表示されます。

**4** 「AVマウスの接続、設定をする」の手順9～13（☞212ページ～213ページ）を行う。

**5** AVマウスを取り付け予定位置に固定する。

### ご注意

つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、画面上のリモコンに表示されているボタンでも、つないだ機器にない機能については操作できません。

## 操作できる機種一覧

本機の画面上のリモコンで操作できる機種については以下の表をご覧ください。

| メーカー名 | 機種名 |
|---|---|
| ソニー | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>ビデオ＃4<br>ビデオ＃5<br>ビデオ＃6<br>デジタルCS＃1<br>デジタルCS＃2<br>デジタルCS＃3<br>ケーブルテレビ<br>DVD＃1<br>DVD＃2<br>DVD＃3<br>ハードディスク<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3 |
| 愛知電子 | ケーブルテレビ＃1<br>ケーブルテレビ＃2 |
| アイワ | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>デジタルCS＃1<br>デジタルCS＃2<br>デジタルCS＃3<br>DVD<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4 |
| RCA | DVD |
| Winersat | ケーブルテレビ |
| NAD | アンプ＃1<br>アンプ＃2 |
| NEC | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>ビデオ＃4<br>デジタルCS<br>ケーブルテレビ |
| オンキョー | DVD<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4 |

| メーカー名 | 機種名 |
|---|---|
| ケンウッド | アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4<br>アンプ＃5<br>アンプ＃6 |
| サイエンティフィック<br>アトランタ（SA） | ケーブルテレビ |
| サンスイ | アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4 |
| SAMSUNG（三星） | DVD<br>アンプ |
| 三洋 | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>ビデオ＃4<br>アンプ |
| SHERWOOD | アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3 |
| シャープ | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>DVD<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4 |
| 住友電気 | ケーブルテレビ＃1<br>ケーブルテレビ＃2 |
| DAEWOO（大宇） | アンプ |
| TECHNICS（松下） | アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4 |
| ティアック | アンプ |
| DXアンテナ | デジタルCS<br>ケーブルテレビ |
| デノン（DENON） | DVD＃1<br>DVD＃2<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4<br>アンプ＃5<br>アンプ＃6 |

| メーカー名 | 機種名 |
|---|---|
| 東芝 | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>デジタルCS＃1<br>デジタルCS＃2<br>ケーブルテレビ<br>DVD<br>アンプ |
| ナカミチ | アンプ＃1<br>アンプ＃2 |
| パイオニア | ビデオ<br>ケーブルテレビ<br>DVD＃1<br>DVD＃2<br>DVD＃3<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4<br>アンプ＃5<br>アンプ＃6<br>アンプ＃7 |
| パナソニック（松下） | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>ビデオ＃4<br>ビデオ＃5<br>デジタルCS＃1<br>デジタルCS＃2<br>デジタルCS＃3<br>ケーブルテレビ＃1<br>ケーブルテレビ＃2<br>ケーブルテレビ＃3<br>DVD<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3 |
| Harman Kardon | アンプ |
| ビクター（JVC） | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃3<br>ビデオ＃4<br>デジタルCS<br>DVD<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4<br>アンプ＃5<br>アンプ＃6 |
| 日立 | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>デジタルCS＃1<br>デジタルCS＃2<br>デジタルCS＃3<br>ケーブルテレビ<br>DVD |

| メーカー名 | 機種名 |
|---|---|
| フィリップス | ビデオ<br>DVD<br>アンプ |
| 富士通 | ビデオ<br>ケーブルテレビ |
| フナイ | ビデオ |
| マスプロ | デジタルCS#1<br>デジタルCS#2 |
| マランツ | アンプ＃1<br>アンプ＃2 |
| 三菱 | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2<br>ビデオ＃4 |
| ヤマハ | DVD<br>アンプ＃1<br>アンプ＃2<br>アンプ＃3<br>アンプ＃4 |
| ユニデン | デジタルCS |
| その他 | ビデオ＃1<br>ビデオ＃2 |

1つのメーカーに同一機種が複数ある場合（例：ビデオ＃1、ビデオ＃2）はそれぞれのリモコンの信号が異なります。この場合は、同一機種名を順番に設定して、電源が入る機種を見つけてください。

**ちょっと一言**

ソニー製デジタルCS＃2：この設定でソニー製BSアナログチューナーが操作できます。

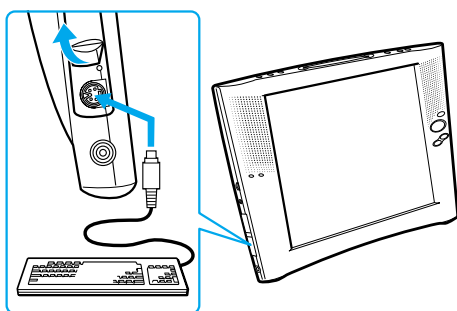
ソニー製デジタルCS＃3：この設定でソニー製MUSEデコーダーが操作できます。

# 市販のキーボードをつなぐ

本機左側面にあるキーボード端子（PS/2端子）に別売りのパソコン用キーボードをつなぎ、文字を入力できます。別売りのキーボードをつないだときも画面上のキーボードは使えます。一部のキーボードでは機能が使えない場合があります。

## 1 キーボードをつなぐ。

モニター左側面にある**［キーボード］**端子に市販のキーボードをつなぎます。

キーボード端子へ

市販のキーボード

## 2 キーボードの設定を変更する。

キーボードの設定画面で、「連文節変換」を選ぶ。（「キーボードの設定を変更するには」（☞右記））

### ご注意

- 別売りのキーボードを使う場合、本機の予測入力機能は使えません。キーボードの設定画面で「予測変換」が選ばれているときは、別売りのキーボードは使えません。
- USB端子を使って接続するキーボードは使えません。

### キーボードの設定を変更するには

1 「インデックス」画面を表示する。
2 **［設定］**を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。
3 **［本体の設定］**を選ぶ。
「設定 本体の設定」画面が表示されます。
4 **［キーボード］**を選ぶ。
「キーボード」画面が表示されます。
5 **［連文節変換］**を選ぶ。
6 ［OK］を選ぶ。

### 文字を入力するには

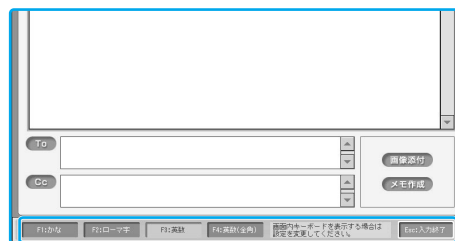
画面の文字入力欄を選んでから別売りのキーボードを使って入力します。入力欄を移動するときは、移動先の文字入力欄を選んでください。

#### ちょっと一言

入力のしかたについて詳しくは、つないだキーボードの取扱説明書をご覧ください。

### 画面上のキーボードを使用しないときは

「キーボードの設定を変更するには」（☞上記）の手順5で「連文節変換」がチェックされているか確認してから、**［画面内キーボードを使用しない］**の□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）をつけます。

画面上のキーボードを消しているときは下の画面が表示されます。

市販キーボード操作用画面

市販のキーボードのF1〜F7、Escキーを押したり、画面下部の市販キーボード操作用キーを選ぶと、キーの働きが変更できます。なお、画面上のキーボードを併用しているときは市販のキーボードのF4（全角/半角）は使えません。

| 市販のキーボードのキー | 画面のキー | キーの働き |
|---|---|---|
| F1 | かな | かなを入力する。 |
| F2 | ローマ字 | ローマ字を入力する。 |
| F3 | 英数 | 半角の英数字を入力する。 |
| F4 | 英数（全角） | 全角の英数字を入力する。 |
| F6 | − | 入力した変換前の文字をひらがなにする。 |
| F7 | − | 入力した変換前の文字をカタカナにする。 |
| Esc | 入力終了 | この画面を消す。 |

### ちょっと一言

市販のキーボードの以下のキーも使えます。

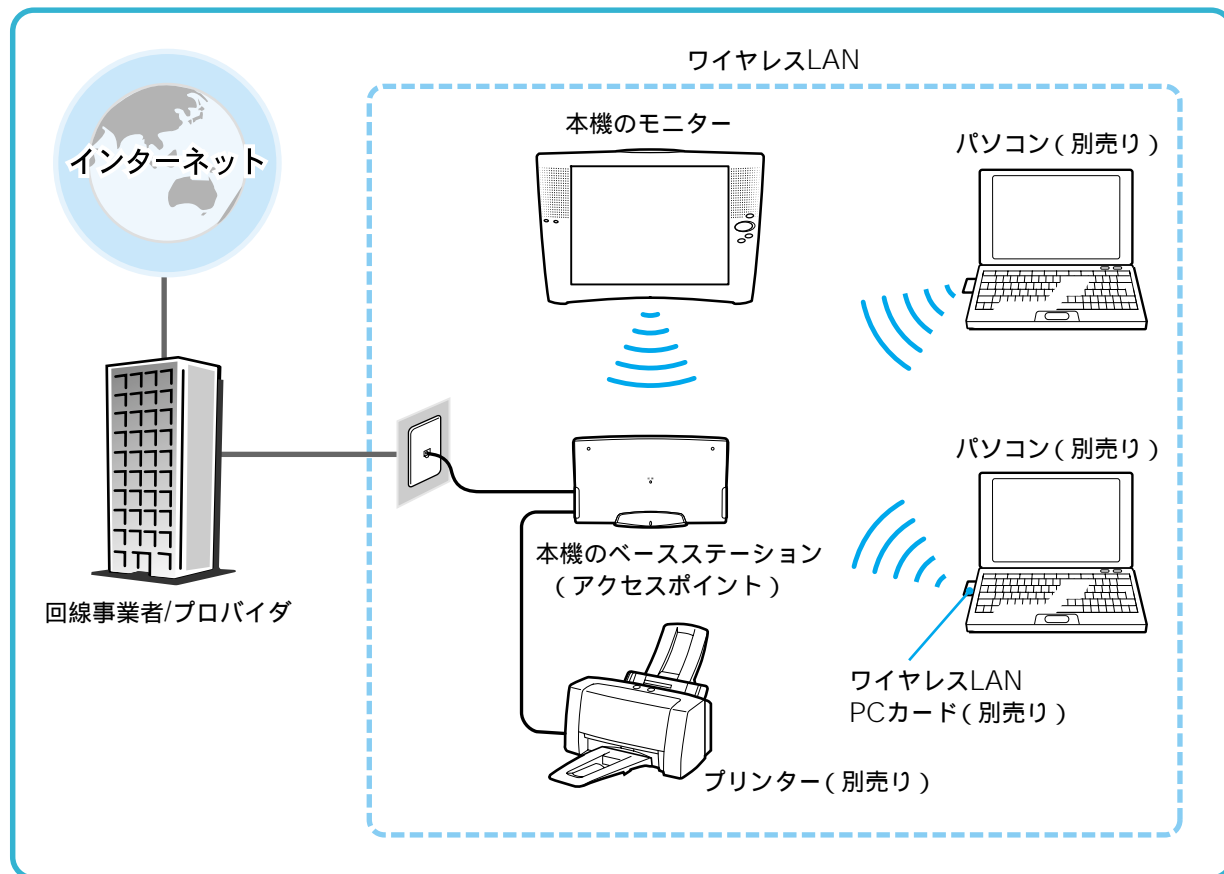
| 市販のキーボードのキー | キーの働き |
|---|---|
| 半角/全角　カタカナ ひらがな | 英数入力モードで全角と半角を切り換える。 |
| Alt+ | かな入力とローマ字入力を切り換える。 |
| Ctrl+半角/全角 | 英数入力とかな入力またはローマ字入力を切り換える。 |
| Alt+半角/全角 | 英数入力とかな入力またはローマ字入力を切り換える。 |
| Tab | 入力終了 |
| Ctrl+A | 全選択 |
| Ctrl+X | カット |
| Ctrl+C | コピー |
| Ctrl+V | ペースト |
| Shift+←/↑/→/↓ | 反転 |

### ご注意

- 市販のキーボードを使っているときはタブ（Tab）キーによる入力欄の移動はできません。
- 文字を変換した後にBack Spaceキーを押しても、変換する前の状態には戻りません。

# ワイヤレスLAN

# ワイヤレスLANって何？

ワイヤレスLAN PCカードを取り付けたパソコンをインターネットに接続するとき、本機のベースステーションをワイヤレスLANのアクセスポイントとして利用できます。
パソコンは、ワイヤレス通信で本機のベースステーションを経由してインターネットに接続します。また、ベースステーションにつないだプリンターでパソコンのデータを印刷できます。

## ワイヤレスLANって何？

LAN（ラン）はローカルエリアネットワーク(Local Area Network)の略です。オフィスや家庭など比較的小規模の地域で複数のパソコンを接続して、プリンターやパソコンのデータを共有したり、同時にインターネットにつなげるようにしたネットワークです。LANの中でも、ワイヤレス（無線）通信を利用して複数のパソコンを接続したネットワークをワイヤレスLANと呼びます。煩わしいケーブル配線がないため、大変便利です。

## アクセスポイントって何？

ワイヤレスLANは、親機と子機からなる電話機に例えられます。親機にあたるのがアクセスポイントと呼ばれる機器、子機がそれぞれのパソコンです。本機のベースステーションは、このアクセスポイントとしてできます。ベースステーションにルーターなどの通信機器をつないで電話回線やケーブルテレビの回線にケーブル接続し、それぞれのパソコンは、お好きな場所からワイヤレス通信でベースステーションを経由して、インターネットやプリンターに接続します。

## ワイヤレスLANに必要なものは？

各パソコンにワイヤレスLAN PCカードを取り付ける必要があります。

# ワイヤレスLAN の設定の流れ

ここでは、例として、PCカードスロットを持つパーソナルコンピューターとIEEE802.11bワイヤレスLAN PCカードを使用して、ワイヤレスLANの設定を説明します。
次の手順に従って設定を行ってください。

手順1：本機のワイヤレスLAN設定画面を確かめる（☞230ページ）

手順2：パソコンにワイヤレスLAN PCカードをインストールする（☞230ページ）

手順3：パソコンでWindows環境を設定する（☞231ページ）

手順4：パソコンでインターネット接続の設定をする（☞234ページ）

手順5：本機でワイヤレスLAN設定をする（☞238ページ）

手順6：パソコンで本機をアクセスポイントとして設定する（☞239ページ）

### ちょっと一言

- お使いのパソコンのOSがWindows 98、Windows Me、Windows XPの場合の設定のしかた、および、設定がうまくいかないときは、エアボードのホームページのQ＆A「http://www.sony.co.jp/airboard/QA」をご覧ください。
- ワイヤレスLANには、エアボードのモニターの他に、15台のパソコンを同時に接続できます。
- 複数のパソコンをお使いの場合は、手順1と手順5以外の設定をそれぞれのパソコンで行ってください。

### ご注意

市販のワイヤレスLAN PCカードの中には、本機で使えないものがあります。

## 手順1：本機のワイヤレスLAN設定画面を確かめる

本機には、ワイヤレスLANをつくるために必要なESS-IDがあらかじめ設定されています。パソコンの設定の前に、本機のワイヤレスLAN設定画面を表示して、ESS-IDを確認しておきましょう。

**1** **モニター右側の[インデックス]ボタンを押して、「インデックス」画面を表示する。**

**2** **設定 を選ぶ。**

「設定一覧」画面が表示されます。

**3** **ワイヤレス通信 を選ぶ。**

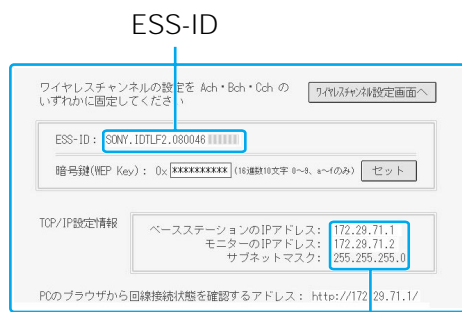
「設定 ワイヤレス通信」画面が表示されます。

**4** **ワイヤレスLAN を選ぶ。**

「ワイヤレスLAN」画面が表示されます。

この画面には、あとでパソコン側の設定を行うときに必要な、本機のESS-IDとIPアドレス、サブネットマスクが表示されています。また、あとでこの画面を使って本機側の設定も行います。

ESS-ID

IPアドレスとサブネットマスク

**ESS-IDとは**

ワイヤレスLANのアクセスポイントと、そこにワイヤレス通信する機器の間で設定するID（識別コード）。同じESS-IDを設定した機器間でのみワイヤレス通信できます。

## 手順2：パソコンにワイヤレスLAN PCカードをインストールする

**（パソコン側の操作です。）**

**お手持ちのワイヤレスLAN PCカードの取扱説明書に従い、ワイヤレスLAN PCカードのドライバや付属ソフトをインストールする。**

インストールが完了したら､PCカードが正しく動作していることを確認してください。

### PCカードが正常に動作していることをを確認するには

**1** **Windowsの[スタート]メニューから[設定]−[コントロールパネル]を選ぶ。**

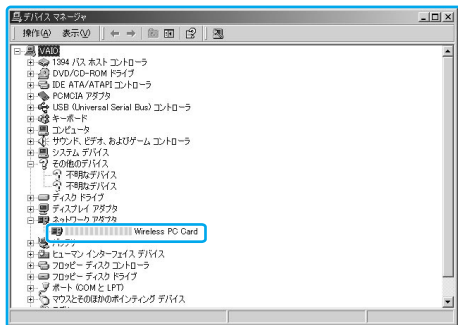
**2** **[システム]アイコンをダブルクリックする。**

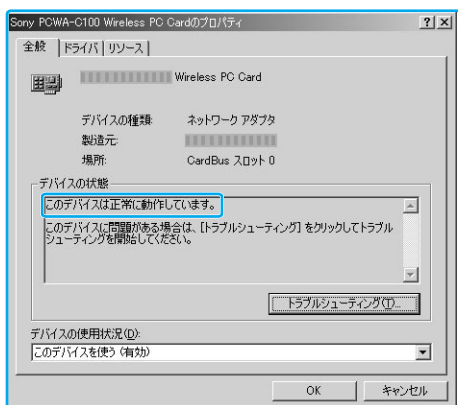
「システムのプロパティ」ダイアログが表示されます。

**3** **[ハードウェア]タブをクリックする。**

**4** **[デバイスマネージャ]をクリックする。**

**5** **[ネットワークアダプタ]をダブルクリックする。**

## 6 インストールしたPCカードの名前をダブルクリックする。

PCカードのプロパティダイアログが表示されます。

## 7 [デバイスの状態]に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する。

**「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されないとき**

PCカードが正常に動作していません。ドライバをいったん削除してインストールし直してください。詳しくは、ワイヤレスLAN PCカードの取扱説明書をご覧ください。

これでワイヤレスLAN PCカードのドライバの動作チェックは完了です。[OK]、[×]、[OK]の順にクリックすると「コントロールパネル」ウィンドウに戻ります。

# 手順3：パソコンでWindows環境を設定する

ワイヤレスLANをつくるために、パソコン側のネットワーク環境（ネットワークコンポーネント）を設定します。

さらにインターネットに接続するために、インターネットプロトコル（TCP/IP）を設定します。

ここでは、Windows 2000の場合の設定を説明します。

ワイヤレスLAN PCカードの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ネットワーク環境を設定する

（パソコン側の操作です。）

### 1 Windowsの[スタート]メニューから[設定]－[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選ぶ。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

### 2 [ローカルエリア接続]アイコンをダブルクリックする。

「ローカルエリア接続状態」ダイアログが表示されます。

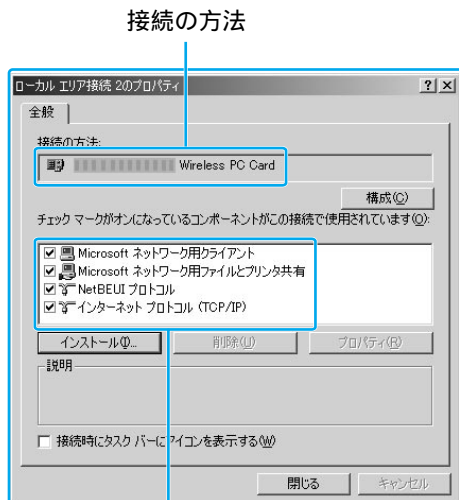
### 3 [プロパティ]をクリックする。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



次のページにつづく

**4** **「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で次のものが表示されていることを確認する。**

接続の方法

使用されているコンポーネント

**ご注意**

- パソコン1台のみで使用する場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみが表示されていれば充分です。
- パソコンを複数台使用する場合は、4つのコンポーネントが必要です。足りないものがあるときは追加してください。追加のしかたは、ワイヤレスLAN PCカードの取扱説明書をご覧ください。

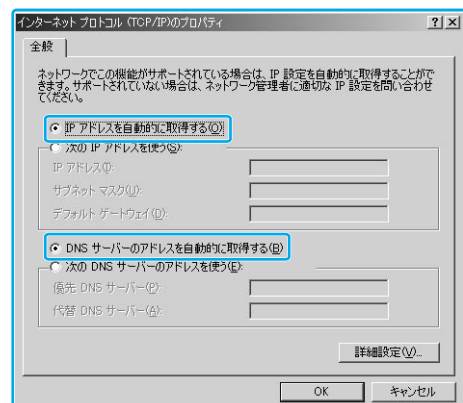
これでネットワーク環境の設定は終了です。引き続き「インターネットプロトコル（TCP/IP）の設定をする」に進んでください。

## インターネットプロトコル（TCP/IP）の設定をする

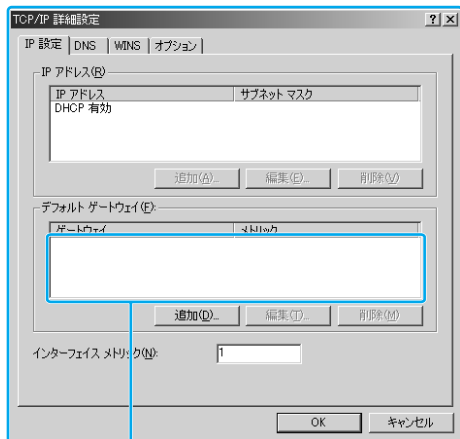
（パソコン側の操作です。）

**1** **使用されているコンポーネントの一覧で[インターネットプロトコル（TCP/IP）]を選択し、[プロパティ]をクリックする。**

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログが表示されます。

**2** **[IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択する。**

**ご注意**

IPアドレスやDNSサーバーのアドレスを手動で設定したい場合は、「IPアドレスを手動設定するには」（☞233ページ）をご覧ください。

**3** **[詳細設定]をクリックし、[デフォルトゲートウェイ]が空欄になっていることを確認する。**

ここが空欄になっています。

## 4 [DNS]タブを選択し[この接続のアドレスをDNSに登録する]の □ に✓をつけない。

## 5 [OK]をクリックする。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログに戻ります。

## 6 [OK]をクリックする。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログに戻ります。

## 7 [閉じる]をクリックする。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが閉じます。

### ちょっと一言

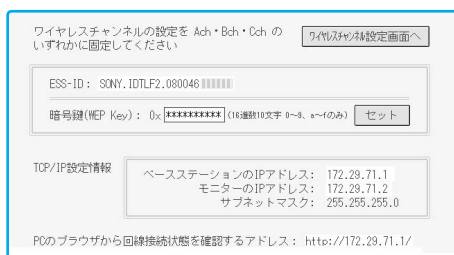
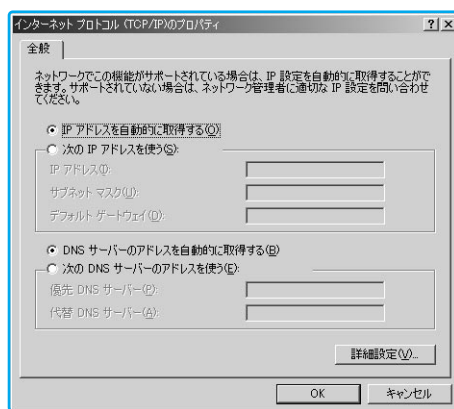
複数のパソコンを使ってファイルやドライバを共有したいときは、「コンピューター名・ワークグループの設定」および「コンピューターの共有設定」も必要です。設定のしかたはWindowsのヘルプをご覧ください。

パソコンが1台のみのときは、これらの設定は不要です。

これでインターネットプロトコル（TCP/IP）の設定は終了です。「手順4：パソコンでインターネット接続の設定をする」（☞234ページ）に進んでください。

## IPアドレスを手動設定するには

IPアドレスは自動取得できますが、ご自分でも設定できます。
この場合は、以下のように、本機のIPアドレスと関連づけたアドレスを入力してください。

**1** 本機のモニターに「ワイヤレスLAN」設定画面を表示する。（☞230ページの手順1~4）

**2** 「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログを表示する。（☞232ページの手順1）

**3** [**次のIPアドレスを使う**]と[**次のサーバーのアドレスを使う**]を選択し、各項目を以下のように入力する。

**[IPアドレス]**
本機の「ワイヤレスLAN」設定画面の「ベースステーションのIPアドレス」の最後のブロック（例では172.29.71.1の最後の「1」）を128~254の任意の数字に変えた数字（例：172.29.71.128）

**[サブネットマスク]**
本機の「ワイヤレスLAN」設定画面の「サブネットマスク」と同じ数字（例では255.255.255.0）

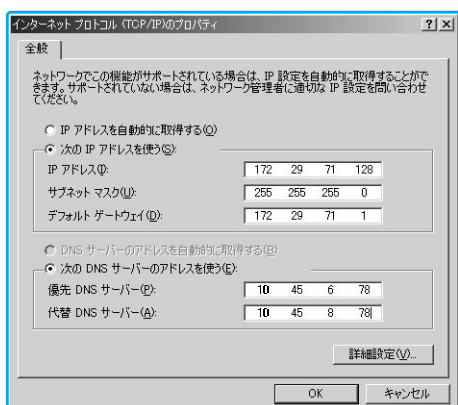
ワイヤレスLAN

次のページにつづく

## 手順3：パソコンでWindows環境を設定する（つづき）

**[デフォルトゲートウェイ]**
本機の「ワイヤレスLAN」設定画面の「ベースステーションのIPアドレス」と同じ数字（例では172.29.71.1)

**[優先DNSサーバー]**
本機の「電話回線」画面（☞54ページ）、「LAN回線（アドレス手動/DHCP)」画面（☞56ページ）または「LAN回線（PPPoE)」画面（☞58ページ）の「DNS1」と同じ数字

**[代替DNSサーバー]**
本機の「電話回線」画面（☞54ページ）、「LAN回線（アドレス手動/DHCP)」画面（☞56ページ）または「LAN回線（PPPoE)」画面（☞58ページ）の「DNS2」と同じ数字

**4** [OK]をクリックする。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログに戻ります。

**5** **[閉じる]**をクリックする。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが閉じます。

これでIPアドレスの手動設定は終了です。「手順4：パソコンでインターネット接続の設定をする」に進んでください。

## 手順4：パソコンでインターネット接続の設定をする

お使いになるブラウザのインターネットへの接続の設定を変更します。ブラウザによって設定のしかたが異なります。

### Microsoft（マイクロソフト） Internet（インターネット） Explorer（エクスプローラー）の場合

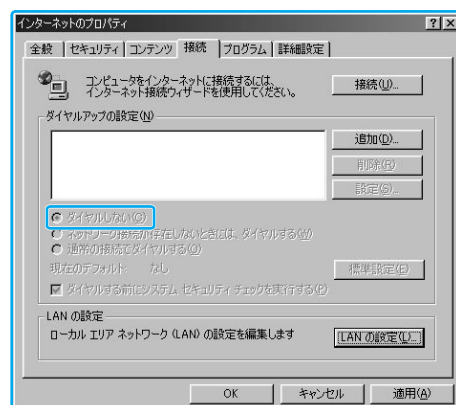
**（パソコン側の操作です。）**

**1 Windowsの[スタート]メニューから[設定]－[コントロールパネル]を選ぶ。**

**2 [インターネットオプション]をダブルクリックする。**

「インターネットオプション」ダイアログが表示されます。

**3 [接続]タブをクリックする。**

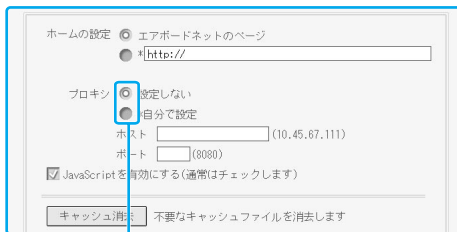
**4 [ダイヤルしない]を選ぶ。**

**ちょっと一言**

**[ダイヤルしない]**がうすく表示されていて選べない場合は、そのまま手順5へ進んでください。

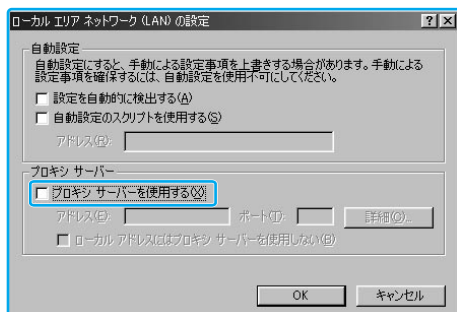
## 5 [LANの設定] をクリックする。

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」ダイアログが表示されます。

## 6 本機の「設定 インターネット」画面の[プロキシ]の設定を確認する。

「設定 インターネット」画面の表示のしかたは、61ページをご覧ください。

この設定を確かめます。

**[プロキシ：設定しない]が選ばれているとき**
Internet Explorerのダイアログで「プロキシサーバーを使用する」の □ から ✓ を外し、手順11へ進んでください。

**[プロキシ：自分で設定]が選ばれているとき**
Internet Explorerのダイアログで、「プロキシサーバーを使用する」の □ に ✓ をつけ、手順7へ進んでください。

## 7 プロキシサーバーの[アドレス]と[ポート]を設定する。

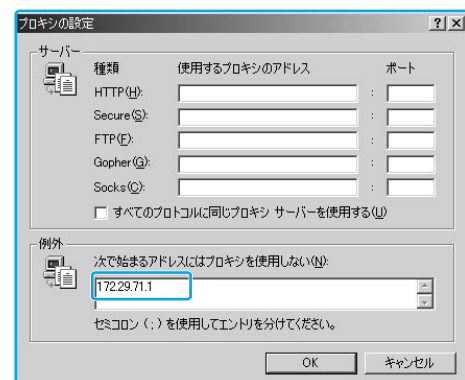
プロバイダや回線事業者から提供された資料に従って設定を行います。

## 8 [詳細] をクリックする。

「プロキシの設定」ダイアログが表示されます。

プロバイダや回線事業者から提供された資料に従って各項目を設定します。

## 9 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の欄に本機のベースステーションのIPアドレスを入力する。

「ベースステーションのIPアドレス」は本機の「ワイヤレスLAN」画面(☞230ページ)に表示されています。

### 10 [OK]をクリックする。

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」ダイアログに戻ります。

### 11 [OK]をクリックする。

「インターネットのプロパティ」ダイアログに戻ります。

### 12 [OK]をクリックする。

ダイアログが閉じます。

これでインターネット接続の設定は終了です。「手順5：本機でワイヤレスLAN設定をする」（☞238ページ）に進んでください。

## Netscape Communicatorの場合

（パソコン側の操作です。）

### 1 Netscape Communicatorを起動する。

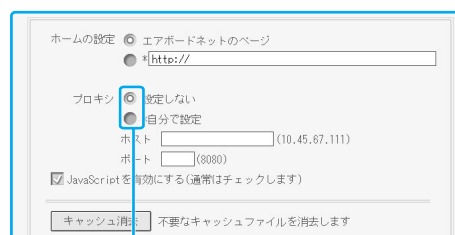
### 2 [編集]メニューから[設定]をクリックする。

「設定」ダイアログが表示されます。

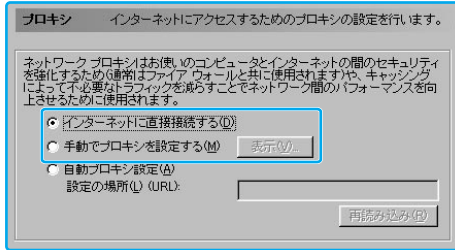
### 3 [詳細]をダブルクリックする。

### 4 [プロキシ]をクリックする。

### 5 本機の「設定 インターネット」画面の[プロキシ]の設定を確認する。

「設定 インターネット」画面の表示のしかたは、61ページをご覧ください。

この設定を確かめます。

**[プロキシ：設定しない]が選ばれているとき**
Netscape Communicatorの「プロキシ」ダイアログで「インターネットに直接接続する」を選び、手順9へ進んでください。

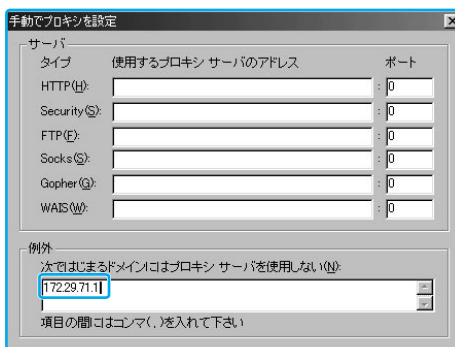
**[プロキシ：自分で設定]が選ばれているとき**
Netscape Communicatorの「プロキシ」ダイアログで「手動でプロキシを設定する」を選び、手順6へ進んでください。

## 6 ［表示］をクリックする。

「手動でプロキシを設定」ダイアログボックスが表示されます。

## 7 プロキシサーバーを設定する。

プロバイダや回線事業者から提供された資料に従って設定を行います。

## 8 「次ではじまるドメインにはプロキシサーバーを使用しない」の欄に本機のベースステーションのIPアドレスを入力する。

「ベースステーションのIPアドレス」は本機の「ワイヤレスLAN」画面(☞230ページ)に表示されています。

## 9 [OK]をクリックする。

ダイアログが閉じます。

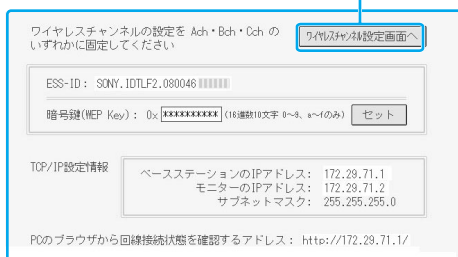
これでインターネット接続の設定は終了です。「手順5：本機でワイヤレスLAN設定をする」(☞238ページ) に進んでください。

# 手順5：本機でワイヤレスLAN設定をする

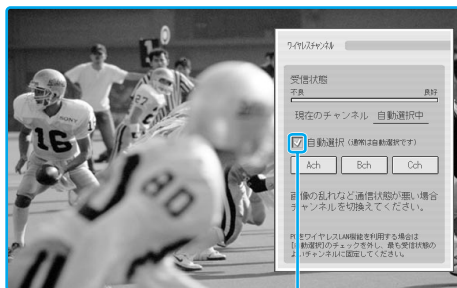
本機をワイヤレスLANのアクセスポイントとして動作させるための設定を行います。

## 1 本機のモニターに「ワイヤレスLAN」画面を表示する。（☞230ページの手順1~4）

## 2 [ワイヤレスチャンネル設定画面へ]を選ぶ。

ここを選びます。

「ワイヤレスチャンネル」画面が表示されます。

## 3 [自動選択]に✓がついていたら外し、[Ach]、[Bch]、[Cch]のいずれかを選ぶ。

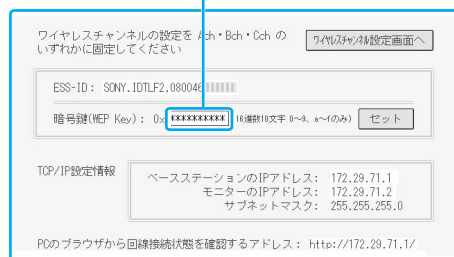
画面を見ながら、受信状態の最も良好なワイヤレスチャンネルを選んでください。

ここの✓を外します。

## 4 [戻る]を選ぶ。

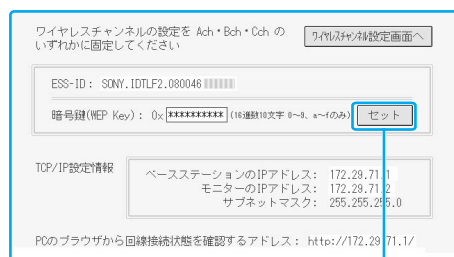
「ワイヤレスLAN」画面に戻ります。

## 5 暗号鍵（WEP Key）を入力する。

「暗号鍵」欄に、0~9の数字とa~fのアルファベットを使って10文字からなる文字列を入力し、必ず紙に控えます。あとで同じ文字列をパソコンに設定するためです。

ここに入力します。

### ご注意

- 傍受を防ぐため、暗号キーは他人にわかりにくい文字列にしてください。
- 「暗号鍵」は入力後、他の画面へ切り換えると、秘密保持のため、＊＊＊＊…と表示されます。

## 6 セット を選ぶ。

セット

「暗号鍵を設定しました。」と表示されます。

**7** OK **を選ぶ。**

「ワイヤレスLANの設定」画面に戻ります。

これで本機側の設定は終了です。
次に、「手順6：パソコンで本機をアクセスポイントとして設定する」に進みます。

## 手順6：パソコンで本機をアクセスポイントとして設定する

（パソコン側の操作です。）

**1** **ワイヤレスLANカードをインフラストラクチャーモード📖に設定する。**

アドホックモード📖（peer-to-peer）には設定しないでください。

**2** **ESS-ID（SSID）を本機のESS-IDと同じ値に設定する。**

大文字/小文字の区別がありますのでご注意ください。

**3** **暗号鍵（WEP key, Encryption key）を本機に設定したものと同じ値に設定する。**

40ビット長（64ビット長と書かれることもあります）の鍵を16進数で設定してください。

📖**インフラストラクチャーモードとは**
アクセスポイントという中継装置を利用して、無線LANカードが互いにデータの送受信を行う方法です。

📖**アドホックモードとは**
無線LANカードが互いに直接データのやり取りをする方法です。

# ブラウザで接続状況を確認する

**（パソコン側の操作です。）**

パソコンのブラウザの画面で、ベースステーションとパソコンの接続状況を確認できます。

## 1 パソコンでブラウザを起動する。

## 2 ブラウザのアドレス（URL）入力欄に、本機のベースステーションのIPアドレス（☞230ページ)を入力する。

☞230ページ

「エアボード回線接続情報」画面が表示され、接続状況とエアボードの回線設定が確認できます。

本機の接続方法が「電話回線」または「LAN回線（PPPoE)」のときは、画面下部の[**接続**]/[**切断**]をクリックすると、インターネットへの接続と切断ができます。

### ご注意

- 本機の接続方法が「LAN回線（アドレス手動/DHCP)」のときは、[**接続**]/[**切断**]は表示されません。
- 本機とは別の回線を設定している[ミーメール]用“メモリースティック”を使って接続している場合、[**接続**]/[**切断**]は表示されません。

### ちょっと一言

- 本機のベースステーションのIPアドレスをブラウザにブックマーク（お気に入り）として登録しておくと、接続状況が簡単に確認できます。ブックマークの登録をお勧めします。
- 接続状況は自動的に更新されますが、ワイヤレス通信の状態により、自動更新されない場合もあります。最新の接続状況を知りたいときは、ブラウザの[**更新**]や[**再読込**]を行ってください。

# 本機につないだプリンターでパソコンのデータを印刷する

本機とパソコンの間でワイヤレスLANをつくっているとき、本機のベースステーションにつないだプリンターでパソコンのデータを印刷できます。
パソコンにはプリンタドライバをインストールする必要があります。
ここでは、Windows 2000を搭載したパソコンへのインストールのしかたを説明します。

**ご注意**

ワイヤレスLAN経由のプリント機能は、Windows 2000とWindows XPを搭載したパソコンのみに対応しています。

## プリンタドライバをインストールする

（パソコン側の操作です。）

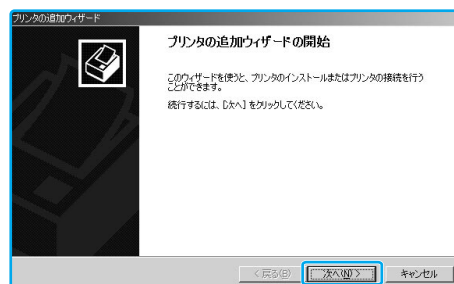
**1** **Windows 2000用のプリンタドライバを、プリンターに付属のCD-ROMなどからパソコンにインストールする。**

インストールのしかたは、プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

**2** **Windowsの[スタート]メニューから[設定]ー[プリンタ]を選ぶ。**

**3** **[プリンタの追加]アイコンをクリックする。**

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

**4** **[次へ]をクリックする。**

次へ

**5** **[ローカルプリンタ]を選択してから、[次へ]をクリックする。**

**6** **[新しいポートの作成]を選択する。**

**7** **[種類]のドロップダウンリストから[Standard TCP/IP Port]を選択し、[次へ]をクリックする。**

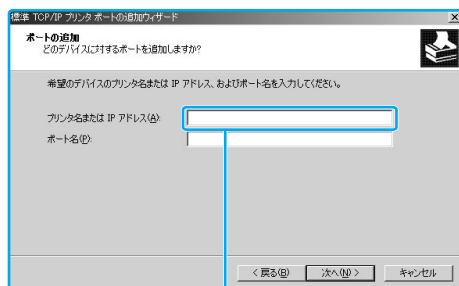
「標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

**8** **[次へ]をクリックする。**

「ポートの追加」ダイアログが表示されます。

ワイヤレスLAN

次のページにつづく

## 9 [プリンタ名またはIPアドレス]に本機のベースステーションのIPアドレスを入力する。

ここに入力します。

ベースステーションのIPアドレスは本機の「ワイヤレスLAN」画面（☞230ページ)に表示されています。

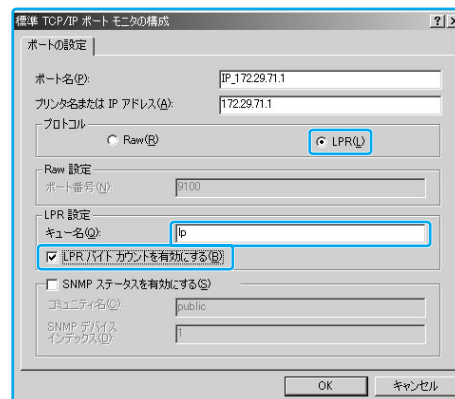
**ちょっと一言**

**[プリンタ名またはIPアドレス]**を入力すると、**[ポート名]**には自動的に数値が入力されますが、ご自分で任意の数値を入力することもできます。

## 10 [次へ]をクリックする。

## 11 [カスタム]を選択してから、[設定]をクリックする。

「標準 TCP/IP ポートモニターの構成」ダイアログが表示されます。

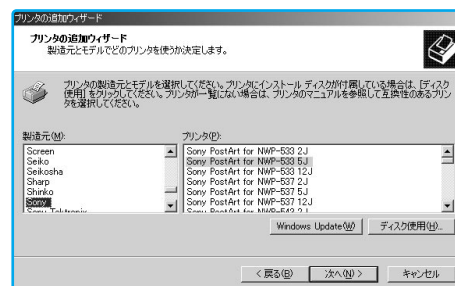
## 12 以下の項目を設定し、[OK]をクリックする。

**[プロトコル]**
[LPR]を選択する。

**[キュー名」**
[lp]（必ず小文字で）を入力する。

[LPR**バイトカウントを有効にする**]
✓ をつける。

## 13 [次へ]をクリックする。

## 14 [完了]をクリックする。

## 15 リストボックスの中から本機につないだプリンターを選択して、[次へ」をクリックする。

**16** **[現在のドライバを使う(推奨)]を選択して、[次へ」をクリックする。**

**17** **[プリンタ名]に選んだプリンターが表示されていることを確認して、[次へ」をクリックする。**

**18** **[このプリンタを共有しない]を選択して、[次へ」をクリックする。**

**19** **「テストページを印刷しますか？]に[はい]を選択して、[次へ」をクリックする。**

**20** **[完了]をクリックする。**

**21** **プリンタからテストページが印刷されたら、[OK]をクリックする。**

これでプリンタドライバのインストールが完了しました。

インストールが完了したら、パソコンから印刷を指示してみましょう。

## パソコンから印刷する

印刷の操作はケーブル接続のプリンターと同様です。
パソコンのアプリケーションの「印刷」ダイアログで、本機につないだプリンター名を選び、[OK]をクリックすると印刷できます。

**ご注意**

- パソコンからの印刷の場合、エラーにより印刷ができなかった場合でもエラー表示は出ません。また、パソコンの「プリントモニタ」欄に印刷状況は表示されません。
- 本機のモニターから指示した印刷中にパソコンから印刷指示をすると、本機からの印刷が終了後、自動的にパソコンからの印刷が始まります。
- パソコンから指示したデータを印刷中に本機の**[印刷]**ボタンを押すと、本機のモニターにメッセージが表示され、印刷できません。パソコンからの印刷が完全に終わってから、再度本機の**[印刷]**ボタンを押してください。

# その他

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検をしてください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはエアボードカスタマーサポートセンター（☞裏表紙）にご相談ください。

## 本機共通

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| モニターの電源が入らない。 | • バッテリーを充電するか、クレードルに置いてください。（☞22〜25ページ） |
| モニターの電源が突然切れた。<br>いつの間にか切れていた。 | • スリープを設定していませんか？（☞91ページ）<br>• バッテリーの寿命ではありませんか？バッテリーの寿命は、充電放電300回程度です。バッテリーを交換してください。 |
| 画面が突然暗くなった。 | • インターネット/メール/アルバム/設定画面のときに、省エネタイマーが働き、画面のバックライトが消えています。画面に触れるか、いずれかのボタンを押すと画面が明るくなります。省エネタイマーを解除することもできます。（☞198ページ）<br>• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 |
| 画面が暗い。 | モニター左側面の［☼（明るさ調整）］つまみで調整してください。 |
| 画面内のボタンが反応しない。 | •「インデックス」画面やメッセージダイアログが出ているときは「インデックス」画面やメッセージダイアログ内のボタン以外は選べません。<br>• 薄く表示されているボタンは選べません。 |
| 選んだものと違うボタンが反応する。 | 画面で触れた位置と画面の位置がずれています。タッチペンの位置を調整してください。（☞25ページ） |
| 何の操作も受けつけない。 | 先の細いものでリセットスイッチを押してください。（☞285、287ページ） |
| パスワードがエラーになってしまう。 | アルファベットの大文字、小文字は合っていますか？大文字、小文字は区別されます。 |
| バッテリーがすぐになくなる。 | • バッテリーの故障または寿命かもしれません。<br>• バッテリーは充放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。また高温下では寿命がさらに短くなります。（☞25ページ） |
| モニターの［切断］ボタンを押しても反応しない。 | • LAN回線接続（アドレス手動/DHCP）のときは、［切断］ボタンは使えません。<br>• ブロードバンドルーターやISDNルーターのときは、ルーターの切断ボタンを押して切断するか、ルーターの設定画面をインターネットチャンネルで表示し、画面上で切断してください。 |
| 「ブーン」という音がする。 | 本機のモニターには、内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。冷却ファンが回転すると回転音が鳴ります。 |
| 圏外表示が出ている。 | • ベースステーションとの距離が離れすぎていませんか？<br>• ベースステーションの向きや高さを変えてみてください。<br>• ベースステーションの電源は入っていますか？<br>• 近くで電子レンジを使っていませんか？<br>電子レンジ使用中は本機のワイヤレス通信が電波の干渉を受けますが、使用をやめると干渉はなくなります。<br>• ワイヤレス通信が電波の干渉を受けています。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞200ページ）。<br>• 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？<br>ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞200ページ） |

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| 「デモモード」と表示され、チャンネルが自動的に切り換わってしまう。 | デモモードになっています。<br>電源をいったん切り、[回線切断] ボタンを押しながら、[電源] ボタンを押して、再起動させてください。[回線切断] ボタンはairboardのロゴが表示されるまで押し続けてください。 |
| 充電ランプが点灯しない。 | • バッテリーは入っていますか？<br>• モニターの電源が入っているときベースステーションでは充電されません。 |
| 充電ランプが点滅している。 | バッテリーの異常です。ACパワーアダプターを抜いてバッテリーを入れ直してください。<br>症状が改善しない場合は、エアボードカスタマーサポートセンターへお電話ください。 |

## 文字入力

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| 画面上にキーボードが表示されない。 | 「設定 本体の設定 キーボード」画面の「画面内キーボードを使用しない」に✓をつけていませんか？<br>キーボードの設定を確認してください。（☞224ページ） |
| キーボードが切り換えられない。 | 半角英数しか入力できない欄を入力するときは、キーボードの切り換えができません。 |
| 市販のキーボードを接続したのに入力ができない。 | • 一部のPS/2キーボードやUSBやADBなど、PS/2以外の規格のキーボードは使えません。<br>• 文字入力方法が予測変換になっていませんか？市販のキーボードのときは、設定画面で連文節変換に設定し直してください。（☞224ページ）<br>• キーボードのコネクターをしっかり差し込んでください。 |
| 市販のキーボードのキーが使えない。 | 本機では一部使用できないキーがあります。 |
| 市販のキーボードのタブ（Tab）キーが働かない。 | 本機ではタブ（Tab）キーによる文字入力欄の移動はできません。 |

## テレビ／ビデオチャンネル共通

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| 画像が映らない。 | • ベースステーションの電源が入っているか確認してください。<br>• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 |
| 斑点や点模様が走る。 | • ワイヤレス通信が電波の干渉を受けています。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞200ページ）。<br>• 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？<br>ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞200ページ） |
| 色がつかない、おかしい。 | 画質を調整してください。（☞86ページ） |
| 画像は出るが音が出ない。 | • 音量が下がりきっていないか確認してください。<br>• 画面に「消音」の表示がでているときは [消音] ボタンか [音量+] ボタンを選んで表示を解除してください。<br>• ヘッドホンがつながっていませんか？ |

## テレビ／ビデオチャンネル共通

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| 画像が停止したまま動かない。 | • 画面メモが有効になっていませんか？**［メモ解除］**を選んでください。（☞89ページ）<br>• ワイヤレス通信が途切れています。圏外表示の出ないところへ移動するか、ワイヤレスチャンネルを変更してください。（☞200ページ）<br>• 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？<br>ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞200ページ） |
| 画像が乱れる。 | 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは、本機は電子レンジの干渉を受けません。 |
| ブロック状に見えることがある。 | • 画像処理によるもので、故障ではありません。症状がひどいときは、ワイヤレスの通信が電波の干渉を受けている可能性があります。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞200ページ）<br>• 近くでワイヤレスLANのアクセスポイントなど、本機のワイヤレスチャンネルと同じ周波数（2.4GHz帯）の機器を使用していませんか？<br>ワイヤレスLANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞200ページ） |

## テレビチャンネル

### 画像が出ない

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| テレビのチャンネルが1つも映らない。 | • ベースステーションの電源は入っていますか？<br>• アンテナケーブルをベースステーションにしっかりつないでください。（☞21ページ）<br>• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。<br>• 自動CH設定で近隣の違う地域を選び直してみてください。（☞27ページ） |
| 特定のチャンネルだけが映らない。 | チャンネル設定変更をして受信周波数を調整してください。（☞29ページ） |
| ケーブルテレビのチャンネルが正しく映らない。 | 本機では、C13〜C35チャンネルにのみ対応しています。チャンネルにスクランブルがかかっていたり、それ以外のチャンネルをご覧になりたいときは、ホームターミナルを本機のビデオ入力端子に接続してください。 |

### きれいに写らない

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| 画像が二重三重になる。 | • アンテナケーブルをしっかりつないでください。（☞21ページ）<br>• アンテナの位置、方向、角度を調節してください。 |
| 雪が降るような画面、薄い画面。 | アンテナがこわれていたり曲がったりしていないか確認してください。 |
| 縞状のノイズが多い/雑音が多い。 | • テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。（☞21ページ）<br>• アンテナケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 |

## ビデオチャンネル

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| つないだ機器の画像が出ない。 | • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。<br>• 接続コードをしっかりつないでください。赤、白、黄色、S端子の配線も確認してください。(☞205〜210ページ)<br>• パソコン用モニターなどのノンインターレース信号は表示できません。<br>• **[ビデオ入力1]** はビデオ入力1端子につないだ機器、**[ビデオ入力2]** はビデオ入力2端子につないだ機器を選びます。正しい入力端子に接続されているか、確認してください。(☞287ページ)<br>• ビデオ出力端子に接続していませんか？ビデオ入力1またはビデオ入力2端子に接続してください。(☞287ページ) |
| 画面上のリモコンで操作できない。 | • AVマウスをベースステーションのAVマウス端子に正しくつないでください。(☞211ページ)<br>• つないだ機器本体のボタンを使って操作できるか確認してみてください。(画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。)<br>• AVマウスがリモコン受光部に向けて正しく設置されているか確認してください。(☞211ページ)<br>• リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは離して置いてください。<br>• 電波状態が悪いとき、正しく動作しないことがあります。<br>• 本機で、リモコンの設定をやり直してください。(☞211ページ)(画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。)<br>•「ビデオ入力1」と「ビデオ入力2」が正しく設定されていますか？ |
| ベースステーションのビデオ出力端子につないでいるが、映らない。 | ビデオ出力したい機器をビデオ入力1端子に接続していませんか？ビデオ入力2端子に接続してください。 |
| ビデオチャンネルの画面保存ができない。 | ビデオチャンネルでは画面保存はできません。 |

## インターネットチャンネル

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| インターネットに接続できない。 | • 回線設定、インターネット設定、メール設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報に基づいて正しく設定してください。<br>• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。<br>• ルーターは正しく設定されていますか？<br>ルーターの設定方法については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。必要に応じて、回線事業者などにお問い合わせください。(☞46ページ)<br>•「現在の接続方法」は合っていますか？(☞60ページ)<br>• 回線の設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。<br>**LAN回線の場合**<br>• イーサネットケーブルをしっかりつないでください。(☞43〜45ページ)<br>• プロキシサーバーの設定は正しいですか？(☞61ページ)ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。<br>• 正しいイーサネットケーブル(ストレートケーブルまたはクロスケーブル)を使っていますか？ケーブルの種類については接続機器の取扱説明書、または回線事業者にお問い合わせください。 |



次のページにつづく

## インターネットチャンネル（つづき）

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| インターネットに接続できない。（つづき） | • ルーターやADSLモデムの設定は正しいですか？<br>• 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。<br>**電話回線の場合**<br>• テレホンコードをしっかりつないでください。（☞40～42ページ）<br>• ご家庭の電話が使用中など他で同じ電話回線を使用していませんか？<br>• アクセスポイントが混んでいるかもしれません。メッセージダイアログの［**やめる**］を選び、少し時間を置いてもう一度接続し直してください。<br>• 回線状況が悪い可能性があります。電話回線の設定画面で［**モデム通信速度**］を33.6kbpsに切り換えてください。（☞54ページ）<br>• 電話回線の状況が極端に悪いのかもしれません。（電話をかけると雑音が入る、自分の声にエコーがかかる、声が極端に小さいなどの症状はありませんか。）電話会社にご相談ください。<br>**ADSLで接続している場合**<br>• 正しいイーサネットケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？<br>• スプリッターのDSLポートとTEL（TELEPHONE）ポートを間違えていませんか？（☞45ページ）<br>• 機器の取扱説明書を参照し、ADSLモデムのランプが正しく点灯していることを確認してください。<br>**ISDNで接続している場合**<br>• ご家庭の電話とパソコンが使用中など、他で同じ電話回線をすでに2回線使用していませんか？ |
| インターネットに接続しようとすると、「DHCPによるアドレス取得に失敗しました」というエラーが出て接続できない。 | • ケーブルが抜けていないか確認してください。<br>• ご利用の回線事業者と契約上の問題があるか、回線事業者のサーバーに障害が発生している可能性があります。ご利用の回線事業者へお問い合わせください。<br>• 回線の設定から「LAN回線（アドレス手動／DHCP）」を選び、「自動設定（DHCP）」に再度✓をつけてください。（☞55ページ）<br>• 「LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する」（☞55ページ）をご覧になり、［自動設定(DHCP)］の✓を外して、回線の設定をしてください。 |
| 接続していたのに突然切れた。 | • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。<br>• ［ミーメール］の設定によっては、［ミーメール用］“メモリースティック”の抜き挿しで切断される場合があります。<br>• ワイヤレスLANで本機に接続しているパソコンが切断処理をしていませんか？<br>**電話回線／LAN回線（PPPoE）の場合**<br>• 自動回線切断機能が働いていませんか？<br>**ルーターを使用している場合**<br>• ルーターの自動回線切断機能が働いていませんか？ |
| ホームページの一部が表示されないことがある。 | • 場合によって画面表示の一部が欠けてしまうことがあります。［**更新**］を選んで再読込をしてください。<br>• 画像ファイルのリンクが切れている場合は、画像が正しく表示されません。 |
| 文字が正しく表示されない。 | • ［**更新**］を選んで再読込してください。<br>• ［**戻る**］、［**進む**］などを選んで、いったん違う画面を表示した後、もう一度そのホームページへ戻ってみてください。それでも正しく表示されない場合は、電源を切ってから入れ直してください。<br>• 本機で対応していない言語を表示している場合は、文字が正しく表示されません。 |

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| リンクを押してもページが表示されない。 | • 本機で対応していない形式のファイル（音声、ムービーファイル、エクセル、PDF形式などのファイル）は表示できません（html、JPEG、GIF、PNGのみ対応）。また、Flash以外のプラグインに対応したホームページは表示できません。<br>• JavaScriptを使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「設定 インターネット」画面で「JavaScriptを有効にする」の✓をはずして無効にすると正しく表示されることがあります。(通常は「JavaScriptを有効にする」に✓をつけ、有効にしておいてください。)（☞61ページ）<br>• JavaScriptで作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。<br>• 別のウィンドウが開く場合は、次のページが表示されないことがあります。 |
| 一部の画像が表示されない。 | • **［更新］**を選んで再読み込みしてください。<br>• ［アイコン］で表示されるファイルは本機では表示できません。<br>• ファイルサイズが大きい画像の場合は表示できないことがあります。<br>• 本機では、JPEG、GIF、PNG以外の画像ファイルを表示できません。<br>• インターネットチャンネルではMPEG1の動画ファイルは表示できません。<br>• 回線が混んでいて転送に時間がかかる場合があります。そのまま待つか、しばらくたってから**［更新］**を選んで再読み込みしてください。 |
| 接続しているのにホームページが表示されない。 | • アクセスポイントが混んでいる場合があります。少し時間を置いてもう一度接続し直してください。<br>• 再生できないFlashコンテンツもあります。<br>• Flashコンテンツに付属しているMP3の音声は再生できません。<br>• アドレスを確認してください。<br>• JavaScriptを使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「設定 インターネット」画面で「JavaScriptを有効にする」の✓をはずして無効にすると正しく表示されることがあります。(通常は「JavaScriptを有効にする」に✓をつけ、有効にしておいてください。)（☞61ページ）<br>• JavaScriptで作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。 |
| マークしたいホームページがマークできない。 | • フレームに対応したホームページの中には、アドレスがそのページのものではないときがあります。 |
| ボタンが押せない。 | • ホームページの読み込み中はボタンが反応しにくくなることがあります。ホームページの読み込みが完了してからボタンを選んでください。<br>• ホームページの読み込みが完了しないうちに、インターネットチャンネルの**［保存］**ボタンを選ぶと、**［ホームページ全体を保存］**がうすく表示されて選べないことがあります。ホームページの読み込みが完了してからやり直してください。 |
| ホームページに「入会／登録」とでてきたら | ホームページによっては本機では「入会／登録」ができないものがあります。 |
| **［ホーム］**を選んでも何も表示されない。 | 「ホーム」が設定されていません。ホームにしたいホームページの場所（アドレス）を直接入力してください。（☞61ページ） |
| ホームページ中に［?］という表示が出る | 本機ではFlash以外のプラグインには対応していません。プラグインを使用したホームページでは、画面の一部に［?］が表示されることがあります。 |

その他

次のページにつづく

## インターネットチャンネル（つづき）

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| 「このホームページは読込みできませんでした。」というメッセージダイアログが表示される。<br>リストを選んでも画面が反応しない。<br>ボタンを選んでもページが表示されない。 | 次のいずれかの可能性があります。<br>• 本機で対応していない形式のファイルやJavaScriptを使用したホームページである。<br>• WWWサーバーに接続できなかった。<br>WWWサーバーに接続できなかった場合は、時間をおいて再度接続してみてください。 |
| 「SSLサーバーの認証エラーです。証明書の有効期限が切れています。」というメッセージダイアログが表示される。 | 日時の設定が正しくないと表示されることがあります。日時の設定をしてください。（☞36ページ） |
| 「WWWサーバーに接続できません。」というメッセージダイアログが表示される。 | プロキシサーバーの設定は正しいですか？（☞61ページ）ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 |

## メールチャンネル

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| メールの送受信ができない。 | • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。<br>• メールの設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報を確認してください。<br>• 複数の相手に送るときは、送り先のアドレスをカンマで区切ってください。<br>• 多数のアドレスにメールを送るときは、メールを何回かに分けて送ってください。<br>• エアボードIDT-LF1で作成した［ミーメール］でメールの送受信をする場合は、回線の設定で、「本体の設定を使用する」にをつけてください。ただし会社のLAN環境でファイアウォールがある場合などは、をつけてもメールの送受信はできません。<br>• ネットワークの設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 |
| セキュリティのパスワードを忘れてしまった。 | いったんセキュリティパスワードを設定すると消去や変更にもそのパスワードの入力が必要です。エアボード カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。（修理が必要です。） |
| 「画像の選択」画面で、あるはずの画像が表示されない。 | • 画像を保存してある場所は合っていますか？［切換え］を選んで、本機と“メモリースティック”を切り換えてください。<br>• 画像のファイルサイズが制限を越えている場合、「画像の選択」画面には表示されません。<br>• アルバムの画像一覧画面でや（添付不可の画像や動画）の付いている画像はサイズオーバー（約4MB以上）のため添付できません。<br>• パソコンで初期化した“メモリースティック”の場合、本体では表示できないことがあります。本機で初期化してください。 |
| 受信メールの文字が正しく表示されない。 | 受信したメールに特殊な文字が使用されていると正しく表示できません。またHTML形式など特殊なメールも正しく表示できません。差出人に確認してください。 |
| メールの自動送受信ができない。 | • モニターがスタンバイ状態でないと行われません。スタンバイ状態にしてください。（☞23 ページ）<br>• ［ミーメール］用“メモリースティック”が挿入されているときは行われません。［ミーメール］用“メモリースティック”を抜いてください。（☞174ページ）<br>• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。<br>• ベースステーションの電源が入っていないときは、自動送受信は行われません。ベースステーションの電源を入れてください。 |

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| メールに添付された画像に[?]が表示される。 | • 本機で表示できないJPEG、GIF、BMP、PNG、MPEG1以外の画像ファイルです。対応しているソフトウェアの入っているパソコンに転送すれば表示できます。<br>• 画像が壊れています。 |
| 見覚えのない英文メールが届いた。 | • 存在しないメールアドレスに誤って送ってしまった場合、エラーを通知するメールが送られてきます。メールアドレスを確認してください。 |

## アルバムチャンネル

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| 画面に[?]が表示される。 | • 本機では、JPEG、GIF、BMP、PNG、MPEG1画像ファイルのみ表示できます。また、これらの表示できる画像ファイルでも、ファイルサイズが大きい場合は正しく表示できないことがあります。<br>• 画像が壊れています。 |
| 保存した画像が表示されない。 | • 画像を保存してある場所は合っていますか？**［切換え］**を選んで、本機と"メモリースティック"を切り換えてください。<br>• パソコンから"メモリースティック"に保存した画像のときは、正しいフォルダに保存したか確認してください。（☞184ページ） |
| 保存した画像が画像一覧の左上に表示されない。 | • 時刻の設定を確認してください。 |
| スライドショーができない。 | • 1枚の画像だけに✓がついていませんか？<br>✓をはずすか、2枚以上の画像に✓をつけてください。 |
| お絵かきしている画像が見えなくなった。 | • **［明るく］**や**［暗く］**をくり返し押すと、元の画像が見えなくなることがあります。**［最初から］**または**［途中から］**を選んでください。 |

## 印刷

| 症状 | 対処のしかた |
| --- | --- |
| ハガキ横の印刷ができない。 | • アルバムチャンネルでJPEGの画像を拡大表示した場合のみ、ハガキ横の印刷ができます。<br>• お絵かき画面で**［保存］**を選んだあと、その画像を拡大表示してください。 |
| **［印刷］**ボタンを押しても反応がない。 | メッセージダイアログが出ているときは、印刷ボタンを押しても印刷できません。 |
| **［印刷］**ボタンを押したときに表示される印刷の選択画面でボタンが選べないものがある。 | ボタンの表示が○（白丸）のものは選択できません。 |
| 「プリンターの準備ができていないようなので印刷を中断しました」というメッセージダイアログが出る。 | エプソン、ヒューレット・パッカード製のプリンターをお使いの場合、インクカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。 |
| 印刷の色合いがおかしかったり、文字がかすれたりする。 | • インクカートリッジに問題があるようです。お使いのプリンターの取扱説明書をご覧になって、クリーニングをしてください。<br>• お使いのプリンターとは異なるメーカーの専用紙を使うと、色合いがおかしくなることがあります。 |
| 印刷した画像がきたない。 | • お絵かき画面で**［保存］**を選ぶと、画像がJPEG圧縮されるため、元の画質より悪くなります。印刷する場合は何度も保存することは避けてください。<br>• キヤノンとソニーのプリンターをお使いのかたは、本機に保存されている「プリンターメンテナンス」（☞108ページ）の**［プリントヘッド位置調整］**を行ってください。 |

## ワイヤレスLAN

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| ベースステーションにつながらない（パソコンのブラウザに「エアボード回線接続情報」画面が表示されない）。 | • 本機の暗号鍵とパソコンの暗号鍵（Encryption Key）が一致しているか、確認してください。(☞238、239ページ)<br>• インストールしたワイヤレスLAN PCカードをインフラストラクチャーモードに設定してください。(☞239ページ)<br>• パソコンにインストールしたワイヤレスLAN PCカードのESS-ID (SSID)が、本機のESS-IDと同じ値で入力されているか確認してください。(☞239ページ)<br>• パソコンのESS-IDは大文字と小文字を区別しますので、大文字小文字も正しいか確かめてください。<br>• パソコンのTCP/IPの設定で、［**IPアドレスを自動的に取得する**］が選択してありますか？(☞232ページ) 設定を変更した場合は、再起動しないと設定が有効にならない場合があります。<br>• IPアドレスを自動取得する場合、「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログの「詳細設定」で［DNS］タブの［**この接続のアドレスをDNSに登録する**］のチェックを外してください。(☞233ページの手順4)<br>• パソコンのブラウザのプロキシ設定で、「プロキシサーバーを使用しない」に設定するか、「プロキシを使用しないアドレス」にベースステーションのIPアドレスを指定してください。（☞234～237ページ）<br>• モニターで、テレビやビデオを見ている場合、パソコンがベースステーションにつながりにくくなる場合があります。テレビまたはビデオ以外のチャンネルに切り換えてください。 |
| ベースステーションにはつながるが、インターネットのホームページを見られない。 | • まずモニターでインターネットのホームページを見られることを確認してください。見られない場合は、回線の設定が正しいか確認してください。（☞52～60ページ）<br>• パソコンに、ワイヤレスLAN PCカード以外の他のネットワークデバイス（イーサネットなど）が存在し、以前にそれを使用していた場合は、そのデバイスのTCP/IP設定を確認してください。デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーが指定されている場合、これらを削除するか無効にして、パソコンを再起動してください。 |
| ワイヤレスLAN使用中にテレビやビデオの画像が乱れる。 | モニターでテレビやビデオを見ているときに、パソコンがワイヤレスLANを使用してデータを送受信すると、画像や音声が乱れることがあります。 |

## エアボードネット

### かんたん自動設定、スピード設定について

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| ［入会／設定］を中断した、または中断された。 | 「設定 一覧」画面から、［**エアボードネット**］を選び、［**入会/設定**］を選んでもう一度設定をやり直してください。 |
| 「しばらく待ってからやり直してください」というエラーが出て、その通りにしたがうまくいかない。 | エアボード カスタマーサポートセンターへお電話ください。 |
| メッセージダイアログが表示されたままで画面が切り換わらない。 | • サーバーへの接続と設定の処理のため、画面が切り換わるのに約2分程度かかります。<br>• （ダイアログの）メッセージが切り換わっていれば問題ありません。しばらくお待ちください。<br>• メッセージが1分以上切り換わらないときはエラーの可能性が高いので、いったんモニターの電源を切ってからもう一度電源を入れて設定をやり直してください。 |

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| エアボードネットへの設定・入会をしようとすると、「本機はすでに入会済みです。設定画面に情報が入力されているか確認してください。」というエラーが出てしまう。 | • 一度エアボードネットへの入会を済ませた場合は、それ以降受け付けられません。<br>ただし、設定途中にキャッチホンが入ってしまったなど接続が切れてしまったときに、エラーが起きてしまう場合があります。<br>• 回線とメールの設定画面をもう一度確認し、なにも入力されていないときはエアボード カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。 |
| メールアドレスが受け付けられない。 | 同じメールアドレスをすでに他の方が登録済みです。別のメールアドレスを入力してください。 |
| 住んでいる場所とちがう都道府県が入力されている。 | テレビの自動CH設定で選択した都道府県が入力されています。別の場合は入力し直してください。(☞27ページ) |
| 設定が終了したが、エアボードネットとちがうホームページへ接続した。 | •「ホーム」にエアボードネットを設定してありますか？(☞61ページ)<br>• [ミーメール] 用“メモリースティック”が挿入されていませんか？<br>[ミーメール] 用“メモリースティック”を取り出してから、回線とメールの設定を確認してください。終了画面で確認した内容と同じであれば、本機の設定は問題なく終了しています。 |
| オンラインサインアップ中にキャッチホンが入って回線切断された。 | キャッチホンが入ると電話回線は切断されます。他の電話が使用中のときは接続できませんので、通話の終了を待ってから続きを行ってください。<br>手続きの進行状態により、中断するときがあります。その場合は、「設定 一覧」画面から **[エアボードネット]** を選び、**[入会/設定]** を選んでからもう一度設定をやり直してください。 |
| オンラインサインアップ中に電源を切ってしまった。 | オンラインサインアップをやり直してください。(☞70ページ) |

## 設定終了後に内容の変更をしたい

| 症状 | 対処のしかた |
|---|---|
| アクセスポイントを変更したい。 | エアボードネットのホームページでアクセスポイントをご確認の上、回線の設定画面で変更してください。(☞52ページ) |
| 送信メールの差出人表示を変更したい。 | メールの設定画面で名前を変更してください。<br>(☞62ページ) |
| エアボードネットで設定された内容を消してしまった。 | 「インターネットとメールの設定メモ」(☞291ページ) に記入した内容を「設定 回線」画面、「設定 メール」画面に入力してください。入力する内容が分からないときは、エアボード カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。 |
| 利用するクレジットカードを変更したい。 | エアボードネットのホームページの「お客様ツール」から変更手続きをしてください。 |
| エアボードネットのメールアドレスを変更したい。 | エアボードネットのメールアドレスは変更できません。 |
| パスワードを変更したい。 | エアボードネットのホームページの「お客様ツール」から変更してください。パスワードを変更したら、必ず回線とメールの設定画面のパスワードを合わせて変更してください。 |
| 接続コースを変更したい。 | エアボード カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。 |

• インターネットの接続についてのご質問は、ご利用の回線事業者やプロバイダにお問い合わせください。
• よくある質問についてのページ　http://www.airbonet.com/it_tv/faq

# 保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

**それでも具合の悪いときはエアボード カスタマーサポートセンターへ**

エアボード カスタマーサポートセンター（☞裏表紙）にご相談ください。
インターネットの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

**修理について**

当社では、当社指定業者がお客様宅にうかがい、モニターとベースステーションを合わせて引取修理します。修理完了後に、再度お届けします。詳しくは、本取扱説明書裏表紙の「ご案内」をご覧ください。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社では、テレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、エアボード カスタマーサポートセンターにご相談ください。

**部品の交換について**

この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意を頂いた上で回収させて頂きますので、ご協力ください。

**ご相談になるときは、次のことをお知らせください。**

**型名：** IDT-LF2
**製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
**故障の状態：できるだけくわしく**
**購入年月日：**

| **お買い上げ店** |
| --- |
| **TEL.** |

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

# 用語集

## 五十音順

**アップロード**（☞150ページ）
下位のコンピューターから上位のコンピューターにデータを転送すること。本機では、インターネットのホームページに画像データを送る場合などに使います。

**@（アットマーク）**（☞122ページ）
インターネットのメールアドレスを記述するとき、ドメイン名とユーザー名を区切るときに使います。

**アドレス**（☞98ページ）
インターネットのホームページのアドレス。URLとも言います。

**アドレス帳**（☞132ページ）
メールアドレスを登録しておくところ。

**暗号鍵**（WEP key）（☞238ページ）
情報を暗号化するときに使われる文字列。

**イーサネット**（☞43、44ページ）
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク(LAN)のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及しています。

**インターネット**（☞96ページ）
世界中のコンピューターが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できます。

**引用符**（>）（☞129ページ）
届いたメールの本文を返信の中に含めるときに行頭に付く記号。相手の質問に対する返事というように区別できます。

**エアボードネット**（☞65ページ）
本機を使用している人が利用できるインターネットサービスプロバイダ。

**オフライン**
回線を接続していず、通信を行っていない状態。
一度ダウンロードしたホームページはオフラインでも表示できます。メールもオフラインで読めます。

**オンライン**
回線を接続して、通信中の状態。ホームページをダウンロードしたり、メールを送受信したりするときは、オンラインである必要があります。

**かな入力**（☞155ページ）
キーボード上の「かな」で文字を入力する方法。

**画面メモ**（☞89ページ）
テレビチャンネルやビデオチャンネルの画面を静止する機能。テレビ番組のメールアドレスやホームページのアドレスを書き留めるときに便利です。

**キャッシュ**（☞114ページ）
ホームページで一度読み込んだ情報が自動的に本体に取り込まれ、いつでも表示できます。キャッシュは一定量以上になると、古いものから順に消えます。

**区点コード**（☞163、266ページ）
日本工業規格（JIS）が一般に使用する文字に定めたコード番号。本機はJIS漢字コード第1水準と第2水準に対応しています。旧字体や難漢字は第2水準を使って表示できます。

**ゲートウェイ**（☞56ページ）
ネットワークの中で、異なる方式を使用している機器間の接続を可能にする仕組みです。

**圏外表示**（☞20ページ）
ワイヤレス通信ができないため、本機が利用できない地域であることを示すマーク。「圏外」と表示されているときは、テレビが映らなかったり、メールの送受信ができません。

**子画面**（☞88ページ）
インターネットチャンネルやメールチャンネル、アルバムチャンネルなどを表示中に、同時に表示可能な小さなテレビまたはビデオ画面。

**サブネットマスク**（☞56ページ）
IPアドレスの一部で、サブネットを特定するもの。

**受信箱**（☞127ページ）
受信メールが保存されているところ。

**省エネタイマー**（☞198ページ）
数分間本機を使用しないときに、バックライトを消して本機の消費電力を少なくする機能。あらかじめ設定した時間が過ぎるとモニターの画面が暗くなります。

**常時接続**（☞38ページ）
インターネットに常につながっている状態のことを常時接続といいます。料金定額のため、接続時間を気にすることなくインターネットを楽しめます。

**初期化**（☞187ページ）
「フォーマット」とも言います。“メモリースティック”を初期化すると、“メモリースティック”に保存してあるインターネットのホームページや整理箱などが消去されてしまうので注意が必要です。

**署名**（☞121ページ）
メールの本文の末尾にあって、名前や連絡先、メールアドレスなどを記述するメッセージ。

**スプリッター**（☞45ページ）
電話線に混在している音声通話とADSLの情報を2つに分けるために使用します。音声通話よりもADSLが使用する周波数帯の方が高いため、ADSLの情報を分離できるようになっています。

**スリープ**（☞91ページ）
モニターの電源を、あらかじめ設定した時間で自動的に切る機能。

次のページにつづく

**整理箱**（☞180ページ）
送受信メールを保存しておくところ。“メモリースティック”を挿入しているときにのみ表示されます。整理箱を使ってメッセージ内容や送信人にあわせて分けられます。

**セキュリティ**（☞134ページ）
本機のメールチャンネルに保存している受信メールや送信メールを他の人に読まれないようにするための機能。

**接続ID**（☞53ページ）
インターネットに接続するときに使用します。パスワードと組み合わせて、利用者本人であることを確認します。

**送信箱**（☞123ページ）
すでに送ったメールや途中保存したメール、送信待ちのメールが保存されているところ。

**題名**（☞120ページ）
メールの内容を示すためにつけるタイトル。受信したメールに返信するときは、冒頭に「RE:」（Reply＝返事、の略）が追加され、受信したメールに対する返事であることが分かります。受信したメールを他の人に転送するときは、冒頭に「FW:」（Forward＝転送、の略）が追加され、届いたメールを転送していることが分かります。

**ダウンロード**（☞100ページ）
サーバーから送られてくるホームページなどの情報を本機に取り込むことです。ダウンロードすることで、最新のホームページを表示できます。

**チャンネル**
本機で利用できる機能のことをチャンネルと言います。本機では、基本的にテレビチャンネル、ビデオ入力1チャンネル、ビデオ入力2チャンネル、インターネットチャンネル、メールチャンネル、アルバムチャンネルの6つのチャンネルが利用できます。その他に特定のホームページを呼び出すためのサービスチャンネルも設定できます。
また、ワイヤレス通信に使用する無線周波数帯のことをワイヤレスチャンネルと言います。

**転送**（☞131ページ）
届いたメールを別の人に送ること。題名に転送であることを示す「FW:」が追加されます。

**添付**（☞124ページ）
メールの本文と一緒に画像ファイルなどを送ること。

**パスワード**（☞53、58、63、80、134ページ）
プロバイダと契約したり、メールを送受信するときに入力する暗証番号。

**半角**（☞161ページ）
全角文字を、横方向に半分の大きさにした文字の種類。本機では、「小文字キーボード」や「大文字キーボード」で入力するアルファベットや数字は半角となります。

**反転**（☞157ページ）
文字列をなぞること。画面からタッチペンを離さないまま、反転したい文字列の最初から最後までをなぞります。黒い帯の上に文字列が白く表示されます。

**フレッツISDN（アイエスディーエヌ）**（☞50ページ）
東西NTT地域会社が提供するISDN回線による常時接続サービス（IP接続サービス）の名称。月々の定額料金を支払うとインターネットを無制限に利用できます。

**フレッツADSL（エーディーエスエル）**（☞66ページ）
東西NTT地域会社が提供するADSL回線による常時接続サービス（IP接続サービス）の名称。

**プロキシ**（☞61ページ）
ファイアウォール（外部からの不正侵入防御壁）内にいるコンピューターが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバー。

**プロトコル**
複数のコンピューターがお互いに通信するための規約。

**ブロードバンド**（☞37ページ）
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、FTTHなどがあります。

**ブロードバンドルーター**（☞43、45、46、51ページ）
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使いますが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使います。

**プロバイダ**（☞52、56、58ページ）
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

**返信**（☞129ページ）
届いたメールに返事を書くこと。題名に返信であることを示す「RE:」が、文面の行頭には「>」（引用符）が追加されます。

**ホームページ**（☞97ページ）
組織や個人が一般に情報を公開しているインターネットのページ。このページにリンクが張られている場合、リンクを選ぶと、あらかじめ指定された別のホームページを表示することができます。

**ホームページアドレス**（☞97ページ）
ホームページの場所。

**ミーメール（☞79、179ページ）**
"メモリースティック"にメールユーザー追加の設定（ネットワークとメールの設定）をすることにより、本機に"メモリースティック"を挿入するだけで、記録された設定に基づいてインターネットやメールができます。

**マーク（ブックマーク）（☞104ページ）**
インターネットでお気に入りのホームページや頻繁に見るホームページの登録。一度登録すると、ホームページを見たいときにアドレスを毎回入力する必要がなくなり便利です。

**メール（☞118ページ）**
「Eメール」や「電子メール」とも言います。
インターネットを使って紙を使わないで文章の情報を相手のコンピューターなどと短時間でやりとりできます。

**メールアドレス（☞118ページ）**
「Eメールアドレス」や「電子メールアドレス」とも言います。
メールの送信先や受信先の住所です。@（アットマーク）を間にはさんだアルファベットと数字記号の組み合わせで表わされます。このアドレスを入力することで、相手にメールを送信できます。

**"メモリースティック"（☞174ページ）**
小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きいIC記録メディア。本機では"メモリースティック"を使って［ミーメール］を作成したり、"メモリースティック"内の画像が見られます。

**予測候補（☞154ページ）**
予測入力機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。キーボード画面上部に表示されます。

**予測入力（POBox）機能（☞154ページ）**
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できます。

**リンク（☞97ページ）**
表示しているホームページに関連のあるページのアドレスが埋め込まれているところ。

**ルーター（☞43、45ページ）**
ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行います。
最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルーターや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルーターもあります。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともあります。

**ローマ字入力（☞158ページ）**
キーボード上に表示されているアルファベットの組み合わせでひらがなを入力する方法。

**ワイヤレスLAN（ラン）（☞228ページ）**
ケーブルを使わず、電波を使って通信を行なうネットワーク。無線LANとも言います。

**ワイヤレスLAN（ラン） PC（ピーシー）カード（☞228ページ）**
ワイヤレスLANを可能にするPCカード。

その他

# アルファベット順

, 

エーディーエスエル
**ADSL（☞37ページ）**
非対称ディジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriber Line）の略。
ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用しますが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能です。上り方向（ユーザーの端末から送信する方向）の通信速度は16〜640 kbpsと遅いのですが、下り方向（電話局からユーザーの端末へ流す方向）は1.5〜8 Mbpsと高速のため、「非対称」の名前がついています。通信速度は契約しているサービスにより、異なります。

エーブイ
**AVマウス（☞211ページ）**
ビデオなどを操作するために、本機から出される信号をビデオに送る機器。

シーシー
**Cc（☞122ページ）**
Carbon copyの略。メールの受取人を表す言葉。メッセージの主たる宛先を「To」に表示するのに対して、「Cc」に表示する受取人は、そのメッセージに対して「2次的」な意味あいがあります。

クッキー
**Cookie（☞104ページ）**
ホームページ運営者がホームページを閲覧している端末を識別するための情報。オンラインショッピングなどのように利用者を識別する場合によく使われます。

ディーエッチシーピー
**DHCP（☞55ページ）**
動的ホスト構成プロトコル（Dynamic Host Configuration Protocol）の略。
インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるための仕組み。

ディーエヌエス
**DNS（☞54、56、58ページ）**
「プライマリDNS」、「ドメインネームサーバー」、「DNSサーバー」などとも言います。
ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーでIPアドレスで特定されています。

, , , 

イーエスエスアイディー
**ESS-ID（☞230ページ）**
Extended Service Set Indentifyの略。ワイヤレスLANの中で特定のグループを識別するための情報。

アイピー
**IPアドレス（☞56ページ）**
TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁の数字4組を点で区切ったものです（192.168.239.1など）。

アイエスディーエヌ
**ISDN（☞37ページ）**
総合サービスデジタルネットワーク（Integrated Services Digital Network）の略。
通信速度64 kbps（128 kbps）のデジタル電話回線。
現在、インターネット接続に広く利用されています。

**ISDNルーター（☞43ページ）**
ISDNでインターネットに接続する場合、ターミナルアダプターという機器を使うのが一般的ですが、ISDNの通信速度でインターネットに接続するときは、ISDNルーターという機器を使います。

, 

ジャバスクリプト
**JavaScript（☞61ページ）**
ホームページを作成するための言語の中の1つ。本機の設定で「JavaScriptを有効にする」をチェックするとJavaScript対応のホームページを見ることができます。ただし、本機で対応していないJavaScriptが使われているホームページの場合は、表示できない、読み込みが終了しないなどの症状が起きることがあります。そのときは、チェックをはずしてJavaScriptを無効にすると、このような症状を避けられます。

ラン
**LAN（☞55、228ページ）**
ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略。
オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピューターやプリンター、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

, , 

マック
**MACアドレス（☞56ページ）**
Media Access Control の略。LAN回線などの配線の上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号です。ケーブルテレビ会社によってはMACアドレスの届け出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」の設定画面に表示されています。

ポップスリー
POP3（☞63ページ）
Post Office Protocol version 3の略。メールを受け取るときに必要なプロトコル。

ピーオーボックス
POBox（☞154ページ）
Predictive Operation Based On eXampleの略。本機のキーボードの予測入力機能のこと。

ピーピーピーオーイー
PPPoE（☞57ページ）
Point-to-Point Protocol over Ethernetの略。ADSLを使ってインターネットに接続するときに使われるプロトコルです。

エスエムティーピー
SMTP（☞63ページ）
Simple Mail Transfer Protocolの略。メールを送るときに必要なプロトコル。

エスエスエル
SSL
Secure Socket Layerの略。
インターネット上で情報を安全にやり取りするための規格。クレジットカードなどの情報をやり取りするようなホームページでよく使用されます。
SSLには、ホームページ作成者の身元を確認する機能と安全に情報をやりとりするために、情報を暗号化する機能があります。本機ではSSLの情報を確認できます。

トゥー
To（☞122ページ）
メールの主たる受取人を表す言葉。

ユーアールエル
URL（☞97ページ）
Uniform Resource Locatorの略。インターネット上の情報（ホームページ）のアドレス。インターネットチャンネルでアドレスを入力すると、特定のホームページを表示できます。ただし、1文字でも間違えると、閲覧したいホームページは表示されません。

# 主な仕様

## システム

| | |
|---|---|
| 受信方式 | NTSC方式 |
| 受信チャンネル | VHF 1〜12チャンネル<br>UHF 13〜62チャンネル<br>CATV C13〜C35チャンネル |
| 選局方式 | PLLシンセサイザー方式 |
| 画面寸法 | 12.1型、24.9 × 18.7 cm、31.1 cm（幅 × 高さ、対角） |
| 表示方式 | 透過型TN液晶パネル |
| 駆動方式 | TFT（薄膜トランジスタ）<br>アクティブマトリックス駆動方式 |
| 有効画素率 | 99.99 % |
| 有効画素数 | 水平　800 ドット<br>垂直　600 ライン |
| 使用スピーカー | 4 × 2.8 cm　楕円 × 2 |
| 音声出力 | 実用最大 0.5W × 2（JEITA）、8 Ω |

## Webブラウザ

| | |
|---|---|
| HTML | HTML 3.2（HTML 4.0の一部）、フレーム対応、JavaScript、SSL（V2/3） |
| イメージファイル | GIF、JPEG、PNG |
| 漢字コード | JIS、シフトJIS、EUC |
| Flash | Ver. 5.0 |

## 電子メール

| | |
|---|---|
| 送信プロトコル | SMTP |
| 受信プロトコル | POP3 |

## アルバム

アルバム対応ファイル
GIF、JPEG、PNG、BMP、MPEG1

## 入出力端子

### ベースステーション

| | |
|---|---|
| VHF/UHF端子 | VHF/UHF 75 Ω F型コネクター |
| ビデオ入力1端子 | S映像：4ピンミニDIN<br>Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω<br>映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ |
| ビデオ入力2端子 | 映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ |
| ビデオ出力端子 | 映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、不平衡、同期負<br>音声：ピンジャック、2チャンネル、500 mVrms、インピーダンス 5 kΩ以下 |
| DC IN端子 | DC（13.5 V） |
| 電話回線端子 | モジュラージャック |
| 直流抵抗値 | 288 Ω |
| ETHER端子 | 10BASE-Tコネクター |
| AVマウス出力 | ミニジャック（2） |
| USB端子 | |

### モニター

| | |
|---|---|
| DC IN端子 | DC（13.5 V） |
| ヘッドホン端子 | ステレオミニジャック<br>負荷インピーダンス 16 Ω以上 |
| キーボード端子 | PS/2 |
| USB端子 | |

## ACパワーアダプター

### ベースステーション用　AC-LF3

| | |
|---|---|
| 電源 | AC100 V、50/60 Hz |
| 定格出力 | DC OUT:DC13.5 V、3.8 A |
| 動作温度 | 0 °C〜35 °C |
| 保存温度 | −10 °C〜+60 °C |
| 最大外形寸法 | 約148 × 34 × 63 mm（幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含まず） |
| 質量 | 308 g |

### クレードル用　AC-LF1B

| | |
|---|---|
| 電源 | AC100 V、50/60 Hz |
| 定格出力 | DC OUT:DC13.5 V、3.3 A |
| 動作温度 | 0 °C〜35 °C |
| 保存温度 | −10 °C〜+60 °C |
| 最大外形寸法 | 約110 × 28 × 45 mm（幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含まず） |
| 質量 | 210 g |

## バッテリー　BP-LF3

| | |
|---|---|
| 公称電圧 | DC7.4 V |
| 容量 | 5400 mAh |
| 種類 | リチウムイオン蓄電池 |
| 最大外形寸法 | 約58.1 × 23.3 × 139.7 mm（幅 × 高さ × 奥行き） |
| 動作温度 | 0 °C〜35 °C |
| 保存温度 | −20 °C〜+45 °C |

## 電源部・その他

| | |
|---|---|
| 消費電力 | ベースステーション：<br>約21 W（テレビ視聴時）<br>約0.7 W<br>（電源オフ、ACアダプター装着時）<br>モニター：<br>約35 W（テレビ視聴時、ACアダプター装着時）<br>約28 W（テレビ視聴時、バッテリー使用時）<br>約20 W（電源オフ、バッテリー充電時） |
| 動作温度 | 0 °C〜35 °C |
| 保存温度 | −10 °C〜+45 °C |

最大外形寸法　ベースステーション：
26.0×13.0×17.0（cm）
（幅×高さ×奥行き）
モニター：
36.8×24.2×5.2（cm）
（幅×高さ×奥行き）（突起部含まず）

質量　ベースステーション：約1.2 kg
モニター：約2.1 kg
（バッテリー装着時）

通信距離　屋内約30 m（ただし周辺環境の条件によって変わります）

準拠規格　IEEE802.11 b

使用周波数帯　2.4 GHz

変調方式　DS-SS

電源　ACパワーアダプター使用時：
100 V、50/60 Hz
バッテリー使用時：5400 mAh

バッテリー使用可能時間
約2時間（バックライトの明るさ、最小）
約1時間30分（バックライトの明るさ、中）
約1時間（バックライトの明るさ、最大）

バッテリー充電時間

| 充電方法 | モニター電源入 | モニター電源切 |
|---|---|---|
| クレードルを使う | 約7時間 | 約4.5時間 |
| ベースステーションを使う | できません | 約4.5時間 |
| クレードル用ACアダプターを使う | 約7時間 | 約4.5時間 |

付属品　バッテリー BP-LF3（1）
タッチペン（1）
クレードル（1）
クレードル用ACパワーアダプター AC-LF1B（1）
ベースステーション用ACパワーアダプター AC-LF3（1）
電源コード（2）
アンテナ分配器（1）
テレホンコード（1）
モジュラーテレホンコード
カプラー（1）
AVマウス（1）
クリーニングクロス（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
エアボードネット入会申込書（1）
「ご使用上のご注意」シール（1）
エアボードネットニュース（1）
アクセスポイント一覧（1）
インターネットナンバー番号集（1）
ご愛用者カード（1）

## 別売りアクセサリー

小型IC記録メディア“メモリースティック”
ヘッドホン
映像・音声コード
プラグアダプター PC-230M
AVマウス延長ケーブル RK-G131（3 m）
AVマウス VM-50
アンテナ接続ケーブル EAC-315など

2002年1月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# ローマ字対照表

## 50音

| あ | い | う | え | お |
|---|---|---|---|---|
| a | i | u | e | o |
| か | き | く | け | こ |
| k→a | k→i | k→u | k→e | k→o |
| さ | し | す | せ | そ |
| s→a | s→i<br>(s→h→i) | s→u | s→e | s→o |
| た | ち | つ | て | と |
| t→a | t→i<br>(c→h→i) | t→u | t→e | t→o |
| な | に | ぬ | ね | の |
| n→a | n→i | n→u | n→e | n→o |
| は | ひ | ふ | へ | ほ |
| h→a | h→i | h→u<br>(f→u) | h→e | h→o |
| ま | み | む | め | も |
| m→a | m→i | m→u | m→e | m→o |
| や | | ゆ | いぇ | よ |
| y→a | | y→u | y→e | y→o |
| ら | り | る | れ | ろ |
| r→a | r→i | r→u | r→e | r→o |
| わ | うぃ | | うぇ | を |
| w→a | w→i | | w→e | w→o |
| ん | | | | |
| n→n | | | | |

## 濁点／半濁点付き50音

| が | ぎ | ぐ | げ | ご |
|---|---|---|---|---|
| g→a | g→i | g→u | g→e | g→o |
| ざ | じ | ず | ぜ | ぞ |
| z→a | z→i<br>(j→i) | z→u | z→e | z→o |
| だ | ぢ | づ | で | ど |
| d→a | d→i<br>(z→i) | d→u | d→e | d→o |
| ば | び | ぶ | べ | ぼ |
| b→a | b→i | b→u | b→e | b→o |
| ぱ | ぴ | ぷ | ぺ | ぽ |
| p→a | p→i | p→u | p→e | p→o |

## 小文字

| ぁ | ぃ | ぅ | ぇ | ぉ |
|---|---|---|---|---|
| l→a<br>(x→a) | l→i<br>(x→i) | l→u<br>(x→u) | l→e<br>(x→e) | l→o<br>(x→o) |
| ゃ | | ゅ | | ょ |
| l→y→a<br>(x→y→a) | | l→y→u<br>(x→y→u) | | l→y→o<br>(x→y→o) |

## 小さい「っ」を入力するには

例：きっと→kitto
　　がっき→gakki

子音（例の場合、「t」や「k」）を2つ続けて入力すると小さい「っ」が入力されます。

### 50音＋小文字の組み合わせ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| きゃ | きぃ | きゅ | きぇ | きょ |
| k→y→a | k→y→i | k→y→u | k→y→e | k→y→o |
| しゃ | しぃ | しゅ | しぇ | しょ |
| s→h→a | | s→h→u | s→h→e | s→h→o |
| (s→y→a) | (s→y→i) | (s→y→u) | (s→y→e) | (s→y→o) |
| ちゃ | ちぃ | ちゅ | ちぇ | ちょ |
| c→h→a | | c→h→u | c→h→e | c→h→o |
| (c→y→a) | (c→y→i) | (c→y→u) | (c→y→e) | (c→y→o) |
| (t→y→a) | (t→y→i) | (t→y→u) | (t→y→e) | (t→y→o) |
| にゃ | にぃ | にゅ | にぇ | にょ |
| n→y→a | n→y→i | n→y→u | n→y→e | n→y→o |
| ひゃ | ひぃ | ひゅ | ひぇ | ひょ |
| h→y→a | h→y→i | h→y→u | h→y→e | h→y→o |
| みゃ | みぃ | みゅ | みぇ | みょ |
| m→y→a | m→y→i | m→y→u | m→y→e | m→y→o |
| りゃ | りぃ | りゅ | りぇ | りょ |
| r→y→a | r→y→i | r→y→u | r→y→e | r→y→o |
| ぎゃ | ぎぃ | ぎゅ | ぎぇ | ぎょ |
| g→y→a | g→y→i | g→y→u | g→y→e | g→y→o |
| じゃ | じぃ | じゅ | じぇ | じょ |
| j→a | j→y→i | j→u | j→e | j→o |
| ぢゃ | ぢぃ | ぢゅ | ぢぇ | ぢょ |
| d→y→a | d→y→i | d→y→u | d→y→e | d→y→o |
| びゃ | びぃ | びゅ | びぇ | びょ |
| b→y→a | b→y→i | b→y→u | b→y→e | b→y→o |
| ぴゃ | ぴぃ | ぴゅ | ぴぇ | ぴょ |
| p→y→a | p→y→i | p→y→u | p→y→e | p→y→o |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| くゎ | | | | |
| k→w→a | | | | |
| つぁ | つぃ | | つぇ | つぉ |
| t→s→a | t→s→i | | t→s→e | t→s→o |
| ふぁ | ふぃ | | ふぇ | ふぉ |
| f→a | f→i | | f→e | f→o |
| ふゃ | | ふゅ | | ふょ |
| f→y→a | | f→y→u | | f→y→o |
| ぐゎ | | | | |
| g→w→a | | | | |
| てゃ | てぃ | てゅ | てぇ | てょ |
| t→h→a | t→h→i | t→h→u | t→h→e | t→h→o |
| でゃ | でぃ | でゅ | でぇ | でょ |
| d→h→a | d→h→i | d→h→u | d→h→e | d→h→o |

# 区点コード表

**区点コードの見かた**

文字の左の数と上の数を加算した値が、その文字の区点コード番号になります。例えば「⑫」の区点コード番号は、「1300＋12」ですので「1312」となります。

本機のコード入力は、シフトJISコード第1水準漢字／非漢字および第2水準漢字に対応しています。

## 記号

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0100 | | | 、 | 。 | ， | ． | ・ | ： | ； | ？ | ！ | ゛ | ゜ | ´ | ｀ | ¨ | ＾ | ￣ | ＿ | ヽ |
| 0120 | ヾ | ゝ | ゞ | 〃 | 仝 | 々 | 〆 | 〇 | ー | ― | ‐ | ／ | ＼ | ～ | ∥ | ｜ | … | ‥ | ‘ | ’ |
| 0140 | “ | ” | （ | ） | 〔 | 〕 | ［ | ］ | ｛ | ｝ | 〈 | 〉 | 《 | 》 | 「 | 」 | 『 | 』 | 【 | 】 |
| 0160 | ＋ | － | ± | × | ÷ | ＝ | ≠ | ＜ | ＞ | ≦ | ≧ | ∞ | ∴ | ♂ | ♀ | ° | ′ | ″ | ℃ | ￥ |
| 0180 | ＄ | ￠ | ￡ | ％ | ＃ | ＆ | ＊ | ＠ | § | ☆ | ★ | ○ | ● | ◎ | ◇ | | | | | |
| 0200 | | ◆ | □ | ■ | △ | ▲ | ▽ | ▼ | ※ | 〒 | → | ← | ↑ | ↓ | 〓 | | | | | |
| 0220 | | | | | | | ∈ | ∋ | ⊆ | ⊇ | ⊂ | ⊃ | ∪ | ∩ | | | | | | |
| 0240 | | | ∧ | ∨ | ￢ | ⇒ | ⇔ | ∀ | ∃ | | | | | | | | | | | |
| 0260 | ∠ | ⊥ | ⌒ | ∂ | ∇ | ≡ | | ≪ | ≫ | √ | ∽ | ∝ | ∵ | ∫ | ∬ | | | | | |
| 0280 | | | Å | ‰ | ♯ | ♭ | ♪ | † | ‡ | ¶ | | | | | ◯ | | | | | |
| 1330 | | | ㍉ | ㌔ | ㌢ | ㍍ | ㌘ | ㌧ | ㌃ | ㌶ | ㍑ | ㍗ | ㌍ | ㌦ | ㌣ | ㌫ | ㍊ | ㌻ | ㎜ | ㎝ |
| 1350 | ㎞ | ㎎ | ㎏ | ㏄ | ㎡ | | | | | | ℓ | ℊ | 才 | ㍻ | 〝 | 〟 | № | ㏍ | ℡ | ㊤ |
| 1370 | ㊥ | ㊦ | ㊧ | ㊨ | ㈱ | ㈲ | ㈹ | ㍾ | ㍽ | ㍼ | | ≡ | ∫ | ∮ | ∑ | √ | ⊥ | ∠ | ∟ | ⊿ |
| 1390 | ∵ | ∩ | ∪ | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## 数字

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0310 | | | | | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | | | |
| 1300 | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ |
| 1320 | ⑳ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅵ | Ⅶ | Ⅷ | Ⅸ | Ⅹ | | | | | | | | | |

## アルファベット

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0330 | | | | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q |
| 0350 | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | | | | | | | a | b | c | d | e |
| 0370 | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y |
| 0390 | z | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## ひらがな

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0400 | | ぁ | あ | ぃ | い | ぅ | う | ぇ | え | ぉ | お | か | が | き | ぎ | く | ぐ | け | げ | こ |
| 0420 | ご | さ | ざ | し | じ | す | ず | せ | ぜ | そ | ぞ | た | だ | ち | ぢ | っ | つ | づ | て | で |
| 0440 | と | ど | な | に | ぬ | ね | の | は | ば | ぱ | ひ | び | ぴ | ふ | ぶ | ぷ | へ | べ | ぺ | ほ |
| 0460 | ぼ | ぽ | ま | み | む | め | も | ゃ | や | ゅ | ゆ | ょ | よ | ら | り | る | れ | ろ | ゎ | わ |
| 0480 | ゐ | ゑ | を | ん | | | | | | | | | | | | | | | | |

## カタカナ

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0500 | | ァ | ア | ィ | イ | ゥ | ウ | ェ | エ | ォ | オ | カ | ガ | キ | ギ | ク | グ | ケ | ゲ | コ |
| 0520 | ゴ | サ | ザ | シ | ジ | ス | ズ | セ | ゼ | ソ | ゾ | タ | ダ | チ | ヂ | ッ | ツ | ヅ | テ | デ |
| 0540 | ト | ド | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | バ | パ | ヒ | ビ | ピ | フ | ブ | プ | ヘ | ベ | ペ | ホ |
| 0560 | ボ | ポ | マ | ミ | ム | メ | モ | ャ | ヤ | ュ | ユ | ョ | ヨ | ラ | リ | ル | レ | ロ | ヮ | ワ |
| 0580 | ヰ | ヱ | ヲ | ン | ヴ | ヵ | ヶ | | | | | | | | | | | | | |

## ギリシア文字

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0600 | | Α | Β | Γ | Δ | Ε | Ζ | Η | Θ | Ι | Κ | Λ | Μ | Ν | Ξ | Ο | Π | Ρ | Σ | Τ |
| 0620 | Υ | Φ | Χ | Ψ | Ω | | | | | | | | | α | β | γ | δ | ε | ζ | η |
| 0640 | θ | ι | κ | λ | μ | ν | ξ | ο | π | ρ | | | | | | | | | | |
| 0650 | σ | τ | υ | φ | χ | ψ | ω | | | | | | | | | | | | | |

## ロシア文字

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0700 | | А | Б | В | Г | Д | Е | Ё | Ж | З | И | Й | К | Л | М | Н | О | П | Р | С |
| 0720 | Т | У | Ф | Х | Ц | Ч | Ш | Щ | Ъ | Ы | Ь | Э | Ю | Я | | | | | | |
| 0740 | | | | | | | | | | а | б | в | г | д | е | ё | ж | з | и | й |
| 0760 | к | л | м | н | о | п | р | с | т | у | ф | х | ц | ч | ш | щ | ъ | ы | ь | э |
| 0780 | ю | я | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## 罫線

| 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0800 | | ─ | │ | ┌ | ┐ | ┘ | └ | ├ | ┬ | ┤ | ┴ | ┼ | ━ | ┃ | ┏ | ┓ | ┛ | ┗ | ┣ | ┳ |
| 0820 | ┫ | ┻ | ╋ | ┠ | ┯ | ┨ | ┷ | ┿ | ┝ | ┰ | ┥ | ┸ | ╂ | | | | | | | |



次のページにつづく

## 第1水準漢字

| | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | 1600 | | 亜 | 唖 | 娃 | 阿 | 哀 | 愛 | 挨 | 姶 | 逢 | 葵 | 茜 | 穐 | 悪 | 握 | 渥 | 旭 | 葦 | 芦 | 鯵 |
| | 1620 | 梓 | 圧 | 斡 | 扱 | 宛 | 姐 | 虻 | 飴 | 絢 | 綾 | 鮎 | 或 | 粟 | 袷 | 安 | 庵 | 按 | 暗 | 案 | 闇 |
| | 1640 | 鞍 | 杏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イ | 1640 | | | 以 | 伊 | 位 | 依 | 偉 | 囲 | 夷 | 委 | 威 | 尉 | 惟 | 意 | 慰 | 易 | 椅 | 為 | 畏 | 異 |
| | 1660 | 移 | 維 | 緯 | 胃 | 萎 | 衣 | 謂 | 違 | 遺 | 医 | 井 | 亥 | 域 | 育 | 郁 | 磯 | 一 | 壱 | 溢 | 逸 |
| | 1680 | 稲 | 茨 | 芋 | 鰯 | 允 | 印 | 咽 | 員 | 因 | 姻 | 引 | 飲 | 淫 | 胤 | 蔭 | | | | | |
| | 1700 | | 院 | 陰 | 隠 | 韻 | 吋 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ | 1700 | | | | | | | 右 | 宇 | 烏 | 羽 | 迂 | 雨 | 卯 | 鵜 | 窺 | 丑 | 碓 | 臼 | 渦 | 嘘 |
| | 1720 | 唄 | 欝 | 蔚 | 鰻 | 姥 | 厩 | 浦 | 瓜 | 閏 | 噂 | 云 | 運 | 雲 | | | | | | | |
| エ | 1720 | | | | | | | | | | | | | | 荏 | 餌 | 叡 | 営 | 嬰 | 影 | 映 |
| | 1740 | 曳 | 栄 | 永 | 泳 | 洩 | 瑛 | 盈 | 穎 | 頴 | 英 | 衛 | 詠 | 鋭 | 液 | 疫 | 益 | 駅 | 悦 | 謁 | 越 |
| | 1760 | 閲 | 榎 | 厭 | 円 | 園 | 堰 | 奄 | 宴 | 延 | 怨 | 掩 | 援 | 沿 | 演 | 炎 | 焔 | 煙 | 燕 | 猿 | 縁 |
| | 1780 | 艶 | 苑 | 薗 | 遠 | 鉛 | 鴛 | 塩 | | | | | | | | | | | | | |
| オ | 1780 | | | | | | | | 於 | 汚 | 甥 | 凹 | 央 | 奥 | 往 | 応 | | | | | |
| | 1800 | | 押 | 旺 | 横 | 欧 | 殴 | 王 | 翁 | 襖 | 鴬 | 鴎 | 黄 | 岡 | 沖 | 荻 | 億 | 屋 | 憶 | 臆 | 桶 |
| | 1820 | 牡 | 乙 | 俺 | 卸 | 恩 | 温 | 穏 | 音 | | | | | | | | | | | | |
| カ | 1820 | | | | | | | | | 下 | 化 | 仮 | 何 | 伽 | 価 | 佳 | 加 | 可 | 嘉 | 夏 | 嫁 |
| | 1840 | 家 | 寡 | 科 | 暇 | 果 | 架 | 歌 | 河 | 火 | 珂 | 禍 | 禾 | 稼 | 箇 | 花 | 苛 | 茄 | 荷 | 華 | 菓 |
| | 1860 | 蝦 | 課 | 嘩 | 貨 | 迦 | 過 | 霞 | 蚊 | 俄 | 峨 | 我 | 牙 | 画 | 臥 | 芽 | 蛾 | 賀 | 雅 | 餓 | 駕 |
| | 1880 | 介 | 会 | 解 | 回 | 塊 | 壊 | 廻 | 快 | 怪 | 悔 | 恢 | 懐 | 戒 | 拐 | 改 | | | | | |
| | 1900 | | 魁 | 晦 | 械 | 海 | 灰 | 界 | 皆 | 絵 | 芥 | 蟹 | 開 | 階 | 貝 | 凱 | 劾 | 外 | 咳 | 害 | 崖 |
| | 1920 | 慨 | 概 | 涯 | 碍 | 蓋 | 街 | 該 | 鎧 | 骸 | 浬 | 馨 | 蛙 | 垣 | 柿 | 蛎 | 鈎 | 劃 | 嚇 | 各 | 廓 |
| | 1940 | 拡 | 撹 | 格 | 核 | 殻 | 獲 | 確 | 穫 | 覚 | 角 | 赫 | 較 | 郭 | 閣 | 隔 | 革 | 学 | 岳 | 楽 | 額 |
| | 1960 | 顎 | 掛 | 笠 | 樫 | 橿 | 梶 | 鰍 | 潟 | 割 | 喝 | 恰 | 括 | 活 | 渇 | 滑 | 葛 | 褐 | 轄 | 且 | 鰹 |
| | 1980 | 叶 | 椛 | 樺 | 鞄 | 株 | 兜 | 竃 | 蒲 | 釜 | 鎌 | 噛 | 鴨 | 栢 | 茅 | 萱 | | | | | |
| | 2000 | | 粥 | 刈 | 苅 | 瓦 | 乾 | 侃 | 冠 | 寒 | 刊 | 勘 | 勧 | 巻 | 喚 | 堪 | 姦 | 完 | 官 | 寛 | 干 |
| | 2020 | 幹 | 患 | 感 | 慣 | 憾 | 換 | 敢 | 柑 | 桓 | 棺 | 款 | 歓 | 汗 | 漢 | 澗 | 潅 | 環 | 甘 | 監 | 看 |
| | 2040 | 竿 | 管 | 簡 | 緩 | 缶 | 翰 | 肝 | 艦 | 莞 | 観 | 諌 | 貫 | 還 | 鑑 | 間 | 閑 | 関 | 陥 | 韓 | 館 |
| | 2060 | 舘 | 丸 | 含 | 岸 | 巌 | 玩 | 癌 | 眼 | 岩 | 翫 | 贋 | 雁 | 頑 | 顔 | 願 | | | | | |
| キ | 2060 | | | | | | | | | | | | | | | | 企 | 伎 | 危 | 喜 | 器 |
| | 2080 | 基 | 奇 | 嬉 | 寄 | 岐 | 希 | 幾 | 忌 | 揮 | 机 | 旗 | 既 | 期 | 棋 | 棄 | | | | | |
| | 2100 | | 機 | 帰 | 毅 | 気 | 汽 | 畿 | 祈 | 季 | 稀 | 紀 | 徽 | 規 | 記 | 貴 | 起 | 軌 | 輝 | 飢 | 騎 |
| | 2120 | 鬼 | 亀 | 偽 | 儀 | 妓 | 宜 | 戯 | 技 | 擬 | 欺 | 犠 | 疑 | 祇 | 義 | 蟻 | 誼 | 議 | 掬 | 菊 | 鞠 |
| | 2140 | 吉 | 吃 | 喫 | 桔 | 橘 | 詰 | 砧 | 杵 | 黍 | 却 | 客 | 脚 | 虐 | 逆 | 丘 | 久 | 仇 | 休 | 及 | 吸 |

| | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| キ | 2160 | 宮 | 弓 | 急 | 救 | 朽 | 求 | 汲 | 泣 | 灸 | 球 | 究 | 窮 | 笈 | 級 | 糾 | 給 | 旧 | 牛 | 去 | 居 |
| | 2180 | 巨 | 拒 | 拠 | 挙 | 渠 | 虚 | 許 | 距 | 鋸 | 漁 | 禦 | 魚 | 亨 | 享 | 京 | | | | | |
| | 2200 | | 供 | 侠 | 僑 | 兇 | 競 | 共 | 凶 | 協 | 匡 | 卿 | 叫 | 喬 | 境 | 峡 | 強 | 彊 | 怯 | 恐 | 恭 |
| | 2220 | 挟 | 教 | 橋 | 況 | 狂 | 狭 | 矯 | 胸 | 脅 | 興 | 蕎 | 郷 | 鏡 | 響 | 饗 | 驚 | 仰 | 凝 | 尭 | 暁 |
| | 2240 | 業 | 局 | 曲 | 極 | 玉 | 桐 | 粁 | 僅 | 勤 | 均 | 巾 | 錦 | 斤 | 欣 | 欽 | 琴 | 禁 | 禽 | 筋 | 緊 |
| | 2260 | 芹 | 菌 | 衿 | 襟 | 謹 | 近 | 金 | 吟 | 銀 | | | | | | | | | | | |
| ク | 2260 | | | | | | | | | | 九 | 倶 | 句 | 区 | 狗 | 玖 | 矩 | 苦 | 躯 | 駆 | 駈 |
| | 2280 | 駒 | 具 | 愚 | 虞 | 喰 | 空 | 偶 | 寓 | 遇 | 隅 | 串 | 櫛 | 釧 | 屑 | 屈 | | | | | |
| | 2300 | | 掘 | 窟 | 沓 | 靴 | 轡 | 窪 | 熊 | 隈 | 粂 | 栗 | 繰 | 桑 | 鍬 | 勲 | 君 | 薫 | 訓 | 群 | 軍 |
| | 2320 | 郡 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ケ | 2320 | | 卦 | 袈 | 祁 | 係 | 傾 | 刑 | 兄 | 啓 | 圭 | 珪 | 型 | 契 | 形 | 径 | 恵 | 慶 | 慧 | 憩 | 掲 |
| | 2340 | 携 | 敬 | 景 | 桂 | 渓 | 畦 | 稽 | 系 | 経 | 継 | 繋 | 罫 | 茎 | 荊 | 蛍 | 計 | 詣 | 警 | 軽 | 頚 |
| | 2360 | 鶏 | 芸 | 迎 | 鯨 | 劇 | 戟 | 撃 | 激 | 隙 | 桁 | 傑 | 欠 | 決 | 潔 | 穴 | 結 | 血 | 訣 | 月 | 件 |
| | 2380 | 倹 | 倦 | 健 | 兼 | 券 | 剣 | 喧 | 圏 | 堅 | 嫌 | 建 | 憲 | 懸 | 拳 | 捲 | | | | | |
| | 2400 | | 検 | 権 | 牽 | 犬 | 献 | 研 | 硯 | 絹 | 県 | 肩 | 見 | 謙 | 賢 | 軒 | 遣 | 鍵 | 険 | 顕 | 験 |
| | 2420 | 鹸 | 元 | 原 | 厳 | 幻 | 弦 | 減 | 源 | 玄 | 現 | 絃 | 舷 | 言 | 諺 | 限 | | | | | |
| コ | 2420 | | | | | | | | | | | | | | | | 乎 | 個 | 古 | 呼 | 固 |
| | 2440 | 姑 | 孤 | 己 | 庫 | 弧 | 戸 | 故 | 枯 | 湖 | 狐 | 糊 | 袴 | 股 | 胡 | 菰 | 虎 | 誇 | 跨 | 鈷 | 雇 |
| | 2460 | 顧 | 鼓 | 五 | 互 | 伍 | 午 | 呉 | 吾 | 娯 | 後 | 御 | 悟 | 梧 | 檎 | 瑚 | 碁 | 語 | 誤 | 護 | 醐 |
| | 2480 | 乞 | 鯉 | 交 | 佼 | 侯 | 候 | 倖 | 光 | 公 | 功 | 効 | 勾 | 厚 | 口 | 向 | | | | | |
| | 2500 | | 后 | 喉 | 坑 | 垢 | 好 | 孔 | 孝 | 宏 | 工 | 巧 | 巷 | 幸 | 広 | 庚 | 康 | 弘 | 恒 | 慌 | 抗 |
| | 2520 | 拘 | 控 | 攻 | 昂 | 晃 | 更 | 杭 | 校 | 梗 | 構 | 江 | 洪 | 浩 | 港 | 溝 | 甲 | 皇 | 硬 | 稿 | 糠 |
| | 2540 | 紅 | 紘 | 絞 | 綱 | 耕 | 考 | 肯 | 肱 | 腔 | 膏 | 航 | 荒 | 行 | 衡 | 講 | 貢 | 購 | 郊 | 酵 | 鉱 |
| | 2560 | 砿 | 鋼 | 閤 | 降 | 項 | 香 | 高 | 鴻 | 剛 | 劫 | 号 | 合 | 壕 | 拷 | 濠 | 豪 | 轟 | 麹 | 克 | 刻 |
| | 2580 | 告 | 国 | 穀 | 酷 | 鵠 | 黒 | 獄 | 漉 | 腰 | 甑 | 忽 | 惚 | 骨 | 狛 | 込 | | | | | |
| | 2600 | | 此 | 頃 | 今 | 困 | 坤 | 墾 | 婚 | 恨 | 懇 | 昏 | 昆 | 根 | 梱 | 混 | 痕 | 紺 | 艮 | 魂 | |
| サ | 2600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 些 |
| | 2620 | 佐 | 叉 | 唆 | 嵯 | 左 | 差 | 査 | 沙 | 瑳 | 砂 | 詐 | 鎖 | 裟 | 坐 | 座 | 挫 | 債 | 催 | 再 | 最 |
| | 2640 | 哉 | 塞 | 妻 | 宰 | 彩 | 才 | 採 | 栽 | 歳 | 済 | 災 | 采 | 犀 | 砕 | 砦 | 祭 | 斎 | 細 | 菜 | 裁 |
| | 2660 | 載 | 際 | 剤 | 在 | 材 | 罪 | 財 | 冴 | 坂 | 阪 | 堺 | 榊 | 肴 | 咲 | 崎 | 埼 | 碕 | 鷺 | 作 | 削 |
| | 2680 | 咋 | 搾 | 昨 | 朔 | 柵 | 窄 | 策 | 索 | 錯 | 桜 | 鮭 | 笹 | 匙 | 冊 | 刷 | | | | | |
| | 2700 | | 察 | 拶 | 撮 | 擦 | 札 | 殺 | 薩 | 雑 | 皐 | 鯖 | 捌 | 錆 | 鮫 | 皿 | 晒 | 三 | 傘 | 参 | 山 |
| | 2720 | 惨 | 撒 | 散 | 桟 | 燦 | 珊 | 産 | 算 | 纂 | 蚕 | 讃 | 賛 | 酸 | 餐 | 斬 | 暫 | 残 | | | |

## 第1水準漢字（つづき）

| | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| シ | 2720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 仕 | 仔 | 伺 |
| | 2740 | 使 | 刺 | 司 | 史 | 嗣 | 四 | 士 | 始 | 姉 | 姿 | 子 | 屍 | 市 | 師 | 志 | 思 | 指 | 支 | 孜 | 斯 |
| | 2760 | 施 | 旨 | 枝 | 止 | 死 | 氏 | 獅 | 祉 | 私 | 糸 | 紙 | 紫 | 肢 | 脂 | 至 | 視 | 詞 | 詩 | 試 | 誌 |
| | 2780 | 諮 | 資 | 賜 | 雌 | 飼 | 歯 | 事 | 似 | 侍 | 児 | 字 | 寺 | 慈 | 持 | 時 | | | | | |
| | 2800 | | 次 | 滋 | 治 | 爾 | 璽 | 痔 | 磁 | 示 | 而 | 耳 | 自 | 蒔 | 辞 | 汐 | 鹿 | 式 | 識 | 鴫 | 竺 |
| | 2820 | 軸 | 宍 | 雫 | 七 | 叱 | 執 | 失 | 嫉 | 室 | 悉 | 湿 | 漆 | 疾 | 質 | 実 | 蔀 | 篠 | 偲 | 柴 | 芝 |
| | 2840 | 屡 | 蕊 | 縞 | 舎 | 写 | 射 | 捨 | 赦 | 斜 | 煮 | 社 | 紗 | 者 | 謝 | 車 | 遮 | 蛇 | 邪 | 借 | 勺 |
| | 2860 | 尺 | 杓 | 灼 | 爵 | 酌 | 釈 | 錫 | 若 | 寂 | 弱 | 惹 | 主 | 取 | 守 | 手 | 朱 | 殊 | 狩 | 珠 | 種 |
| | 2880 | 腫 | 趣 | 酒 | 首 | 儒 | 受 | 呪 | 寿 | 授 | 樹 | 綬 | 需 | 囚 | 収 | 周 | | | | | |
| | 2900 | | 宗 | 就 | 州 | 修 | 愁 | 拾 | 洲 | 秀 | 秋 | 終 | 繍 | 習 | 臭 | 舟 | 蒐 | 衆 | 襲 | 讐 | 蹴 |
| | 2920 | 輯 | 週 | 酋 | 酬 | 集 | 醜 | 什 | 住 | 充 | 十 | 従 | 戎 | 柔 | 汁 | 渋 | 獣 | 縦 | 重 | 銃 | 叔 |
| | 2940 | 夙 | 宿 | 淑 | 祝 | 縮 | 粛 | 塾 | 熟 | 出 | 術 | 述 | 俊 | 峻 | 春 | 瞬 | 竣 | 舜 | 駿 | 准 | 循 |
| | 2960 | 旬 | 楯 | 殉 | 淳 | 準 | 潤 | 盾 | 純 | 巡 | 遵 | 醇 | 順 | 処 | 初 | 所 | 暑 | 曙 | 渚 | 庶 | 緒 |
| | 2980 | 署 | 書 | 薯 | 藷 | 諸 | 助 | 叙 | 女 | 序 | 徐 | 恕 | 鋤 | 除 | 傷 | 償 | | | | | |
| | 3000 | | 勝 | 匠 | 升 | 召 | 哨 | 商 | 唱 | 嘗 | 奨 | 妾 | 娼 | 宵 | 将 | 小 | 少 | 尚 | 庄 | 床 | 廠 |
| | 3020 | 彰 | 承 | 抄 | 招 | 掌 | 捷 | 昇 | 昌 | 昭 | 晶 | 松 | 梢 | 樟 | 樵 | 沼 | 消 | 渉 | 湘 | 焼 | 焦 |
| | 3040 | 照 | 症 | 省 | 硝 | 礁 | 祥 | 称 | 章 | 笑 | 粧 | 紹 | 肖 | 菖 | 蒋 | 蕉 | 衝 | 裳 | 訟 | 証 | 詔 |
| | 3060 | 詳 | 象 | 賞 | 醤 | 鉦 | 鍾 | 鐘 | 障 | 鞘 | 上 | 丈 | 丞 | 乗 | 冗 | 剰 | 城 | 場 | 壌 | 嬢 | 常 |
| | 3080 | 情 | 擾 | 条 | 杖 | 浄 | 状 | 畳 | 穣 | 蒸 | 譲 | 醸 | 錠 | 嘱 | 埴 | 飾 | | | | | |
| | 3100 | | 拭 | 植 | 殖 | 燭 | 織 | 職 | 色 | 触 | 食 | 蝕 | 辱 | 尻 | 伸 | 信 | 侵 | 唇 | 娠 | 寝 | 審 |
| | 3120 | 心 | 慎 | 振 | 新 | 晋 | 森 | 榛 | 浸 | 深 | 申 | 疹 | 真 | 神 | 秦 | 紳 | 臣 | 芯 | 薪 | 親 | 診 |
| | 3140 | 身 | 辛 | 進 | 針 | 震 | 人 | 仁 | 刃 | 塵 | 壬 | 尋 | 甚 | 尽 | 腎 | 訊 | 迅 | 陣 | 靭 | | |
| ス | 3140 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 笥 | 諏 |
| | 3160 | 須 | 酢 | 図 | 厨 | 逗 | 吹 | 垂 | 帥 | 推 | 水 | 炊 | 睡 | 粋 | 翠 | 衰 | 遂 | 酔 | 錐 | 錘 | 随 |
| | 3180 | 瑞 | 髄 | 崇 | 嵩 | 数 | 枢 | 趨 | 雛 | 据 | 杉 | 椙 | 菅 | 頗 | 雀 | 裾 | | | | | |
| | 3200 | | 澄 | 摺 | 寸 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セ | 3200 | | | | | 世 | 瀬 | 畝 | 是 | 凄 | 制 | 勢 | 姓 | 征 | 性 | 成 | 政 | 整 | 星 | 晴 | 棲 |
| | 3220 | 栖 | 正 | 清 | 牲 | 生 | 盛 | 精 | 聖 | 声 | 製 | 西 | 誠 | 誓 | 請 | 逝 | 醒 | 青 | 静 | 斉 | 税 |
| | 3240 | 脆 | 隻 | 席 | 惜 | 戚 | 斥 | 昔 | 析 | 石 | 積 | 籍 | 績 | 脊 | 責 | 赤 | 跡 | 蹟 | 碩 | 切 | 拙 |
| | 3260 | 接 | 摂 | 折 | 設 | 窃 | 節 | 説 | 雪 | 絶 | 舌 | 蝉 | 仙 | 先 | 千 | 占 | 宣 | 専 | 尖 | 川 | 戦 |
| | 3280 | 扇 | 撰 | 栓 | 栴 | 泉 | 浅 | 洗 | 染 | 潜 | 煎 | 煽 | 旋 | 穿 | 箭 | 線 | | | | | |
| | 3300 | | 繊 | 羨 | 腺 | 舛 | 船 | 薦 | 詮 | 賎 | 践 | 選 | 遷 | 銭 | 銑 | 閃 | 鮮 | 前 | 善 | 漸 | 然 |
| | 3320 | 全 | 禅 | 繕 | 膳 | 糎 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソ | 3320 | | | | | | 噌 | 塑 | 岨 | 措 | 曾 | 曽 | 楚 | 狙 | 疏 | 疎 | 礎 | 祖 | 租 | 粗 | 素 |

| | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| タ | 3340 | 組 | 蘇 | 訴 | 阻 | 遡 | 鼠 | 僧 | 創 | 双 | 叢 | 倉 | 喪 | 壮 | 奏 | 爽 | 宋 | 層 | 匝 | 惣 | 想 |
| | 3360 | 捜 | 掃 | 挿 | 掻 | 操 | 早 | 曹 | 巣 | 槍 | 槽 | 漕 | 燥 | 争 | 痩 | 相 | 窓 | 糟 | 総 | 綜 | 聡 |
| | 3380 | 草 | 荘 | 葬 | 蒼 | 藻 | 装 | 走 | 送 | 遭 | 鎗 | 霜 | 騒 | 像 | 増 | 憎 | | | | | |
| | 3400 | | 臓 | 蔵 | 贈 | 造 | 促 | 側 | 則 | 即 | 息 | 捉 | 束 | 測 | 足 | 速 | 俗 | 属 | 賊 | 族 | 続 |
| | 3420 | 卒 | 袖 | 其 | 揃 | 存 | 孫 | 尊 | 損 | 村 | 遜 | | | | | | | | | | |
| | 3420 | | | | | | | | | | | 他 | 多 | 太 | 汰 | 詑 | 唾 | 堕 | 妥 | 惰 | 打 |
| | 3440 | 柁 | 舵 | 楕 | 陀 | 駄 | 騨 | 体 | 堆 | 対 | 耐 | 岱 | 帯 | 待 | 怠 | 態 | 戴 | 替 | 泰 | 滞 | 胎 |
| | 3460 | 腿 | 苔 | 袋 | 貸 | 退 | 逮 | 隊 | 黛 | 鯛 | 代 | 台 | 大 | 第 | 醍 | 題 | 鷹 | 滝 | 瀧 | 卓 | 啄 |
| | 3480 | 宅 | 托 | 択 | 拓 | 沢 | 濯 | 琢 | 託 | 鐸 | 濁 | 諾 | 茸 | 凧 | 蛸 | 只 | | | | | |
| | 3500 | | 叩 | 但 | 達 | 辰 | 奪 | 脱 | 巽 | 竪 | 辿 | 棚 | 谷 | 狸 | 鱈 | 樽 | 誰 | 丹 | 単 | 嘆 | 坦 |
| | 3520 | 担 | 探 | 旦 | 歎 | 淡 | 湛 | 炭 | 短 | 端 | 箪 | 綻 | 耽 | 胆 | 蛋 | 誕 | 鍛 | 団 | 壇 | 弾 | 断 |
| | 3540 | 暖 | 檀 | 段 | 男 | 談 | | | | | | | | | | | | | | | |
| チ | 3540 | | | | | | 値 | 知 | 地 | 弛 | 恥 | 智 | 池 | 痴 | 稚 | 置 | 致 | 蜘 | 遅 | 馳 | 築 |
| | 3560 | 畜 | 竹 | 筑 | 蓄 | 逐 | 秩 | 窒 | 茶 | 嫡 | 着 | 中 | 仲 | 宙 | 忠 | 抽 | 昼 | 柱 | 注 | 虫 | 衷 |
| | 3580 | 註 | 酎 | 鋳 | 駐 | 樗 | 瀦 | 猪 | 苧 | 著 | 貯 | 丁 | 兆 | 凋 | 喋 | 寵 | | | | | |
| | 3600 | | 帖 | 帳 | 庁 | 弔 | 張 | 彫 | 徴 | 懲 | 挑 | 暢 | 朝 | 潮 | 牒 | 町 | 眺 | 聴 | 脹 | 腸 | 蝶 |
| | 3620 | 調 | 諜 | 超 | 跳 | 銚 | 長 | 頂 | 鳥 | 勅 | 捗 | 直 | 朕 | 沈 | 珍 | 賃 | 鎮 | 陳 | | | |
| ツ | 3620 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 津 | 墜 | 椎 |
| | 3640 | 槌 | 追 | 鎚 | 痛 | 通 | 塚 | 栂 | 掴 | 槻 | 佃 | 漬 | 柘 | 辻 | 蔦 | 綴 | 鍔 | 椿 | 潰 | 坪 | 壷 |
| | 3660 | 嬬 | 紬 | 爪 | 吊 | 釣 | 鶴 | | | | | | | | | | | | | | |
| テ | 3660 | | | | | | | 亭 | 低 | 停 | 偵 | 剃 | 貞 | 呈 | 堤 | 定 | 帝 | 底 | 庭 | 廷 | 弟 |
| | 3680 | 悌 | 抵 | 挺 | 提 | 梯 | 汀 | 碇 | 禎 | 程 | 締 | 艇 | 訂 | 諦 | 蹄 | 逓 | | | | | |
| | 3700 | | 邸 | 鄭 | 釘 | 鼎 | 泥 | 摘 | 擢 | 敵 | 滴 | 的 | 笛 | 適 | 鏑 | 溺 | 哲 | 徹 | 撤 | 轍 | 迭 |
| | 3720 | 鉄 | 典 | 填 | 天 | 展 | 店 | 添 | 纏 | 甜 | 貼 | 転 | 顛 | 点 | 伝 | 殿 | 澱 | 田 | 電 | | |
| ト | 3720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 兎 | 吐 |
| | 3740 | 堵 | 塗 | 妬 | 屠 | 徒 | 斗 | 杜 | 渡 | 登 | 菟 | 賭 | 途 | 都 | 鍍 | 砥 | 砺 | 努 | 度 | 土 | 奴 |
| | 3760 | 怒 | 倒 | 党 | 冬 | 凍 | 刀 | 唐 | 塔 | 塘 | 套 | 宕 | 島 | 嶋 | 悼 | 投 | 搭 | 東 | 桃 | 梼 | 棟 |
| | 3780 | 盗 | 淘 | 湯 | 涛 | 灯 | 燈 | 当 | 痘 | 祷 | 等 | 答 | 筒 | 糖 | 統 | 到 | | | | | |
| | 3800 | | 董 | 蕩 | 藤 | 討 | 謄 | 豆 | 踏 | 逃 | 透 | 鐙 | 陶 | 頭 | 騰 | 闘 | 働 | 動 | 同 | 堂 | 導 |
| | 3820 | 憧 | 撞 | 洞 | 瞳 | 童 | 胴 | 萄 | 道 | 銅 | 峠 | 鴇 | 匿 | 得 | 徳 | 涜 | 特 | 督 | 禿 | 篤 | 毒 |
| | 3840 | 独 | 読 | 栃 | 橡 | 凸 | 突 | 椴 | 届 | 鳶 | 苫 | 寅 | 酉 | 瀞 | 噸 | 屯 | 惇 | 敦 | 沌 | 豚 | 遁 |
| | 3860 | 頓 | 呑 | 曇 | 鈍 | | | | | | | | | | | | | | | | |

## 第1水準漢字（つづき）

| | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ナ | 3860 | | | | | 奈 | 那 | 内 | 乍 | 凪 | 薙 | 謎 | 灘 | 捺 | 鍋 | 楢 | 馴 | 縄 | 畷 | 南 | 楠 |
| | 3880 | 軟 | 難 | 汝 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニ | 3880 | | | | 二 | 尼 | 弐 | 迩 | 匂 | 賑 | 肉 | 虹 | 廿 | 日 | 乳 | 入 | | | | | |
| | 3900 | | 如 | 尿 | 韮 | 任 | 妊 | 忍 | 認 | | | | | | | | | | | | |
| ヌ | 3900 | | | | | | | | | 濡 | | | | | | | | | | | |
| ネ | 3900 | | | | | | | | | | 禰 | 祢 | 寧 | 葱 | 猫 | 熱 | 年 | 念 | 捻 | 撚 | 燃 |
| | 3920 | 粘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ノ | 3920 | | 乃 | 廼 | 之 | 埜 | 嚢 | 悩 | 濃 | 納 | 能 | 脳 | 膿 | 農 | 覗 | 蚤 | | | | | |
| ハ | 3920 | | | | | | | | | | | | | | | | 巴 | 把 | 播 | 覇 | 杷 |
| | 3940 | 波 | 派 | 琶 | 破 | 婆 | 罵 | 芭 | 馬 | 俳 | 廃 | 拝 | 排 | 敗 | 杯 | 盃 | 牌 | 背 | 肺 | 輩 | 配 |
| | 3960 | 倍 | 培 | 媒 | 梅 | 楳 | 煤 | 狽 | 買 | 売 | 賠 | 陪 | 這 | 蝿 | 秤 | 矧 | 萩 | 伯 | 剥 | 博 | 拍 |
| | 3980 | 柏 | 泊 | 白 | 箔 | 粕 | 舶 | 薄 | 迫 | 曝 | 漠 | 爆 | 縛 | 莫 | 駁 | 麦 | | | | | |
| | 4000 | | 函 | 箱 | 硲 | 箸 | 肇 | 筈 | 櫨 | 幡 | 肌 | 畑 | 畠 | 八 | 鉢 | 溌 | 発 | 醗 | 髪 | 伐 | 罰 |
| | 4020 | 抜 | 筏 | 閥 | 鳩 | 噺 | 塙 | 蛤 | 隼 | 伴 | 判 | 半 | 反 | 叛 | 帆 | 搬 | 斑 | 板 | 氾 | 汎 | 版 |
| | 4040 | 犯 | 班 | 畔 | 繁 | 般 | 藩 | 販 | 範 | 釆 | 煩 | 頒 | 飯 | 挽 | 晩 | 番 | 盤 | 磐 | 蕃 | 蛮 | |
| ヒ | 4040 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 匪 |
| | 4060 | 卑 | 否 | 妃 | 庇 | 彼 | 悲 | 扉 | 批 | 披 | 斐 | 比 | 泌 | 疲 | 皮 | 碑 | 秘 | 緋 | 罷 | 肥 | 被 |
| | 4080 | 誹 | 費 | 避 | 非 | 飛 | 樋 | 簸 | 備 | 尾 | 微 | 枇 | 毘 | 琵 | 眉 | 美 | | | | | |
| | 4100 | | 鼻 | 柊 | 稗 | 匹 | 疋 | 髭 | 彦 | 膝 | 菱 | 肘 | 弼 | 必 | 畢 | 筆 | 逼 | 桧 | 姫 | 媛 | 紐 |
| | 4120 | 百 | 謬 | 俵 | 彪 | 標 | 氷 | 漂 | 瓢 | 票 | 表 | 評 | 豹 | 廟 | 描 | 病 | 秒 | 苗 | 錨 | 鋲 | 蒜 |
| | 4140 | 蛭 | 鰭 | 品 | 彬 | 斌 | 浜 | 瀕 | 貧 | 賓 | 頻 | 敏 | 瓶 | | | | | | | | |
| フ | 4140 | | | | | | | | | | | | | 不 | 付 | 埠 | 夫 | 婦 | 富 | 冨 | 布 |
| | 4160 | 府 | 怖 | 扶 | 敷 | 斧 | 普 | 浮 | 父 | 符 | 腐 | 膚 | 芙 | 譜 | 負 | 賦 | 赴 | 阜 | 附 | 侮 | 撫 |
| | 4180 | 武 | 舞 | 葡 | 蕪 | 部 | 封 | 楓 | 風 | 葺 | 蕗 | 伏 | 副 | 復 | 幅 | 服 | | | | | |
| | 4200 | | 福 | 腹 | 複 | 覆 | 淵 | 弗 | 払 | 沸 | 仏 | 物 | 鮒 | 分 | 吻 | 噴 | 墳 | 憤 | 扮 | 焚 | 奮 |
| | 4220 | 粉 | 糞 | 紛 | 雰 | 文 | 聞 | | | | | | | | | | | | | | |
| ヘ | 4220 | | | | | | | 丙 | 併 | 兵 | 塀 | 幣 | 平 | 弊 | 柄 | 並 | 蔽 | 閉 | 陛 | 米 | 頁 |
| | 4240 | 僻 | 壁 | 癖 | 碧 | 別 | 瞥 | 蔑 | 箆 | 偏 | 変 | 片 | 篇 | 編 | 辺 | 返 | 遍 | 便 | 勉 | 娩 | 弁 |
| | 4260 | 鞭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホ | 4260 | | 保 | 舗 | 鋪 | 圃 | 捕 | 歩 | 甫 | 補 | 輔 | 穂 | 募 | 墓 | 慕 | 戊 | 暮 | 母 | 簿 | 菩 | 倣 |
| | 4280 | 俸 | 包 | 呆 | 報 | 奉 | 宝 | 峰 | 峯 | 崩 | 庖 | 抱 | 捧 | 放 | 方 | 朋 | | | | | |
| | 4300 | | 法 | 泡 | 烹 | 砲 | 縫 | 胞 | 芳 | 萌 | 蓬 | 蜂 | 褒 | 訪 | 豊 | 邦 | 鋒 | 飽 | 鳳 | 鵬 | 乏 |
| | 4320 | 亡 | 傍 | 剖 | 坊 | 妨 | 帽 | 忘 | 忙 | 房 | 暴 | 望 | 某 | 棒 | 冒 | 紡 | 肪 | 膨 | 謀 | 貌 | 貿 |
| | 4340 | 鉾 | 防 | 吠 | 頬 | 北 | 僕 | 卜 | 墨 | 撲 | 朴 | 牧 | 睦 | 穆 | 釦 | 勃 | 没 | 殆 | 堀 | 幌 | 奔 |
| | 4360 | 本 | 翻 | 凡 | 盆 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マ | 4360 | | | | | 摩 | 磨 | 魔 | 麻 | 埋 | 妹 | 昧 | 枚 | 毎 | 哩 | 槙 | 幕 | 膜 | 枕 | 鮪 | 柾 |
| | 4380 | 鱒 | 桝 | 亦 | 俣 | 又 | 抹 | 末 | 沫 | 迄 | 侭 | 繭 | 麿 | 万 | 慢 | 満 | | | | | |
| | 4400 | | 漫 | 蔓 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ミ | 4400 | | | | 味 | 未 | 魅 | 巳 | 箕 | 岬 | 密 | 蜜 | 湊 | 蓑 | 稔 | 脈 | 妙 | 粍 | 民 | 眠 | |
| ム | 4400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 務 |
| | 4420 | 夢 | 無 | 牟 | 矛 | 霧 | 鵡 | 椋 | 婿 | 娘 | | | | | | | | | | | |
| メ | 4420 | | | | | | | | | | 冥 | 名 | 命 | 明 | 盟 | 迷 | 銘 | 鳴 | 姪 | 牝 | 滅 |
| | 4440 | 免 | 棉 | 綿 | 緬 | 面 | 麺 | | | | | | | | | | | | | | |
| モ | 4440 | | | | | | | 摸 | 模 | 茂 | 妄 | 孟 | 毛 | 猛 | 盲 | 網 | 耗 | 蒙 | 儲 | 木 | 黙 |
| | 4460 | 目 | 杢 | 勿 | 餅 | 尤 | 戻 | 籾 | 貰 | 問 | 悶 | 紋 | 門 | 匁 | | | | | | | |
| ヤ | 4460 | | | | | | | | | | | | | | 也 | 冶 | 夜 | 爺 | 耶 | 野 | 弥 |
| | 4480 | 矢 | 厄 | 役 | 約 | 薬 | 訳 | 躍 | 靖 | 柳 | 薮 | 鑓 | | | | | | | | | |
| ユ | 4480 | | | | | | | | | | | | 愉 | 愈 | 油 | 癒 | | | | | |
| | 4500 | | 諭 | 輸 | 唯 | 佑 | 優 | 勇 | 友 | 宥 | 幽 | 悠 | 憂 | 揖 | 有 | 柚 | 湧 | 涌 | 猶 | 猷 | 由 |
| | 4520 | 祐 | 裕 | 誘 | 遊 | 邑 | 郵 | 雄 | 融 | 夕 | | | | | | | | | | | |
| ヨ | 4520 | | | | | | | | | | 予 | 余 | 与 | 誉 | 輿 | 預 | 傭 | 幼 | 妖 | 容 | 庸 |
| | 4540 | 揚 | 揺 | 擁 | 曜 | 楊 | 様 | 洋 | 溶 | 熔 | 用 | 窯 | 羊 | 耀 | 葉 | 蓉 | 要 | 謡 | 踊 | 遥 | 陽 |
| | 4560 | 養 | 慾 | 抑 | 欲 | 沃 | 浴 | 翌 | 翼 | 淀 | | | | | | | | | | | |
| ラ | 4560 | | | | | | | | | | 羅 | 螺 | 裸 | 来 | 莱 | 頼 | 雷 | 洛 | 絡 | 落 | 酪 |
| | 4580 | 乱 | 卵 | 嵐 | 欄 | 濫 | 藍 | 蘭 | 覧 | | | | | | | | | | | | |
| リ | 4580 | | | | | | | | | 利 | 吏 | 履 | 李 | 梨 | 理 | 璃 | | | | | |
| | 4600 | | 痢 | 裏 | 裡 | 里 | 離 | 陸 | 律 | 率 | 立 | 葎 | 掠 | 略 | 劉 | 流 | 溜 | 琉 | 留 | 硫 | 粒 |
| | 4620 | 隆 | 竜 | 龍 | 侶 | 慮 | 旅 | 虜 | 了 | 亮 | 僚 | 両 | 凌 | 寮 | 料 | 梁 | 涼 | 猟 | 療 | 瞭 | 稜 |
| | 4640 | 糧 | 良 | 諒 | 遼 | 量 | 陵 | 領 | 力 | 緑 | 倫 | 厘 | 林 | 淋 | 燐 | 琳 | 臨 | 輪 | 隣 | 鱗 | 麟 |
| ル | 4660 | 瑠 | 塁 | 涙 | 累 | 類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| レ | 4660 | | | | | | 令 | 伶 | 例 | 冷 | 励 | 嶺 | 怜 | 玲 | 礼 | 苓 | 鈴 | 隷 | 零 | 霊 | 麗 |
| | 4680 | 齢 | 暦 | 歴 | 列 | 劣 | 烈 | 裂 | 廉 | 恋 | 憐 | 漣 | 煉 | 簾 | 練 | 聯 | | | | | |
| | 4700 | | 蓮 | 連 | 錬 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ロ | 4700 | | | | | 呂 | 魯 | 櫓 | 炉 | 賂 | 路 | 露 | 労 | 婁 | 廊 | 弄 | 朗 | 楼 | 榔 | 浪 | 漏 |
| | 4720 | 牢 | 狼 | 篭 | 老 | 聾 | 蝋 | 郎 | 六 | 麓 | 禄 | 肋 | 録 | 論 | | | | | | | |
| ワ | 4720 | | | | | | | | | | | | | | 倭 | 和 | 話 | 歪 | 賄 | 脇 | 惑 |
| | 4740 | 枠 | 鷲 | 亙 | 亘 | 鰐 | 詫 | 藁 | 蕨 | 椀 | 湾 | 碗 | 腕 | | | | | | | | |

## 第2水準漢字

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 4800 | | 弌 | 丐 | 丕 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丨 | 4800 | | | | | 个 | 丱 | | | | | | | | | | | | | | |
| 丶 | 4800 | | | | | | | 丶 | 丼 | | | | | | | | | | | | |
| 丿 | 4800 | | | | | | | | | 丿 | 乂 | 乖 | 乘 | | | | | | | | |
| 乙 | 4800 | | | | | | | | | | | | | 亂 | | | | | | | |
| 亅 | 4800 | | | | | | | | | | | | | | 亅 | 豫 | 亊 | 舒 | | | |
| 二 | 4800 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 弍 | 于 | 亞 |
| | 4820 | 亟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 亠 | 4820 | | 亠 | 亢 | 亰 | 亳 | 亶 | | | | | | | | | | | | | | |
| 人 | 4820 | | | | | | | 从 | 仍 | 仄 | 仆 | 仂 | 仗 | 仞 | 仭 | 仟 | 价 | 伉 | 佚 | 估 | 佛 |
| | 4840 | 佝 | 佗 | 佇 | 佶 | 侈 | 侏 | 侘 | 佻 | 佩 | 佰 | 侑 | 佯 | 來 | 侖 | 儘 | 俔 | 俟 | 俎 | 俘 | 俛 |
| | 4860 | 俑 | 俚 | 俐 | 俤 | 俥 | 倚 | 倨 | 倔 | 倪 | 倥 | 倅 | 伜 | 俶 | 倡 | 倩 | 倬 | 俾 | 俯 | 們 | 倆 |
| | 4880 | 偃 | 假 | 會 | 偕 | 偐 | 偈 | 做 | 偖 | 偬 | 偸 | 傀 | 傚 | 傅 | 傴 | 傲 | | | | | |
| | 4900 | | 僉 | 僊 | 傳 | 僂 | 僖 | 僞 | 僥 | 僭 | 僣 | 僮 | 價 | 僵 | 儉 | 儁 | 儂 | 儖 | 儕 | 儔 | 儚 |
| | 4920 | 儡 | 儺 | 儷 | 儼 | 儻 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 儿 | 4920 | | | | | | 儿 | 兀 | 兒 | 兌 | 兔 | 兢 | 競 | | | | | | | | |
| 入 | 4920 | | | | | | | | | | | | | 兩 | 兪 | | | | | | |
| 八 | 4920 | | | | | | | | | | | | | | | 兮 | 冀 | | | | |
| 冂 | 4920 | | | | | | | | | | | | | | | | | 冂 | 囘 | 册 | 冉 |
| | 4940 | 冏 | 冑 | 冓 | 冕 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冖 | 4940 | | | | | 冖 | 冤 | 冦 | 冢 | 冩 | 冪 | | | | | | | | | | |
| 冫 | 4940 | | | | | | | | | | | 冫 | 决 | 冱 | 冲 | 冰 | 况 | 冽 | 凅 | 凉 | 凛 |
| 几 | 4960 | 几 | 處 | 凩 | 凭 | 凰 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 凵 | 4960 | | | | | | 凵 | 凾 | | | | | | | | | | | | | |
| 刀 | 4960 | | | | | | | | 刄 | 刋 | 刔 | 刎 | 刧 | 刪 | 刮 | 刳 | 刹 | 剏 | 剄 | 剋 | 剌 |
| | 4980 | 剞 | 剔 | 剪 | 剴 | 剩 | 剳 | 剿 | 剽 | 劍 | 劔 | 劒 | 剱 | 劈 | 劑 | 辨 | | | | | |
| | 5000 | | 辧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 力 | 5000 | | | 劬 | 劭 | 劼 | 劵 | 勁 | 勍 | 勗 | 勞 | 勣 | 勦 | 飭 | 勠 | 勳 | 勵 | 勸 | | | |
| 勹 | 5000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 勹 | 匆 | 匈 |
| | 5020 | 甸 | 匍 | 匐 | 匏 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 匕 | 5020 | | | | | 匕 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 匚 | 5020 | | | | | | 匚 | 匣 | 匯 | 匱 | 匳 | | | | | | | | | | |
| 匸 | 5020 | | | | | | | | | | | 匸 | 區 | | | | | | | | |
| 十 | 5020 | | | | | | | | | | | | | 卆 | 卅 | 丗 | 卉 | 卍 | 準 | | |
| 卜 | 5020 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 卞 | |

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 卩 | 5020 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 卩 |
| | 5040 | 卮 | 夘 | 卻 | 卷 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 厂 | 5040 | | | | | 厂 | 厖 | 厠 | 厦 | 厥 | 厮 | 厰 | | | | | | | | | |
| 厶 | 5040 | | | | | | | | | | | | 厶 | 參 | 篡 | | | | | | |
| 又 | 5040 | | | | | | | | | | | | | | | 雙 | 叟 | 曼 | 燮 | | |
| 口 | 5040 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 叮 | 叨 |
| | 5060 | 叭 | 叺 | 吁 | 吽 | 呀 | 听 | 吭 | 吼 | 吮 | 吶 | 吩 | 吝 | 呎 | 咏 | 呵 | 咎 | 呟 | 呱 | 呷 | 呰 |
| | 5080 | 咒 | 呻 | 咀 | 呶 | 咄 | 咐 | 咆 | 哇 | 咢 | 咸 | 咥 | 咬 | 哄 | 哈 | 咨 | | | | | |
| | 5100 | | 咫 | 哂 | 咤 | 咾 | 咼 | 哘 | 哥 | 哦 | 唏 | 唔 | 哽 | 哮 | 哭 | 哺 | 哢 | 唹 | 啀 | 啣 | 啌 |
| | 5120 | 售 | 啜 | 啅 | 啖 | 啗 | 唸 | 唳 | 啝 | 喙 | 喀 | 咯 | 喊 | 喟 | 啻 | 啾 | 喘 | 喞 | 單 | 啼 | 喃 |
| | 5140 | 喩 | 喇 | 喨 | 嗚 | 嗅 | 嗟 | 嗄 | 嗜 | 嗤 | 嗔 | 嘔 | 嗷 | 嘖 | 嗾 | 嗽 | 嘛 | 嗹 | 噎 | 噐 | 營 |
| | 5160 | 嘴 | 嘶 | 嘲 | 嘸 | 噫 | 噤 | 嘯 | 噬 | 噪 | 嚆 | 嚀 | 嚊 | 嚠 | 嚔 | 嚏 | 嚥 | 嚮 | 嚶 | 嚴 | 囂 |
| | 5180 | 嚼 | 囁 | 囃 | 囀 | 囈 | 囎 | 囑 | 囓 | | | | | | | | | | | | |
| 囗 | 5180 | | | | | | | | | 囗 | 囮 | 囹 | 圀 | 囿 | 圄 | 圉 | | | | | |
| | 5200 | | 圈 | 國 | 圍 | 圓 | 團 | 圖 | 嗇 | 圜 | | | | | | | | | | | |
| 土 | 5200 | | | | | | | | | | 圦 | 圷 | 圸 | 坎 | 圻 | 址 | 坏 | 坩 | 埀 | 垈 | 坡 |
| | 5220 | 坿 | 垉 | 垓 | 垠 | 垳 | 垤 | 垪 | 垰 | 埃 | 埆 | 埔 | 埒 | 埓 | 堊 | 埖 | 埣 | 堋 | 堙 | 堝 | 塲 |
| | 5240 | 堡 | 塢 | 塋 | 塰 | 毀 | 塒 | 堽 | 塹 | 墅 | 墹 | 墟 | 墫 | 墺 | 壞 | 墻 | 墸 | 墮 | 壅 | 壓 | 壑 |
| | 5260 | 壗 | 壙 | 壘 | 壥 | 壜 | 壤 | 壟 | | | | | | | | | | | | | |
| 士 | 5260 | | | | | | | | 壯 | 壺 | 壹 | 壻 | 壼 | 壽 | | | | | | | |
| 夂 | 5260 | | | | | | | | | | | | | | 夂 | | | | | | |
| 夊 | 5260 | | | | | | | | | | | | | | | 夊 | 夐 | | | | |
| 夕 | 5260 | | | | | | | | | | | | | | | | | 夛 | 梦 | 夥 | |
| 大 | 5260 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 夬 |
| | 5280 | 夭 | 夲 | 夸 | 夾 | 竒 | 奕 | 奐 | 奎 | 奚 | 奘 | 奢 | 奠 | 奧 | 奬 | 奩 | | | | | |
| 女 | 5300 | | 奸 | 妁 | 妝 | 佞 | 侫 | 妣 | 妲 | 姆 | 姨 | 姜 | 妍 | 姙 | 姚 | 娥 | 娟 | 娑 | 娜 | 娉 | 娚 |
| | 5320 | 婀 | 婬 | 婉 | 娵 | 娶 | 婢 | 婪 | 媚 | 媼 | 媾 | 嫋 | 嫂 | 媽 | 嫣 | 嫗 | 嫦 | 嫩 | 嫖 | 嫺 | 嫻 |
| | 5340 | 嬌 | 嬋 | 嬖 | 嬲 | 嫐 | 嬪 | 嬶 | 嬾 | 孃 | 孅 | 孀 | | | | | | | | | |
| 子 | 5340 | | | | | | | | | | | | 孑 | 孕 | 孚 | 孛 | 孥 | 孩 | 孰 | 孳 | 孵 |
| | 5360 | 學 | 斈 | 孺 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宀 | 5360 | | | | 宀 | 它 | 宦 | 宸 | 寃 | 寇 | 寉 | 寔 | 寐 | 寤 | 實 | 寢 | 寞 | 寥 | 寫 | 寰 | 寶 |
| | 5380 | 寳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 寸 | 5380 | | 尅 | 將 | 專 | 對 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小 | 5380 | | | | | | 尓 | 尠 | | | | | | | | | | | | | |
| 尢 | 5380 | | | | | | | | 尢 | 尨 | | | | | | | | | | | |
| 尸 | 5380 | | | | | | | | | | 尸 | 尹 | 屁 | 屆 | 屎 | 屓 | | | | | |
| | 5400 | | 屐 | 屏 | 孱 | 屬 | | | | | | | | | | | | | | | |

## 第2水準漢字（つづき）

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 屮 | 5400 | | | | | | 屮 | | | | | | | | | | | | | | |
| 山 | 5400 | | | | | | | 乢 | 岃 | 屹 | 岌 | 岑 | 岔 | 岦 | 岫 | 岻 | 岶 | 岼 | 岷 | 峅 | 岾 |
| | 5420 | 峇 | 峙 | 峩 | 峽 | 峺 | 峭 | 嶌 | 峪 | 崋 | 崕 | 崗 | 嵜 | 崟 | 崛 | 崑 | 崔 | 崢 | 崚 | 崙 | 崘 |
| | 5440 | 嵌 | 嵒 | 嵎 | 嵋 | 嵬 | 嵳 | 嵶 | 嶇 | 嶄 | 嶂 | 嶢 | 嶝 | 嶬 | 嶮 | 嶽 | 嶐 | 嶷 | 嶼 | 巉 | 巍 |
| | 5460 | 巓 | 巒 | 巖 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 巛 | 5460 | | | | 巛 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工 | 5460 | | | | | 巫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 己 | 5460 | | | | | | 已 | 巵 | | | | | | | | | | | | | |
| 巾 | 5460 | | | | | | | | 帋 | 帚 | 帙 | 帑 | 帛 | 帶 | 帷 | 幄 | 幃 | 幀 | 幎 | 幗 | 幔 |
| | 5480 | 幟 | 幢 | 幤 | 幇 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 干 | 5480 | | | | | 幵 | 并 | | | | | | | | | | | | | | |
| 幺 | 5480 | | | | | | | 幺 | 麼 | | | | | | | | | | | | |
| 广 | 5480 | | | | | | | | | 广 | 庠 | 廁 | 廂 | 廈 | 廐 | 廏 | | | | | |
| | 5500 | | 廖 | 廣 | 廝 | 廚 | 廛 | 廢 | 廡 | 廨 | 廩 | 廬 | 廱 | 廳 | 廰 | | | | | | |
| 廴 | 5500 | | | | | | | | | | | | | | | 廴 | 廸 | | | | |
| 廾 | 5500 | | | | | | | | | | | | | | | | | 廾 | 弃 | 弉 | 彝 |
| | 5520 | 彜 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 弋 | 5520 | | 弋 | 弑 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 弓 | 5520 | | | | 弖 | 弩 | 弭 | 弸 | 彁 | 彈 | 彌 | 彎 | 弯 | | | | | | | | |
| 彑 | 5520 | | | | | | | | | | | | | 彑 | 彖 | 彗 | 彙 | | | | |
| 彡 | 5520 | | | | | | | | | | | | | | | | | 彡 | 彭 | | |
| 彳 | 5520 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 彳 | 彷 |
| | 5540 | 徃 | 徂 | 彿 | 徊 | 很 | 徑 | 徇 | 從 | 徙 | 徘 | 徠 | 徨 | 徭 | 徼 | | | | | | |
| 心 | 5540 | | | | | | | | | | | | | | | 忖 | 忻 | 忤 | 忸 | 忱 | 忝 |
| | 5560 | 悳 | 忿 | 怡 | 恠 | 怙 | 怐 | 怩 | 怎 | 怱 | 怛 | 怕 | 怫 | 怦 | 怏 | 怺 | 恚 | 恁 | 恪 | 恷 | 恟 |
| | 5580 | 恊 | 恆 | 恍 | 恣 | 恃 | 恤 | 恂 | 恬 | 恫 | 恙 | 悁 | 悍 | 惧 | 悃 | 悚 | | | | | |
| | 5600 | | 悄 | 悛 | 悖 | 悗 | 悒 | 悧 | 悋 | 惡 | 悸 | 惠 | 惓 | 悴 | 忰 | 悽 | 惆 | 悵 | 惘 | 慍 | 愕 |
| | 5620 | 愆 | 惶 | 惷 | 愀 | 惴 | 惺 | 愃 | 愡 | 惻 | 惱 | 愍 | 愎 | 慇 | 愾 | 愨 | 愧 | 慊 | 愿 | 愼 | 愬 |
| | 5640 | 愴 | 愽 | 慂 | 慄 | 慳 | 慷 | 慘 | 慙 | 慚 | 慫 | 慴 | 慯 | 慥 | 慱 | 慟 | 慝 | 慓 | 慵 | 憙 | 憖 |
| | 5660 | 憇 | 憬 | 憔 | 憚 | 憊 | 憑 | 憫 | 憮 | 懌 | 懊 | 應 | 懷 | 懈 | 懃 | 懆 | 憺 | 懋 | 罹 | 懍 | 懦 |
| | 5680 | 懣 | 懶 | 懺 | 懴 | 懿 | 懽 | 懼 | 懾 | 戀 | | | | | | | | | | | |
| 戈 | 5680 | | | | | | | | | | 戈 | 戉 | 戍 | 戌 | 戔 | 戛 | | | | | |
| | 5700 | | 戞 | 戡 | 截 | 戮 | 戰 | 戲 | 戳 | | | | | | | | | | | | |
| 戸 | 5700 | | | | | | | | | 扁 | | | | | | | | | | | |

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 手 | 5700 | | | | | | | | | | 扎 | 扞 | 扣 | 扛 | 扠 | 扨 | 扼 | 抂 | 抉 | 找 | 抒 |
| | 5720 | 抓 | 抖 | 拔 | 抃 | 抔 | 拗 | 拑 | 抻 | 拏 | 拿 | 拆 | 擔 | 拈 | 拜 | 拌 | 拊 | 拂 | 拇 | 抛 | 拉 |
| | 5740 | 挌 | 拮 | 拱 | 挧 | 挂 | 挈 | 拯 | 拵 | 捐 | 挾 | 捍 | 搜 | 捏 | 掖 | 掎 | 掀 | 掫 | 捶 | 掣 | 掏 |
| | 5760 | 掉 | 掟 | 掵 | 捫 | 捩 | 掾 | 揩 | 揀 | 揆 | 揣 | 揉 | 插 | 揶 | 揄 | 搖 | 搴 | 搆 | 搓 | 搦 | 搶 |
| | 5780 | 攝 | 搗 | 搨 | 搏 | 摧 | 摯 | 摶 | 摎 | 攪 | 撕 | 撓 | 撥 | 撩 | 撈 | 撼 | | | | | |
| | 5800 | | 據 | 擒 | 擅 | 擇 | 撻 | 擘 | 擂 | 擱 | 擧 | 舉 | 擠 | 擡 | 抬 | 擣 | 擯 | 攬 | 擶 | 擴 | 擲 |
| | 5820 | 擺 | 攀 | 擽 | 攘 | 攜 | 攅 | 攤 | 攣 | 攫 | | | | | | | | | | | |
| 支 | 5820 | | | | | | | | | | 攴 | 攵 | 攷 | 收 | 攸 | 畋 | 效 | 敖 | 敕 | 敍 | 敘 |
| | 5840 | 敞 | 敝 | 敲 | 數 | 斂 | 斃 | 變 | | | | | | | | | | | | | |
| 斗 | 5840 | | | | | | | | 斛 | 斟 | | | | | | | | | | | |
| 斤 | 5840 | | | | | | | | | | 斫 | 斷 | | | | | | | | | |
| 方 | 5840 | | | | | | | | | | | | 旃 | 旆 | 旁 | 旄 | 旌 | 旒 | 旛 | 旙 | |
| 旡 | 5840 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 无 |
| | 5860 | 旡 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 | 5860 | | 旱 | 杲 | 昊 | 昃 | 旻 | 杳 | 昵 | 昶 | 昴 | 昜 | 晏 | 晄 | 晉 | 晁 | 晞 | 晝 | 晤 | 晧 | 晨 |
| | 5880 | 晟 | 晢 | 晰 | 暃 | 暈 | 暎 | 暉 | 暄 | 暘 | 暝 | 曁 | 暹 | 曉 | 暾 | 暼 | | | | | |
| | 5900 | | 曄 | 暸 | 曖 | 曚 | 曠 | 昿 | 曦 | 曩 | | | | | | | | | | | |
| 曰 | 5900 | | | | | | | | | | 曰 | 曵 | 曷 | | | | | | | | |
| 月 | 5900 | | | | | | | | | | | | | 朏 | 朖 | 朞 | 朦 | 朧 | 霸 | | |
| 木 | 5900 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 朮 | 朿 |
| | 5920 | 朶 | 杁 | 朸 | 朷 | 杆 | 杞 | 杠 | 杙 | 杣 | 杤 | 枉 | 杰 | 枩 | 杼 | 杪 | 枌 | 枋 | 枦 | 枡 | 枅 |
| | 5940 | 枷 | 柯 | 枴 | 柬 | 枳 | 柩 | 枸 | 柤 | 柞 | 柝 | 柢 | 柮 | 枹 | 柎 | 柆 | 柧 | 檜 | 栞 | 框 | 栩 |
| | 5960 | 桀 | 桍 | 栲 | 桎 | 梳 | 栫 | 桙 | 档 | 桷 | 桿 | 梟 | 梏 | 梭 | 梔 | 條 | 梛 | 梃 | 檮 | 梹 | 桴 |
| | 5980 | 梵 | 梠 | 梺 | 椏 | 梍 | 桾 | 椁 | 棊 | 椈 | 棘 | 椢 | 椦 | 棡 | 椌 | 棍 | | | | | |
| | 6000 | | 棔 | 棧 | 棕 | 椶 | 椒 | 椄 | 棗 | 棣 | 椥 | 棹 | 棠 | 棯 | 椨 | 椪 | 椚 | 椣 | 椡 | 棆 | 楹 |
| | 6020 | 楷 | 楜 | 楸 | 楫 | 楔 | 楾 | 楮 | 椹 | 楴 | 椽 | 楙 | 椰 | 楡 | 楞 | 楝 | 榁 | 楪 | 榲 | 榮 | 槐 |
| | 6040 | 榿 | 槁 | 槓 | 榾 | 槎 | 寨 | 槊 | 槝 | 榻 | 槃 | 榧 | 樮 | 榑 | 榠 | 榜 | 榕 | 榴 | 槞 | 槨 | 樂 |
| | 6060 | 樛 | 槿 | 權 | 槹 | 槲 | 槧 | 樅 | 榱 | 樞 | 槭 | 樔 | 槫 | 樊 | 樒 | 櫁 | 樣 | 樓 | 橄 | 樌 | 橲 |
| | 6080 | 樶 | 橸 | 橇 | 橢 | 橙 | 橦 | 橈 | 樸 | 樢 | 檐 | 檍 | 檠 | 檄 | 檢 | 檣 | | | | | |
| | 6100 | | 檗 | 蘗 | 檻 | 櫃 | 櫂 | 檸 | 檳 | 檬 | 櫞 | 櫑 | 櫟 | 檪 | 櫚 | 櫪 | 櫻 | 欅 | 蘖 | 櫺 | 欒 |
| | 6120 | 欖 | 鬱 | 欟 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 欠 | 6120 | | | | 欸 | 欷 | 盜 | 欹 | 飮 | 歇 | 歃 | 歉 | 歐 | 歙 | 歔 | 歛 | 歟 | 歡 | | | |
| 止 | 6120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 歸 | | |
| 歹 | 6120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 歹 | 歿 |
| | 6140 | 殀 | 殄 | 殃 | 殍 | 殘 | 殕 | 殞 | 殤 | 殪 | 殫 | 殯 | 殲 | 殱 | | | | | | | |
| 殳 | 6140 | | | | | | | | | | | | | | 殳 | 殷 | 殼 | 毆 | | | |
| 毋 | 6140 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 毋 | 毓 | |

## 第2水準漢字（つづき）

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 毛 | 6140 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 毟 |
| | 6160 | 毬 | 毫 | 毳 | 毯 | 麾 | 氈 | | | | | | | | | | | | | | |
| 氏 | 6160 | | | | | | | 氓 | | | | | | | | | | | | | |
| 气 | 6160 | | | | | | | | 气 | 氛 | 氤 | 氣 | | | | | | | | | |
| 水 | 6160 | | | | | | | | | | | | 汞 | 汕 | 汢 | 汪 | 沂 | 沍 | 沚 | 沁 | 沛 |
| | 6180 | 汾 | 汨 | 汳 | 沒 | 沐 | 泄 | 泱 | 泓 | 沽 | 泗 | 泅 | 泝 | 沮 | 沱 | 沾 | | | | | |
| | 6200 | | 沺 | 泛 | 泯 | 泙 | 泪 | 洟 | 衍 | 洶 | 洫 | 洽 | 洸 | 洙 | 洵 | 洳 | 洒 | 洌 | 浣 | 涓 | 浤 |
| | 6220 | 浚 | 浹 | 浙 | 涎 | 涕 | 濤 | 涅 | 淹 | 渕 | 渊 | 涵 | 淇 | 淦 | 涸 | 淆 | 淬 | 淞 | 淌 | 淨 | 淒 |
| | 6240 | 淅 | 淺 | 淙 | 淤 | 淕 | 淪 | 淮 | 渭 | 湮 | 渮 | 渙 | 湲 | 湟 | 渾 | 渣 | 湫 | 渫 | 湶 | 湍 | 渟 |
| | 6260 | 湃 | 渺 | 湎 | 渤 | 滿 | 渝 | 游 | 溂 | 溪 | 溘 | 滉 | 溷 | 滓 | 溽 | 溯 | 滄 | 溲 | 滔 | 滕 | 溏 |
| | 6280 | 溥 | 滂 | 溟 | 潁 | 漑 | 灌 | 滬 | 滸 | 滾 | 漿 | 滲 | 漱 | 滯 | 漲 | 滌 | | | | | |
| | 6300 | | 漾 | 漓 | 滷 | 澆 | 潺 | 潸 | 澁 | 澀 | 潯 | 潛 | 濳 | 潭 | 澂 | 潼 | 潘 | 澎 | 澑 | 濂 | 潦 |
| | 6320 | 澳 | 澣 | 澡 | 澤 | 澹 | 濆 | 澪 | 濟 | 濕 | 濬 | 濔 | 濘 | 濱 | 濮 | 濛 | 瀉 | 瀋 | 濺 | 瀑 | 瀁 |
| | 6340 | 瀏 | 濾 | 瀛 | 瀚 | 潴 | 瀝 | 瀘 | 瀟 | 瀰 | 瀾 | 瀲 | 灑 | 灣 | | | | | | | |
| 火 | 6340 | | | | | | | | | | | | | | 灸 | 炒 | 炯 | 烱 | 炬 | 炸 | 炳 |
| | 6360 | 炮 | 烟 | 烋 | 烝 | 烙 | 焉 | 烽 | 焜 | 焙 | 煥 | 熙 | 熈 | 煦 | 煢 | 煌 | 煖 | 煬 | 熏 | 燻 | 熄 |
| | 6380 | 熕 | 熨 | 熬 | 燗 | 熹 | 熾 | 燒 | 燉 | 燔 | 燎 | 燠 | 燬 | 燧 | 燵 | 燼 | | | | | |
| | 6400 | | 燹 | 燿 | 爍 | 爐 | 爛 | 爨 | | | | | | | | | | | | | |
| 爪 | 6400 | | | | | | | | 爭 | 爬 | 爰 | 爲 | | | | | | | | | |
| 爻 | 6400 | | | | | | | | | | | | 爻 | 爼 | | | | | | | |
| 爿 | 6400 | | | | | | | | | | | | | | 爿 | 牀 | 牆 | | | | |
| 片 | 6400 | | | | | | | | | | | | | | | | | 牋 | 牘 | | |
| 牛 | 6400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 牴 | 牾 |
| | 6420 | 犂 | 犁 | 犇 | 犒 | 犖 | 犢 | 犧 | | | | | | | | | | | | | |
| 犬 | 6420 | | | | | | | | 犹 | 犲 | 狃 | 狆 | 狄 | 狎 | 狒 | 狢 | 狠 | 狡 | 狹 | 狷 | 倏 |
| | 6440 | 猗 | 猊 | 猜 | 猖 | 猝 | 猴 | 猯 | 猩 | 猥 | 猾 | 獎 | 獏 | 默 | 獗 | 獪 | 獨 | 獰 | 獸 | 獵 | 獻 |
| | 6460 | 獺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 玉 | 6460 | | 珈 | 玳 | 珎 | 玻 | 珀 | 珥 | 珮 | 珞 | 璢 | 琅 | 瑯 | 琥 | 珸 | 琲 | 琺 | 瑕 | 琿 | 瑟 | 瑙 |
| | 6480 | 瑁 | 瑜 | 瑩 | 瑰 | 瑣 | 瑪 | 瑶 | 瑾 | 璋 | 璞 | 璧 | 瓊 | 瓏 | 瓔 | 珱 | | | | | |
| 瓜 | 6500 | | 瓠 | 瓣 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瓦 | 6500 | | | | 瓧 | 瓩 | 瓮 | 瓲 | 瓰 | 瓱 | 瓸 | 瓷 | 甄 | 甃 | 甅 | 甌 | 甎 | 甍 | 甕 | 甓 | |
| 甘 | 6500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 甞 |
| 生 | 6520 | 甦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 用 | 6520 | | 甬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 田 | 6520 | | | 甼 | 畄 | 畍 | 畊 | 畉 | 畛 | 畆 | 畚 | 畩 | 畤 | 畧 | 畫 | 畭 | 畸 | 當 | 疆 | 疇 | 畴 |
| | 6540 | 疊 | 疉 | 疂 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 疒 | 6540 | | | | 疔 | 疚 | 疝 | 疥 | 疣 | 痂 | 疳 | 痃 | 疵 | 疽 | 疸 | 疼 | 疱 | 痍 | 痊 | 痒 | 痙 |
| | 6560 | 痣 | 痞 | 痾 | 痿 | 痼 | 瘁 | 痰 | 痺 | 痲 | 痳 | 瘋 | 瘍 | 瘉 | 瘟 | 瘧 | 瘠 | 瘡 | 瘢 | 瘤 | 瘴 |
| | 6580 | 瘰 | 瘻 | 癇 | 癈 | 癆 | 癜 | 癘 | 癡 | 癢 | 癨 | 癩 | 癪 | 癧 | 癬 | 癰 | | | | | |
| | 6600 | | 癲 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 癶 | 6600 | | | 癶 | 癸 | 發 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 白 | 6600 | | | | | | 皀 | 皃 | 皈 | 皋 | 皎 | 皖 | 皓 | 皙 | 皚 | | | | | | |
| 皮 | 6600 | | | | | | | | | | | | | | | 皰 | 皴 | 皸 | 皹 | 皺 | |
| 皿 | 6600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 盂 |
| | 6620 | 盍 | 盖 | 盒 | 盞 | 盡 | 盥 | 盧 | 盪 | 蘯 | | | | | | | | | | | |
| 目 | 6620 | | | | | | | | | | 盻 | 眈 | 眇 | 眄 | 眩 | 眤 | 眞 | 眥 | 眦 | 眛 | 眷 |
| | 6640 | 眸 | 睇 | 睚 | 睨 | 睫 | 睛 | 睥 | 睿 | 睾 | 睹 | 瞎 | 瞋 | 瞑 | 瞠 | 瞞 | 瞰 | 瞶 | 瞹 | 瞿 | 瞼 |
| | 6660 | 瞽 | 瞻 | 矇 | 矍 | 矗 | 矚 | | | | | | | | | | | | | | |
| 矛 | 6660 | | | | | | | 矜 | | | | | | | | | | | | | |
| 矢 | 6660 | | | | | | | | 矣 | 矮 | | | | | | | | | | | |
| 石 | 6660 | | | | | | | | | | 矼 | 砌 | 砒 | 礦 | 砠 | 礪 | 硅 | 碎 | 硴 | 碆 | 硼 |
| | 6680 | 碚 | 碌 | 碣 | 碵 | 碪 | 碯 | 磑 | 磆 | 磋 | 磔 | 碾 | 碼 | 磅 | 磊 | 磬 | | | | | |
| | 6700 | | 磧 | 磚 | 磽 | 磴 | 礇 | 礒 | 礑 | 礙 | 礬 | 礫 | | | | | | | | | |
| 示 | 6700 | | | | | | | | | | | | 祀 | 祠 | 祗 | 祟 | 祚 | 祕 | 祓 | 祺 | 祿 |
| | 6720 | 禊 | 禝 | 禧 | 齋 | 禪 | 禮 | 禳 | | | | | | | | | | | | | |
| 禸 | 6720 | | | | | | | | 禹 | 禺 | | | | | | | | | | | |
| 禾 | 6720 | | | | | | | | | | 秉 | 秕 | 秧 | 秬 | 秡 | 秣 | 稈 | 稍 | 稘 | 稙 | 稠 |
| | 6740 | 稟 | 禀 | 稱 | 稻 | 稾 | 稷 | 穃 | 穗 | 穉 | 穡 | 穢 | 穩 | 龝 | 穰 | | | | | | |
| 穴 | 6740 | | | | | | | | | | | | | | | 穹 | 穽 | 窈 | 窗 | 窕 | 窘 |
| | 6760 | 窖 | 窩 | 竈 | 窰 | 窶 | 竅 | 竄 | 窿 | 邃 | 竇 | 竊 | | | | | | | | | |
| 立 | 6760 | | | | | | | | | | | | 竍 | 竏 | 竕 | 竓 | 站 | 竚 | 竝 | 竡 | 竢 |
| | 6780 | 竦 | 竭 | 竰 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 竹 | 6780 | | | | 笂 | 笏 | 笊 | 笆 | 笳 | 笘 | 笙 | 笞 | 笵 | 笨 | 笶 | 筐 | | | | | |
| | 6800 | | 筺 | 笄 | 筍 | 笋 | 筌 | 筅 | 筵 | 筥 | 筴 | 筧 | 筰 | 筱 | 筬 | 筮 | 箝 | 箘 | 箟 | 箍 | 箜 |
| | 6820 | 箚 | 箋 | 箒 | 箏 | 筝 | 箙 | 篋 | 篁 | 篌 | 篏 | 箴 | 篆 | 篝 | 篩 | 簑 | 簔 | 篦 | 篥 | 籠 | 簀 |
| | 6840 | 簇 | 簓 | 篳 | 篷 | 簗 | 簍 | 篶 | 簣 | 簧 | 簪 | 簟 | 簷 | 簫 | 簽 | 籌 | 籃 | 籔 | 籏 | 籀 | 籐 |
| | 6860 | 籘 | 籟 | 籤 | 籖 | 籥 | 籬 | | | | | | | | | | | | | | |
| 米 | 6860 | | | | | | | 籵 | 粃 | 粐 | 粤 | 粭 | 粢 | 粫 | 粡 | 粨 | 粳 | 粲 | 粱 | 粮 | 粹 |
| | 6880 | 粽 | 糀 | 糅 | 糂 | 糘 | 糒 | 糜 | 糢 | 鬻 | 糯 | 糲 | 糴 | 糶 | | | | | | | |

その他

## 第2水準漢字（つづき）

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 糸 | 6880 | | | | | | | | | | | | | | 糺 | 紆 | | | | | |
| | 6900 | | 紂 | 紜 | 紕 | 紊 | 絅 | 絋 | 紮 | 紲 | 紿 | 紵 | 絆 | 絳 | 絖 | 絎 | 絲 | 絨 | 絮 | 絏 | 絣 |
| | 6920 | 經 | 綉 | 絛 | 綏 | 絽 | 綛 | 綺 | 綮 | 綣 | 綵 | 緇 | 綽 | 綫 | 總 | 綢 | 綯 | 緜 | 綸 | 綟 | 綰 |
| | 6940 | 緘 | 緝 | 緤 | 緞 | 緻 | 緲 | 緡 | 縅 | 縊 | 縣 | 縡 | 縒 | 縱 | 縟 | 縉 | 縋 | 縢 | 繆 | 繦 | 縻 |
| | 6960 | 縵 | 縹 | 繃 | 縷 | 縲 | 縺 | 繧 | 繝 | 繖 | 繞 | 繙 | 繚 | 繹 | 繪 | 繩 | 繼 | 繻 | 纃 | 緕 | 繽 |
| | 6980 | 辮 | 繿 | 纈 | 纉 | 續 | 纒 | 纐 | 纓 | 纔 | 纖 | 纎 | 纛 | 纜 | | | | | | | |
| 缶 | 6980 | | | | | | | | | | | | | | 缸 | 缺 | | | | | |
| | 7000 | | 罅 | 罌 | 罍 | 罎 | 罐 | | | | | | | | | | | | | | |
| 网 | 7000 | | | | | | | 网 | 罕 | 罔 | 罘 | 罟 | 罠 | 罨 | 罩 | 罧 | 罸 | 羂 | 羆 | 羃 | 羈 |
| | 7020 | 羇 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 羊 | 7020 | | 羌 | 羔 | 羞 | 羝 | 羚 | 羣 | 羯 | 羲 | 羹 | 羮 | 羶 | 羸 | 譱 | | | | | | |
| 羽 | 7020 | | | | | | | | | | | | | | | 翅 | 翆 | 翊 | 翕 | 翔 | 翡 |
| | 7040 | 翦 | 翩 | 翳 | 翹 | 飜 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 老 | 7040 | | | | | | 耆 | 耄 | 耋 | | | | | | | | | | | | |
| 耒 | 7040 | | | | | | | | | 耒 | 耘 | 耙 | 耜 | 耡 | 耨 | | | | | | |
| 耳 | 7040 | | | | | | | | | | | | | | | 耿 | 耻 | 聊 | 聆 | 聒 | 聘 |
| | 7060 | 聚 | 聟 | 聢 | 聨 | 聳 | 聲 | 聰 | 聶 | 聹 | 聽 | | | | | | | | | | |
| 聿 | 7060 | | | | | | | | | | | 聿 | 肄 | 肆 | 肅 | | | | | | |
| 肉 | 7060 | | | | | | | | | | | | | | | 肛 | 肓 | 肚 | 肭 | 冐 | 肬 |
| | 7080 | 胛 | 胥 | 胙 | 胝 | 胄 | 胚 | 胖 | 脉 | 胯 | 胱 | 脛 | 脩 | 脣 | 脯 | 腋 | | | | | |
| | 7100 | | 隋 | 腆 | 脾 | 腓 | 腑 | 胼 | 腱 | 腮 | 腥 | 腦 | 腴 | 膃 | 膈 | 膊 | 膀 | 膂 | 膠 | 膕 | 膤 |
| | 7120 | 膣 | 腟 | 膓 | 膩 | 膰 | 膵 | 膾 | 膸 | 膽 | 臀 | 臂 | 膺 | 臉 | 臍 | 臑 | 臙 | 臘 | 臈 | 臚 | 臟 |
| | 7140 | 臠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臣 | 7140 | | 臧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 至 | 7140 | | | 臺 | 臻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臼 | 7140 | | | | | 臾 | 舁 | 舂 | 舅 | | | | | | | | | | | | |
| 臼 | 7140 | | | | | | | | | 與 | 舊 | | | | | | | | | | |
| 舌 | 7140 | | | | | | | | | | | 舍 | 舐 | 舖 | | | | | | | |
| 舟 | 7140 | | | | | | | | | | | | | | 舩 | 舫 | 舸 | 舳 | 艀 | 艙 | 艘 |
| | 7160 | 艝 | 艚 | 艟 | 艤 | 艢 | 艨 | 艪 | 艫 | 舮 | | | | | | | | | | | |
| 艮 | 7160 | | | | | | | | | | 艱 | | | | | | | | | | |
| 色 | 7160 | | | | | | | | | | | 艷 | | | | | | | | | |

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 艸 | 7160 | | | | | | | | | | | | 艸 | 艾 | 芍 | 芒 | 芫 | 芟 | 芻 | 芬 | 苡 |
| | 7180 | 苣 | 苟 | 苒 | 苴 | 苳 | 苺 | 莓 | 范 | 苻 | 苹 | 苞 | 茆 | 苜 | 茉 | 苙 | | | | | |
| | 7200 | | 茵 | 茴 | 茖 | 茲 | 茱 | 荀 | 茹 | 荐 | 荅 | 茯 | 茫 | 茗 | 茘 | 莅 | 莚 | 莪 | 莟 | 莢 | 莖 |
| | 7220 | 茣 | 莎 | 莇 | 莊 | 荼 | 莵 | 荳 | 荵 | 莠 | 莉 | 莨 | 菴 | 萓 | 菫 | 菎 | 菽 | 萃 | 菘 | 萋 | 菁 |
| | 7240 | 菷 | 萇 | 菠 | 菲 | 萍 | 萢 | 萠 | 莽 | 萸 | 蔆 | 菻 | 葭 | 萪 | 萼 | 蕚 | 蒄 | 葷 | 葫 | 蒭 | 葮 |
| | 7260 | 蒂 | 葩 | 葆 | 萬 | 葯 | 葹 | 萵 | 蓊 | 葢 | 蒹 | 蒿 | 蒟 | 蓙 | 蓍 | 蒻 | 蓚 | 蓐 | 蓁 | 蓆 | 蓖 |
| | 7280 | 蒡 | 蔡 | 蓿 | 蓴 | 蔗 | 蔘 | 蔬 | 蔟 | 蔕 | 蔔 | 蓼 | 蕀 | 蕣 | 蕘 | 蕈 | | | | | |
| | 7300 | | 蕁 | 蘂 | 蕋 | 蕕 | 薀 | 薤 | 薈 | 薑 | 薊 | 薨 | 蕭 | 薔 | 薛 | 藪 | 薇 | 薜 | 蕷 | 蕾 | 薐 |
| | 7320 | 藉 | 薺 | 藏 | 薹 | 藐 | 藕 | 藝 | 藥 | 藜 | 藹 | 蘊 | 蘓 | 蘋 | 藾 | 藺 | 蘆 | 蘢 | 蘚 | 蘰 | 蘿 |
| 虍 | 7340 | 虍 | 乕 | 虔 | 號 | 虧 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 虫 | 7340 | | | | | | 虱 | 蚓 | 蚣 | 蚩 | 蚪 | 蚋 | 蚌 | 蚶 | 蚯 | 蛄 | 蛆 | 蚰 | 蛉 | 蠣 | 蚫 |
| | 7360 | 蛔 | 蛞 | 蛩 | 蛬 | 蛟 | 蛛 | 蛯 | 蜒 | 蜆 | 蜈 | 蜀 | 蜃 | 蛻 | 蜑 | 蜉 | 蜍 | 蛹 | 蜊 | 蜴 | 蜿 |
| | 7380 | 蜷 | 蜻 | 蜥 | 蜩 | 蜚 | 蝠 | 蝟 | 蝸 | 蝌 | 蝎 | 蝴 | 蝗 | 蝨 | 蝮 | 蝙 | | | | | |
| | 7400 | | 蝓 | 蝣 | 蝪 | 蠅 | 螢 | 螟 | 螂 | 螯 | 蟋 | 螽 | 蟀 | 蟐 | 雖 | 螫 | 蟄 | 螳 | 蟇 | 蟆 | 螻 |
| | 7420 | 蟯 | 蟲 | 蟠 | 蠏 | 蠍 | 蟾 | 蟶 | 蟷 | 蠎 | 蟒 | 蠑 | 蠖 | 蠕 | 蠢 | 蠡 | 蠱 | 蠶 | 蠹 | 蠧 | 蠻 |
| 血 | 7440 | 衄 | 衂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行 | 7440 | | | 衒 | 衙 | 衞 | 衢 | | | | | | | | | | | | | | |
| 衣 | 7440 | | | | | | | 衫 | 袁 | 衾 | 袞 | 衵 | 衽 | 袵 | 衲 | 袂 | 袗 | 袒 | 袮 | 袙 | 袢 |
| | 7460 | 袍 | 袤 | 袰 | 袿 | 袱 | 裃 | 裄 | 裔 | 裘 | 裙 | 裝 | 裹 | 褂 | 裼 | 裴 | 裨 | 裲 | 褄 | 褌 | 褊 |
| | 7480 | 褓 | 襃 | 褞 | 褥 | 褪 | 褫 | 襁 | 襄 | 褻 | 褶 | 褸 | 襌 | 褝 | 襠 | 襞 | | | | | |
| | 7500 | | 襦 | 襤 | 襭 | 襪 | 襯 | 襴 | 襷 | | | | | | | | | | | | |
| 襾 | 7500 | | | | | | | | | 襾 | 覃 | 覈 | 覊 | | | | | | | | |
| 見 | 7500 | | | | | | | | | | | | | 覓 | 覘 | 覡 | 覩 | 覦 | 覬 | 覯 | 覲 |
| | 7520 | 覺 | 覽 | 覿 | 觀 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 角 | 7520 | | | | | 觚 | 觜 | 觝 | 觧 | 觴 | 觸 | | | | | | | | | | |
| 言 | 7520 | | | | | | | | | | | 訃 | 訖 | 訐 | 訌 | 訛 | 訝 | 訥 | 訶 | 詁 | 詛 |
| | 7540 | 詒 | 詆 | 詈 | 詼 | 詭 | 詬 | 詢 | 誅 | 誂 | 誄 | 誨 | 誡 | 誑 | 誥 | 誦 | 誚 | 誣 | 諄 | 諍 | 諂 |
| | 7560 | 諚 | 諫 | 諳 | 諧 | 諤 | 諱 | 謔 | 諠 | 諢 | 諷 | 諞 | 諛 | 謌 | 謇 | 謚 | 諡 | 謖 | 謐 | 謗 | 謠 |
| | 7580 | 謳 | 鞫 | 謦 | 謫 | 謾 | 謨 | 譁 | 譌 | 譏 | 譎 | 證 | 譖 | 譛 | 譚 | 譫 | | | | | |
| | 7600 | | 譟 | 譬 | 譯 | 譴 | 譽 | 讀 | 讌 | 讎 | 讒 | 讓 | 讖 | 讙 | 讚 | | | | | | |
| 谷 | 7600 | | | | | | | | | | | | | | | 谺 | 豁 | 谿 | | | |
| 豆 | 7600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 豈 | 豌 | 豎 |
| | 7620 | 豐 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 豕 | 7620 | | 豕 | 豢 | 豬 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 豸 | 7620 | | | | | 豸 | 豺 | 貂 | 貉 | 貅 | 貊 | 貍 | 貎 | 貔 | 豼 | 貘 | | | | | |

その他

## 第2水準漢字（つづき）

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 貝 | 7620 | | | | | | | | | | | | | | | | 戝 | 貭 | 貪 | 貽 | 貲 |
| | 7640 | 貳 | 貮 | 貶 | 賈 | 賁 | 賤 | 賣 | 賚 | 賽 | 賺 | 賻 | 贄 | 贅 | 贊 | 贇 | 贏 | 贍 | 贐 | 齎 | 贓 |
| | 7660 | 賍 | 贔 | 贖 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 赤 | 7660 | | | | 赧 | 赭 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 走 | 7660 | | | | | | 赱 | 赳 | 趁 | 趙 | | | | | | | | | | | |
| 足 | 7660 | | | | | | | | | | 跂 | 趾 | 趺 | 跏 | 跚 | 跖 | 跌 | 跛 | 跋 | 跪 | 跫 |
| | 7680 | 跟 | 跣 | 跼 | 踈 | 踉 | 跿 | 踝 | 踞 | 踐 | 踟 | 蹂 | 踵 | 踰 | 踴 | 蹊 | | | | | |
| | 7700 | | 蹇 | 蹉 | 蹌 | 蹐 | 蹈 | 蹙 | 蹤 | 蹠 | 踪 | 蹣 | 蹕 | 蹶 | 蹲 | 蹼 | 躁 | 躇 | 躅 | 躄 | 躋 |
| | 7720 | 躊 | 躓 | 躑 | 躔 | 躙 | 躪 | 躡 | | | | | | | | | | | | | |
| 身 | 7720 | | | | | | | | 躬 | 躰 | 軆 | 躱 | 躾 | 軅 | 軈 | | | | | | |
| 車 | 7720 | | | | | | | | | | | | | | | 軋 | 軛 | 軣 | 軼 | 軻 | 軫 |
| | 7740 | 軾 | 輊 | 輅 | 輕 | 輒 | 輙 | 輓 | 輜 | 輟 | 輛 | 輌 | 輦 | 輳 | 輻 | 輹 | 轅 | 轂 | 輾 | 轌 | 轉 |
| | 7760 | 轆 | 轎 | 轗 | 轜 | 轢 | 轣 | 轤 | | | | | | | | | | | | | |
| 辛 | 7760 | | | | | | | | 辜 | 辟 | 辣 | 辭 | 辯 | | | | | | | | |
| | 7760 | | | | | | | | | | | | | 辷 | 迚 | 迥 | 迢 | 迪 | 迯 | 邇 | 迴 |
| 辶 | 7780 | 逅 | 迹 | 迺 | 逑 | 逕 | 逡 | 逍 | 逞 | 逖 | 逋 | 逧 | 逶 | 逵 | 逹 | 迸 | | | | | |
| | 7800 | | 遏 | 遐 | 遑 | 遒 | 逎 | 遉 | 逾 | 遖 | 遘 | 遞 | 遨 | 遯 | 遶 | 隨 | 遲 | 邂 | 遽 | 邁 | 邀 |
| | 7820 | 邊 | 邉 | 邏 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 邑 | 7820 | | | | 邨 | 邯 | 邱 | 邵 | 郢 | 郤 | 扈 | 郛 | 鄂 | 鄒 | 鄙 | 鄲 | 鄰 | | | | |
| 酉 | 7820 | | | | | | | | | | | | | | | | | 酊 | 酖 | 酘 | 酣 |
| | 7840 | 酥 | 酩 | 酳 | 酲 | 醋 | 醉 | 醂 | 醢 | 醫 | 醯 | 醪 | 醵 | 醴 | 醺 | 釀 | 釁 | | | | |
| 采 | 7840 | | | | | | | | | | | | | | | | | 釉 | 釋 | | |
| 里 | 7840 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 釐 | |
| 金 | 7840 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 釖 |
| | 7860 | 釟 | 釡 | 釛 | 釼 | 釵 | 釶 | 鈞 | 釿 | 鈔 | 鈬 | 鈕 | 鈑 | 鉞 | 鉗 | 鉅 | 鉉 | 鉤 | 鉈 | 銕 | 鈿 |
| | 7880 | 鉋 | 鉐 | 銜 | 銖 | 銓 | 銛 | 鉚 | 鋏 | 銹 | 銷 | 鋩 | 錏 | 鋺 | 鍄 | 錮 | | | | | |
| | 7900 | | 錙 | 錢 | 錚 | 錣 | 錺 | 錵 | 錻 | 鍜 | 鍠 | 鍼 | 鍮 | 鍖 | 鎰 | 鎬 | 鎭 | 鎔 | 鎹 | 鏖 | 鏗 |
| | 7920 | 鏨 | 鏥 | 鏘 | 鏃 | 鏝 | 鏐 | 鏈 | 鏤 | 鐚 | 鐔 | 鐓 | 鐃 | 鐇 | 鐐 | 鐶 | 鐫 | 鐵 | 鐡 | 鐺 | 鑁 |
| | 7940 | 鑒 | 鑄 | 鑛 | 鑠 | 鑢 | 鑞 | 鑪 | 鈩 | 鑰 | 鑵 | 鑷 | 鑽 | 鑚 | 鑼 | 鑾 | 钁 | 鑿 | | | |
| 門 | 7940 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 閂 | 閇 | 閊 |
| | 7960 | 閔 | 閖 | 閘 | 閙 | 閠 | 閨 | 閧 | 閭 | 閼 | 閻 | 閹 | 閾 | 闊 | 濶 | 闃 | 闍 | 闌 | 闕 | 闔 | 闖 |
| | 7980 | 關 | 闡 | 闥 | 闢 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 阜 | 7980 | | | | | 阡 | 阨 | 阮 | 阯 | 陂 | 陌 | 陏 | 陋 | 陷 | 陜 | 陞 | | | | | |
| | 8000 | | 陝 | 陟 | 陦 | 陲 | 陬 | 隍 | 隘 | 隕 | 隗 | 險 | 隧 | 隱 | 隲 | 隰 | 隴 | | | | |
| 隶 | 8000 | | | | | | | | | | | | | | | | | 隶 | 隸 | | |
| 隹 | 8000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 隹 | 雎 |
| | 8020 | 雋 | 雉 | 雍 | 襍 | 雜 | 霍 | 雕 | | | | | | | | | | | | | |

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 雨 | 8020 | | | | | | | | 雹 | 霄 | 霆 | 霈 | 霓 | 霎 | 霑 | 霏 | 霖 | 霙 | 霤 | 霪 | 霰 |
| | 8040 | 霹 | 霽 | 霾 | 靄 | 靆 | 靈 | 靂 | 靉 | | | | | | | | | | | | |
| 靑 | 8040 | | | | | | | | | 靜 | | | | | | | | | | | |
| 非 | 8040 | | | | | | | | | | 靠 | | | | | | | | | | |
| 面 | 8040 | | | | | | | | | | | 靤 | 靦 | 靨 | | | | | | | |
| 革 | 8040 | | | | | | | | | | | | | | 勒 | 靫 | 靱 | 靹 | 鞅 | 靼 | 鞁 |
| | 8060 | 靺 | 鞆 | 鞋 | 鞏 | 鞐 | 鞜 | 鞨 | 鞦 | 鞣 | 鞳 | 鞴 | 韃 | 韆 | 韈 | | | | | | |
| 韋 | 8060 | | | | | | | | | | | | | | | 韋 | 韜 | | | | |
| 韭 | 8060 | | | | | | | | | | | | | | | | | 韭 | 齏 | 韲 | |
| 音 | 8060 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 竟 |
| | 8080 | 韶 | 韵 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 頁 | 8080 | | | 頏 | 頌 | 頸 | 頤 | 頡 | 頷 | 頽 | 顆 | 顏 | 顋 | 顫 | 顯 | 顰 | | | | | |
| | 8100 | | 顱 | 顴 | 顳 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風 | 8100 | | | | | 颪 | 颯 | 颱 | 颶 | 飄 | 飃 | 飆 | | | | | | | | | |
| | 8100 | | | | | | | | | | | | 飩 | 飫 | 餃 | 餉 | 餒 | | | | |
| 食 | 8100 | | | | | | | | | | | | | | | | | 餔 | 餘 | 餡 | 餝 |
| | 8120 | 餞 | 餤 | 餠 | 餬 | 餮 | 餽 | 餾 | 饂 | 饉 | 饅 | 饐 | 饋 | 饑 | 饒 | 饌 | 饕 | | | | |
| 首 | 8120 | | | | | | | | | | | | | | | | | 馗 | 馘 | | |
| 香 | 8120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 馥 | |
| 馬 | 8120 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 馭 |
| | 8140 | 馮 | 馼 | 駟 | 駛 | 駝 | 駘 | 駑 | 駭 | 駮 | 駱 | 駲 | 駻 | 駸 | 騁 | 騏 | 騅 | 駢 | 騙 | 騫 | 騷 |
| | 8160 | 驅 | 驂 | 驀 | 驃 | 騾 | 驕 | 驍 | 驛 | 驗 | 驟 | 驢 | 驥 | 驤 | 驩 | 驫 | 驪 | | | | |
| 骨 | 8160 | | | | | | | | | | | | | | | | | 骭 | 骰 | 骼 | 髀 |
| | 8180 | 髏 | 髑 | 髓 | 體 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高 | 8180 | | | | | 髞 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 髟 | 8180 | | | | | | 髟 | 髢 | 髣 | 髦 | 髯 | 髫 | 髮 | 髴 | 髱 | 髷 | | | | | |
| | 8200 | | 髻 | 鬆 | 鬘 | 鬚 | 鬟 | 鬢 | 鬣 | | | | | | | | | | | | |
| 鬥 | 8200 | | | | | | | | | 鬥 | 鬧 | 鬨 | 鬩 | 鬪 | 鬮 | | | | | | |
| 鬯 | 8200 | | | | | | | | | | | | | | | 鬯 | | | | | |
| 鬲 | 8200 | | | | | | | | | | | | | | | | 鬲 | | | | |
| 鬼 | 8200 | | | | | | | | | | | | | | | | | 魄 | 魃 | 魏 | 魍 |
| | 8220 | 魎 | 魑 | 魘 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 魚 | 8220 | | | | 魴 | 鮓 | 鮃 | 鮑 | 鮖 | 鮗 | 鮟 | 鮠 | 鮨 | 鮴 | 鯀 | 鯊 | 鮹 | 鯆 | 鯏 | 鯑 | 鯒 |
| | 8240 | 鯣 | 鯢 | 鯤 | 鯔 | 鯡 | 鰺 | 鯲 | 鯱 | 鯰 | 鰕 | 鰔 | 鰉 | 鰓 | 鰌 | 鰆 | 鰈 | 鰒 | 鰊 | 鰄 | 鰮 |
| | 8260 | 鰛 | 鰥 | 鰤 | 鰡 | 鰰 | 鱇 | 鰲 | 鱆 | 鰾 | 鱚 | 鱠 | 鱧 | 鱶 | 鱸 | | | | | | |

## 第2水準漢字（つづき）

| 部首 | 区点 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鳥 | 8260 | | | | | | | | | | | | | | | 鳧 | 鳬 | 鳰 | 鴉 | 鴈 | 鳫 |
| | 8280 | 鴃 | 鴆 | 鴪 | 鴦 | 鶯 | 鴣 | 鴟 | 鵄 | 鴕 | 鴒 | 鵁 | 鴿 | 鴾 | 鵆 | 鵈 | | | | | |
| | 8300 | | 鵝 | 鵞 | 鵤 | 鵑 | 鵐 | 鵙 | 鵲 | 鶉 | 鶇 | 鶫 | 鵯 | 鵺 | 鶚 | 鶤 | 鶩 | 鶲 | 鷄 | 鷁 | 鶻 |
| | 8320 | 鶸 | 鶺 | 鷆 | 鷏 | 鷂 | 鷙 | 鷓 | 鷸 | 鷦 | 鷭 | 鷯 | 鷽 | 鸚 | 鸛 | 鸞 | | | | | |
| 鹵 | 8320 | | | | | | | | | | | | | | | | 鹵 | 鹹 | 鹽 | | |
| 鹿 | 8320 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 麁 | 麈 |
| | 8340 | 麋 | 麌 | 麒 | 麕 | 麑 | 麝 | | | | | | | | | | | | | | |
| 麥 | 8340 | | | | | | | 麥 | 麩 | 麸 | 麪 | 麭 | | | | | | | | | |
| 麻 | 8340 | | | | | | | | | | | | 靡 | | | | | | | | |
| 黄 | 8340 | | | | | | | | | | | | | 黌 | | | | | | | |
| 黍 | 8340 | | | | | | | | | | | | | | 黎 | 黏 | 黐 | | | | |
| 黒 | 8340 | | | | | | | | | | | | | | | | | 黔 | 黜 | 點 | 黝 |
| | 8360 | 黠 | 黥 | 黨 | 黯 | 黴 | 黶 | 黷 | | | | | | | | | | | | | |
| 黹 | 8360 | | | | | | | | 黹 | 黻 | 黼 | | | | | | | | | | |
| 黽 | 8360 | | | | | | | | | | | 黽 | 鼇 | 鼈 | | | | | | | |
| 鼓 | 8360 | | | | | | | | | | | | | | 皷 | 鼕 | | | | | |
| 鼠 | 8360 | | | | | | | | | | | | | | | | 鼡 | 鼬 | | | |
| 鼻 | 8360 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 鼾 | | |
| 齊 | 8360 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 齊 | |
| 齒 | 8360 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 齒 |
| | 8380 | 齔 | 齣 | 齟 | 齠 | 齡 | 齦 | 齧 | 齬 | 齪 | 齷 | 齲 | 齶 | | | | | | | | |
| 龍 | 8380 | | | | | | | | | | | | | 龕 | | | | | | | |
| 龜 | 8380 | | | | | | | | | | | | | | 龜 | | | | | | |
| 龠 | 8380 | | | | | | | | | | | | | | | 龠 | | | | | |
| | 8400 | | 堯 | 槇 | 遙 | 瑤 | 凜 | 熙 | | | | | | | | | | | | | |

# 各部の名前

## モニター

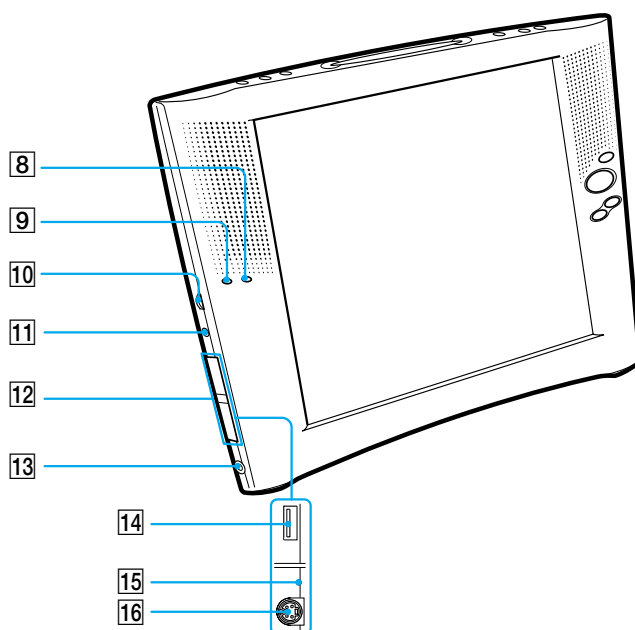
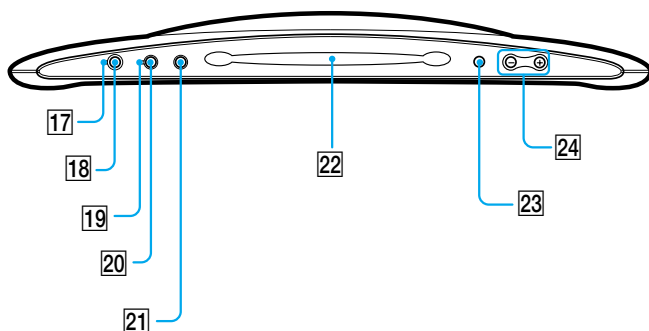
### モニター右側

1 スピーカー
2 メモリースティックスロット
（☞174ページ）
“メモリースティック”を挿入します。
3 “メモリースティック”用ランプ
（☞174ページ）
4 ジャンプボタン（☞85ページ）
1つ前のチャンネルを表示します。
5 インデックスボタン（☞27、84ページ）
「インデックス」画面を表示します。
6 チャンネル＋/－ボタン
（☞84ページ）
7 液晶画面（☞15ページ）

### モニター左側

8 充電ランプ（☞24ページ）
9 メール自動送受信ランプ（☞138ページ）
10 ☼（明るさ調整）つまみ（☞86ページ）
画面のバックライトの明るさを調整します。
11 ☊（ヘッドホン端子）（ステレオミニジャック）
市販のヘッドホンをつなぎます。
12 ジャックカバー
13 DC IN端子（☞24ページ）
クレードル用ACパワーアダプター（付属）または別売りのACパワーアダプターをつなぎます。
14 USB端子
将来の拡張用です。
15 リセットスイッチ
モニターを再起動します。
16 キーボード端子（PS/2端子）（☞224ページ）
市販のキーボードをつなぎます。

その他

次のページにつづく

## モニター上部

17 スタンバイランプ
（☞23、84ページ）

18 モニター用電源ボタン（☞23、84ページ）

19 回線ランプ（☞116ページ）

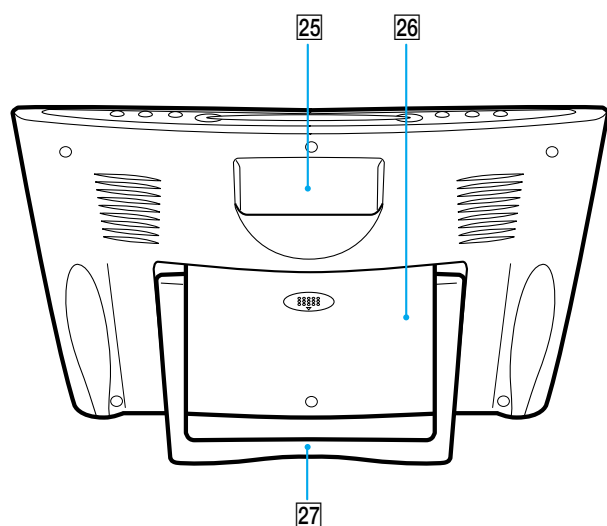
20 切断ボタン（☞116ページ）

21 印刷ボタン（☞193ページ）
印刷をします。

22 タッチペン収納部
付属のタッチペンが落ちないように、マグネットが付いています。

23 消音ボタン（☞84ページ）

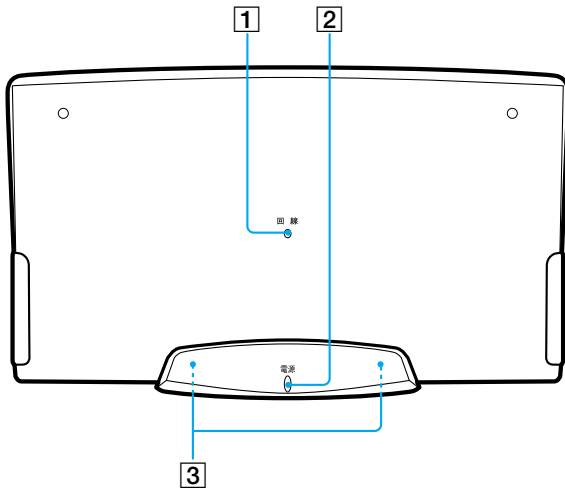
24 音量＋/－ボタン（☞84ページ）

## モニター背面

25 手がけ部（☞20ページ）
モニターをベースステーションから取りはずしたり、置くときに持ちます。

26 バッテリー収納部（☞22ページ）

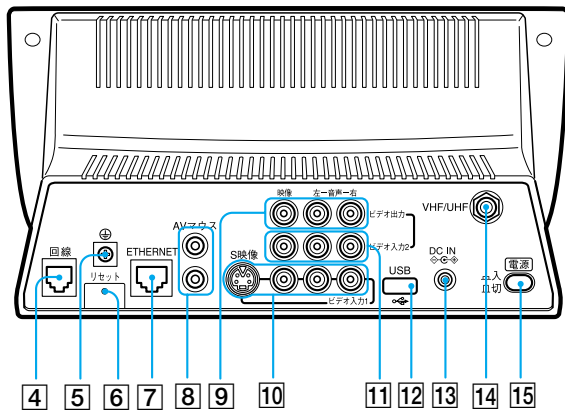
27 モニタースタンド（☞20ページ）

# ベースステーション

## ベースステーション正面

1 回線ランプ（☞116ページ）

2 電源ランプ（☞23ページ）

3 モニター接続端子（☞20、24ページ）

## ベースステーション背面

4 回線端子（☞40、42ページ）
テレホンコードをつなぎます。

5 アース端子（☞22ページ）

6 リセットスイッチ
ベースステーションを再起動します。

7 ETHERNET（イーサネット）端子
（☞43、44、45ページ）
イーサネットケーブルをつなぎます。

8 AVマウス端子（☞211ページ）
付属のAVマウスをつなぎます。

9 ビデオ出力（映像・音声）端子
（☞205ページ）
ビデオ入力2端子に入力した信号を出力します。
音声・映像コードをつなぎます。

10 ビデオ入力1（S映像・映像・音声）端子
（☞204、206、207、208、209、210ページ）
S映像コードと音声コード、または音声・映像コードをつなぎます。

11 ビデオ入力2（映像・音声）端子
（☞205、206、207ページ）
音声・映像コードをつなぎます。

12 USB端子（☞192ページ）
プリンターをつなぎます。

13 DC IN端子（☞22ページ）
付属のベースステーション用ACパワーアダプターをつなぎます。

14 VHF/UHF端子（☞21ページ）
アンテナ接続ケーブルまたは分配器をつなぎます。

15 電源スイッチ（☞23ページ）
ベースステーションの電源の入/切を行います。

# 索引

## 五十音順

な



は



ま



や



ら



わ

## アルファベット順

# インターネットとメールの設定メモ

## 回線： 電話回線

| 設定項目 | 設定値 | 例 |
|---|---|---|
| 1　電話回線の種類 | | トーン |
| 2　アクセスポイント | | 03-1234-5678 |
| 3　自動回線切断 | | 3分 |
| 4　接続ID | | sony-taro@airbonet.com |
| 5　パスワード | | loVe4pEAce |
| 6　DNS1 | | 133.130.1.1 |
| 7　DNS2 | | 133.130.1.2 |
| 8　☐ 外線発信する | ☐ | ☐ （チェックしない） |
| 9　モデム通信速度 | | 56kbps |

## 回線： LAN回線（アドレス手動/DHCP）

| 設定項目 | 設定値 | 例 |
|---|---|---|
| 1　☐ 自動設定（DHCP） | ☐ | ☑ （チェックする） |
| 2　IPアドレス | | 10.45.67.101 |
| 3　サブネットマスク | | 255.255.255.0 |
| 4　デフォルトゲートウェイ | | 10.45.67.1 |
| 5　DNS1 | | 10.45.6.78 |
| 6　DNS2 | | 10.45.8.78 |
| 7　ホスト名 | | host1 |
| 8　MACアドレス | | 00-00-7B-39-F4-61（機種ごとに番号が異なります） |

## 回線：LAN回線（PPPoE）

| 設定項目 | 設定値 | 例 |
|---|---|---|
| 1　サービス名 | | エアボードネット |
| 2　接続ID | | sony-taro@airbonet.com |
| 3　パスワード | | loVe4pEAce |
| 4　DNS1 | | 133.130.1.1 |
| 5　DNS2 | | 133.130.1.2 |
| 6　自動回線切断 | | 10分 |



次のページにつづく

# インターネットとメールの設定メモ（つづき）

## インターネット

| 設定項目 | 設定値 | 例 |
|---|---|---|
| **1** ホーム | | http://www.airbonet.com |
| **2** プロキシ | | 設定しない |
| **3** ユーザー名<br>（エアボードネットのみ） | | sony-taro |

## メール

| 設定項目 | 設定値 | 例 |
|---|---|---|
| **1** 名前 | | 曽似　太郎 |
| **2** メールアドレス | | sony-taro@airbonet.com |
| **3** メールアカウント | | sony-taro |
| **4** パスワード<br>（プロバイダからのパスワード） | | abZ42txc |
| **5** POPサーバー<br>（POP3） | | mta.airbonet.com |
| **6** SMTPサーバー | | mta.airbonet.com |

# 商標などについて

- 本製品のブラウザは**株式会社ACCESS**の**NetFront**を搭載しています。Copyright© 1996-2001 ACCESS CO. LTD.
- **NetFront**は**株式会社ACCESS**の日本国における登録商標です。
- エアボード、エアボードネット、ミーメールはソニー株式会社の商標です。
- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- “メモリースティック”、MEMORY STICK、“マジックゲート メモリースティック”、MG、LocationFree、POBoxはソニー株式会社の登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- インターネットナンバーはインターネットナンバー株式会社の登録商標です。
- 本機は、Macromedia® Flash ™ Player技術を使用しています。Macromedia、FlashおよびMacromedia Flashは、Macromedia,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

本製品には、ヒューレットパッカード（HP）提供のプリンタードライバが含まれています。以下はHPプリンターのプリンタードライバ使用許諾内容を明記したものです。使用許諾にある本ソフトウェアとは、ヒューレットパッカード製のプリンタードライバです。



本ソフトウエアは、HP製品とともに使用する場合に限り、使用許諾されます。ソースコードやバイナリ形式での再販売や再頒布又はHP製品との使用は、翻案や修正の有無にかかわらず、以下の条件を満たす場合に限り認められます。

－ ソースコードで再販売や再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件及び以下の免責条項をそのまま維持しなければなりません。
－ バイナリ形式で再販売や再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件及び以下の免責条項を、添付書類又は／及び添付品に表示しなければなりません。
－「ヒューレット・パッカード」や開発関係者の名前を、事前の書面による承諾なしに、本ソフトウエアを利用して作成した製品の販売促進や信用付けのため使用することはできません。
－ お客様がソースコード上で不具合の修正をした場合、ヒューレット・パッカードは、当該修正を利用し再販売や再頒布する権利を持ちます。

本ソフトウエアは第三者から使用／実施許諾を受けた技術を含んでいる場合があります。HP製品以外の製品とともに使用した場合の責任はお客様にあり、場合によっては許諾料を請求されることがあります。

免責条項： 本ソフトウエアは、著作権者および開発関係者により、「現状有姿」で提供され、特定用途の製品としての市場商品力及び適合性について黙示の保証を含め、一切の、明示及び黙示の保証はされません。いかなる場合も、ヒューレット・パッカード及び開発関係者は、損害の可能性について指摘されていた場合であっても、本ソフトウエアの使用に伴い生じた、直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、結果的損害（代替品又は代替サービスの購入、使用不能、データの喪失、逸失利益、営業の停止による損害を含む）について、契約、不法行為その他の法律上の根拠の如何によらず、一切責任を負いません。

## ご案内

本製品に関するお問い合わせは「エアボードカスタマーサポートセンター」へ

**エアボード カスタマーサポートセンター**


●**ナビダイヤル** ........................................................ 0570-05-0005
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

●**携帯電話・PHSでのご利用は** .......................................... 0191-32-2951
受付時間：月～金　午前9時～午後6時　（ただし、年末、年始、祝日を除く）

●**メールアドレス** .............................................. support@airbonet.com

●**よくある質問についてのページ** .... http://www.airbonet.com/it_tv/faq


ケーブルモデムやADSLモデムの設定、インターネットへの接続、メールボックスの容量など、ネットワークへの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。

**万一不具合が生じた場合は**

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「エアボード カスタマーサポートセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、当社指定宅配業者がお客様宅まで伺い、引取修理をさせていただきます。

**エアボードのホームページ**

●http://www.sony.co.jp/airboard


**ソニー株式会社**　〒141-0001　**東京都品川区北品川**6-7-35
http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。
Printed in Japan